

取扱説明書 (刺しゅう編)

刺しゅう機付コンピューターミシン
EMW30 シリーズ



- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

本書の使い方

本機の取扱説明書は（実用編）と（刺しゅう編）で構成されています。用途に応じて使い分けてください。例えば、付属品や設定画面などの基本内容については、（実用編）の 1 章を参照してください。

画面操作の説明で、注意する箇所に  のマークが付いています。本書の画面とミシンに表示される画面を見比べながら、操作を行ってください。

本機を使用しているときに、わからないことや詳しく知りたいことがありましたら、目次と巻末の索引を併用して本書をご確認ください。

お知らせ

- 下部に Kit と記載されている灰色のキーは、アップグレードキットを認証すると使用できるようになります。アップグレードキットは国や地域によっては発売されていないことがあります。アップグレードキットについては、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご確認ください。

目次

本書の使い方.....	1	文字の編集をする.....	74
第1章 刺しゅうの手順	5	文字模様を選ぶ.....	74
刺しゅうの準備.....	6	文字列を整える.....	75
設定キーを使う.....	7	フォントを変更する.....	75
刺しゅうの設定.....	7	文字の大きさを変える.....	76
押えの交換.....	9	文字模様の配列を変える.....	77
押えを取り外す.....	9	文字の間隔を変える.....	78
刺しゅう押え< W >を取り付ける.....	10	文字模様を再編集する.....	79
針の交換.....	11	色を編集する	80
刺しゅう機を取り付ける.....	13	刺しゅうの糸色を変える.....	80
刺しゅう機について.....	13	カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を 設定する.....	81
刺しゅう機の取り外し方.....	14	糸色ごとに並べ替える.....	83
下糸の準備.....	15	模様を組み合わせる	84
下糸を巻く.....	15	組み合わせ模様を編集する.....	84
下糸をセットする.....	20	複数の模様を選択する.....	86
上糸通し.....	22	選択した複数の模様をグループ化する.....	87
上糸通し.....	22	模様を整列する.....	88
糸たてスタンドを使う.....	25	組み合わせ模様を刺しゅうする.....	89
ほどけやすい糸を使用する場合.....	27	第3章 編集の応用	91
布地を準備する.....	28	さまざまな刺しゅうの機能.....	92
布地にアイロン接着芯を貼る.....	28	1色で刺しゅうする.....	92
刺しゅう枠に布地を張る.....	29	布地を表示して縫製位置を合わせる.....	93
小さい布や布の隅に刺しゅうする.....	32	刺しゅうのしつけぬい.....	96
刺しゅう枠をセットする.....	34	印刷と刺しゅうを組み合わせる	98
刺しゅう画面.....	36	模様を選ぶ.....	99
キーのはたらき.....	38	背景と配置画像を出力する.....	100
模様の編集.....	38	背景と刺しゅう位置合わせシートを印刷する.....	101
文字を編集する.....	40	刺しゅうする.....	102
縫製画面.....	41	刺しゅうに関する設定の調整	103
刺しゅう模様の選び方.....	43	糸調子を整える.....	103
刺しゅう模様／飾リアルファベット模様／ 実用刺しゅう模様を選ぶ.....	43	下糸張力調整用内かま（調整ネジに着色なし）を 調整する.....	104
枠模様を選ぶ.....	45	自動糸切り機能.....	105
模様の位置を確認する	46	渡り糸切り機能.....	106
プロジェクターで刺しゅう模様を確認する.....	46	刺しゅうの速度を調節する.....	107
プロジェクターで針落ち位置を確認する.....	47	刺しゅうの糸番号、糸色名を表示する.....	107
内蔵カメラで縫製位置を合わせる.....	47	刺しゅうの枠表示を変える.....	107
刺しゅう位置合わせシールで縫製位置を合わせる.....	49	模様と針を合わせる.....	108
刺しゅう模様の確認.....	51	文字をつなげて刺しゅうする.....	109
刺しゅうしてみましょ.....	53	模様の記憶	111
きれいに刺しゅうするために.....	53	刺しゅうデータに関する注意.....	111
刺しゅうする.....	54	刺しゅう模様を記憶させる.....	113
刺しゅう時の調整	56	刺しゅう模様を呼び出す.....	113
下糸が少なくなったら.....	56	模様を市販の USB メディア／ SD カードに保存する.....	114
刺しゅうの途中で糸が切れたときは.....	57	USB メディア／ SD カードから呼び出す.....	115
始めからぬい直したいときは.....	58	複数模様の記憶／削除.....	117
電源を切った後、刺しゅうを再開する.....	58	刺しゅう模様を転送する.....	117
第2章 編集の基本	61	ミシンで刺しゅう模様を受け取る.....	118
編集の基本.....	62	編集の応用	119
模様のイメージを確認する.....	62	アプリケピースを作る.....	119
模様を移動する.....	63	アプリケを使う.....	123
模様を回転させる.....	63	枠模様を使ってアプリケをする（1）.....	126
模様の大きさを変える.....	64	枠模様を使ってアプリケをする（2）.....	127
糸密度を変更する.....	66	ステッピングやエコキルトを自動的に作る.....	128
模様を左右反転させる.....	67	キルトサッシ模様を刺しゅうする.....	129
連続模様をつくる.....	67	分割模様を刺しゅうする.....	132
模様を繰り返し刺しゅうする.....	70	カメラを使って模様をつなげる	134
模様を複製する.....	72	3つの模様をつなげる.....	134
模様を削除する.....	72	位置合わせシールの位置を変更する.....	140
画面に模様を拡大表示する.....	73	レジューム機能.....	142

第4章 マイデザインセンター 145

MY DESIGN CENTER (マイデザインセンター)	146
ドロー画面について	147
模様を作る前に	149
線を描く	149
模様を塗る	151
スタンプキーの使い方	152
消しゴムキーの使い方	153
選択キーの使い方	153
ステッチ設定画面	155
それぞれの模様にぬい方を設定する	155
一括でぬい方を設定する	157
MY DESIGN CENTER (マイデザインセンター)	
でスキャンする	159
スキャン枠を使用する	159
スキャンして取り込んだ下絵をなぞる	160
下絵を取り込む	162
ラインスキャン	164
スキャン枠でラインスキャンする線画を取り込む	164
イラストスキャン	167
スキャン枠でイラストスキャンするイラストを 取り込む	167
ステッピング	170
My Design Center (マイデザインセンター) で基本的な ステッピングをする	170
スキャンした線画からステッピング模様を作る	172
布をスキャンしてステッピングする	177
刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする (キルト機能)	180

第5章 付録 183

困ったとき	184
こんなときは	184
エラーメッセージ	189
索引	194



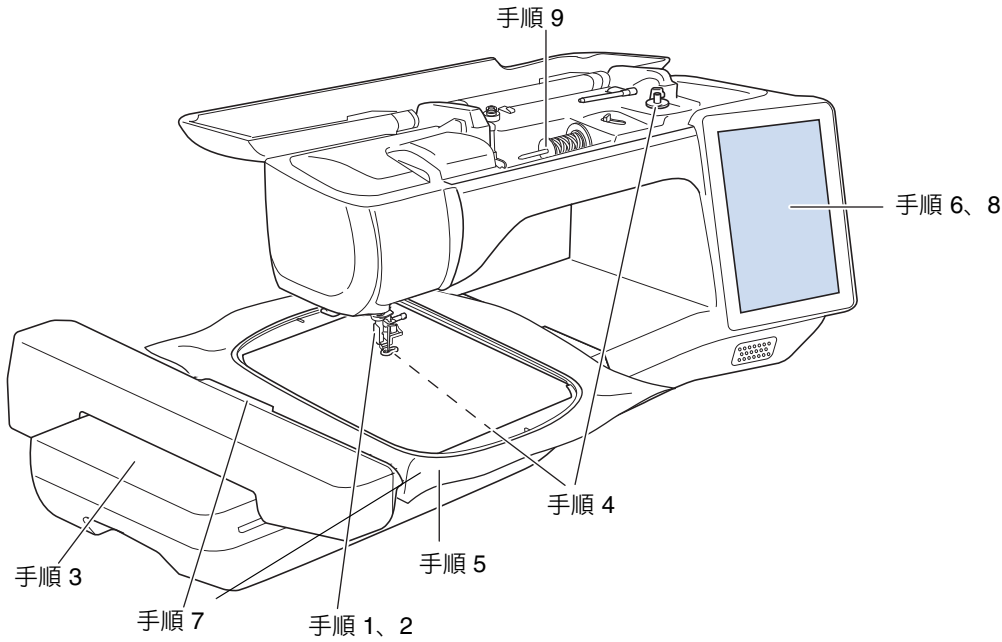
第 *1* 章

刺しゅうの手順



刺しゅうの準備

刺しゅうの準備手順は次のとおりです。



手順	目的	操作	参照 ページ
1	押えの取り付け	刺しゅう押え＜W＞を取り付けます。	9
2	針の確認	刺しゅうには、11 番の針を使用してください。*	—
3	刺しゅう機の取り付け	刺しゅう機を取り付けます。	13
4	下糸のセット	刺しゅう用下糸を巻いて下糸をセットします。	15
5	布地の準備	接着芯を貼った布地を刺しゅう枠に張ります。	28
6	模様の選択	電源スイッチを入れ、刺しゅう模様を選びます。	36
7	刺しゅう枠の取り付け	刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。	34
8	レイアウトの確認	刺しゅうの大きさと位置を確認して調整します。	46
9	上糸のセット	模様に合わせて上糸をセットします。	22

* 14 番の針は、厚手の布地や接着芯が貼られた布地（デニムやパフィーフォームなど）に刺しゅうするとき请使用してください。ニット用針（金色）は刺しゅうには使用しないでください。

設定キーを使う

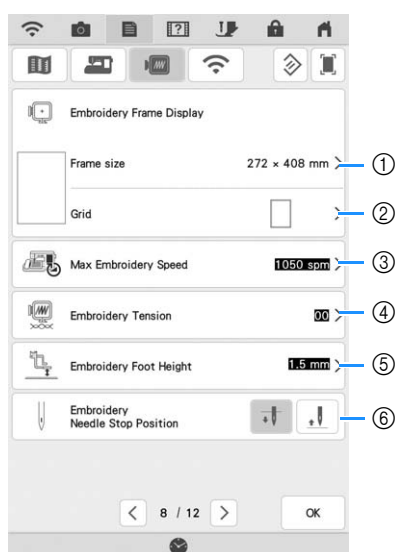
☰を押すと、針の停止位置切り替え、刺しゅうの速度、オープニング画面など、ミシンの標準設定を変更することができます。☰ (実用ぬい)、☰ (ミシン本体)、☰ (刺しゅう)、☰ (無線 LAN) を押すと、機能ごとの設定画面が表示されます。実用ぬいの設定やミシン本体の設定、無線の設定について詳しくは、取扱説明書 (実用編) を参照してください。

お知らせ

- < または > を押すと、前のページまたは次のページが表示されます。

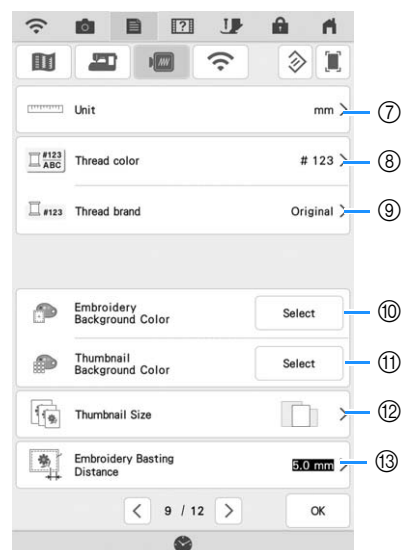
刺しゅうの設定

■ 8 ページ



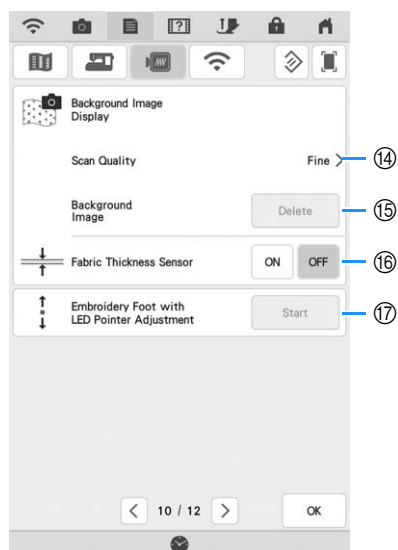
- ① 使用する刺しゅう枠を選択します。(P. 107)
- ② 中心マークと格子線の表示を変更します。(P. 107)
- ③ 刺しゅう時の速度を調節します。(P. 107)
- ④ 刺しゅうの糸調子を調整します。(P. 104)
- ⑤ 刺しゅう押えの高さを調節します。
- ⑥ 刺しゅう時の針停止位置を選択します。

■ 9 ページ



- ⑦ 表示単位 (mm / インチ) を選択します。
- ⑧ 「刺しゅう」画面で刺しゅうの糸色表示を、糸番号または糸色名に切り替えます。(P. 107)
- ⑨ 模様を読み込むときに使用する糸ブランドを選択します。(P. 107)
- ⑩ 模様表示エリアの背景色を選択できます。
- ⑪ 模様サムネイル表示の背景色を選択できます。
- ⑫ 模様サムネイルのサイズを選択できます。
- ⑬ 模様からしつけぬいまでの距離を設定します。(P. 96)

■ 10 ページ



- ⑭ 布地を背景画像として表示するときの画質を選択できます。(P. 95)
- ⑮ スキャンした画像を消去します。(P. 95)
- ⑯ [ON] を選択すると、内蔵カメラで、布の厚さにあわせて、背景スキャンの画像を補正して表示します。(P. 95)
- ⑰ LED ポインター付き刺しゅう押え< W+ > (別売) の位置と明るさを調整します。(LED ポインター付き刺しゅう押え< W+ > が本機に取り付けられていないときは、設定できません。)

押えの交換

1

刺しゅうの手順

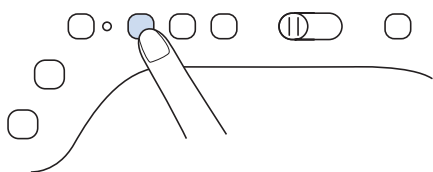


⚠ 注意

- 押えを交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。
- 押えは必ず純正品を使用してください。

押えを取り外す

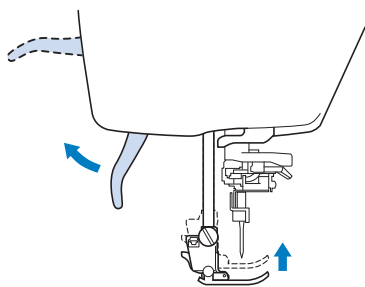
- 1 針上下スイッチを押して針を上げます。



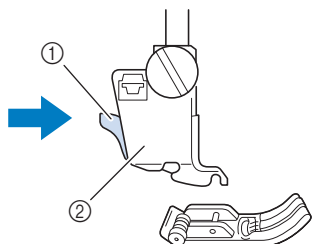
- 2  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックします。

* [OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)] のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。

- 3 押えレバーを上げます。

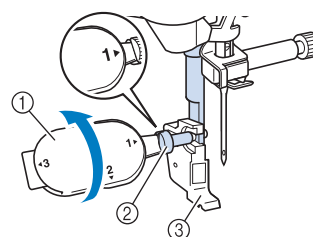


- 4 押えホルダーの黒いボタンを押し、押えを取り外します。



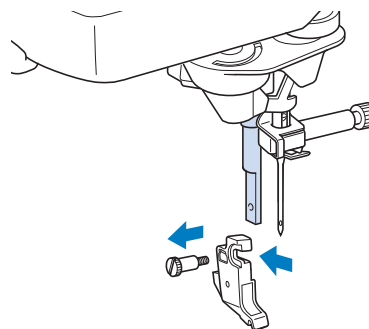
- ① 黒いボタン
② 押えホルダー

- 5 押えホルダーのネジをゆるめ、押えホルダーを外します。



- ① マルチドライバー
② 押えホルダーのネジ
③ 押えホルダー

- 6 押えホルダーのネジを押え棒から完全に取り外します。



刺しゅう押え＜W＞を取り付ける

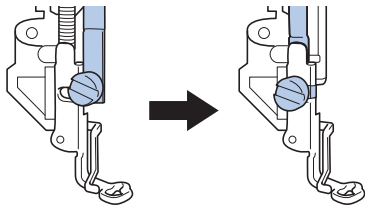
⚠ 注意

- 刺しゅう押えを取り付けるときは、必ず画面の  を押してください。万スタート/ストップスイッチが押されると、けがの原因となります。
- 刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう押え＜W＞を使用してください。誤った刺しゅう押えを使用すると、針が刺しゅう押えに当たり、針が折れたり曲がったり、けがをするおそれがあります。

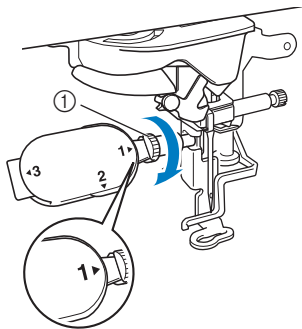
1 押えレバーを上げて、押えと押えホルダーを取り外します。詳しくは P. 9 「押えを取り外す」を参照してください。

2 押え棒のネジ（大）に刺しゅう押え＜W＞のミゾを合わせて取り付けます。

側面



3 刺しゅう押えを右手で押えながら、付属のマルチドライバーで押えホルダーのネジをしっかりとしめます。



① 押えホルダーのネジ

⚠ 注意

- 付属のマルチドライバーを使用して、押えホルダーのネジをしっかりとしてください。ネジがゆるい場合、針が刺しゅう押えに当たり、けがをするおそれがあります。

4  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

→ すべてのキーと操作スイッチのロックが解除され、元の画面が表示されます。

針の交換

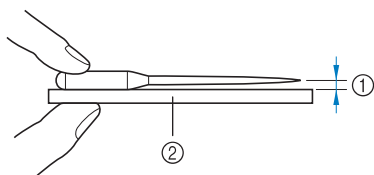
⚠ 注意



- 針を交換する前に、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。 が押されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。
- 針は必ず家庭用ミシン針（HA×1）を使用してください。そのほかの針を使用すると、針が曲がったり、折れてけがをするおそれがあります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。曲がった針は折れやすく、けがをするおそれがあります。

📖 お知らせ

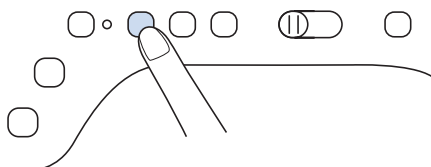
- 正しい針を見分けるには、針の平らな面を平らな板に合わせます。上と横から見て、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。曲がった針は捨ててください。



① 平行なすき間

② 平らな面（針板ふたやガラスなど）

1 針上下スイッチを押して針を上げます。

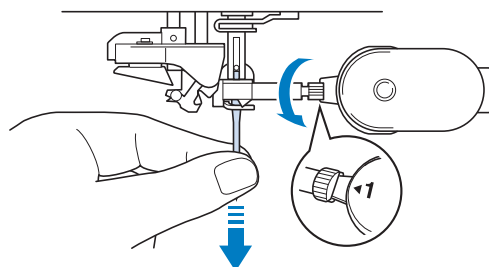
2 を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックします。

- * [OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)] のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。

🔔 お願い

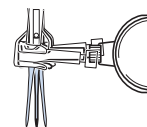
- 針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

3 左手で針を持ちながら、右手でマルチドライバーを手前に回し、針のとめネジをゆるめます。針を抜きます。

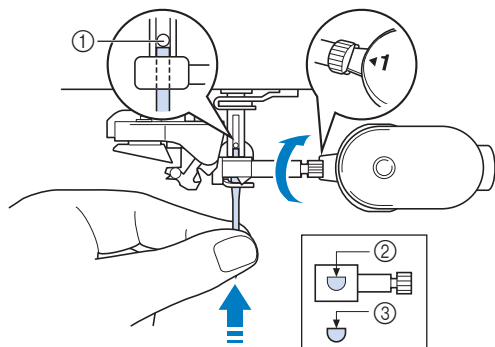


🔔 お願い

- 針のとめネジに大きな力を加えないでください。針やミシン本体の故障の原因となります。



- 4** 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで針棒に差し込みます。マルチドライバーで針のとめネジをしっかりとめます。



- ① ストッパー
② 針取付穴
③ 針の平らな面

⚠ 注意



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、とめネジをマルチドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

- 5**  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

刺しゅう機を取り付ける

刺しゅう機について

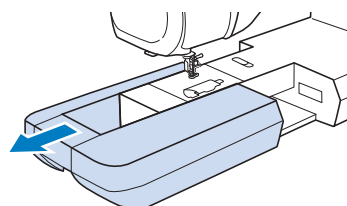
⚠ 注意

- 刺しゅう機を本体に取り付けたまま、持ち運ばないでください。刺しゅう機が落下するおそれがあり、けがの原因となります。
- 刺しゅう縫製中は、刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠に手や物を近づけないでください。破損や故障の原因となります。
- 刺しゅう模様の歪みをふせぐために、刺しゅう縫製中は、キャリッジや刺しゅう枠に触れないでください。
- 必ず電源スイッチを切ってから、刺しゅう機を取り付けてください。ミシンが故障する原因となります。
- 刺しゅう機のコネクタには触らないでください。コネクタピンの破損の原因となります。
- 刺しゅう機のキャリッジを持って持ち上げたり、キャリッジに強い力を加えたりしないでください。刺しゅう機が故障する原因となります。
- 刺しゅう機の損傷を防ぐために、刺しゅう機を安全な場所に保管してください。
- 刺しゅう機を取り付けるときは、キャリッジを押さないでください。キャリッジを動かすと、刺しゅう機の故障の原因となります。
- 刺しゅう機の周りに十分なスペースを取ってください。刺しゅう機が落下するおそれがあり、けがの原因となります。
- キャリッジが初期設定の位置へ移動するまで、触らないでください。

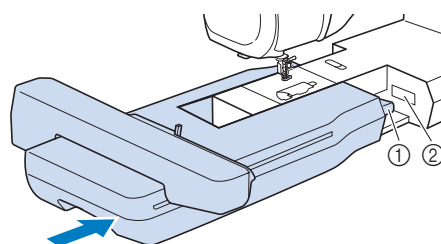
💡 お願い

- 刺しゅう機が取り付けられた状態でも、実用ぬいや文字・飾りぬいができます。を押してから、を押してください。実用ぬいや文字・飾りぬいをするために、送り歯が自動的に上がります。

- 1 電源スイッチを切り、補助テーブルを外します。



- 2 刺しゅう機のコネクタを刺しゅう機差し込み口に差し込みます。カチッと音がするまで、差し込口に軽く押しつけます。



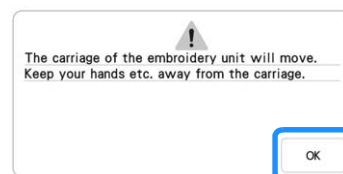
- ① コネクタ
② 差し込み口

💡 お願い

- 刺しゅう機と本体の間にすき間ができないようにしてください。すき間があると、模様くずれの原因となります。

- 3 電源スイッチを入れます。

- 4  を押します。



→ キャリッジが初期設定の位置に移動します。

刺しゅう機を取り外し方

- 1 を押して、を押します。

→ キャリッジが収納位置に移動します。

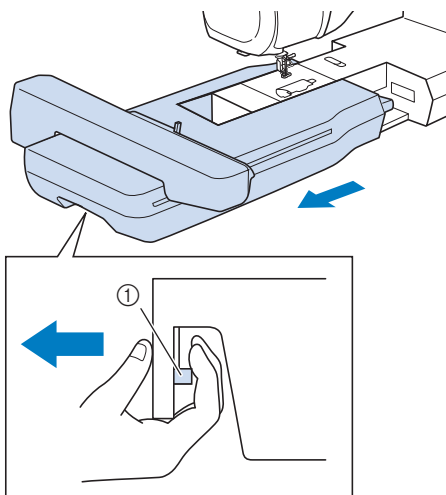
⚠ 注意



- 必ず刺しゅう枠を外してから  を押してください。刺しゅう枠が刺しゅう押えに当たり、けがをするおそれがあります。

- 2 電源スイッチを切ります。

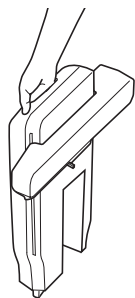
- 3 取り外しレバーを押して、刺しゅう機をミシンから引き出します。



① 取り外しレバー

⚠ 注意

- 刺しゅう機を持ち運ぶときは、取り外しレバーの部分を持たないでください。



下糸の準備

下糸を巻く

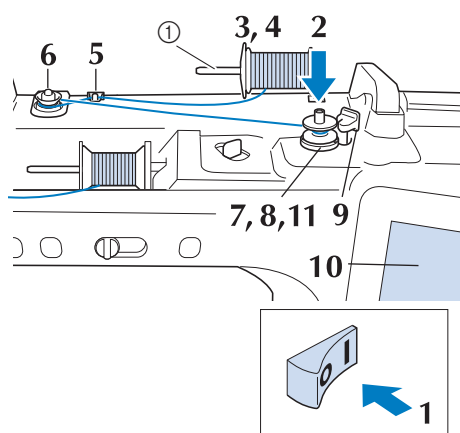


注意

- 付属のボbinは本機純正品です。純正ボbinをご使用ください。

■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

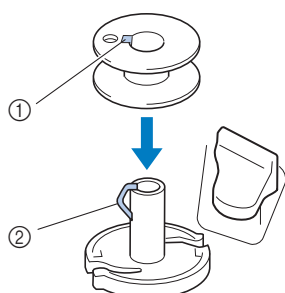
本機は縫製中に下糸を巻くことができます。メインの糸たて棒は縫製に使いながら、補助糸たて棒で下糸を巻くので便利です。



① 補助糸たて棒

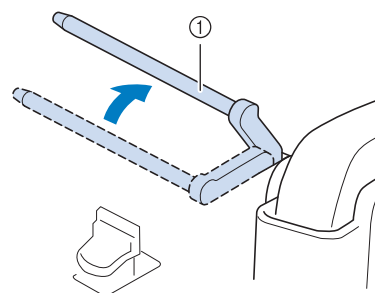
1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ボbinのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボbinを軸にセットします。



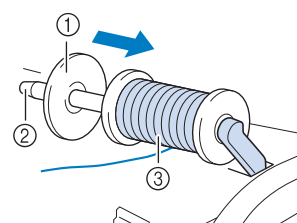
① ボbinのミゾ
② 下糸巻き軸のバネ

3 補助糸たて棒を上におこします。



① 補助糸たて棒

4 糸こまを糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



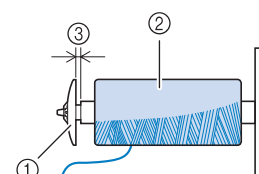
① 糸こま押え
② 糸たて棒
③ 糸こま

注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え (大) (中) (小) は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

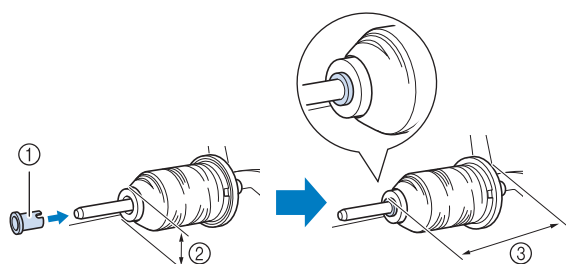
お知らせ

- 細い糸が巻かれた糸こまを使用するときは、糸こま押え (小) を使用し、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



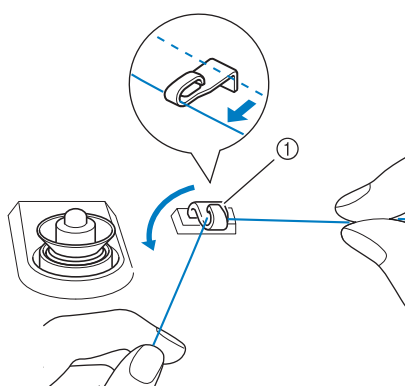
① 糸こま押え (小)
② 糸こま
③ すきま

- 芯の直径が 12 mm、高さ 75 mm の糸こまが糸立て棒に挿入されている場合は、糸こま押え（特殊）を使用してください。



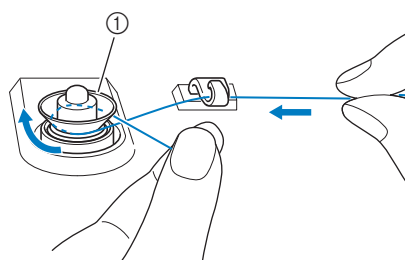
- ① 糸こま押え（特殊）
- ② 12 mm
- ③ 75 mm

- 5** 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内に糸をかけます。



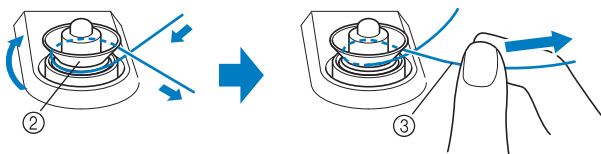
- ① 糸案内

- 6** 下糸巻き案内に糸を巻きつけて、糸が下糸巻き案内の下にあることを確認します。



- ① 下糸巻き案内

→ 糸が下糸巻き案内の皿の下を通っていることを確認してください。

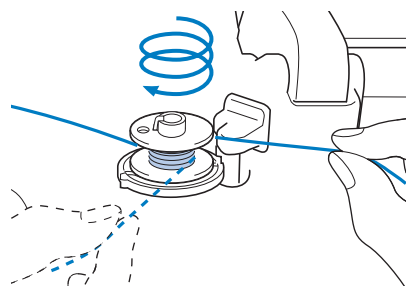


- ② 下糸巻き案内

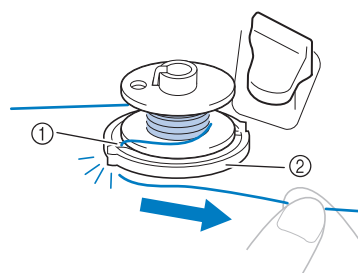
- ③ しっかり奥まで入れます。

→ 糸が下糸巻き案内の皿の間にしっかり入っていることを確認してください。

- 7** ボビンに糸を右まわりに5～6回巻きつけます。



- 8** 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。

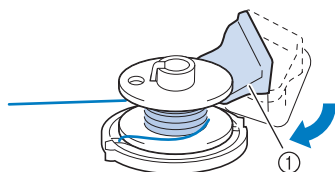


- ① ガイドミゾ（カッター付）
- ② ボビン受け座

⚠ 注意

- 必ずこの方法で糸を切ってください。ガイドミゾのカッターで糸を切らずに下糸を巻くと糸がうまく巻けません。また、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れるおそれがあります。

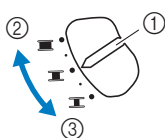
9 ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。



① ボビンホルダー（スイッチ）

お知らせ

- ボビンホルダーを左へ押すと、下糸巻きモードになります。
- 糸巻き量調整つまみで糸を巻く量を5段階から選択することができます。



① 糸巻き量調整つまみ

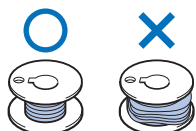
② 多い

③ 少ない

→ 下糸巻き画面が表示されます。

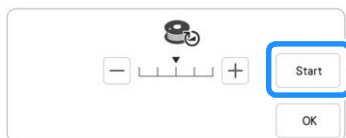
お願い

- ナイロン透明糸をボビンに巻くときは、1/2 ~ 2/3 程度巻いたところで止めてください。ナイロン透明糸をボビンいっぱいまで巻くと、巻きくずれの原因となります。



10 Start を押します。

→ 下糸巻きが始まります。巻き終わると自動的に停止し、ボビンホルダーが元の位置に戻ります。



お願い

- 下糸巻きの動作中は、Start が Stop で表示されます。
- 下糸巻きの動作中は、ミシンから離れず、正しく動作していることを確認してください。正しく巻かれていない場合は、ただちに Stop を押して下糸巻きを中止してください。

お知らせ

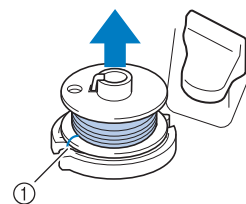
- 下糸巻き画面で - （ゆっくり）、+ （はやく）を押して下糸巻きの速度を調整できます。



- OK を押して、下糸巻き画面を最小化できます。下糸を巻いている間、模様を選んだり、糸調子を調整したり、他の操作をすることができます。
- 画面の右上に表示されている [最小化アイコン] を押すと、最小化された下糸巻き画面がもう一度表示されます。



11 カッターで糸を切り、ボビンを外します。



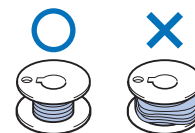
① カッター

お知らせ

- ボビンを外すとき、ボビンの受け座を引っ張ると、ボビンの受け座が外れ、故障の原因となります。

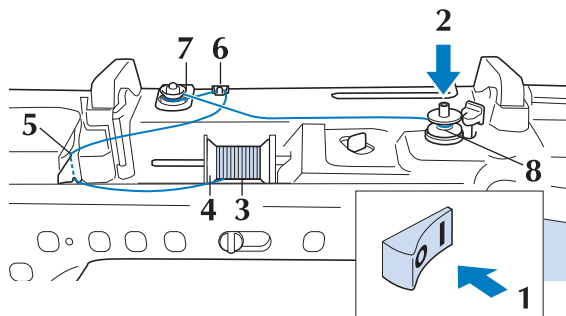
⚠ 注意

- 下糸の巻き方が悪いと、糸調子不良や針折れ、けがの原因となります。



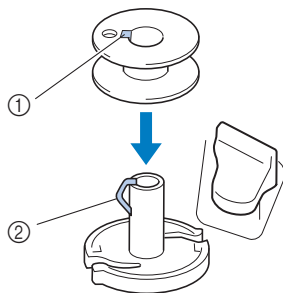
■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

ぬい始める前に、糸たて棒を使って下糸を巻いてください。縫製中はこの糸たて棒を使って下糸を巻くことはできません。



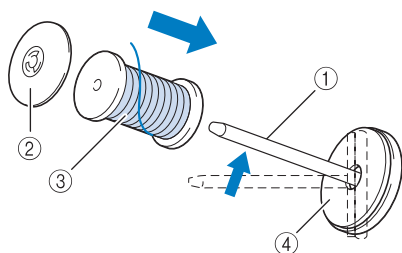
1 電源スイッチを入れ、上ふたを開けます。

2 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。



- ① ボビンのミゾ
- ② 下糸巻き軸のバネ

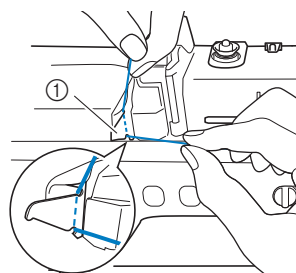
3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



- ① 糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま
- ④ 糸こまフェルト

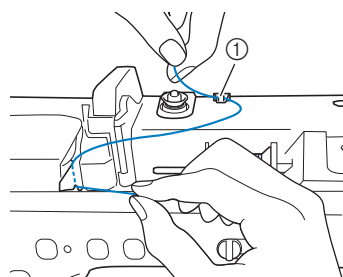
4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

5 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



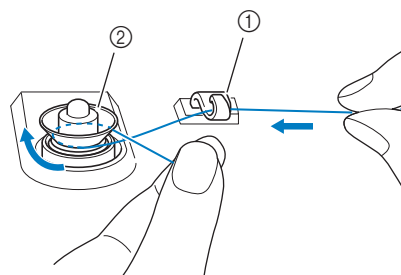
- ① 糸案内板

6 糸案内に糸をかけます。



- ① 糸案内

7 下糸巻き案内に糸を巻きつけて、糸が下糸巻き案内の下にあることを確認します。

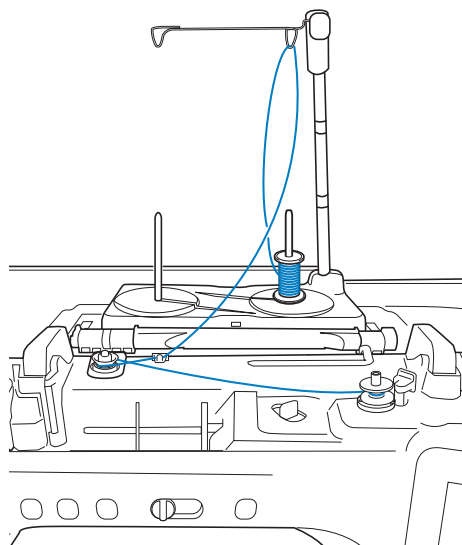


- ① 糸案内
- ② 下糸巻き案内

8 以降の作業は、P. 16 から P. 17 の手順 7 ～ 11 に従ってください。

■ 糸たてスタンドを使う

糸たてスタンドを取り付けた状態で、下糸巻きをするには、糸こまからアンテナの糸かけへ糸を通し、「補助糸たて棒で下糸を巻く場合」の P. 16 から P. 17 にある手順 ⑤ ～ ⑪ を参照して下糸を巻いてください。



お知らせ

- 糸たてスタンドの取り付けについては、取扱説明書（実用編）を参照してください。
- 糸たてスタンドを使ってミシンに糸を通す方法については、P. 25 を参照してください。

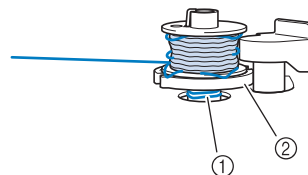


⚠ 注意

- 下糸を巻くときは、他の糸を糸こまに巻きとってください。

■ ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。そうなった場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれた糸をほどいてください。



- ① 糸
- ② ボビン受け座

⚠ 注意

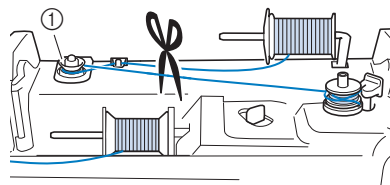


- ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は外さないでください。けがをするおそれがあります。

- 1 ボビン受け座の下に下糸がからまり始めたら、**Stop** を押して下糸巻きを停止します。

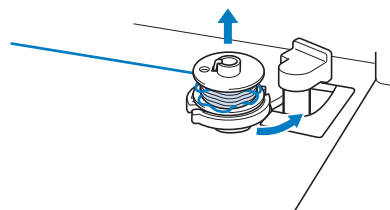


- 2 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。

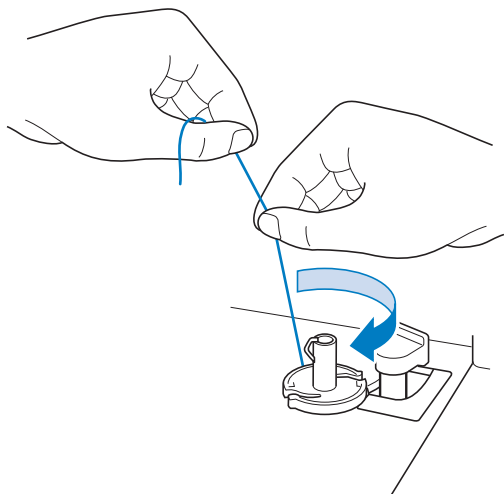


- ① 下糸巻き案内

- 3 ボビンホルダーを右に押して、ボビンを下糸巻き軸から少なくとも 10 cm 上げます。



- 4 ボビンの近くで糸を切り、左手で糸端を持ちます。右手でボビン受け座近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



- 5 下糸巻きをやり直します。

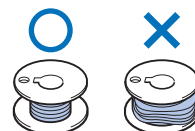
💡 お願い

- 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(P. 16)

下糸をセットする

⚠ 注意

- 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。万一、下糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。

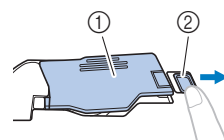


- 付属のボビンは本機純正品です。純正ボビンをご使用ください。
- 下糸をセットするときや交換するときは、必ず液晶画面の  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてください。ロックされていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

- 1  を押して、キーと操作スイッチをロックし、押えを上げます。

- * [OK to automatically lower the presser foot? (押えが自動で下がります。よろしいですか?)] のメッセージが表示されたら、 を押して操作を続けてください。

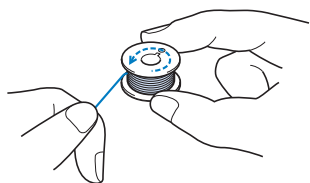
- 2 針板ふたのつまみを右側に押します。



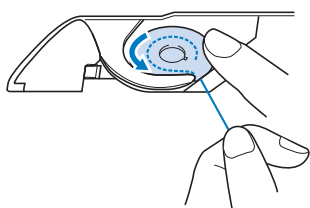
- ① 針板ふた
② つまみ
→ 針板ふたが開きます。

③ 針板ふたを外します。

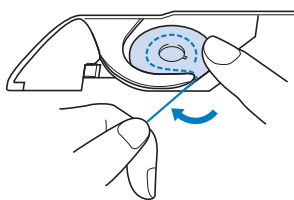
④ 右手でボビンを持ち、左手で糸の端を持ちます。



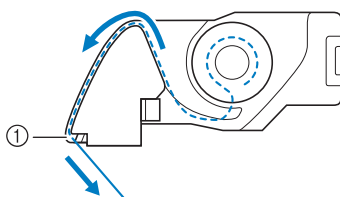
⑤ 糸が左巻きになるようにしてボビンをかまに入れます。



⑥ 右手でボビンを軽く押さたまま、左手で糸を通します。



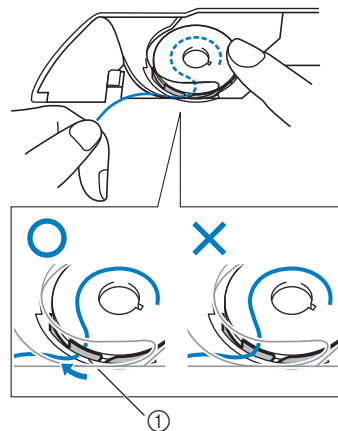
⑦ ミゾにそって糸を通し、手前へ糸を引き出します。



① カッター
→ カッターで糸を切ります。

❗お願い

- 内かまの板バネの間に確実に糸が入っていないと、糸調子不良の原因となります。(P. 103)



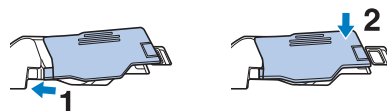
① 板バネ

⚠ 注意



- ボビンは必ず指で押え、正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットすると、糸切れや糸調子不良の原因となります。

⑧ 針板ふたのタブを針板カバーに差し込んでから (1)、針板ふたの右側を上から軽く押して取り付けます (2)。



⑨  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

上糸通し

上糸通し

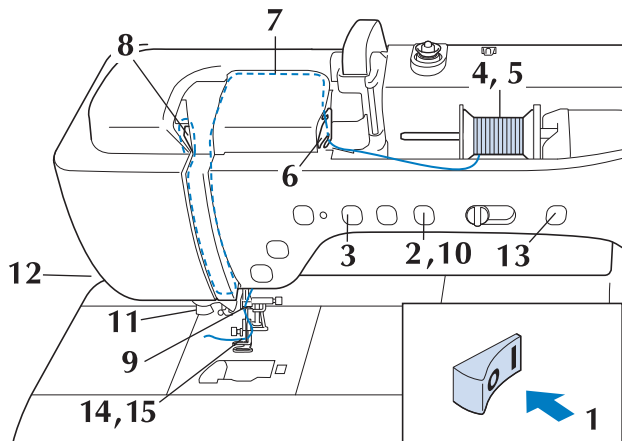
⚠ 注意



- 上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。

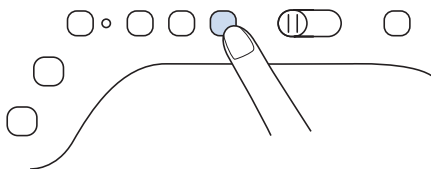
📖 お知らせ

- 自動糸通しは、家庭用ミシン針（HA×1）11番～16番で使用してください。
- ナイロン透明糸や特殊な糸を使用するときは、自動糸通しは使用できません。

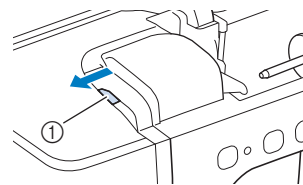


1 電源スイッチを入れます。

2 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを上げます。



→ シャッターが開いて、糸通しできるようになります。

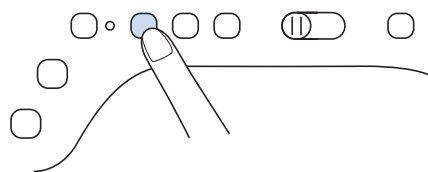


① シャッター

📖 お知らせ

- 本機には、上糸通しが正しく行われていることを確認できるよう、シャッターを装備しています。

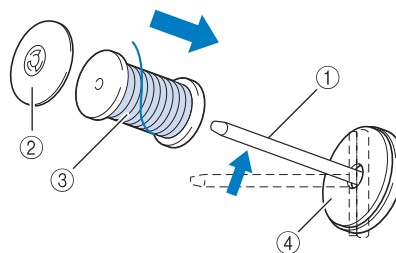
3 針上下スイッチを押して針を上げます。



💡 お願い

- 針を上げずに自動糸通しを行うと、上糸が正しくかからないことがあります。

4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸が手前から出るように糸たて棒に糸こまを差し込みます。



- ① 糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま
- ④ 糸こまフェルト

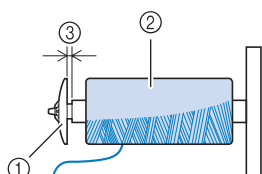
- 5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。

⚠ 注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え（大）（中）や糸こま押え（特殊）は糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまより小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、針折れの原因となります。

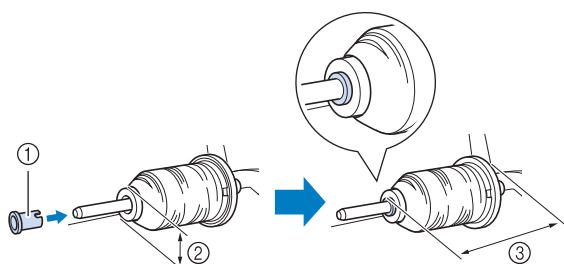
📖 お知らせ

- 細い糸が巻かれた糸こまを使用するときは、糸こま押え（小）を使用し、糸こま押えと糸こまとの間に少しすきまを残してください。



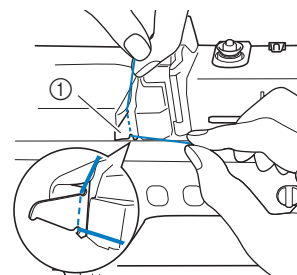
- ① 糸こま押え（小）
② 糸こま
③ すきま

- 芯の直径が 12 mm、高さ 75 mm の糸こまが糸立て棒に挿入されている場合は、糸こま押え（特殊）を使用してください。



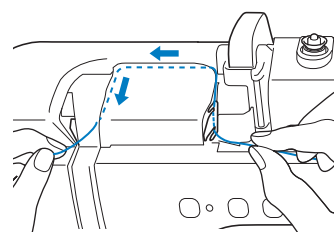
- ① 糸こま押え（特殊）
② 12 mm
③ 75 mm

- 6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。

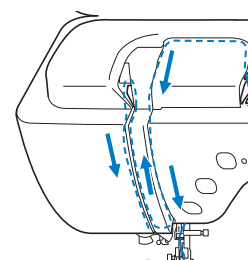


① 糸案内板

- 7 右手で糸を持ちながら、糸通しカバーの矢印に沿って糸を通します。

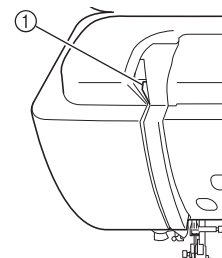


- 8 図のように、糸をミゾに沿って下に通し、上に上げ、また下に通します。



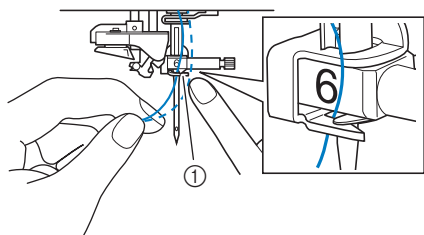
📖 お知らせ

- ミゾの上部から中を見ると、てんびんに糸がかかっていることを確認できます。



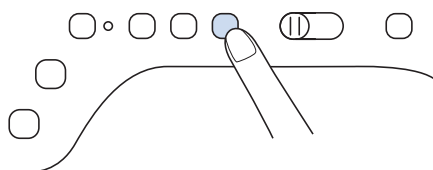
① ミゾの上部を確認します。

- 9** 一方の手で糸を押え、もう一方の手で糸の端を持ち、図のように針棒糸かけ（6の印）に糸をかけます。

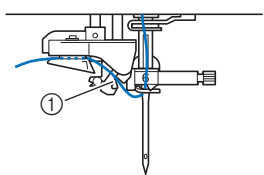


① 針棒糸かけ

- 10** 押え上下スイッチを押して、押えを下げます。

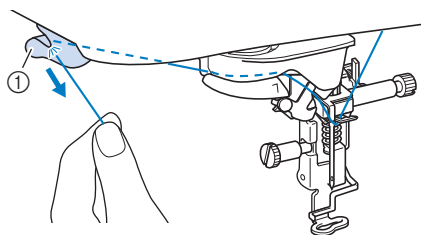


- 11** 糸案内皿（7の印）に糸を通します。糸案内のミゾに糸が通っていることを確認してください。



① 糸案内のミゾ

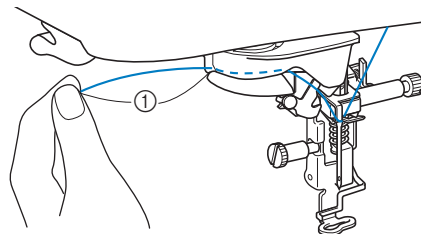
- 12** 図のように、糸を引き上げて、ミシンの糸切りで糸を切ります。



① 糸切り

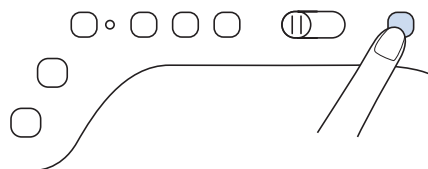
💡 お願い

- メタリック糸のようにほどけやすい糸を使用する場合は、糸を切ってしまうと糸を通しにくくなります。その場合は、糸案内皿（7の印）に糸を通した後、糸切りを使わずに糸を約8 cm 引き出してください。



① 約8 cm

- 13** 自動糸通しスイッチを押して、針に糸を通します。



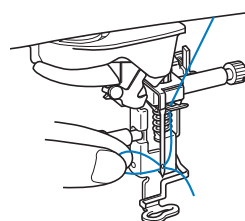
→ 糸が針穴に通ります。

📖 お知らせ

- 自動糸通しスイッチを押すと、押えが上がっている場合でも、自動的に下がります。糸通しが終わると、押えは自動的に、自動糸通しスイッチを押す前の位置に戻ります。

- 14** 針穴を通った糸をゆっくり引き出します。

* 針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側に引っ張り、針穴から糸を引き出します。

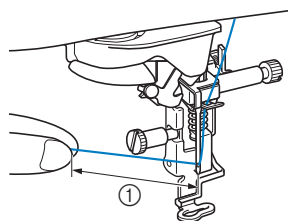


💡 お願い

- 糸の輪を針穴から引き出すときは、ゆっくり引き出してください。強く引くと、針折れの原因となります。

- 15 押えを上げ、糸を 10 ～ 15 cm 引き出して、押えの下を通して、ミシンの後ろ側へ回します。

→ 押えレバーが下がっているときは、押えレバーを上げてください。



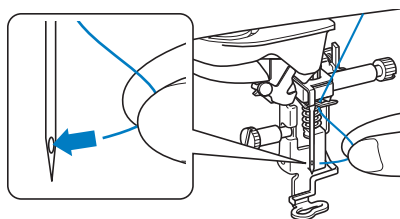
① 10 ～ 15 cm

お知らせ

- 針に糸が通っていなかったり、針棒糸かけに正しくかかっていなかった場合は、手順 ③ から操作をやり直してください。

お願い

- 針の種類によっては、自動糸通しが使用できない場合があります。そのときは、自動糸通しを使用せずに針棒糸かけ (6 の印) に糸をかけた後、手前から奥に向かって手動で針穴に糸を通してください。



糸たてスタンドを使う

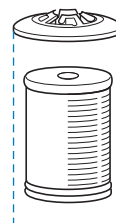
直径の大きな糸こま (チーズ巻き) に使用すると便利です。2 個の糸こまをセットできます。

お知らせ

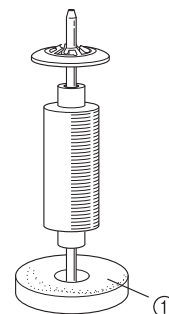
- 糸たてスタンドの取り付けについては、取扱説明書 (実用編) を参照してください。
- 糸たてスタンドを使った下糸巻きについては、P. 19 を参照してください。

■ 糸たてスタンドを使う

- 必ず、糸こまよりも少し大きなサイズの糸こま押えを使用してください。糸こまよりも小さいものや、大きすぎるものを使用すると、糸が引っかかり縫製不良の原因となります。

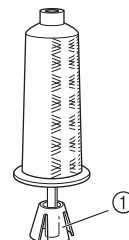


- 芯が細い糸こまを使用するときは、付属のフェルトを糸たて棒に通した後、フェルトの中央の穴に糸こまの芯が入るように糸こまをセットし、糸こま押えを差し込みます。



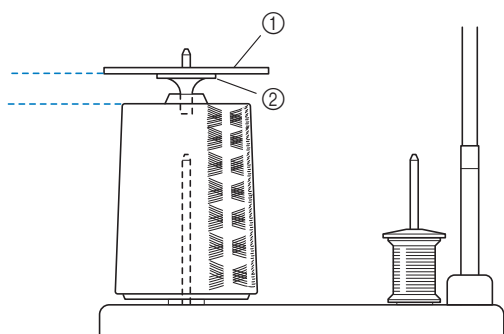
① 糸こまフェルト

- チーズ巻きの糸こまを使用するときは、スプールクッションを使用します。綿糸以外のチーズ巻き糸こまを使用するときは、糸こま押えを使用する必要はありません。



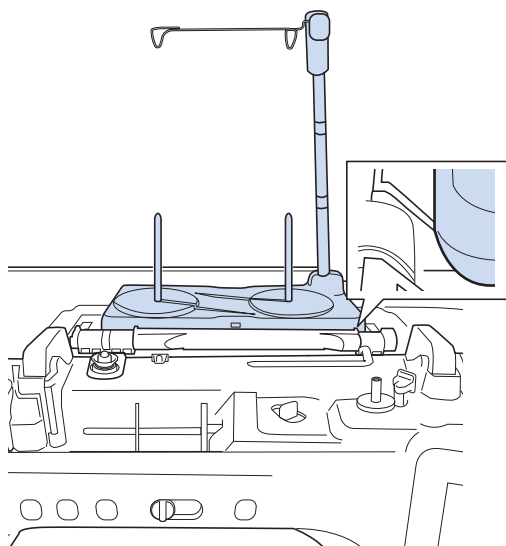
① スプールクッション

- 糸こまの大きさや糸の残量に応じて、糸こま押え（大、中）を使い分けてください。糸こま押え（小）を糸こま押えベースに取り付けて使用することはできません。

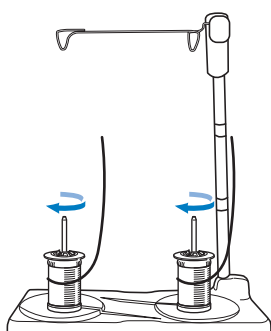


- ① 糸こま押え
② 糸こま押えベース

1 ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。



2 糸こまを、時計回りに糸が引き出される方向に糸たて棒にセットします。糸こま押えをしっかりと糸たて棒に差し込みます。



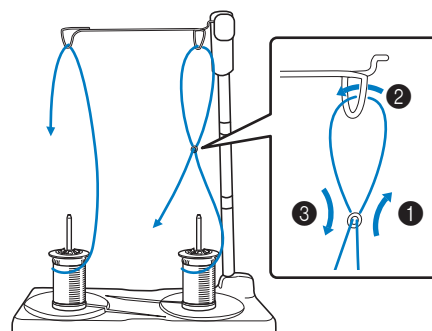
❖ お願い

- 糸こまを2つ使用するときは、両方の糸こまを必ず同じ方向にセットしてください。
- 糸こまが互いに接触しないようにしてください。接触していると、糸がスムーズに引き出されず、針折れや糸切れ、糸がらみなどの原因となることがあります。また、糸こまが中央のアンテナに接触していないことを確認してください。
- 糸こまの下に糸がはさまらないようにしてください。

3 糸こまから糸を引き出します。真上の糸かけに奥から手前に糸をかけます。

メタリック糸などの張りが強い糸を使用する場合は、糸のからまりを防ぐため、付属のリングを使用します。

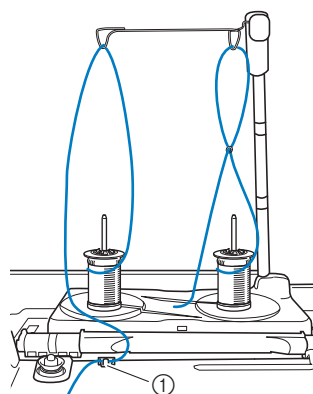
糸を、まずリングに下から通し (❶)、糸かけに通した後 (❷)、ふたたびリングに上から通します (❸)。リングを使用するときは、糸こま押えベースは使用しないでください。



❖ お願い

- 隣接する糸こまの糸にからまないように、糸をかけてください。
- 糸をかけた後、糸こままわりのたるんだ糸を巻き取ってください。糸がたるんでいると、糸がらみなどの原因となることがあります。

4 糸案内の右から左へ糸を通します。



- ① 糸案内

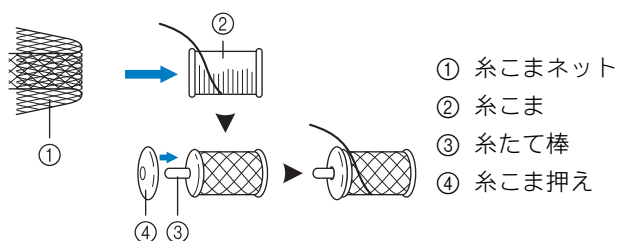
5 P.22「上糸通し」の ❷ から ❸ の通りに上糸を通します。

ほどけやすい糸を使用する場合

■ 糸こまネットを使用する

ナイロン透明糸やメタリック糸などを使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまに付けてください。これらの糸を使用するときは、手動で糸をかけてください。

糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまの大きさに合わせてネットを折りたたんでから、糸こまに付けてください。



📖 お知らせ

- 糸こまネットを使用する場合は、必ず約 5 ～ 6 cm 糸を引き出してください。
- 糸こまネットを使用する場合は、必要に応じて糸調子を調節してください。

布地を準備する

⚠ 注意

- 布地の厚さは3 mm より薄いものを使用してください。3 mm 以上の厚さの布地を使用すると、針が折れるおそれがあります。

💡 お願い

- 中綿がはいった布地を刺しゅうするとき、刺しゅうの設定画面で押えの高さを調整することできれいに縫製することができます。

☰を押して、設定画面の8ページを表示します。刺しゅうの設定画面の「Embroidery Foot Height（刺しゅうの押え高さ）」の横にある数字を押します。厚地やふくらみのある布地は、刺しゅう押えの高さを調整してください。



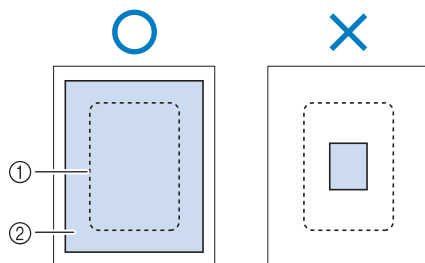
- 刺しゅう押えと針板のすきまを広げるときは、「Embroidery Foot Height（刺しゅうの押え高さ）」の数値を大きくしてください。
- 厚地のパイル織りのタオルの場合は、水溶性シートをタオルの表面に置くことをお勧めします。タオル地のけばを減らし、よりきれいな刺しゅうに仕上がります。

布地にアイロン接着芯を貼る

⚠ 注意

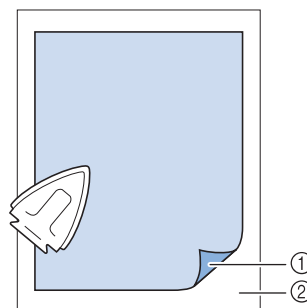
- 刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。特に薄地や伸びる布地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。接着芯を使用しないと、きれいな仕上がりにならない場合があります。

- 1 使用する刺しゅう枠より大きい接着芯を準備します。



- ① 刺しゅう枠の大きさ
- ② アイロン接着芯

- 2 布地の裏側に接着芯をアイロンをかけて貼ります。



- ① 接着面
- ② 布地（裏面）

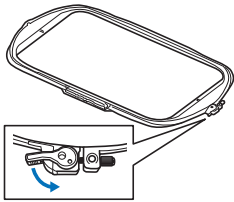
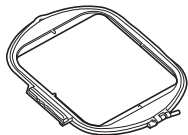
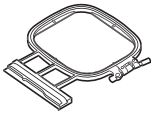
📖 お知らせ

- オーガンジーやローンなど薄手の素材やタオル、コーデュロイなど起毛している布地に刺しゅうをするときは、水で溶ける刺しゅう用水溶性シート（別売）を使ってください。刺しゅう用水溶性シートが完全に水にとけてきれいに仕上がります。

刺しゅう枠に布地を張る

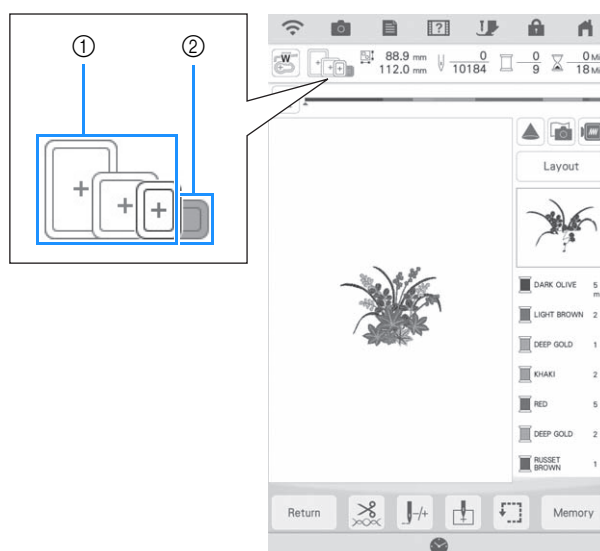
1

■ 刺しゅう枠の種類

			
縫製範囲 408 mm × 272 mm	縫製範囲 240 mm × 240 mm	縫製範囲 180 mm × 130 mm	縫製範囲 100 mm × 100 mm

別売の刺しゅう枠も使用できます。画面に表示されない刺しゅう枠を使用するときは、使用する枠の縫製範囲を確認してください。使用できる刺しゅう枠の種類については、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。

模様の高さに合った刺しゅう枠を選んでください。付属の枠が画面に表示されます。



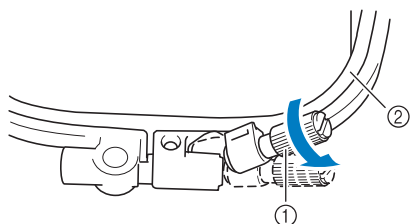
- ① 白色：使用できる枠
- ② 灰色：使用できない枠

■ 布地の張り方

🔔 お願い

- 刺しゅう枠の布地の張り方がゆるいと、模様くずれの原因となります。布地は平らな場所で、たるまないよう、枠にしっかりと張ってください。以下の手順に従って、正しく布地を張ってください。

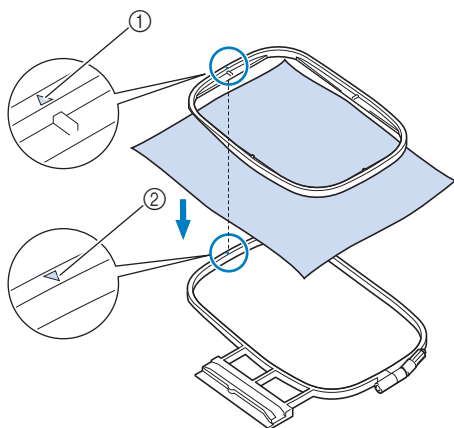
- 1 枠調節ネジを引き起こしてネジをゆるめ、内枠を外します。



- ① 枠調節ネジ
- ② 内枠

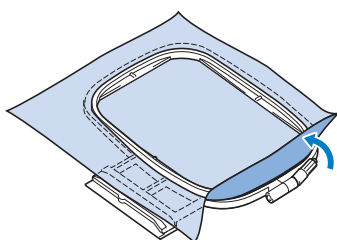
- 2 布地の表側を上にして外枠の上にのせます。

- 3 必ず内枠の △ と外枠の ▽ が合うように、内枠を差し込みます。



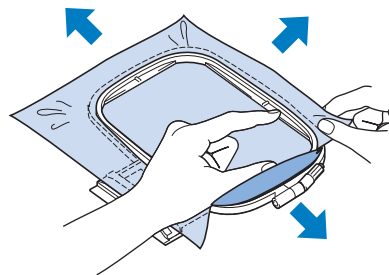
- ① 内枠の △
- ② 外枠の ▽

- 4 枠調節ネジを軽くしめ、布地の端を引っ張りながらたるみをなくします。

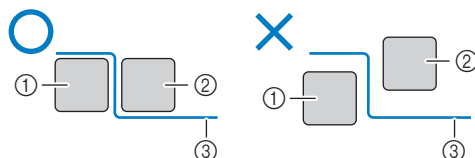


- 5 やさしく布地を引っ張り、布地のたるみをなくします。

- * 布地を引っ張った後、ピンと張っていることを確認してください。

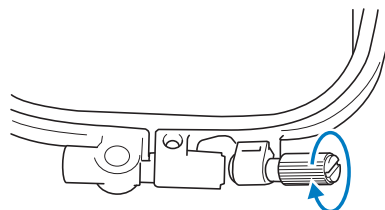


- * 刺しゅうを始める前に、内枠と外枠の高さが同じになっていることを確認してください。

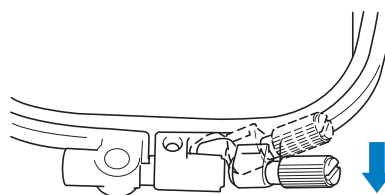


- ① 外枠
- ② 内枠
- ③ 布地

- 6 枠調節ネジをしめます。

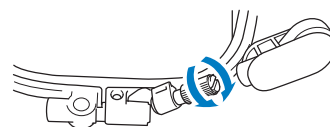


- 7 枠調節ネジを元の位置に戻します。



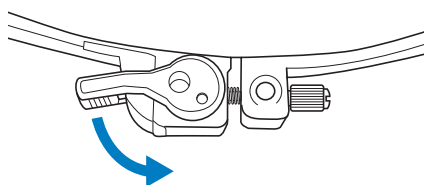
📖 お知らせ

- 枠調節ネジをゆるめたり、しめたりするときは、付属のマルチドライバーを「3」にセットして使用します。

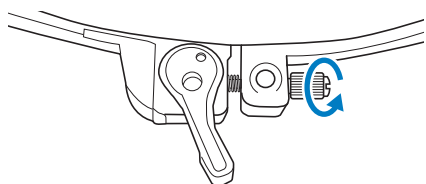


■ 刺しゅう枠（LL）（408 mm × 272 mm）に布地を張る

- 1 レバーを下げます。

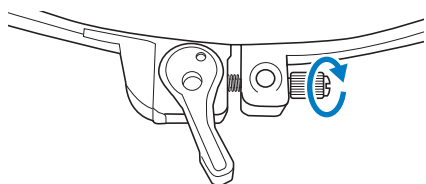


- 2 枠調節ネジを手でゆるめ、内枠をとり外します。



- 3 P. 30「布地の張り方」の手順 ③ から ⑥ に従って、布地を張ります。

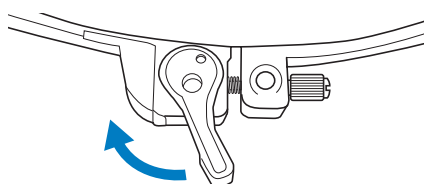
- 4 枠調節ネジを手でしめます。



⚠ 注意

- ネジをしめ過ぎないようにしてください。

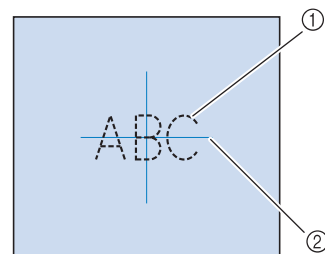
- 5 レバーを元の位置に戻します。



■ 刺しゅうシート（別売）の使い方

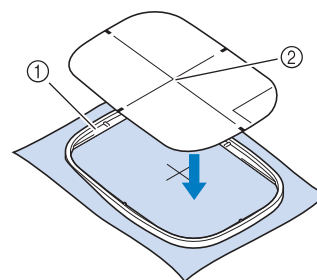
刺しゅうする場所が決まっているときは、刺しゅうシートを使って枠にはめます。

- 1 布地の刺しゅうする位置にチャコペンで印を付けます。



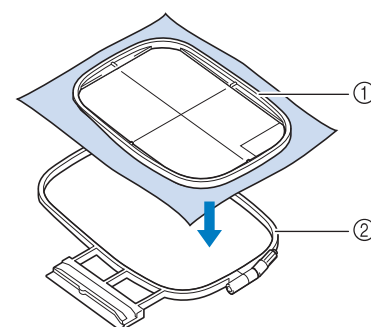
- ① 刺しゅう模様
② 印

- 2 刺しゅうシートを内枠にのせます。刺しゅうシートの基準線と布地の印を合わせます。



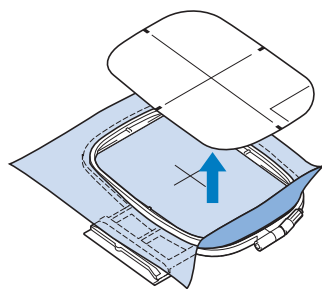
- ① 内枠
② 基準線

- 3 折り目やしわができないように、布をやさしくと引っ張り、内枠を外枠にはめます。



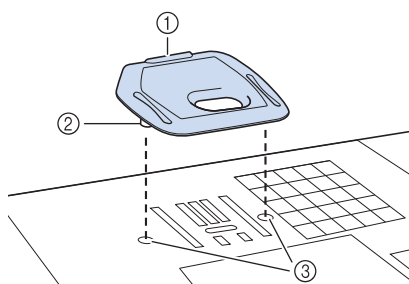
- ① 内枠
② 外枠

4 刺しゅうシートを取り出します。



■ 刺しゅう専用針板カバー

布の種類や接着芯、使用する糸によって、上糸が浮く場合があります。このような場合は、付属の刺しゅう専用針板カバーを針板に取り付けてください。カバーを取り付けるときは、次に示すようにカバー裏面の2つの凸部を針板の凹部に挿入します。



- ① ミゾ
- ② 凸部
- ③ 凹部

刺しゅう専用針板カバーを取り外すときは、ミゾに爪を当て、持ち上げてください。

⚠ 注意

- 刺しゅう専用針板カバーはしっかり押し込んで取り付けてください。刺しゅう専用針板カバーの取り付け方が悪いと、針折れの原因となります。

💡 お願い

- 刺しゅう専用針板カバーは、刺しゅうの目的以外では使用しないでください。

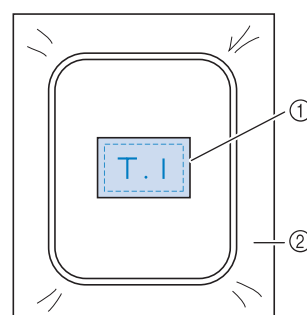
小さい布や布の隅に刺しゅうする

刺しゅう用の接着芯を補助にして刺しゅうします。刺しゅう用の接着芯の使用をお勧めします。接着芯は刺しゅうが終わってからのいねいに取り除きます。次の例に示すように、接着芯を貼りつけます。

■ 小さい布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、刺しゅう枠に張った接着芯に小さい布地を貼ります。

布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。

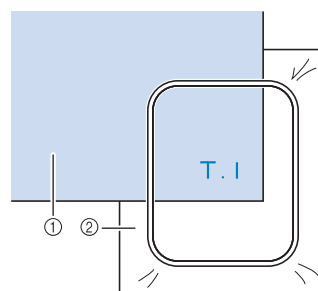


- ① 布地
- ② 接着芯

■ 布地の隅に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼り、刺しゅう枠に張ります。

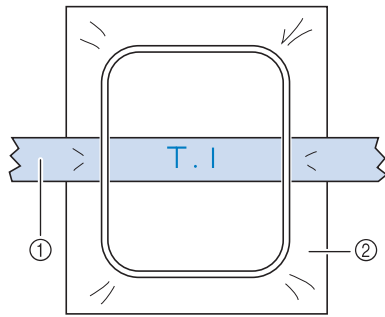
布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



- ① 布地
- ② 接着芯

■ リボンやテープに刺しゅうする場合

両面テープか布用スプレーのりを使ってテープで固定します。



- ① リボンまたはテープ
- ② 接着芯

1

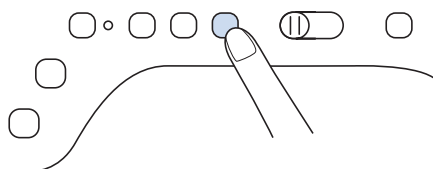
刺しゅうの手順

刺しゅう枠をセットする

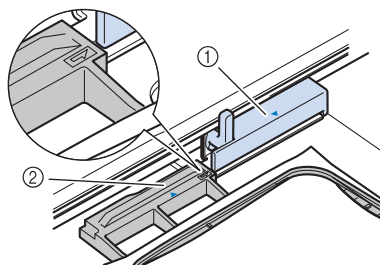
🔔 お願い

- 刺しゅう枠をセットする前に、ボビンに下糸を巻いてセットしてください。

- 1 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを上げます。

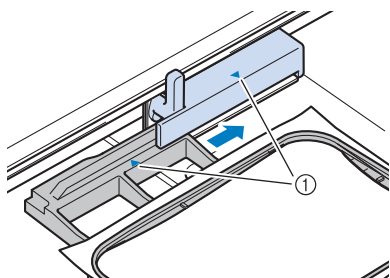


- 2 刺しゅう枠のガイドを刺しゅう枠ホルダーの右側面に合わせます。



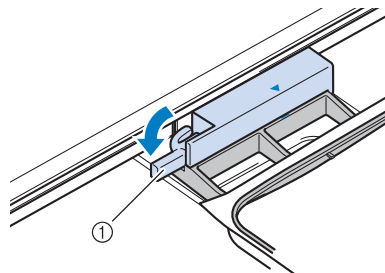
- ① 刺しゅう枠ホルダー
- ② 刺しゅう枠のガイド

- 3 刺しゅう枠の △ がホルダーの ▽ の位置まで来るように、刺しゅう枠をスライドさせます。



- ① 矢印の印

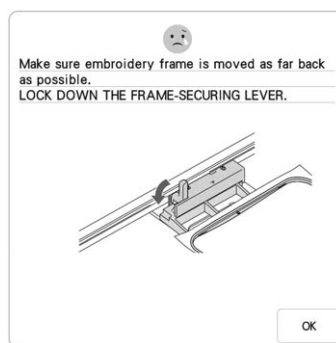
- 4 枠固定レバーを枠に平行になるまで下げて、刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに固定します。



- ① 枠固定レバー

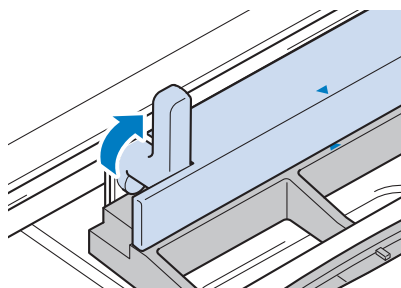
⚠️ 注意

- 枠固定レバーが下がっていないと、以下の画面が表示されます。枠固定レバーを上げたままで刺しゅうすることはできません。

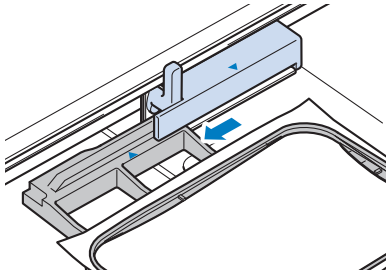


■ 刺しゅう枠の取り外し方

- 1 枠固定レバーを上げます。



2 刺しゅう枠を手前に引きます。



1

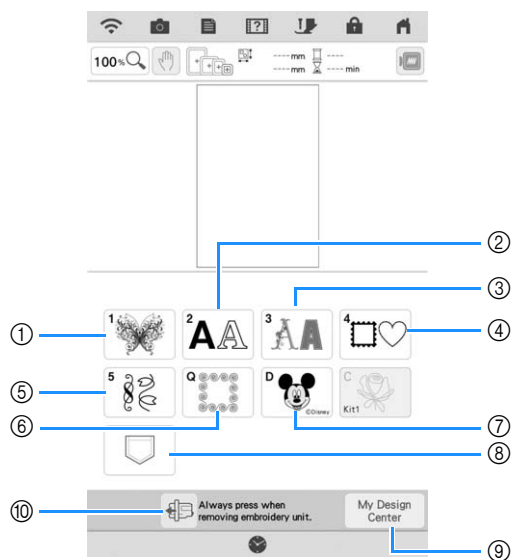
刺しゅうの手順

刺しゅう画面

■ 著作権について

ミシンに内蔵されている模様や別売の模様は、一般家庭用としてのみお楽しみいただけます。営利用または業務用としての使用は著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

本機は文字模様や飾りアルファベット模様を多数内蔵しています。別売の刺しゅう模様もご利用いただけます。



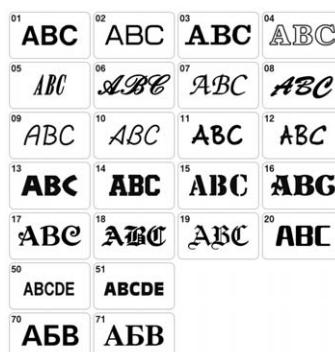
- ① 刺しゅう模様
- ② 文字模様
- ③ 飾りアルファベット模様
- ④ 枠模様
- ⑤ 実用刺しゅう模様
- ⑥ キルトサッシ模様 (P. 129)
- ⑦ ディズニー模様
- ⑧ ミシンに記憶した模様や USB メディアなどに保存された模様の呼び出し
- ⑨ My Design Center (マイデザインセンター) (P. 146)
- ⑩ このキーを押すと、刺しゅう機が収納位置に移動します

■ 模様選択画面

1  刺しゅう模様



2  アルファベット文字



3  飾りアルファベット模様



4  枠模様



5  実用刺しゅう模様



Q  キルトサッシ模様

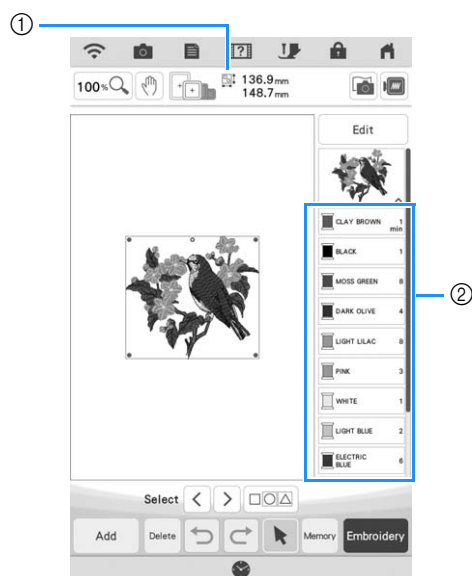


D  ディズニー模様



キーのはたらき

模様編集

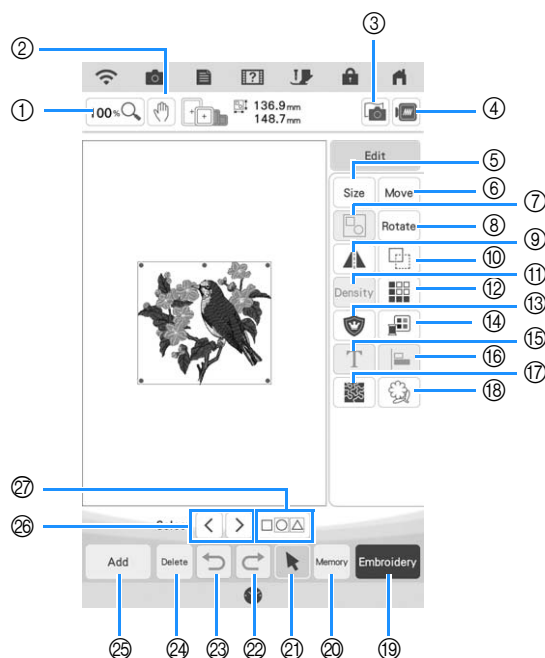


- ① 組み合わせた模様全体の大きさを示します。
- ② 現在選択されている模様の色替えの順番と、ステップごとの所要時間を示します。

お知らせ

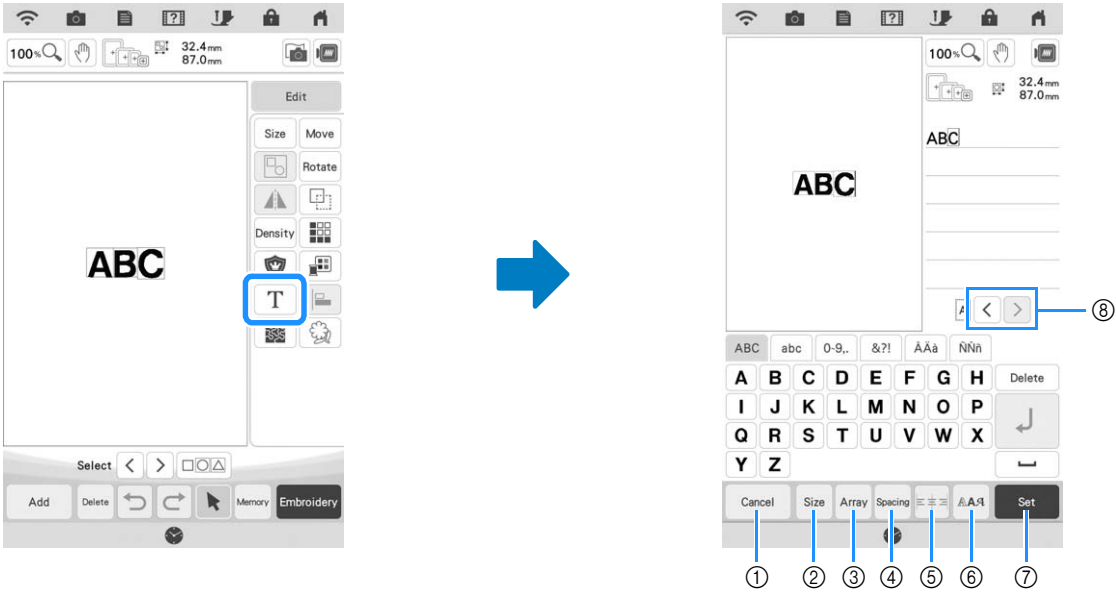
- キー表示が灰色の場合、選択した模様とその機能を使うことはできません。

これらのキーを使って、模様を編集できます。 **Edit** を押して、編集ウィンドウを表示します。



番号	表示	キーの名称	はたらき	ページ
①		拡大キー	倍率を選択することができます。	73
②		ハンドキー	拡大画面で、表示範囲を変更することができます。	73
③		布地スキャンキー	刺しゅうの位置を合わせるために、布地をスキャンすることができます。	93
④		イメージキー	刺しゅう後のイメージを確認することができます。	62
⑤		大きさキー	模様の大きさを変えることができます。模様を拡大または縮小できます。	64
⑥		移動キー	模様移動ウィンドウを表示することができます。	63
⑦		グループ化キー	選択した複数の模様をグループ化します。	87
⑧		回転キー	模様を回転することができます。	63
⑨		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	67
⑩		複製キー	模様を複製することができます。	72
⑪		糸密度キー	枠模様や文字模様の密度を変えることができます。	66
⑫		繰り返しキー	連続模様（ボーダー模様）を作ることができます。	67
⑬		アップリケキー	選択した模様の輪郭を刺しゅうして、アップリケピースを作ることができます。	119
⑭		糸パレットキー	表示されている模様の色を変えることができます。	80
⑮		文字編集キー	文字の編集をすることができます。	40
⑯		整列キー	複数の模様を基準位置にそろえて配置します。	88
⑰		ステッピングキー	模様の周りにステッピングを施すことができます。	128
⑱		アウトラインキー	模様の輪郭を抜き出すことができます。抜き出した模様を My Design Center (マイデザインセンター) で使用することができます。	180
⑲		刺しゅうキー	縫製画面を表示します。	—
⑳		記憶キー	模様を本機のメモリー、USB メディアまたは SD カードに保存します。無線接続で模様をパソコンに送ることもできます。	113、114
㉑		模様選択キー	組み合わせ模様から編集したい模様だけを選択することができます。このキーを押すと、選択キーと複数模様選択キーが表示されます。	—
㉒		やり直しキー	取り消した操作をやり直します。	—
㉓		戻るキー	最後の操作を取り消します。	—
㉔		削除キー	選択した模様（赤い四角の枠で囲まれている模様）を削除します。	72
㉕		追加キー	編集中の模様に、別の模様を追加することができます。	—
㉖		選択キー	画面上に複数の模様があるとき、選択した模様を変更することができます。	86
㉗		複数模様選択キー	画面上の複数の模様を同時に選択したり、模様を全選択することができます。	86、87

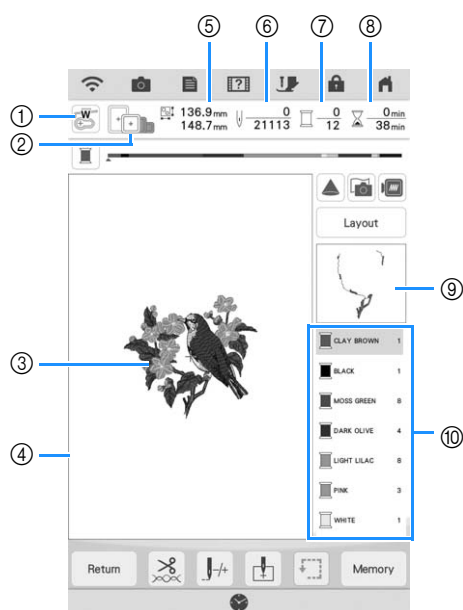
文字を編集する



番号	表示	キーの名称	はたらき	参照 ページ
①	Cancel	キャンセルキー	文字模様編集画面を終了します。	—
②	Size	大きさキー	文字模様の大きさを変えることができます。	76
③	Array	配列キー	文字模様の配列を変えることができます。	77
④	Spacing	文字間隔キー	文字模様の文字間隔を調整できます。	78
⑤	≡≡≡	整列キー	文字を右、左、左右中央に揃えます。	75
⑥	A.A.1	フォントタイプキー	フォントの種類を変えることができます。	75
⑦	Set	セットキー	文字の編集を確定します。	—
⑧	< >	文字選択キー	カーソルを移動し、文字を選択することができます。	—

縫製画面

1

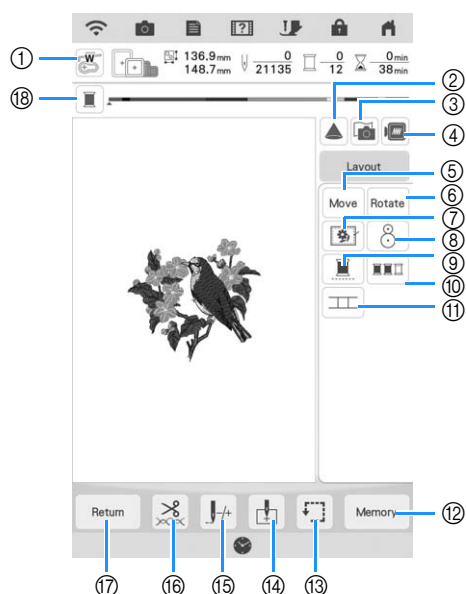


- ① 刺しゅう押え記号を示します。
刺しゅうするときは刺しゅう押え< W >を使用します。
 - ② 選択した模様で使用できる刺しゅう枠の種類を示します。必ず適切な枠を使用してください。(P. 29)
 - ③ 選択した模様が表示されます。
 - ④ 設定画面で選択した枠の縫製範囲を示します。(P. 107)
 - ⑤ 選択した模様の大さを示します。
 - ⑥ 選択した模様の針数と、現時点でぬい終わった分の針数を示します。
 - ⑦ 選択した模様の色数と、現在刺しゅうしている色の順番を示します。
 - ⑧ 選択した模様を刺しゅうするために必要な時間と、現時点でぬい終わった分のぬい時間を示します（糸替えの時間と自動的に糸を切る時間は含まれません）。
 - ⑨ 色替えの順番の一番上にある糸で刺しゅうされる部分を示します。
 - ⑩ 色替えの順番と、それぞれの糸色の縫製時間を示します。
- * 表示される時間は、縫製に必要と予測される時間の目安です。実際の縫製時間は、使用する刺しゅう枠の種類によっては、表示よりも長くかかります。また、表示される縫製時間には、糸替えにかかる時間は含まれていません。

📖 お知らせ

- 次のページに、上記以外のキー機能の説明があります。

これらのキーを使って、模様の移動、回転等ができます。  を押すと、編集ウィンドウが表示されます。



お知らせ

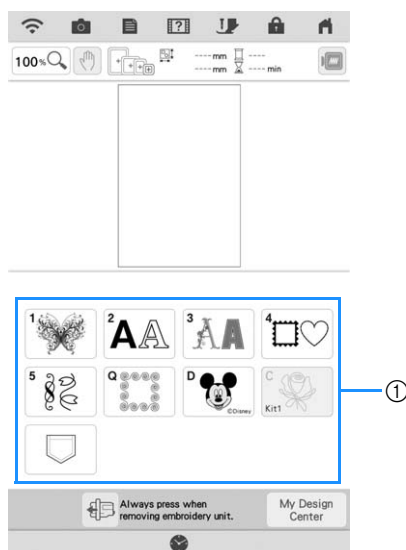
- 一部の操作や機能は、特定の模様では使用できません。キーが灰色の場合、選んだ模様とその操作や機能を使うことはできません。

番号	表示	キーの名称	はたらき	参照ページ
①		針落ち位置確認キー	プロジェクターで針落ち位置を確認することができます。	47
②		プロジェクターキー	プロジェクター機能を使い、模様を映すことができます。	46
③		布地スキャンキー	布地をスキャンして、刺しゅうする位置を合わせます。	93
④		イメージキー	刺しゅうのイメージを確認することができます。	62
⑤		移動キー	模様移動ウィンドウを表示することができます。	63
⑥		回転キー	模様を回転することができます。1 回につき 0.1 度 / 1 度 / 10 度 / 90 度回転することができます。	63
⑦		しつけキー	模様にしつけぬいを加えることができます。お好みのしつけぬいの距離を設定できます。	96
⑧		刺しゅう位置決めキー	内蔵カメラと刺しゅう位置合わせシールを使って、刺しゅう模様の位置合わせをすることができます。	49
⑨		一色ぬいキー	選択した模様を、一色でぬうことができます。	92
⑩		カラーソートキー	選択した模様の縫製順を糸色ごとにまとめ、糸色を交換する回数を減らすことができます。	83
⑪		模様つなぎキー	模様をつないで刺しゅうすることができます。内蔵カメラを使って、正確に模様をつなぐことができます。	134
⑫		記憶キー	模様を本機のメモリー、USB メディア、または SD カードに記憶します。無線接続で模様をパソコンに送ることもできます。	113、114
⑬		ためしキー	模様のぬう位置を確認することができます。刺しゅう枠を移動して、模様を刺しゅうするために十分なスペースがあるかを確認できます。	51
⑭		ぬい始めの位置キー	針を模様の位置に合わせるために、ぬい始めの位置へ動かすことができます。	108、109
⑮		戻る／進むキー	針を戻したり進めたりすることができます。刺しゅうの途中で糸が切れたときや、刺しゅうを始めからやり直したいときに使います。	57、58
⑯		糸設定キー	自動糸切り、渡り糸切り、糸調子を設定できます。刺しゅうの場合、これらの機能は、あらかじめ設定されています。	103 - 104
⑰		戻るキー	編集画面に戻ります。	—
⑱		プログレスバー切り替えキー	プログレスバー（刺しゅうの進捗状況）の表示を 1 色または全色に切り替えることができます。	—

刺しゅう模様の選び方

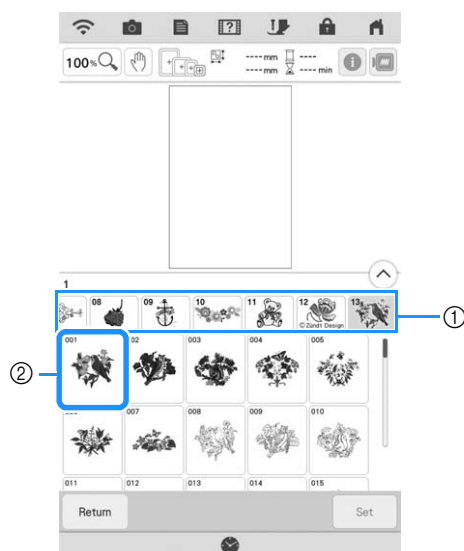
刺しゅう模様／飾リアルファ ベット模様／実用刺しゅう模様 を選ぶ

- ① 刺しゅうしたい模様のカテゴリーキーを押します。



① 模様カテゴリーキー

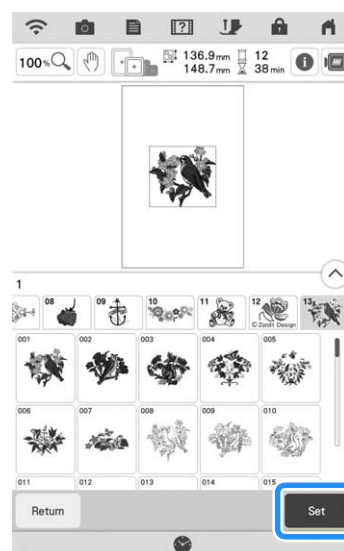
- ② サブカテゴリーキーを選択し、刺しゅう模様を選択します。



① サブカテゴリー

② 刺しゅう模様

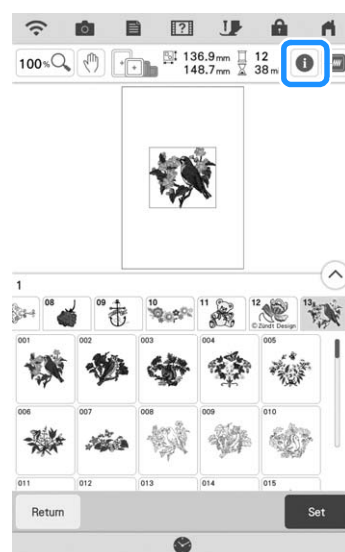
- ③ Set を押します。

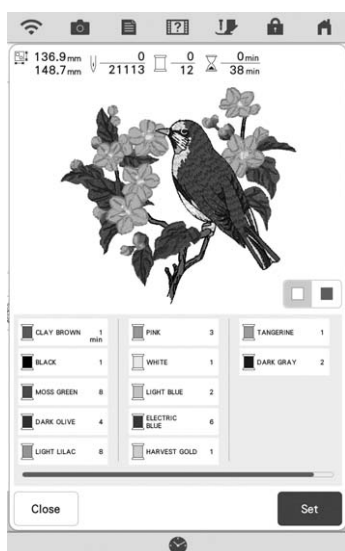


→ 選択した模様は編集画面上で赤い線で囲われます。

お知らせ

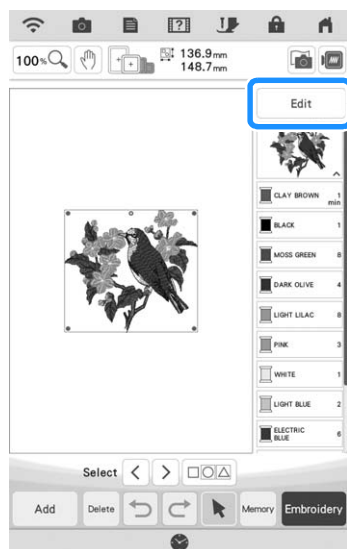
- ⓘ を押すと、模様の詳しい情報を見ることができます。





4 **Edit** を押して、選択した模様を編集します。

* 「編集」画面については、P. 38「模様の編集」を参照してください。

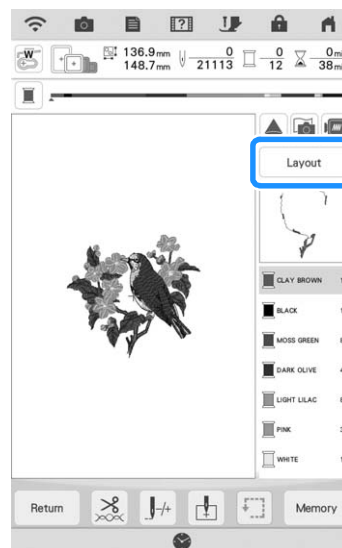


5 **Embroidery** を押します。

→ 縫製画面が表示されます。

6 縫製前に縫製画面で模様の配置を変える場合は、**Layout** を押します。

- * P. 41「縫製画面」を参照してください。
- * 他の模様を選ぶために、ひとつ前の画面に戻る場合は、**Return** を押します。



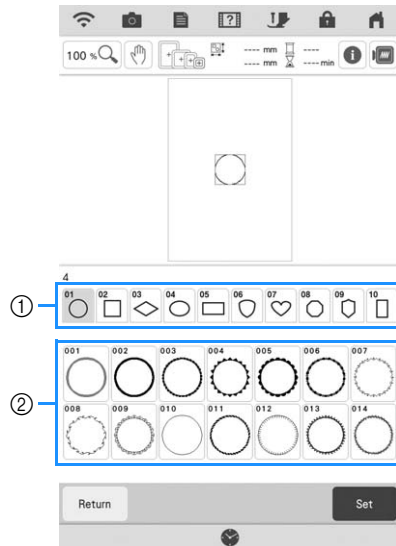
7 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

- * P. 54「刺しゅうする」を参照してください。

枠模様を選ぶ

①  を押します。

② 画面の上段にある、刺しゅうしたい枠の形のキーを押します。



① 枠の形

② 枠の模様

→ 画面の下部にさまざまな枠模様が表示されます。

③ 画面の下段のキーで刺しゅうしたい枠模様のキーを押します。

* 誤って模様を選択したときは、刺しゅうしたい模様のキーを押します。

→ 選んだ模様が画面に表示されます。

④ P. 43「刺しゅう模様／飾りアルファベット模様／実用刺しゅう模様を選ぶ」の④から⑦を参照して、操作を進めます。

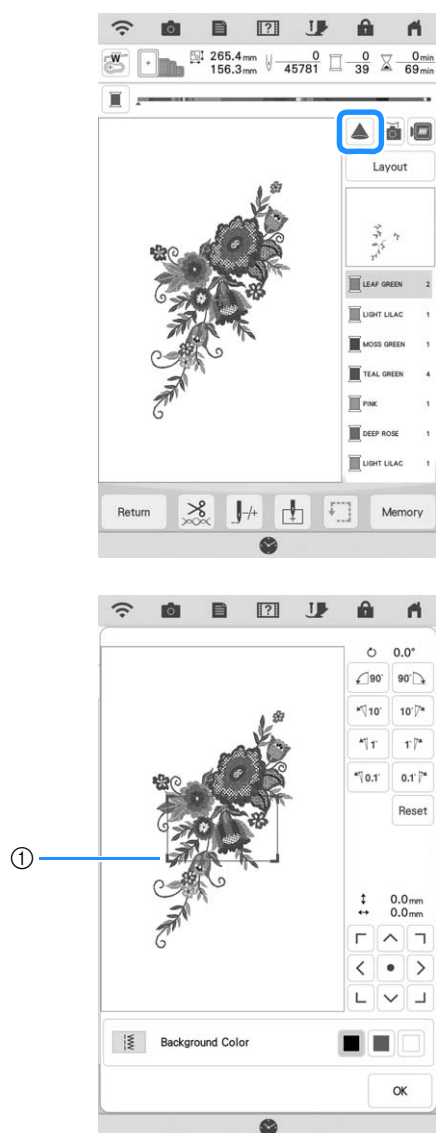
模様の位置を確認する

模様は通常刺しゅう枠の中心に配置されています。刺しゅうを始める前に位置を確認できます。好みの場所に刺しゅうするために、配置を変更することもできます。

プロジェクターで刺しゅう模様を確認する

プロジェクター機能で選択した模様を布地に映すことができます。

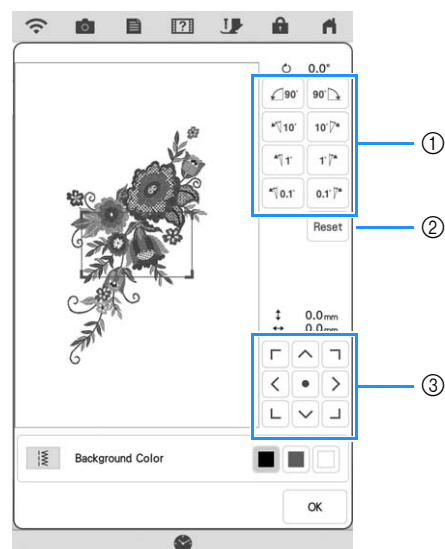
1 縫製画面で  を押します。



① 表示エリア
→ 表示エリア内の模様の一部分が布地に映されます。

2 布地に映された模様を確認します。

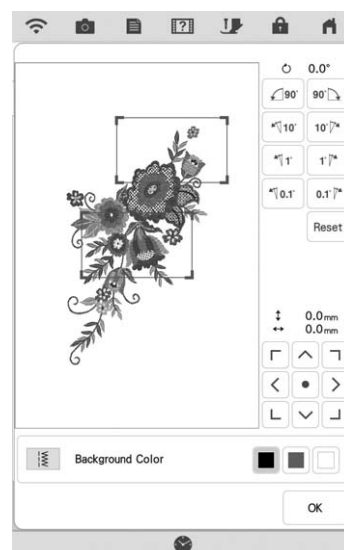
表示エリアを確認しながら、模様を動かすことができます。



- ① 模様の角度を変えます。
- ② 模様を元の角度に戻します。
- ③ 模様を移動します。

お知らせ

- 表示エリアの位置を変えるときは、指でドラッグしてください。同時に刺しゅう枠も移動します。

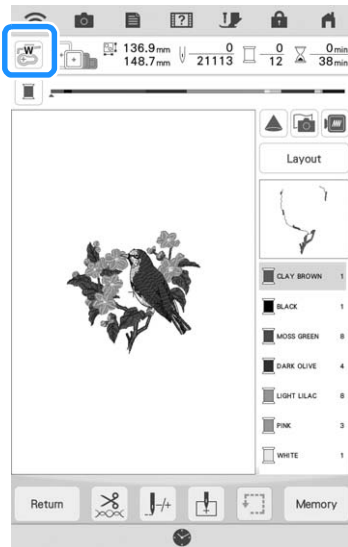


プロジェクターで針落ち位置を確認する

プロジェクターのポインターで、刺しゅう前に針落ち位置を確認することができます。

1 縫製画面で を押します。

→ プロジェクターのポインターは針落ち位置を示します。



お知らせ

- プロジェクターのポインターが点灯すると、自動的に刺しゅう押えの高さが布の厚さに合わせて調整されます。
- LED ポインター付き刺しゅう押え < W+ > (別売) が取り付けられているときは、LED ポインターが点灯します。

* 刺しゅう押えを下げたり、前の画面に戻ったりすると、プロジェクターのポインターは自動で消えます。

お願い

- 厚い布やキルト布のように、表面の凹凸が大きい布地を使用するときは、布の厚さが正しく測定されることがあります。この場合、ポインターの位置は、目安として参照してください。

内蔵カメラで縫製位置を合わせる

内蔵カメラを使うと、簡単に縫製位置を合わせることができます。下図のような、位置を合わせづらい位置に刺しゅうする場合に便利です。



1 チャコペンで刺しゅうをしたい位置に印を付けます。



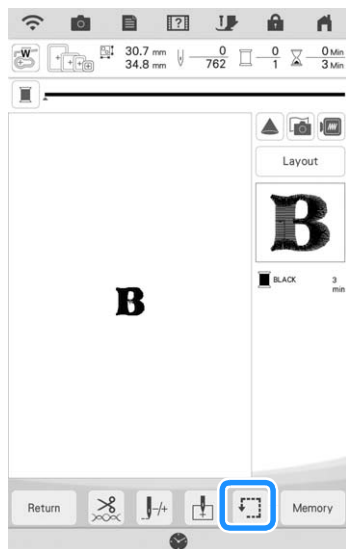
① チャコペンの印

2 刺しゅう枠に布地を張ります。

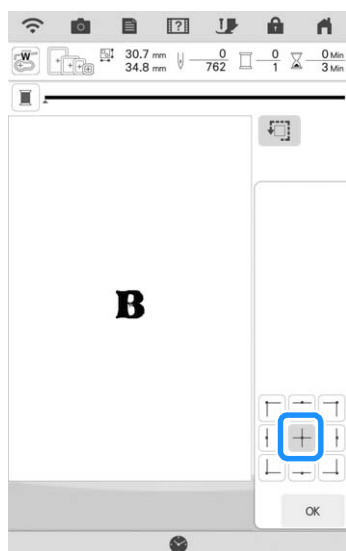


3 ミシンで模様を選び、 を押します。

- 4 縫製画面で  を押します。



- 5  を押して、ぬい始め位置を模様を中心に設定します。



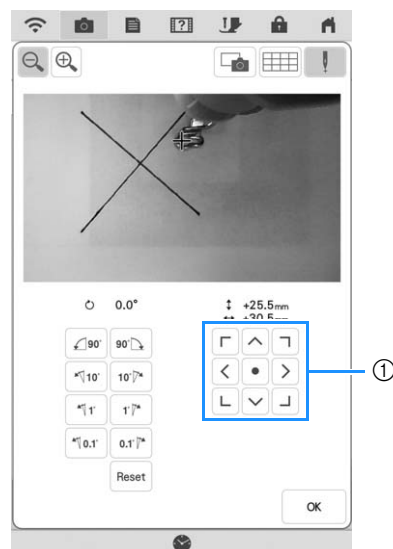
- 6  を押します。

- 7 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを下げます。

- 8  を押します。

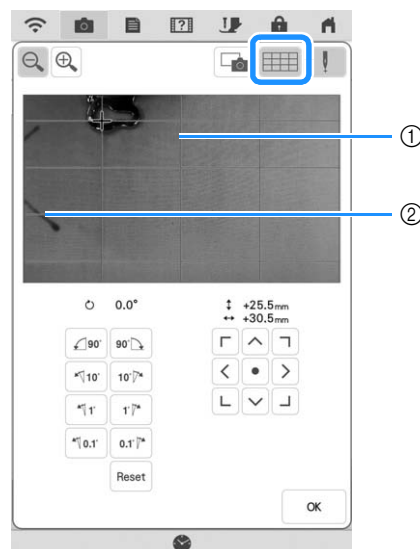


- 9 布に描いた十字の印がカメラビュー画面に表示されるまで、移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。



- ① 移動キー

- 10  を押して、グリッド線を表示します。



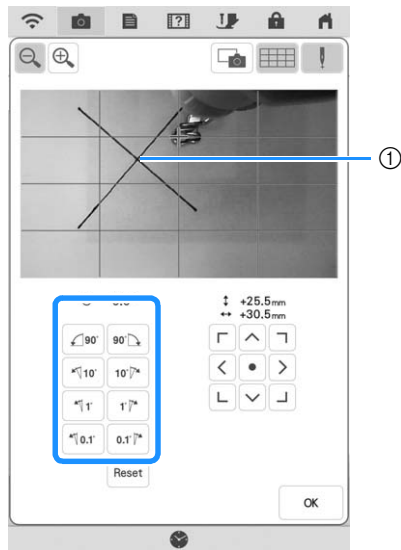
- ① グリッド線

- ② 布地の印

お知らせ

-  を押すと、カメラビューが拡大します。カメラビューが拡大することで、少しずつ刺しゅう枠を移動しながら、模様を中心点の位置合わせを微調整できます。

- 11 角度キーを押し、グリッド線が布に描いた印に重なるまで角度を調整します。(P. 63「模様を回転させる」参照)



① 模様の中心点

- 12 移動キーを押して、カメラビュー画面の模様の中心点と布地の印が重なるまで、刺しゅう枠を移動します。



- 13 OK を押すと、前の画面に戻ります。

- 14 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

* P. 54「刺しゅうする」を参照してください。

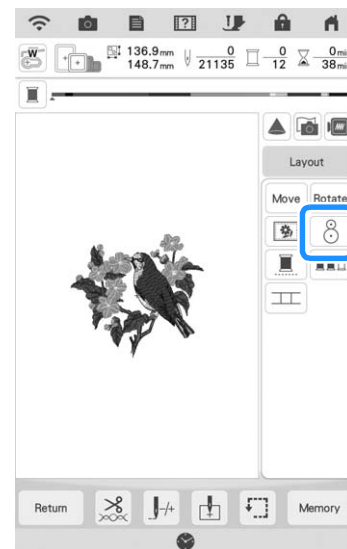
刺しゅう位置合わせシールで縫製位置を合わせる

内蔵カメラの他、付属の刺しゅう位置合わせシールを使用しても簡単に縫製位置を合わせることができます。

お願い

- 使用する布地の種類によっては、刺しゅう位置合わせシールをはがしたときに布にシールが残ることがあります。刺しゅう位置合わせシールを貼る前に、使用する布の切れ端に貼って、きれいにはがせることを確認してください。

- 1 Layout を押して編集ウィンドウを表示して、 を押します。



- 2 次のメッセージが表示されます。OK を押します。



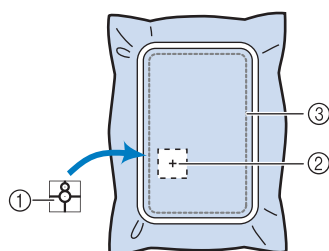
→ 刺しゅうする模様の位置を変更している場合、元の位置に戻ります。

3 模様の位置合わせに使う基準点を選択します。



* 模様の中心に刺しゅう位置合わせシールを参照したい場合は、**+** を押します。

4 布地の刺しゅうをしたい位置に刺しゅう位置合わせシールを貼ります。刺しゅう位置合わせシールの大きな円の中心が、刺しゅう模様の中心か端に合うように置きます。

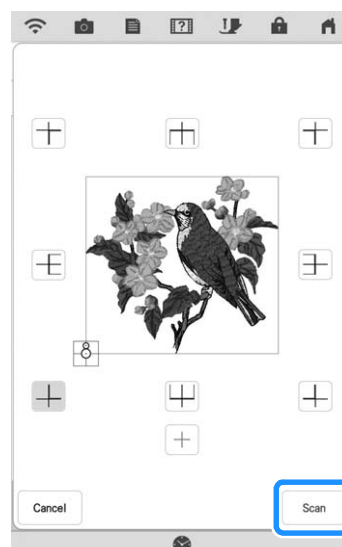


- ① 刺しゅう位置合わせシール
- ② 模様の中心または端
- ③ 縫製範囲

お知らせ

- シールは小さい円を上にして貼り付けてください。刺しゅう位置合わせシールを貼る角度によって、模様の角度が変わります。お好みの角度にシールを貼りつけて、模様の角度を変えて刺しゅうすることもできます。

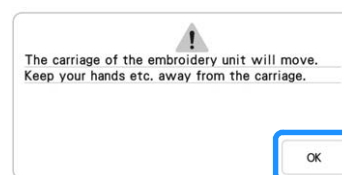
5 **Scan** を押します。



お願い

- **Scan** を押す前に、刺しゅう押え< W >を取り付けてください。内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを認識できるように、刺しゅう押え< W >が下がり、布の厚さを確認します。

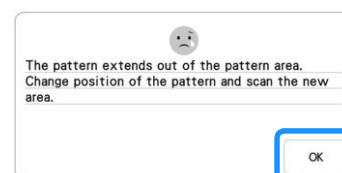
6 次のメッセージが表示されます。 **OK** を押します。



→ 内蔵カメラが自動的に刺しゅう位置合わせシールを検出し、選択した刺しゅう模様の基準点が刺しゅう位置合わせシールに合うように、キャリッジが移動します。

お願い

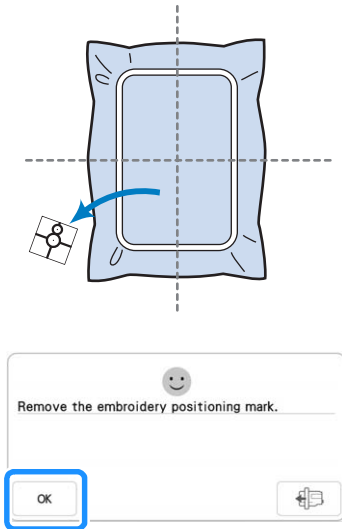
- 次のエラーメッセージが表示された場合は、**OK** を押し、模様が縫製範囲内に収まるように刺しゅう枠に布地を張ってから、もう一度 **Scan** を押してください。



7 確認メッセージが表示されます。刺しゅう位置合わせシールを布地からはがして、

OK を押します。

- *  を押すと、キャリッジが動き、刺しゅう位置合わせシールが針の下から少し移動するので、はがしやすくなります。刺しゅう位置合わせシールをはがしたら、OK を押します。



8 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

- * P. 54「刺しゅうする」を参照してください。

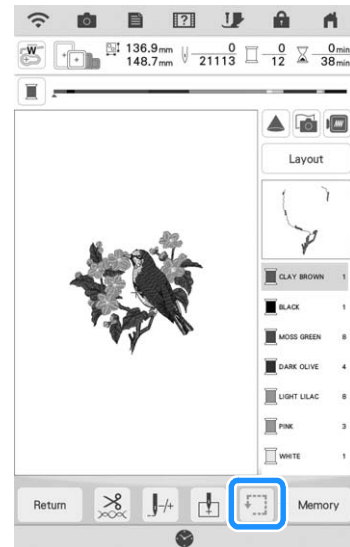
お願い

- 付属の刺しゅう位置合わせシールを使い切った後は、別売のシールを購入できます。詳しくは、取扱説明書（実用編）を参照してください。

刺しゅう模様の確認

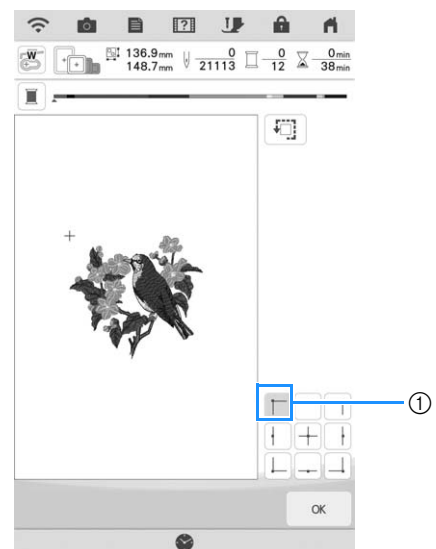
キャリッジが動いて模様的位置を示します。刺しゅう枠の動きを見て、模様が正しい場所に刺しゅうされることを確認します。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。

2 で、確認したい位置のキーを選択します。

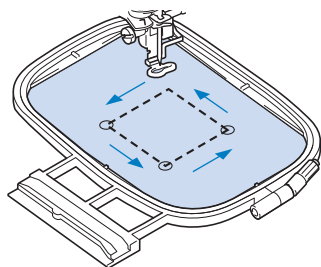


① 選択した位置

→ キャリッジが選択した位置に動きます。

お知らせ

- 刺しゅう範囲全体を見たいときは  を押します。キャリッジが動いて、縫製範囲を示します。



注意

- 刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対に下げないでください。針折れやけがの原因となります。

3

OK

を押します。

刺しゅうしてみましょ

きれいに刺しゅうするために

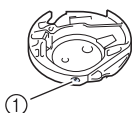
刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方 (P. 28) や布地の刺しゅう枠への張り方 (P. 29) は大きなポイントです。もう 1 つのポイントは、適切な針と糸を使用することです。次の糸の説明を参照してください。
このミシンには内かまが 2 個付属しています。次の説明を参照してください。

糸	上糸	ブラザー純正の刺しゅう糸をご使用ください。
	下糸	ブラザー純正刺しゅう用下糸をご使用ください。

お知らせ

- 上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに仕上がらないおそれがあります。

内かま (実用ぬいをするとき、付属の 60 番の下糸で刺しゅうするとき)



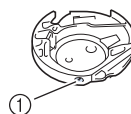
① 標準内かま (ネジに緑のマーキング)

購入時ミシンに取り付けられている標準内かまはネジに緑のマーキングがあります。刺しゅうをするときは、この内かまと付属の刺しゅう下糸をご使用ください。付属の刺しゅう下糸を使い切った後は、別売のブラザー刺しゅう下糸をご使用ください。別売品については、取扱説明書 (実用編) を参照してください。

お願い

- 緑のマーキングがある内かまの張力ネジは、調整しないでください。

下糸張力調整用内かま (ブラザー推奨以外の刺しゅう下糸で刺しゅうするとき)



① 下糸張力調整用内かま (ネジに色は付いていません)

ネジに色のついていない内かまは異なった太さの下糸やさまざまな刺しゅうに対応するため、張力が強くセットされています。この内かまは、内側に印が付いています。この内かまを使用するときは試しぬいをして、必要に応じて、下糸調子を調整してください (P. 104)。

注意

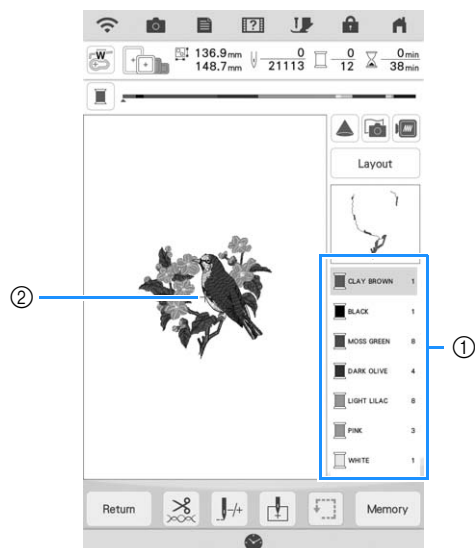
- 大きな衣類 (特にジャケットやその他の重い布地) に刺しゅうする場合は、布地をミシンを置いた台から下へ垂らさないようにしてください。刺しゅう機の動きが制限され、刺しゅう枠が針に当たり、針が折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。
布地を台から下へ垂らさないようにするか、引きずらないように布を持ち上げてください。

お願い

- 刺しゅうを始める前に、ボビンに糸が十分あることを確認してください。ボビンに糸が十分でない状態で刺しゅうを始めると、刺しゅうの途中でボビンに糸を巻き直す必要があります。
- 刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないようにしてください。枠が物に当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな衣類 (特にジャケットやその他の重い布地) に刺しゅうする場合は、布地をミシンを置いた台から下へ垂らさないようにしてください。刺しゅう機の動きが制限され、模様くずれの原因となります。

刺しゅうする

例：



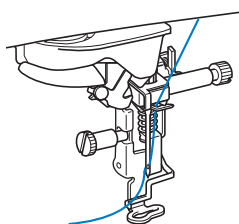
① 色替えの順番

② カーソル

お知らせ

- [+] カーソルが模様の上を移動し、模様のどの部分を刺しゅうしているかを示します。

1 自動糸通し装置を使って、1色目の糸を通します。

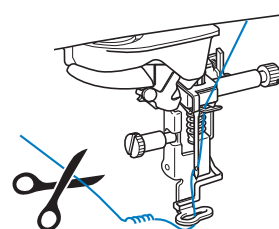


2 刺しゅう押えを下げ、スタート/ストップスイッチを押して刺しゅうを始めます。

- 1色目の刺しゅうが終わると、自動的に糸を切って止まります。刺しゅう押えは自動的に上がります。
- 次にぬう色が、色替えの順番表示の一番上に移動します。

お知らせ

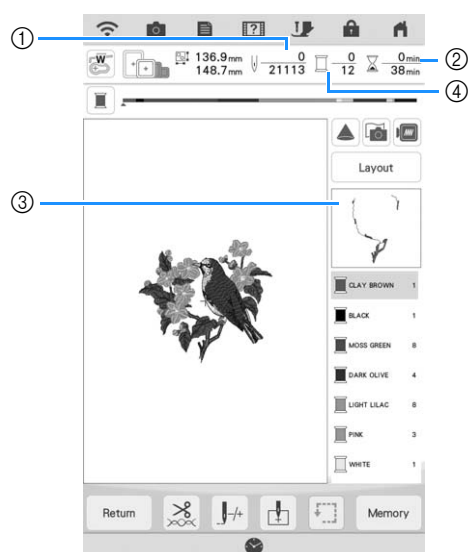
- よりきれいな仕上がりにしたい場合は、以下の手順を試してください。
 - 5～6針ぬった後、もう一度スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。
 - ぬい目のきわで余分な糸を切ります。刺しゅう押えの下にぬい目が隠れているときは、刺しゅう押えを上げてから余分な糸を切ってください。



- はじめに使用した糸が残っていると、縫製中に模様の下にぬい込まれることがあり、模様の完成後、糸の処理がむずかしくなります。各糸替えの始めに糸を切ってください。

3 1色目の糸をミシンから取り外します。次の色の糸を通します。

4 残りの色も同じ手順を繰り返して、刺しゅうします。



- ① 現在の針数 / 総針数
 - ② 現在の時間 / 総時間
 - ③ 次に刺しゅうする模様の部分
 - ④ 刺しゅうした色数 / 総色数
- 最後の色が刺しゅうされたとき、画面に
[Finished embroidering (ぬい終わりました。)] と
表示されます。 を押して、元の画面に戻ります。

お知らせ

- あらかじめ糸切り機能が設定されているため、余分な渡り糸（模様の部分をつなぐ糸）は自動的に切断されます。使用する糸と布地の種類によっては、ぬい始めの上糸の先端が、布地の表面に残ることがあります。刺しゅうが終わってから、余分な糸を切ってください。設定を解除した場合、模様を刺しゅうした後に余分な渡り糸をはさみで切ります。糸切り機能については、P. 106 を参照してください。

刺しゅう時の調整

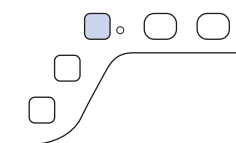
🔔 お願い

- 刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう押えに当たらないように注意してください。模様くずれの原因となります。

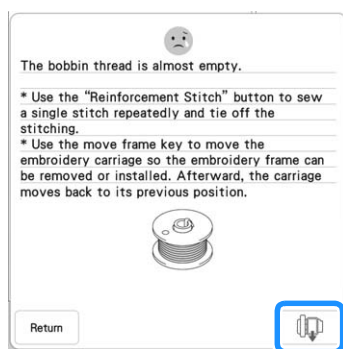
下糸が少なくなったら

ぬっている途中で下糸が少なくなると、ミシンが止まり、次のようなメッセージが表示されます。

糸がほどけないように、止めぬいスイッチを押して、止めぬいをしてください。



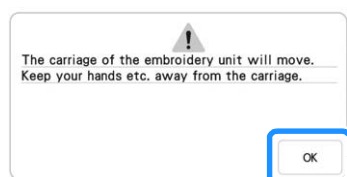
 を押し、以下の手順に従って下糸を交換してください。



📖 お知らせ

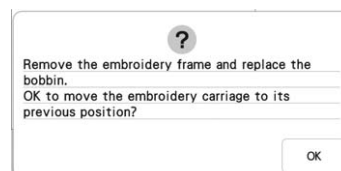
- あと数針で刺しゅうが終わるときに、メッセージが表示された場合は、そのままスタート/ストップスイッチを押して刺しゅうを続けます。10 針ほど刺しゅうすることができません。
- 設定画面の [Upper and Bobbin Thread Sensor (上糸・下糸センサー)] が [OFF] に設定されている場合は、上記のメッセージは表示されません。
-  を押すと、元の画面に戻ります。

1  を押します。



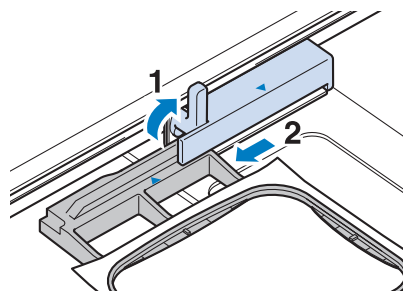
→ 自動的に糸切りが行われた後に、キャリッジが移動します。

2 以下のメッセージが表示されます。

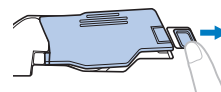


3 枠固定レバーのロックを解除して、刺しゅう枠を外します。

- * このとき、布地に無理な力をかけないように注意してください。枠に張った布地がたるむことがあります。



4 下糸を巻いたボビンと交換します。(P. 20 「下糸をセットする」参照)



5 刺しゅう枠をセットします。

6  を押します。

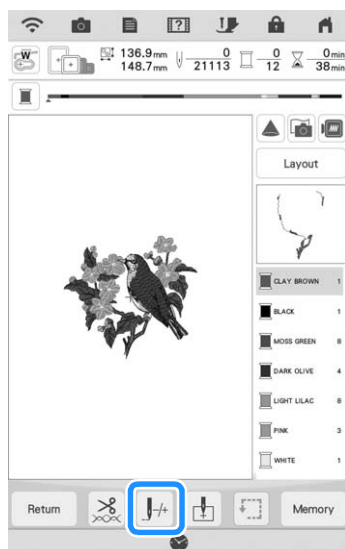
→ キャリッジが移動します。

7 止めぬいスイッチを押して、ぬい始めに止めぬいをしてから、スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを続けます。

刺しゅうの途中で糸が切れたときは

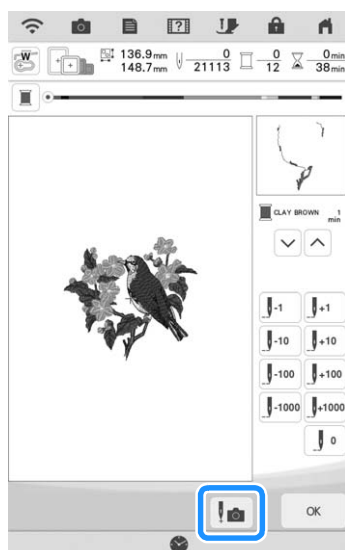
1 上糸が切れた場合は、上糸をかけ直します。下糸が切れた場合は、を押して、P. 56「下糸が少なくなったら」の手順に従って下糸をセットし直します。

2 を押します。



3 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを下げます。

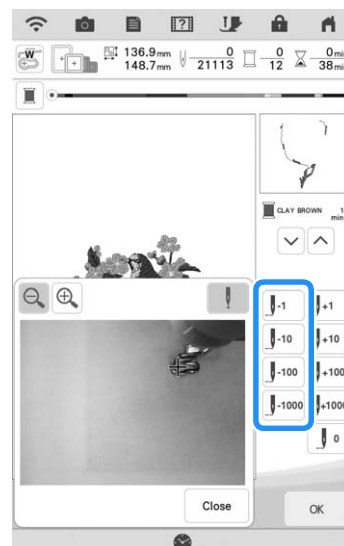
4 を押します。



→ カメラビュー画面が表示されます。

5  または を押して、糸が切れた位置の前まで針数を正しく戻し、針を移動します。

* 糸が切れたところまで戻らないときは、 または を押して色を選択し、その色のぬい始めの位置に戻ってから、 または を押して、糸が切れたところより少し手前まで進めます。



* を押すと、拡大表示されます。

* を押すと、画面から「+」が消えます。

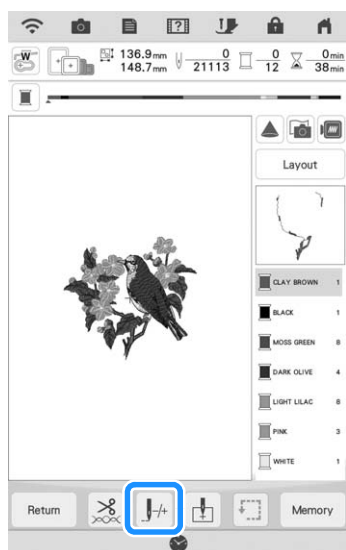
6 を押すと、カメラビュー画面が閉じます。

7 を押すと、元の画面に戻ります。

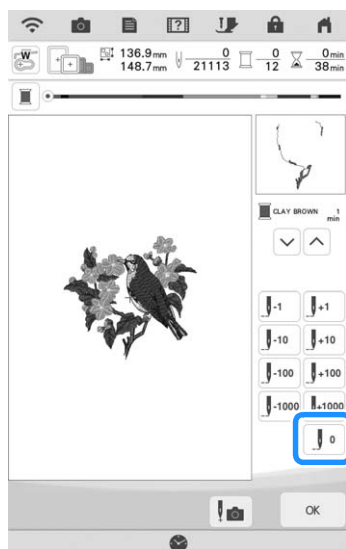
8 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを続けます。

始めからぬい直したいときは

- 1  を押します。



- 2  を押します。



→ キャリッジが動いて、模様のぬい始めの位置に針が戻ります。

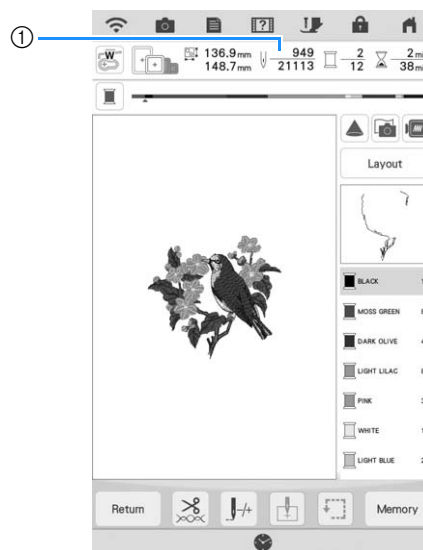
- 3 押え上下スイッチを押して、押えを下げて刺しゅうを始めます。

電源を切った後、刺しゅうを再開する

刺しゅうが中断されたときは、操作中の色と針数が記憶されます。次にミシンに電源を入れたら、中断された操作を続けるか模様を消去するかを選ぶことができます。

お知らせ

- 刺しゅう中に電源が切れても、再び電源を入れたら、ミシンは、刺しゅうが中断されたポイントに戻ります。



① 刺しゅうが中断されたときの針数

お願い

- 刺しゅう機を外さないでください。デザインの記憶が消去されます。

- 1 電源スイッチを入れます。

- 2 画面に表示される手順に従って、刺しゅう枠を外します。

→ 次のメッセージが表示されます。

- 3 刺しゅう枠をセットして、 を押します。

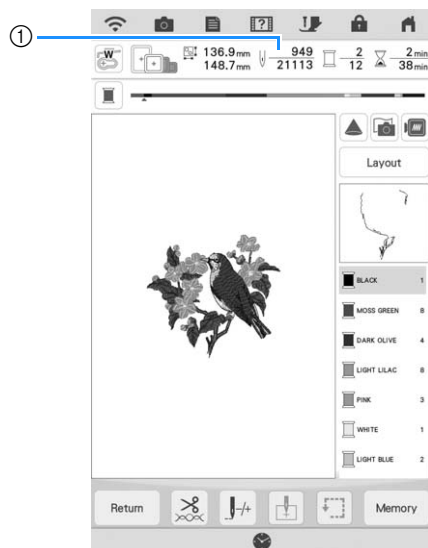


→ 電源を切る前に表示されていた縫製画面が表示されます。

お知らせ

- 新しく刺しゅうを始める場合は、 を押すと、模様選択画面が表示されます。

- 4 刺しゅうを続けます。



① 刺しゅうが再開されたときの針数



第 2 章

編集の基本



編集の基本

模様のイメージを確認する

1  を押します。



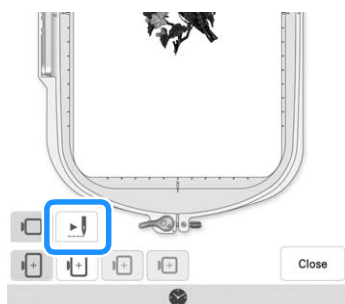
→ 刺しゅうされる模様のイメージが表示されます。

2     を押して、プレビューで使用する枠を選びます。

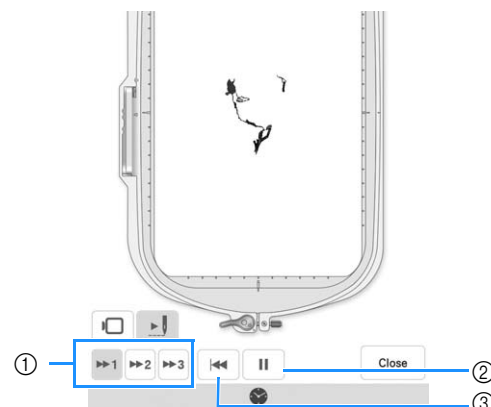
- * 灰色で表示されている枠は、選ぶことはできません。
- *  を押すと、模様のイメージが拡大表示されます。
- * 模様は、下記の画面で表示されているように刺しゅうされます。



3  を押して、縫製内容を確認します。



→ 刺しゅうシミュレーター画面が表示されます。

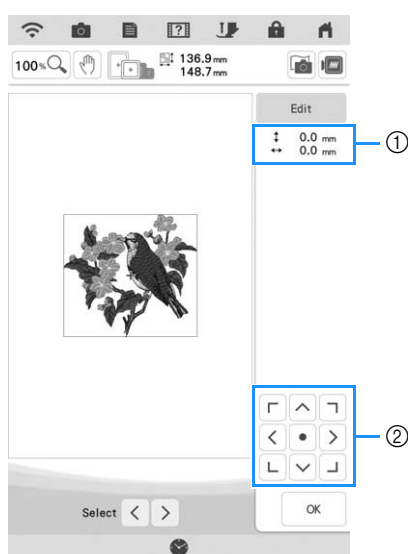


- ① シミュレーション速度を選択します。、 または  を押して、速度を変更します。シミュレーションを実行中でも、速度を変更することができます。
 - ② 操作キー
 : 設定した速度でシミュレーションを開始します。 を押すと、アイコンが  に変わります。
 : シミュレーション実行中に押すと、一時停止します。 を押すと、アイコンが  に変わります。
 - ③ 再生前の状態に戻します。
-  を押して、刺しゅう枠選択画面に戻ります。

4  を押します。

模様を移動する

- 1 **Edit** を押し、**Move** を押して、模様移動ウィンドウを表示します。
- 2 画面に複数の模様がある場合は、**<** **>** を押して移動したい模様を選択します。
- 3  を使用して、矢印の方向に模様を移動させます。 を押すと、中心に戻ります。



① 中心からの距離

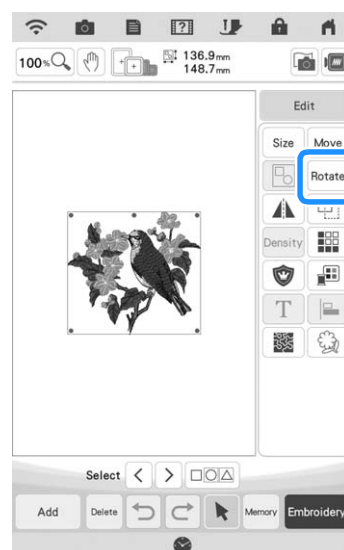
② 模様移動キー

指またはデュアルタッチペンで画面の模様を直接選択してドラッグすることもできます。

- 4 **OK** を押します。

模様を回転させる

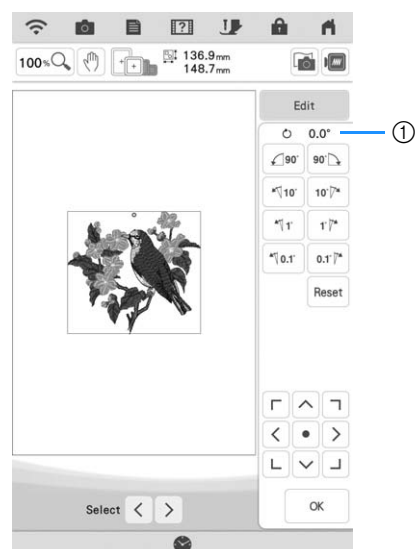
- 1 **Edit** を押し、**Rotate** を押します。



- 2 回転させたい方向と角度が表示されたキーを選択します。(例： は時計周りに 90 度回転します。)



* **Reset** を押すと、元の角度に戻ります。



① 回転角度

お知らせ

- ウィンドウの  を使って、模様を移動させることができます。
- 模様上部の  をドラッグしても、模様を回転させることができます。

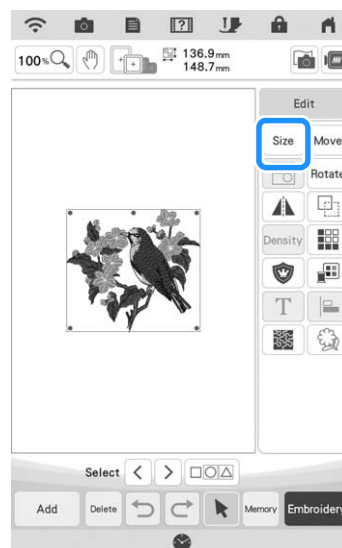
3

OK を押します。

模様の大きさを変える

1

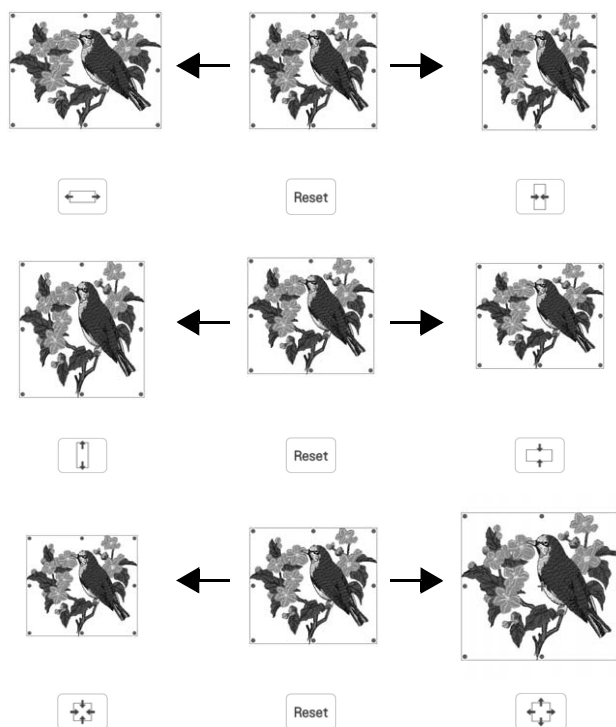
Edit を押して、Size を押します。



2

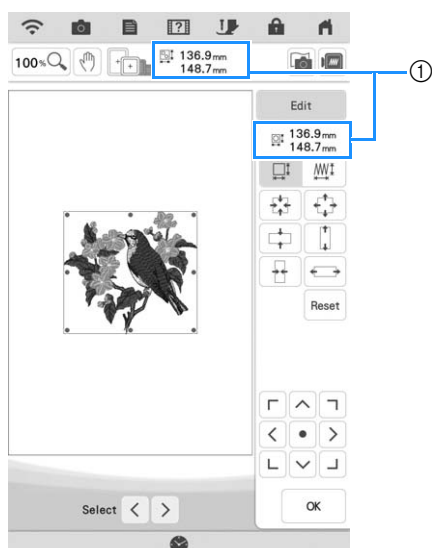
大きさをえる方向を選びます。

例：



お知らせ

-  を押すと、元の大きさに戻ります。



① 模様の大ささ

お知らせ

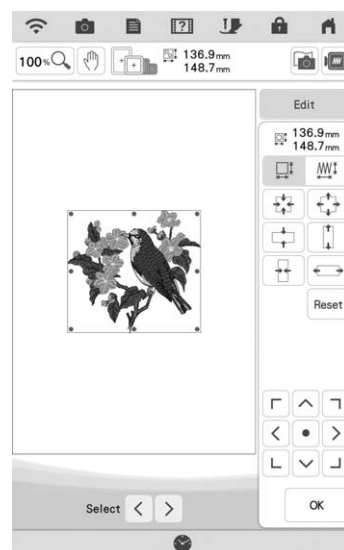
- 刺しゅうの品質維持のため、模様の大ささ、縮小には制限があります。
- 模様や文字によっては 90 度回転させると、さらに拡大できます。
- ウィンドウの  を使って、模様を移動させることができます。

3

OK を押します。

■ ドラッグしてサイズを変更する

模様イメージの赤い点をドラッグすることで、模様の大ささを変更することもできます。



■ 模様の大ささと糸密度を変更する

糸密度を保持したまま、模様の大ささを変えることができます。ミシンは自動でぬい密度を再計算します。この機能では、通常の模様の拡大縮小よりも大きな割合で模様を拡大縮小することができます。

お願い

- ぬい上がりを確認するために、作品と同じ布と糸で試しぬいをしてください。
- この機能は、文字模様、枠模様、連続模様（ボーダー模様）などの模様を選択したときは、使用できません。この機能で大ささを変えた後に、連続模様（ボーダー模様）を作成してください。
- 針数が多い場合は、糸密度を保持したまま模様の大ささを変更することはできません。

お知らせ

- 模様によっては、模様サイズの拡大が 200% まで、縮小が 60% までを限度とするものがあります。

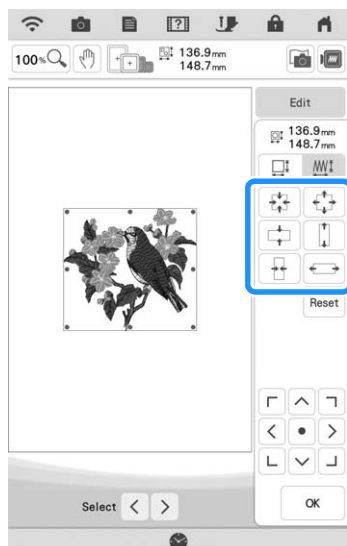
1

サイズウィンドウで   を押します。

- *  : 針数を保持したまま、模様の大ささを変えます。模様の大ささに合わせ、糸密度が増減します。
- *  : 糸密度を保持したまま、模様の大ささを変えます。模様の大ささに合わせ、針数が再計算されます。

2

2 大きさを変える方向を選びます。



3 OK を押します。

お知らせ

- 手順 ① で **Density** を選んだときは、模様の糸密度を変更することができます。詳しくは P. 66 「糸密度を変更する」を参照してください。
- 模様を拡大して、ぬい目にすきまがある場合は、糸密度を細かくすると、仕上がりがよりきれいになります。
- 模様を縮小して、ぬい目が密集している場合は、糸密度をあらくすると、仕上がりがよりきれいになります。

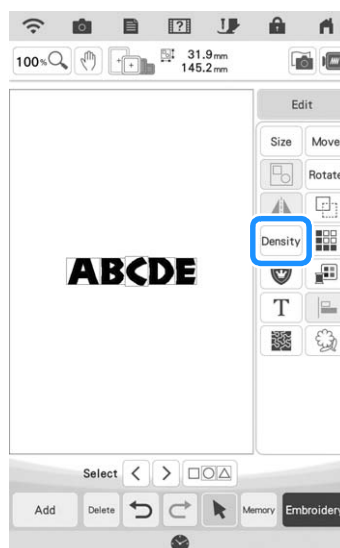
糸密度を変更する

糸密度を 80% と 120% の間で、5% ごとに設定できます。

文字・枠模様の一部などで設定することができます。

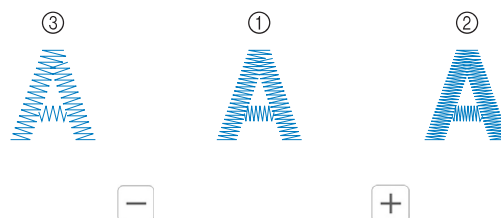
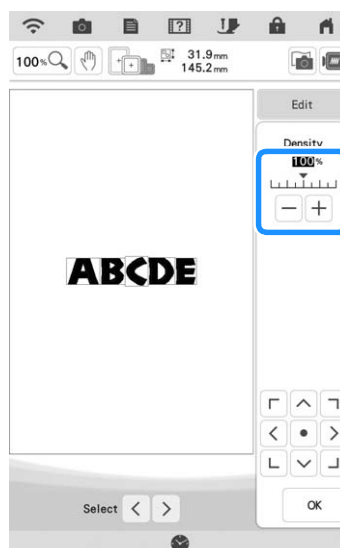
他の模様は糸密度が変更できるように設定した後に、糸密度を設定できるようになります。詳しくは P. 65 「模様の大きさと糸密度を変更する」を参照してください。

1 Edit を押して、Density を押します。



2 密度を変更します。

- * **-** を押すと、密度があらくなります。
- * **+** を押すと、密度が細くなります。

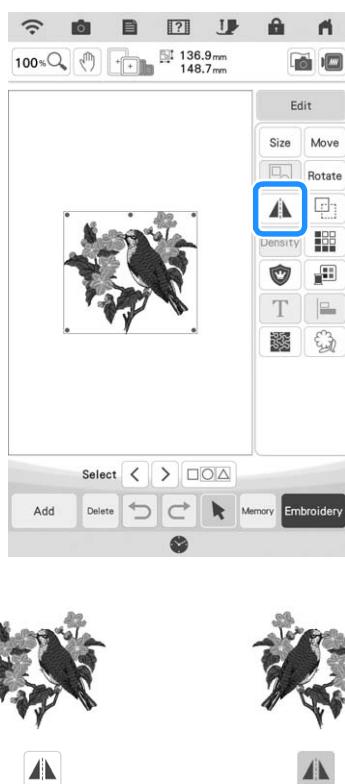


- ① 標準
 - ② 細かい (ぬい目の間隔が狭い)
 - ③ あらい (ぬい目の間隔が広い)
- キーを押すたびに模様の密度が変わります。

3 OK を押します。

模様を左右反転させる

選択した模様を左右反転させるには、**Edit** を押して、 を押します。

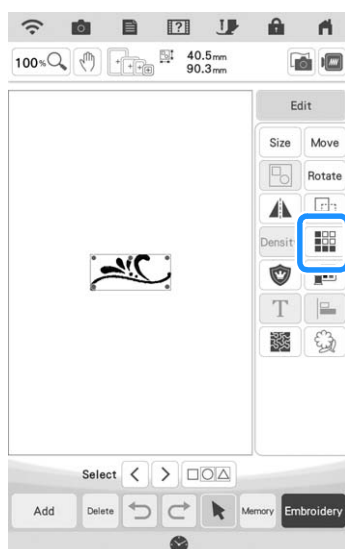


連続模様をつくる

■ 連続模様を刺しゅうする

ボーダー機能を使用して、連続した模様をつくることができます。模様の間隔を調節することもできます。

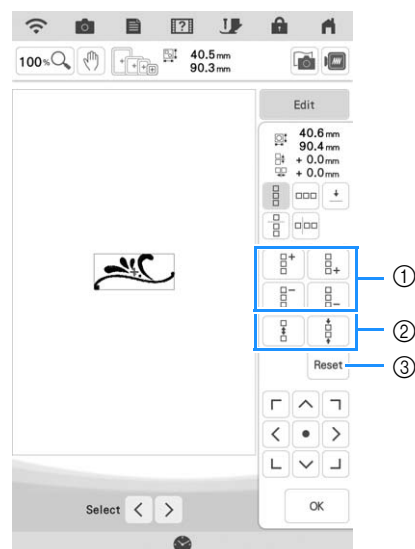
1 **Edit** を押して、 を押します。



2 模様を連続させる方向を選びます。上に模様を繰り返すには  を、下に模様を繰り返すには  を使用します。

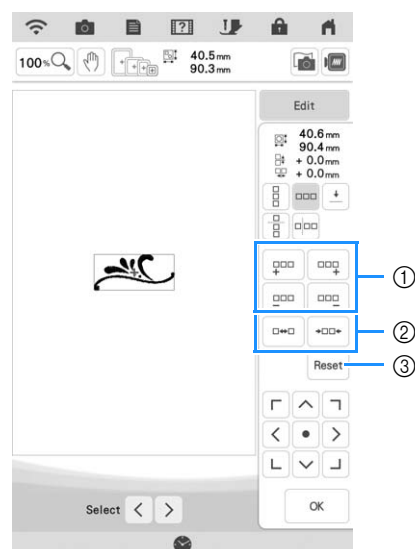
- * 上の模様を削除する場合は、 を押します。
- * 下の模様を削除する場合は、 を押します。

縦方向 



- ① 連続キーと削除キー
- ② 間隔キー
- ③ 連続模様キャンセルキー

横方向 



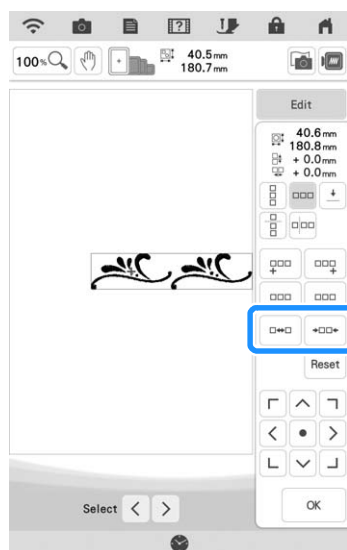
- ① 連続キーと削除キー
- ② 間隔キー
- ③ 連続模様キャンセルキー

→ 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります。

2

3 連続模様の間隔を調節します。

- * 間隔を広げる場合は、を押します。
- * 間隔をせまくする場合は、を押します。

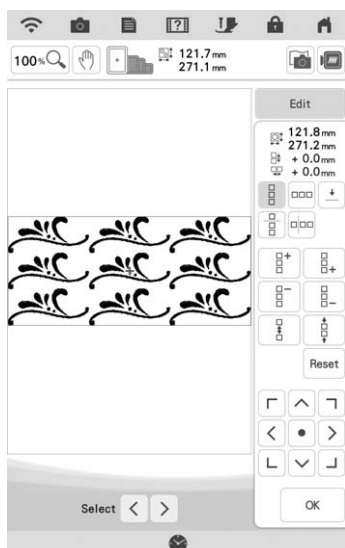


4 2 から 3 の手順を繰り返して、連続模様を作成します。

5 OK を押します。

お知らせ

- 2 つ以上の模様がある場合は、すべての模様が赤い枠の中で 1 つの模様としてグループ化されます。



- 模様が連続する方向を変更すると、赤枠内のすべての模様が 1 つの模様として自動的にグループ化されます。連続模様から 1 つの模様を繰り返す方法は、次の項目を参照してください。

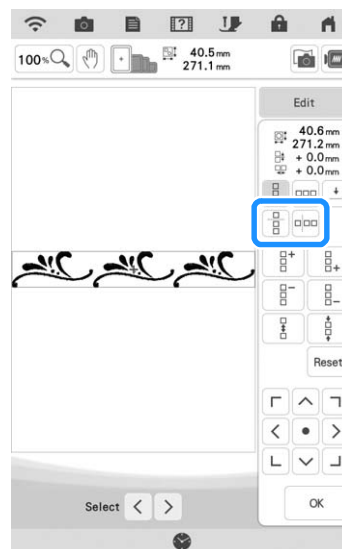
■ 連続模様の 1 つの模様を繰り返す

分割機能を使用すると、連続模様の 1 つの模様を選び、その模様だけを繰り返すことができます。この機能を使用すると、複雑な連続模様をデザインできます。

1 を押します。

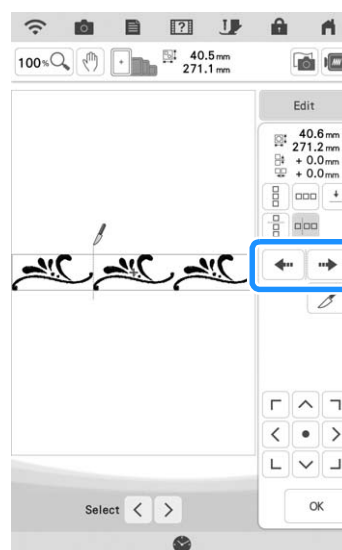
2 連続模様を切る方向を選びます。

- * を押すと、横方向に切ります。
- * を押すと、縦方向に切ります。

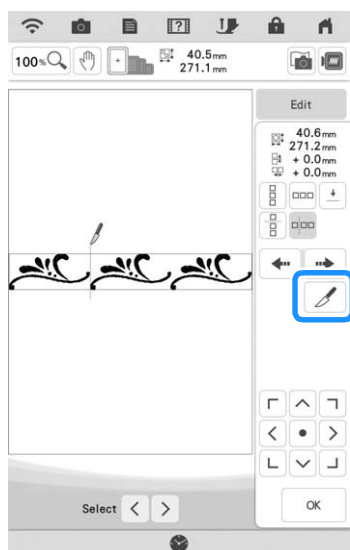


→ 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります。

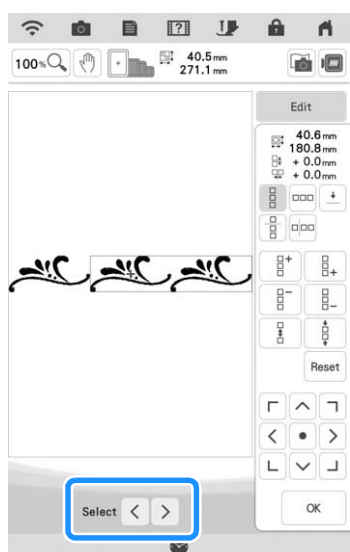
3 と を使って、切り取り線を選びます。



→ 切り取り線が移動します。

4 を押します。

→ 連続模様が分割されます。

5 を押します。6 と を使って、繰り返す模様を選びます。

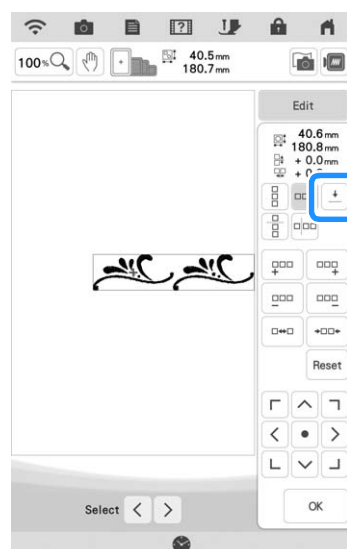
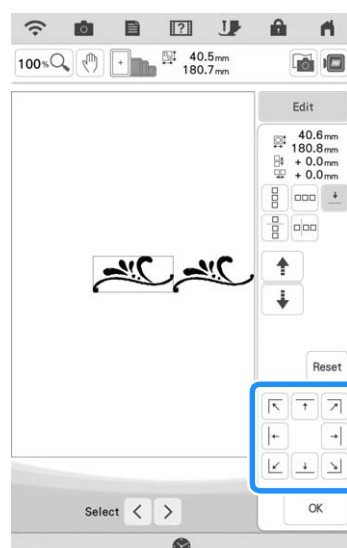
7 選んだ模様を繰り返します。

8 を押します。 お知らせ

- 連続模様を分割した模様に取り切った後は、元の連続模様に戻すことはできません。
- それぞれの模様は編集画面で個別に編集することができます。P.86「組み合わせ模様を選択する」を参照してください。
-  を押すと、縫製の順番を変更し、糸色変更の回数を最小にします。

■ 糸印をつける

糸印をつけると、連続して刺しゅうするときに、簡単に模様の位置を合わせることができます。模様をぬい終わると、最後にぬう糸を使用して、矢印の形をした糸印がぬわれます。連続して刺しゅうする場合は、次に刺しゅうする模様を配置するために、この矢印の先を使用します。

1 を押して、 を押します。2 を押します。3 を押して、糸印をつける場所を選びます。 お知らせ

- 2つ以上の模様がある場合は、、 または 、 を押して、糸印を付けたい模様を選びます。

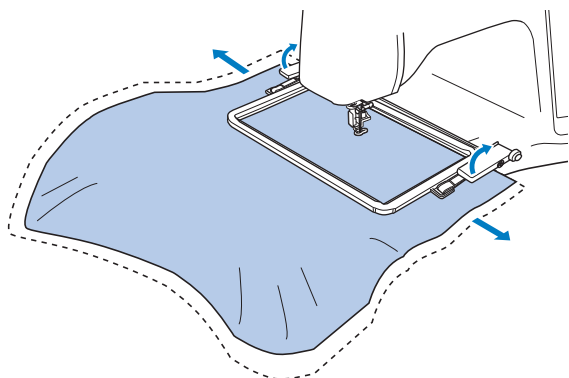
4 を押します。

模様を繰り返し刺しゅうする

連続模様を作成した後は、刺しゅう枠を張り直して、次の模様を続けて刺しゅうします。

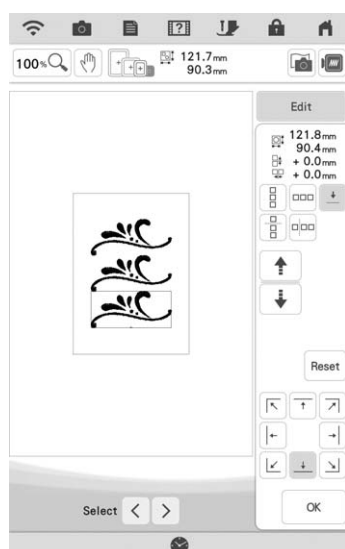
お知らせ

- 別売のボーダー枠を使用すると、刺しゅう枠をミシンから取り外さないで、簡単に布地を張り直すことができます。



- 1 連続模様を作成し、模様の底辺の中心に糸印をつけます。ここでは例として、刺しゅう枠 (L) 縦 180 mm × 横 130 mm を使用します。

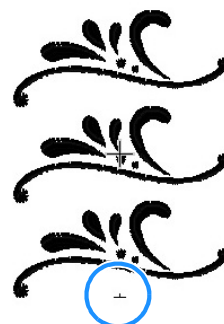
* P. 69 「糸印をつける」を参照してください。



- 2 **OK** を押して、**Embroidery** を押します。

- 3 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

→ 刺しゅうが終わると、最後の糸色を使って、糸印がぬわれます。

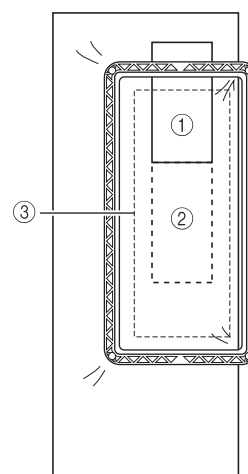


- 4 刺しゅう枠を取り外します。

- 5 刺しゅう枠に布地を張り直します。

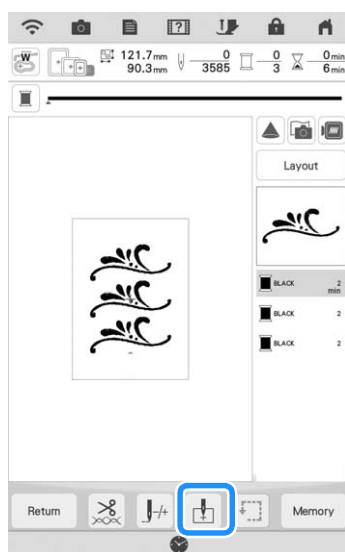
お願い

- 次の模様の刺しゅう範囲が、縫製範囲内に収まるように、布地の位置を調整してください。

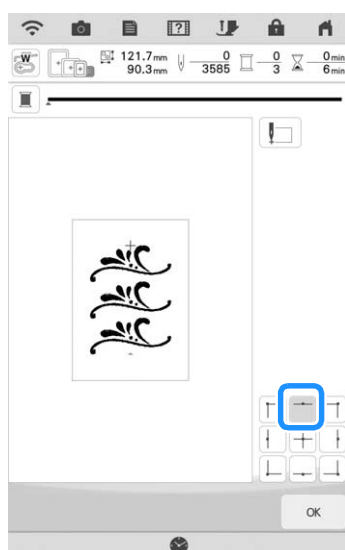


- ① 最初に刺しゅうした模様
- ② 次に刺しゅうする模様の位置
- ③ 縫製範囲

- 6 刺しゅう枠をミシンに取り付けて、を押します。



- 7 を押して、ぬい始めを模様の上側中心に設定します。

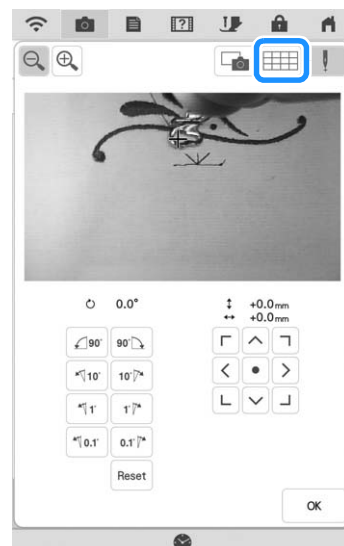


- 8 を押します。

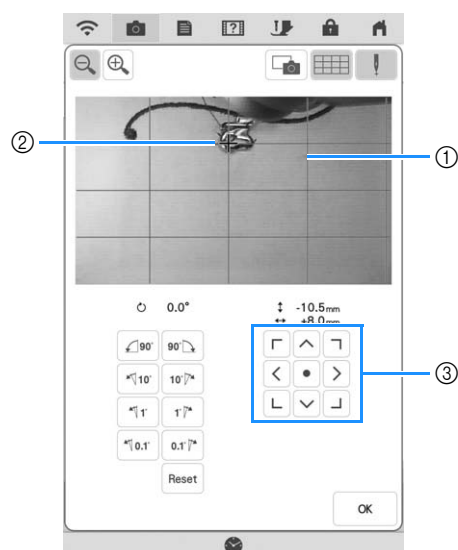
- 9 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを下げます。

- 10 を押します。

- 11 を押します。



- 12 移動キーを押して、布地の糸印がカメラビュー画面に表示されたぬい始め位置に合うまで、刺しゅう枠を移動させます。



- ① グリッド線
② 布地の糸印
③ 移動キー

お知らせ

- を押すと、カメラビューが拡大します。カメラビューが拡大することで、少しずつ刺しゅう枠を移動しながら、針落ち位置を微調整できます。

- 13 移動キーで刺しゅう位置を合わせられない場合は、糸印と次に刺しゅうする模様が縫製範囲に入るように布地を張り替えてから、再度移動キーで位置を合わせます。

💡 お願い

- 連続模様を刺しゅうしているときは、カメラビュー画面で模様を回転しないでください。カメラビュー画面で模様を回転した場合は、カメラビュー画面で糸印とぬい始めの位置をあわせても、正しく位置合わせされた状態で刺しゅうされません。

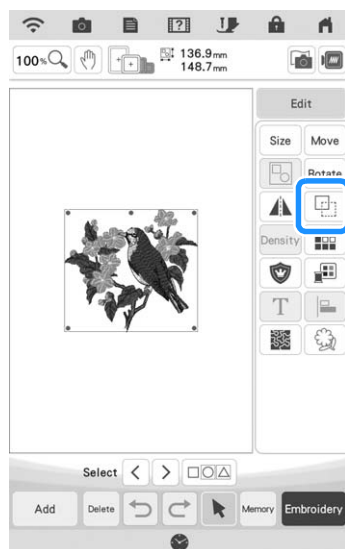
- 14  を押すと、前の画面に戻ります。

- 15 必要に応じて、糸印を取り除きます。

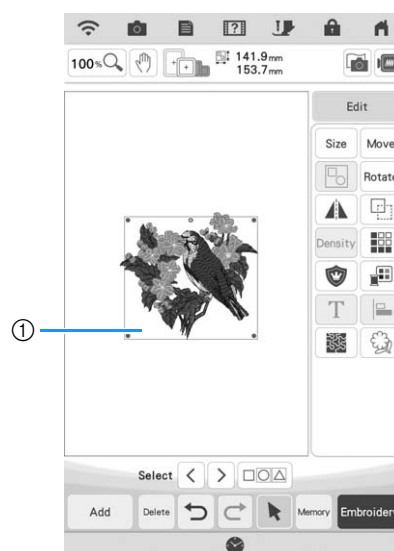
- 16 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

模様を複製する

- 1  を押して、 を押します。



→ 複製された模様が配置されます。



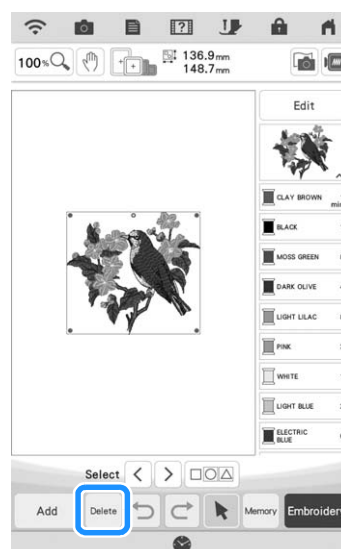
① 複製された模様

💡 お願い

- 画面上に複数の模様がある場合は、選択した模様だけが複製されます。複数の模様を選択する場合は、P. 86「複数の模様を選択する」を参照してください。
- 複製された模様の移動や編集は、個別に行ってください。

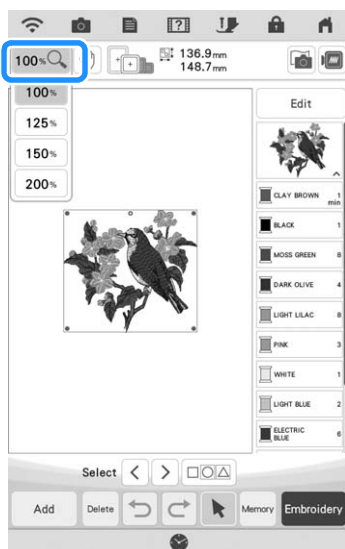
模様を削除する

 を押して、画面から模様を削除します。

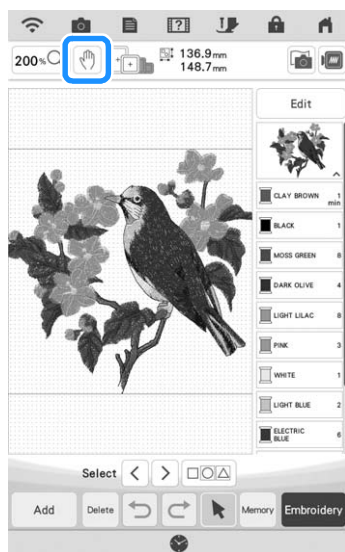


画面に模様を拡大表示する

- 1 100%  を押して、イメージを拡大します。



- 2 表示された模様を確認します。



お知らせ

- 拡大表示中に  を押すと、表示エリアを移動できます。このとき、縫製範囲内の模様の位置は変わりません。

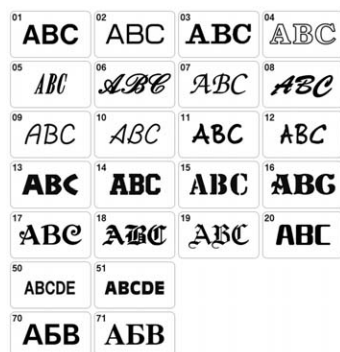
文字の編集をする

文字模様を選ぶ

例：「The Sky is Blue」と入力する。

1 **A**を押します。

2 刺しゅうしたい書体のキーを押します。



3 タブを押して、文字の種類を選択します。



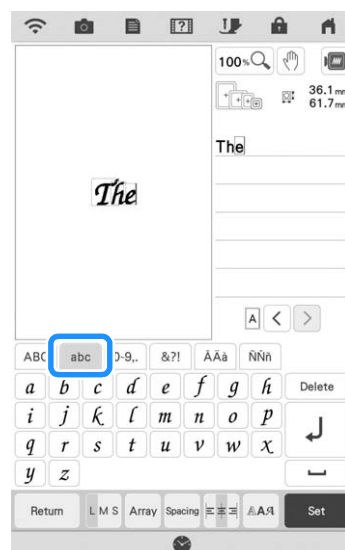
4 **ABC**を押してから、「T」を入力します。

- * 文字の大きさを変更する場合は、文字を選んでから **LMS** を押します。このキーを押すたびに、大きさが大から中、小へと変わります。
- * まちがえた場合は、**Delete** を押して取り消します。

お知らせ

- 大きさを変えた後に続けて文字を追加すると、次に入力する文字も変更後の大きさになります。

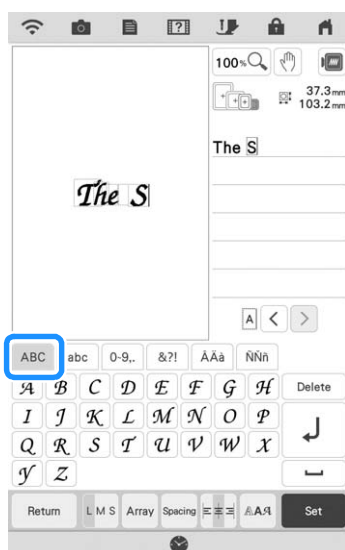
5 **abc**を押してから、「he」を入力します。



6 **␣**を押して、スペースを入れます。



- 7 再度 **ABC** を押してから、「S」を入力します。



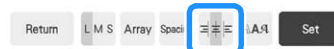
- 8 **abc** を押してから、「ky_is」を入力します。



- 9 **↵** を押して、改行します。
- 10 手順 4 と 5 を参照して、「Blue」を入力します。
- 11 **Set** を押します。
→ 編集画面が表示されます。
- 12 P. 43 「刺しゅう模様／飾りアルファベット模様／実用刺しゅう模様を選ぶ」の 4 から 7 を参照して、操作を進めます。

文字列を整える

≡≡≡ を押すたびに、右寄せ、左寄せ、中央揃えの順で切り替えます。



≡≡≡ 右寄せ

ABCDE
FGH
IJKLMNOP

≡≡≡ 左寄せ

ABCDE
FGH
IJKLMNOP

≡≡≡ 中央揃え

ABCDE
FGH
IJKLMNOP

フォントを変更する

- 1 フォントを変更する前に **Edit** を押してから、**T** を押します。



2 を押します。



3 フォントを選びます。

→ 画面のすべての文字が選択したフォントに変わります。



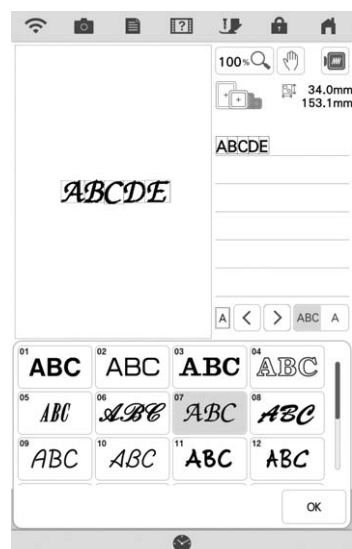
* パーをスクロールすると、画面に表示されていないフォントが表示されます。

お知らせ

- 選択した文字のみ文字フォントの種類を変更する場合は、  を押します。選択した文字のフォントの種類が変わります。

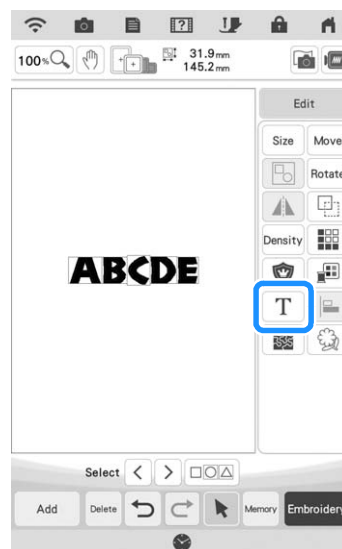
4 OK を押します。

→ 新たなフォントが選択されました。



文字の大きさを変える

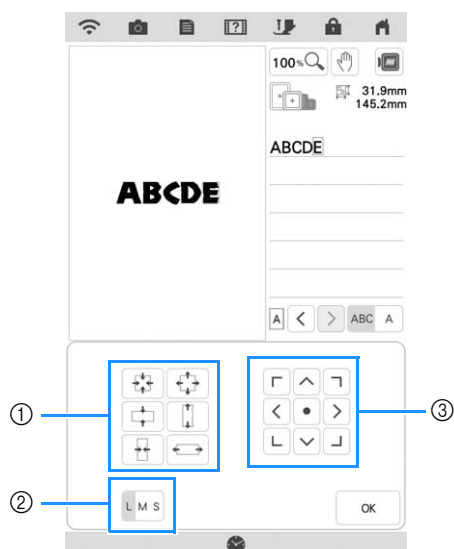
1 Edit を押して、 を押します。



2 Size を押します。



3 文字の大きさを変更します。



- ① 変更したい方向へ大きさを調節します。
- ② 大きさを大、中、小へと変更します。
- ③ 文字を移動します。

お知らせ

- 選択した文字のみ文字模様の大きさを変更する場合は、ABC A を押します。選択した文字の大きさが変わります。

4 OK を押します。

文字模様の配列を変える

1 Edit を押して、T を押します。



2 Array を押します。



3 レイアウトを選びます。(例：)

曲線を選ぶ場合は、 と  を使用すると、曲線の角度が変わります。

- * ゆるやかな曲線にするときは、 を押します。
- * 急な曲線にするときは、 を押します。



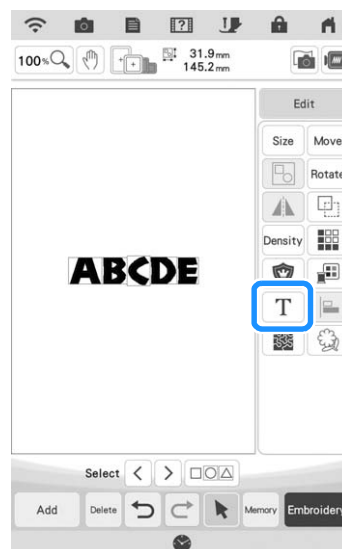
お知らせ

-  を選択したときは、 と  が  と  に変わり、傾斜上の文字配列を変更することができます。
- 画面の  を使って、模様を移動させることができます。

4 を押します。

文字の間隔を変える

1 を押して、 を押します。



2 を押します。



3 間隔を選びます。

- *  を押すと、文字の間隔が広がります。
- *  を押すと、文字の間隔がせまくなります。
- *  を押すと、元の表示に戻ります。
- *  を押して、文字を上に移動します。
- *  を押して、文字を下に移動します。



お知らせ

- 選択した文字のみ文字間隔を変更する場合は、  を押します。選択した文字の文字間隔が変わります。

 **ABCD E** ⇔ **ABCDE**

 **A B C D E** ⇔ **ABCDE**

- 、 は   を押すと有効になります。移動する文字を選択してから、キーを押してください。
- 画面の    を使って、模様を移動させることができます。

4 を押します。

お願い

- 編集したデータを他のマシンや古いバージョンのマシンに転送することはお勧めできません。一部の機能は他のマシンに搭載されていないため、問題が発生するおそれがあります。
- 文字が直線上に配列されている場合のみ、文字間隔を詰めることができます。

お知らせ

- グループで最も幅のせまい文字の 50% まで、文字の間隔を詰めることができます。

文字模様を再編集する

文字を入力した後も、文字を再編集することができます。

1 を押して、 を押します。



→ 文字の再編集ができるようになります。

お知らせ

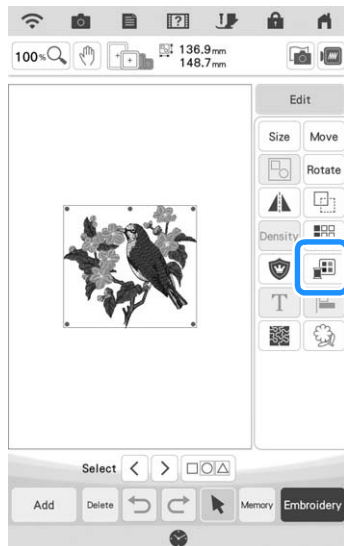
- 文字の再編集集中に改行を入れることはできません。

色を編集する

刺しゅうの糸色を変える

変更する色を色替えの順番の最初に移動し、ミシンの糸色から新しい色を選ぶことで、糸色を変更できます。

1 **Edit** を押して、 を押します。

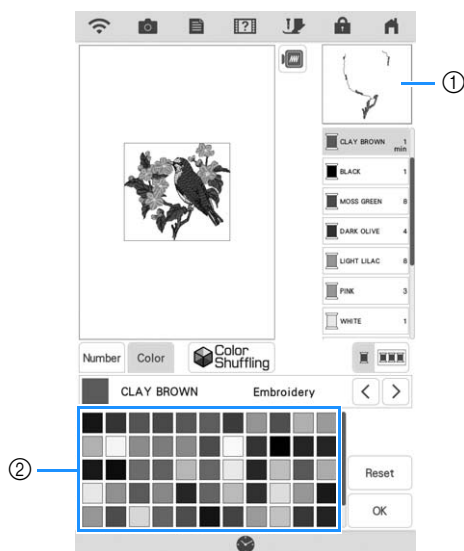


→ 糸色パレット画面が表示されます。

2 変更したい部分の色を押します。

* 糸色パレットをスクロールすると、画面に表示されていない糸色を表示できます。

→ 選択された糸色イメージが表示されます。

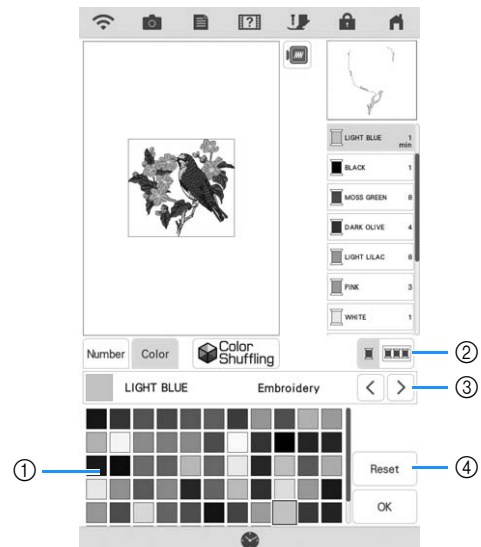


① 選択された糸色イメージ

② 刺しゅう糸色パレット

3 糸色パレットから新しい色を選びます。

* 元の色に戻る場合は、**Reset** を押します。複数の色を選んだ場合は、すべての色が元の色に戻ります。



① 糸色パレット

② 1色または全色を選択します。

③ 糸ブランドを選択すると、お手持ちの糸こまの色合いを確認できます。

④ 元の色に戻します。

→ 変更された色が表示されます。

4 **OK** を押します。

お知らせ

- ブラザーの別売の刺しゅう糸を使用している場合は、糸ブランドは **[Embroidery]** を選択してください。カントリー糸をお使いの場合は、**[Country]** を選択してください。
- Number** を押して糸番号を入力すると、糸色が検索できます。まちがった番号を入力したときは、**C** を押して、正しい番号を入力してください。番号の入力が完了したら、**OK** を押します。



カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を設定する

カラーシャッフル機能を使用すると、選択した刺しゅう模様に、ミシンが新しい配色を提示します。4つ（[Random（ランダム）]、[Vivid（ビビッド）]、[Gradient（グラデーション）]、[Soft（ソフト）]）の中から好みのモードを選ぶと、選択した効果の色イメージが表示されます。

①  を押して、 を押します。

→ 糸色パレット画面が表示されます。

②  を押します。

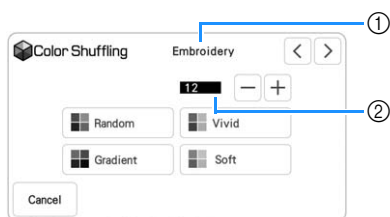


→ カラーシャッフル画面が表示されます。

お知らせ

- 選択した模様によっては、この機能を使用できないものがあります。（例：連続模様、ライセンスがある模様）。

③ 模様を作成するときの糸ブランドと色数を選びます。



① 糸ブランド

② 使用する色数

④ お好みのモードを選びます。



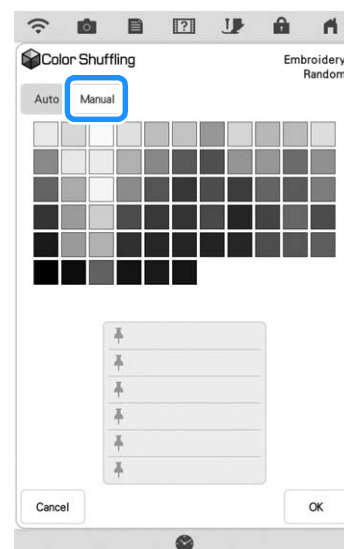
① 配色モード

→ [Random（ランダム）] または [Gradient（グラデーション）] を選んだ場合は、色指定画面が表示されます。

* [Vivid（ビビッド）] または [Soft（ソフト）] を選んだ場合は、⑥ に進んでください。

⑤  を押して、お好みのモードで使用する糸色を指定します。

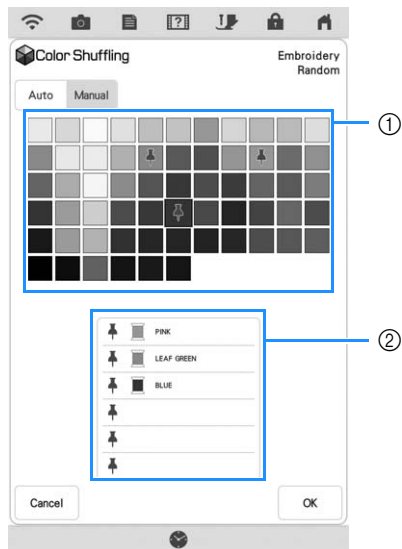
* 使用する糸色を指定しない場合は、 を選択します。



2

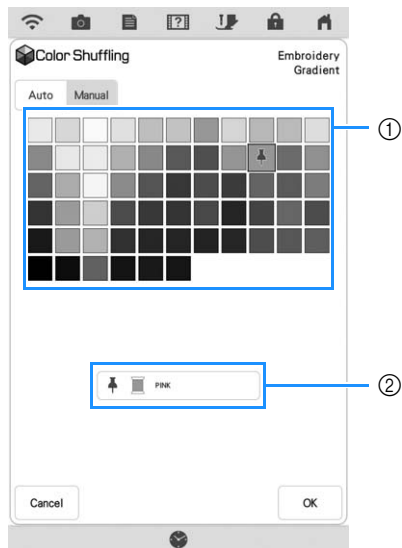
編集の基本

[Random (ランダム)] の [Manual (手動)]
[Random (ランダム)] モードでは、6 色までの
 糸色を選択できます。
 選択した糸色を使った、配色が生成されます。



- ① パレットから糸色を選択します。
- ② 選択した糸色が表示されます。

[Gradient (グラデーション)] の [Manual (手動)] 設定
[Gradient (グラデーション)] モードでは、1 色
 選択できます。
 選択した色で生成されます。



- ① パレットから糸色を選択します。
- ② 選択した糸色が表示されます。

6 **OK** を押します。

7 見本イメージから、好みの配色を選びます。

* **Refresh** を押すと、新しい配色が表示されます。



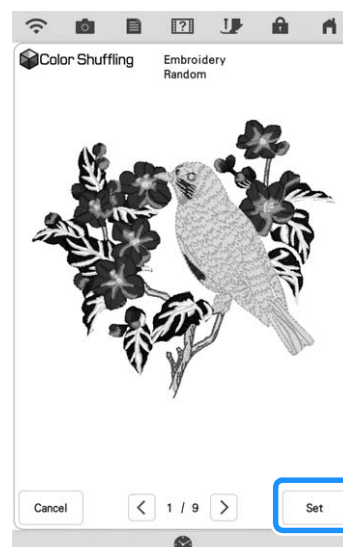
- ① 前の配色見本を確認するときには押します。

お知らせ

- 最大で 20 ページの配色見本が表示されます。

8 **Set** を押して、表示された配色を選びます。

- * **Cancel** を押すと、1 つ前の画面に戻ります。
- * **Set** を押すまで、配色見本から配色を選択することができます。
- * ほかの配色見本を表示するときは、**<** または **>** を押します。



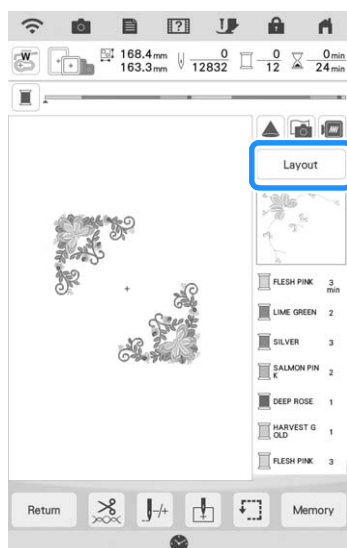
→ 糸色パレット画面が表示されます。

糸色ごとに並べ替える

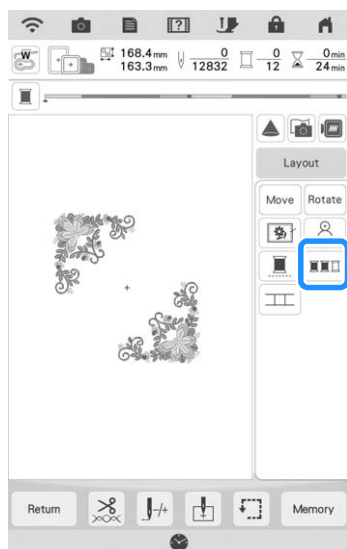
糸こまを交換する回数を最小にすることができます。

刺しゅうを始める前に、縫製画面で  を押すと、糸色ごとに並べ替えられて、刺しゅうの順番が変わります。

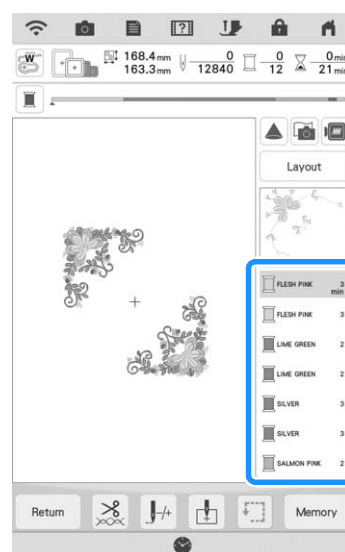
1 縫製画面で  を押します。



2  を押します。



*  を押すと、並び替えた糸色を確認することができます。



糸色ごとに並べ替えられて、刺しゅうの順番が変わります。

 を押して、 を押すと、糸色の並び替えを解除して、元の糸色順で刺しゅうすることができます。

お知らせ

- 糸色ごとに並び替える機能は、模様が重なっていると使用することができません。

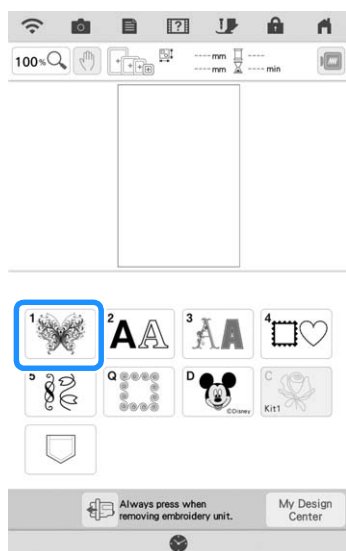
模様を組み合わせる

組み合わせ模様を編集する

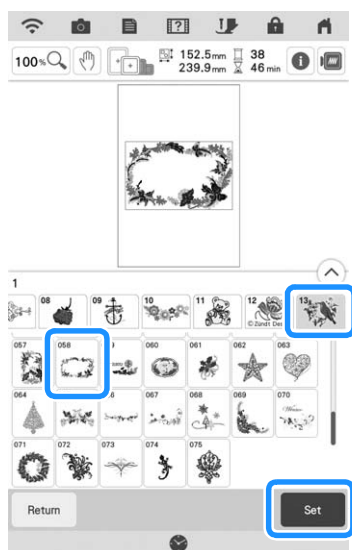
例：アルファベットと刺しゅう模様を組み合わせて編集する



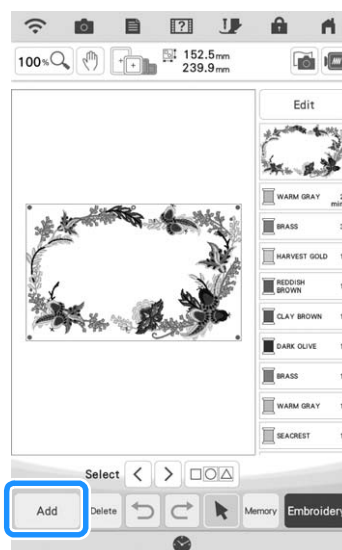
- 1  を押して、刺しゅう模様を選びます。



- 2  を選択し、 を押して、**Set** を押します。



- 3 **Add** を押します。

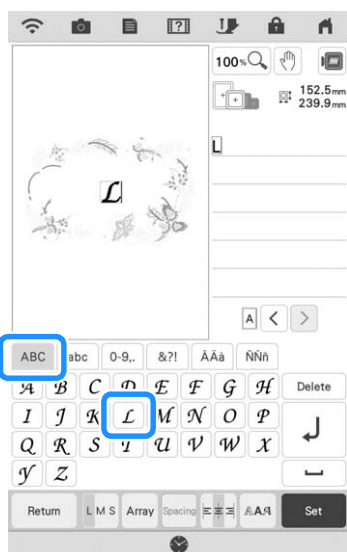


- 4  を押して、アルファベットを入力します。

* **Return** を押すと、前の画面に戻ります。



- 5 **ABC** を押して、「LOVE」を入力します。



→ 入力した文字が、画面の中央に表示されます。

- 6 **Array** を押して、文字の配列を変えます。

OK を押します。

- * 文字の配列変更についての詳細は、P. 77 を参照してください。

- 7 **Set** を押して、**Edit** を押します。

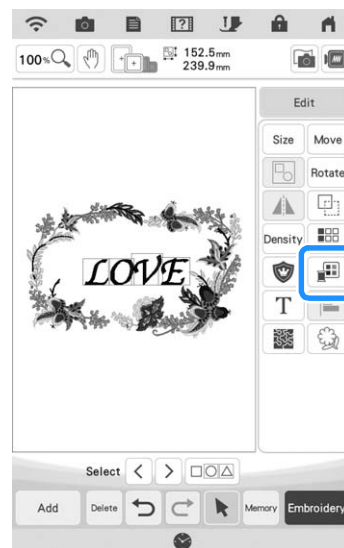
- 8 **Move** を押して  を押して、文字を移動します。

OK を押します。

- * 指やデュアルタッチペンで、文字をドラッグして移動することもできます。

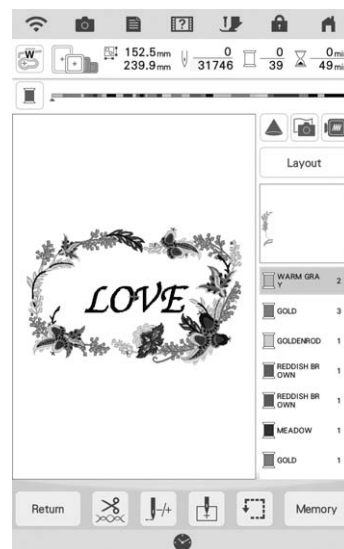
- 9 **Edit** を押してから、 を押して文字の色を変えます。
OK を押します。

- * 文字の色変更についての詳細は、P. 80 を参照してください。



- 10 すべての編集が終わったら、**Embroidery** を押します。

→ 縫製画面が表示されます。

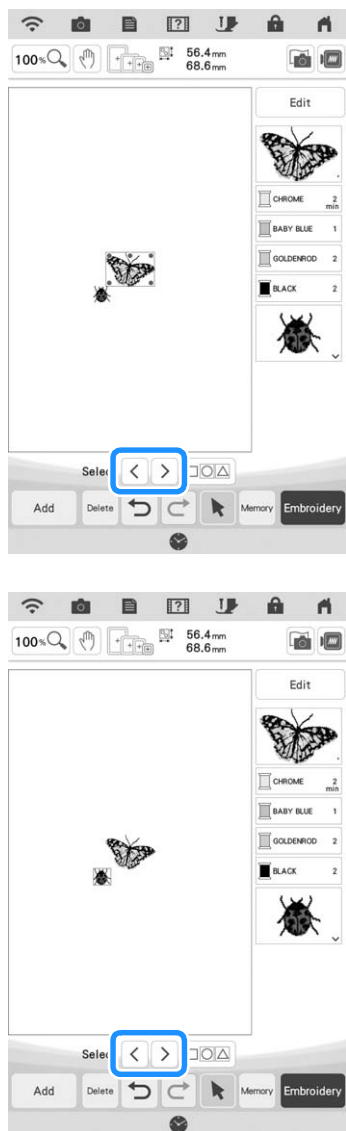


■ 組み合わせ模様を選択する

複数の模様を組み合わせている場合、**< >** を使って、模様を選択し編集します。指やデュアルタッチペンで画面の模様を押して選択することもできます。

📖 お知らせ

- 模様が重なっていて、画面を押して選択できない模様を選ぶときは、**< >** を使用してください。キーが表示されていないときは、**🖱️** を押してください。



複数の模様を選択する

複数の模様を簡単に編集することができます。例えば、組み合わせ模様を一括選択し、移動することができます。

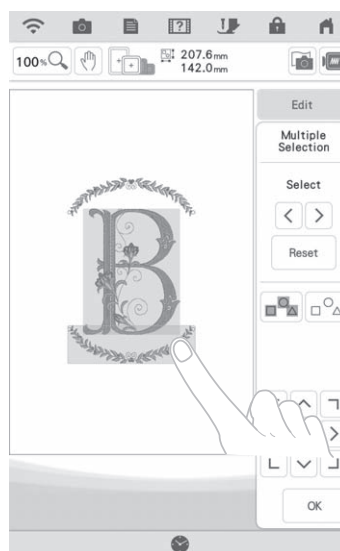
1 **🖱️** を押します。

- * キーが表示されていないときは、**🖱️** を押してください。



→ 複数選択画面が表示されます。

2 選択したい模様をそれぞれ押します。



お知らせ

- 画面上を指でドラッグして、複数の模様を選択することもできます。
- 複数の模様の選択または選択解除は複数選択画面から行うことができます。◀ または ▶ で選択した模様を確認して、Set を押します。



選択した模様は赤で囲まれます。

- [Multiple Selection] を押すと、表示エリア内の模様すべてを選択します。
- [Single Selection] を押すと、模様すべての選択解除を行います。
- 画面を指で直接押して、模様を選択することもできます。
- 複数選択画面が表示されているときは、
 [Directional Pad] で模様を移動することができます。
- 複数の模様が選択されているときは、以下の機能は使用できません。
 - サイズ調整
 - 回転
 - 左右反転
 - アップリケ
 - 繰り返し
 - 糸色の変更
 - 文字編集

3

OK を押すと、編集画面に戻ります。

- * 選択した各模様は赤で囲まれます。

選択した複数の模様をグループ化する

P. 86「複数の模様を選択する」で選択された複数の模様をグループ化すると、ひとつの模様として編集することができます。

1

[Group] を押します。

2

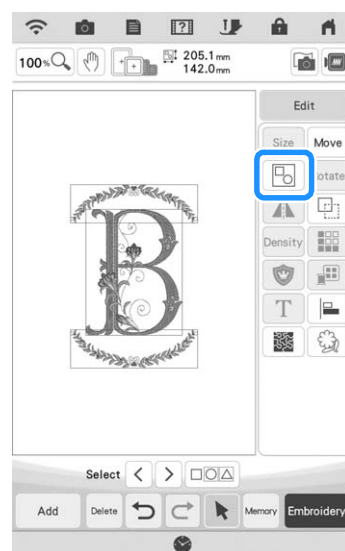
各模様を押し、複数の模様を選択して、

OK

を押します。

3

[Group] を押します。



→ 選択した模様がグループ化されます。

- * [Group] を押すと、グループ化を解除します。グループ化された模様が複数ある場合、選択した模様のグループ化が解除されます。

お知らせ

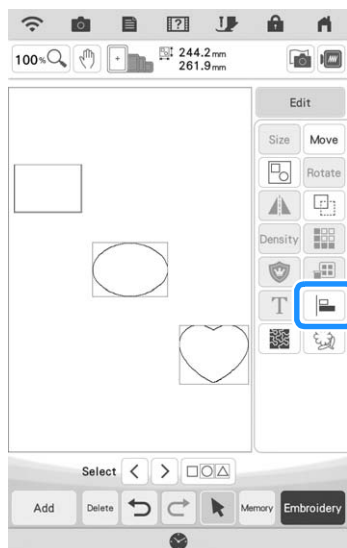
- グループ化された模様は、以下の機能がグループ内の模様すべてに適用されます。
 - 移動
 - 回転
 - アップリケ
 - 連続模様（ボーダー模様）
 - 輪郭の抽出
 - ステッピングまたはエコークルト
 - 糸色の変更

2

模様を整列する

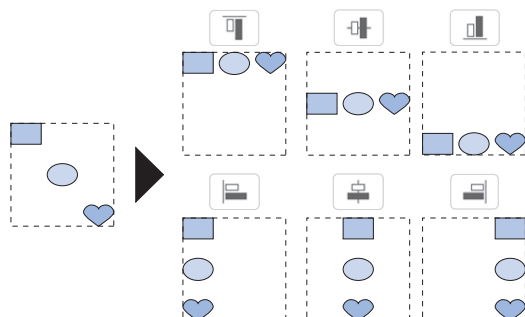
1 整列する模様を選択します。(P. 86)

2 Edit を押し、 を押します。



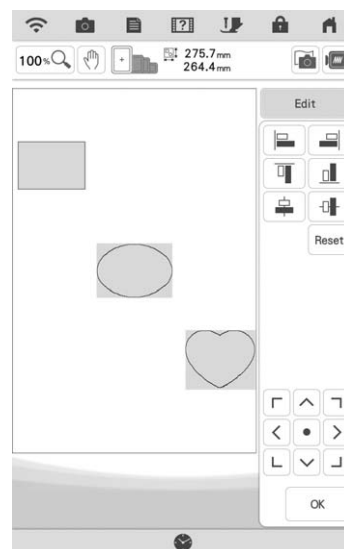
3 揃えたいキーを押します。

例：



お知らせ

- 画面の模様を直接押して、複数の模様を選択することができます。



- *  で模様を移動することができます。
- *  で整列を解除します。

組み合わせ模様を刺しゅうする

組み合わせ模様は、模様を選んだ順番に刺しゅうされます。この例では、以下のような順番で刺しゅうされます。



🔔 お願い

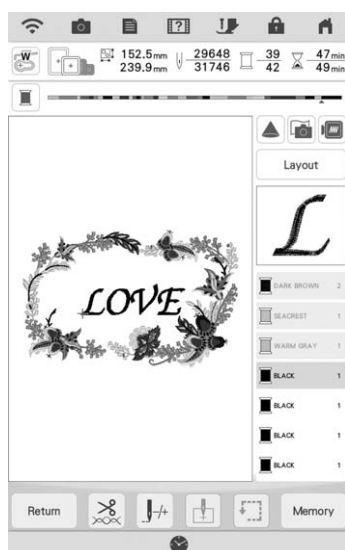
- P. 54 「刺しゅうする」 の手順に従ってください。

- 1 画面右の色の順番に従って  を刺しゅうします。



→  の刺しゅうが終わると、[+] カーソルが模様の「LOVE」の部分に移動します。

- 2 **LOVE** を刺しゅうします。



→ 「LOVE」が刺しゅうされると、画面表示は縫製画面に戻ります。



第 3 章

編集の応用

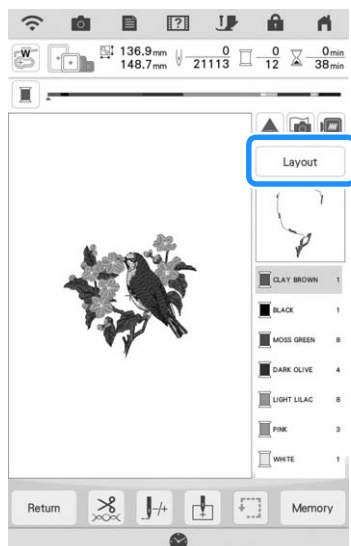


さまざまな刺しゅうの機能

1 色で刺しゅうする

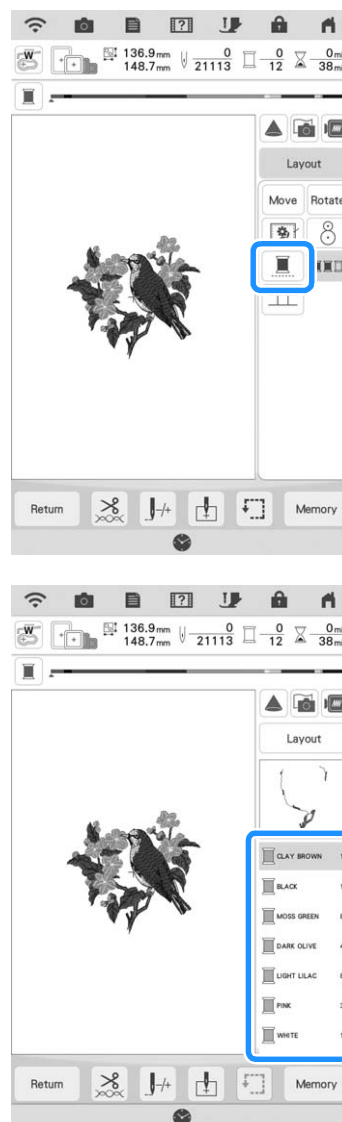
選択した模様を複数の色ではなく 1 色でぬうことができます。模様が仕上がるまで刺しゅうが続きます。

1 縫製画面で **Layout** を押します。



2  を押します。

* もう一度押すと、設定を解除します。



→ 画面の糸色が灰色表示になります。

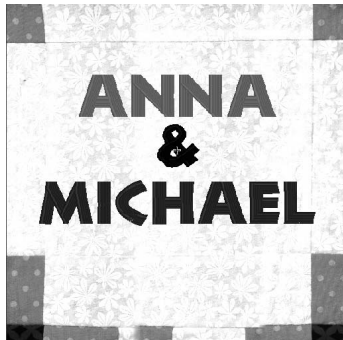
お知らせ

- 連続刺しゅう  が選択されても、自動糸切り機能と渡り糸切り機能は使用することができます。(P. 105 と P. 106 参照)

布地を表示して縫製位置を合わせる

刺しゅう枠に張った布地を液晶画面に表示して、画面上で、布地に合わせて縫製位置を調整することができます。

(例：



❖ お願い

- 別売の刺しゅう枠縦 20 mm × 横 60 mm を装着しているときは、この機能は使用できません。
- キルティングのような厚みのある布地を使用する場合は、P. 95 「厚い布地をスキャンする場合」を参照してください。

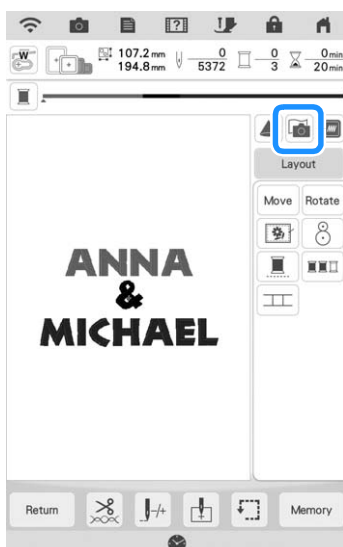
1 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンにセットします。

2 模様を選択し、必要に応じて模様を編集して **Embroidery** を押します。

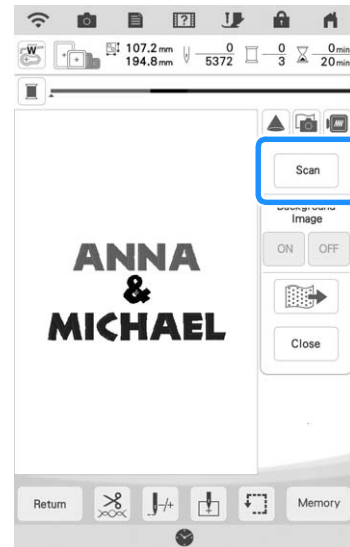
❖ お願い

- 薄い布地または普通の厚さの布地を使用するときは、設定画面で [Fabric Thickness Sensor (布厚センサー)] が [OFF] になっていることを確認してください。

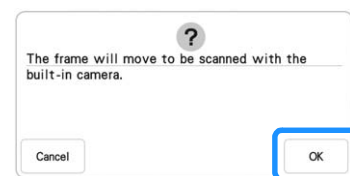
3  を押します。



4 **Scan** を押します。



5 次のメッセージが表示されたあと、**OK** を押します。



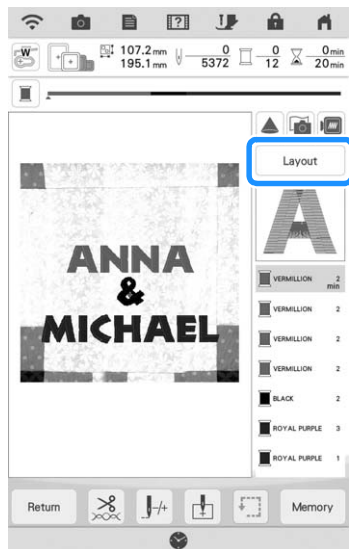
→ キャリッジが移動し、布地をスキャンします。

❖ お願い

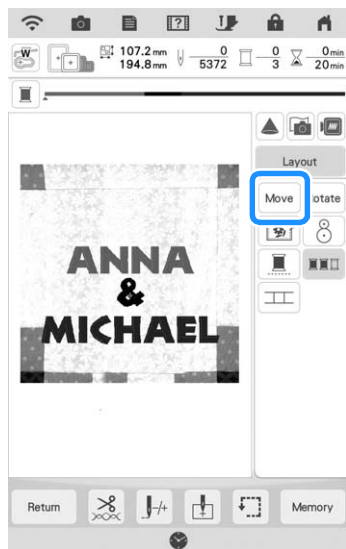
- 上糸を布地と一緒にスキャンしたくないときは、上糸を針に通さないでスキャンを行ってください。

- 6** スキャンした布地が模様の背景に表示されたら、**Close** を押し **Layout** を押して編集ウィンドウを表示します。

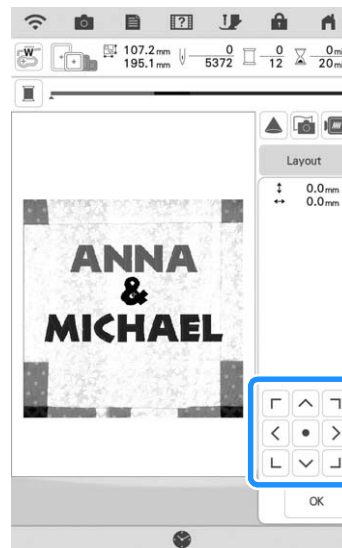
* 編集ウィンドウを表示しなくても、指やデュアルタッチペンで模様をドラッグしてぬいたい位置に移動することができます。細かく移動したいときは、編集ウィンドウから模様を移動してください。



- 7** **Move** を押して、移動ウィンドウを表示します。



- 8** で、模様をぬいたい位置に合わせます。



- 9** **OK** を押します。

🔔 お願い

- 必要に応じて、 を押し、模様位置を仕上がりイメージで確認してください。

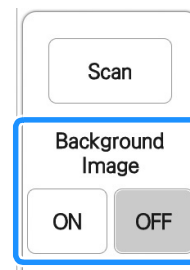
- 10** スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。

* P. 54「刺しゅうする」を参照してください。

→ ぬい終わると、背景に表示されていた布地は非表示となります。

🔔 お願い

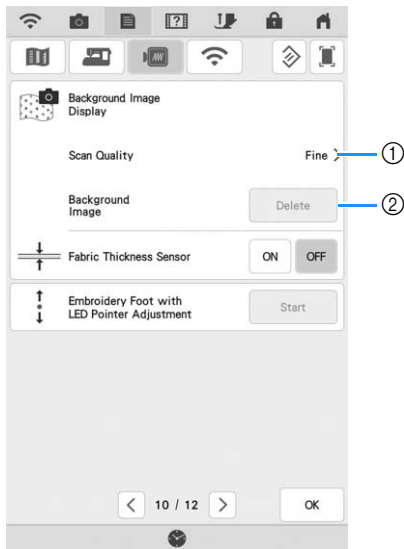
- 模様がぬい終わるまで、背景に布地が表示されます。背景画像を再表示したり、非表示にしたいときは、 を押して、[Background Image (背景画像)] を [ON] または [OFF] にしてください。



- 背景画像を完全に消去したいときは、P. 95「設定画面で布地の表示を設定する」を参照して、設定画面で背景画像を消去してください。

■ 設定画面で布地の表示を設定する

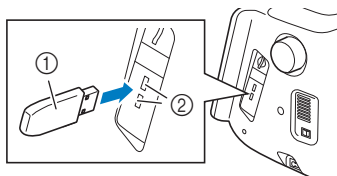
設定画面で、背景画像の品質を設定したり、スキャンした画像を消去したりできます。



- ① [Fine (きれい)] を選択すると、[Standard (標準)] に設定したときよりも鮮明にスキャンできます。
- ② [Delete] を押すと、背景画像は消去されます。

■ スキャン画像をUSBメディアに保存する

- 1 USBメディアをミシンのUSBポートコネクタに差し込みます。



- ① USB メディア
- ② USB ポートコネクタ

- 2 保存する USB ポートを選択するために、 を押します。

- 3 を押します。
→ USB に画像が保存されます。

- 4 USB メディアを取り外します。保存した画像は、パソコンで確認できます。

→ スキャン画像は、「BG**.PNG」のファイル名で、「bPocket」フォルダーに保存されます。
* ファイル名「BG**.PNG」の「**」には自動で割り振られた 00 から 99 までの番号が入ります。

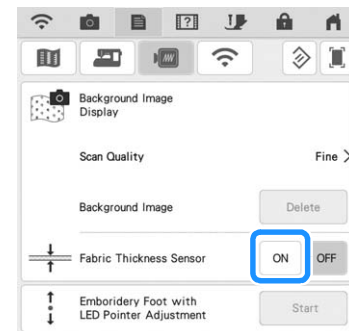
■ 厚い布地をスキャンする場合

キルティングのような厚みがある布地をスキャンして位置合わせをする場合、布地を正しく認識できないことがあります。正しく認識するために、はじめにミシンで布地の厚さを確認します。

お知らせ

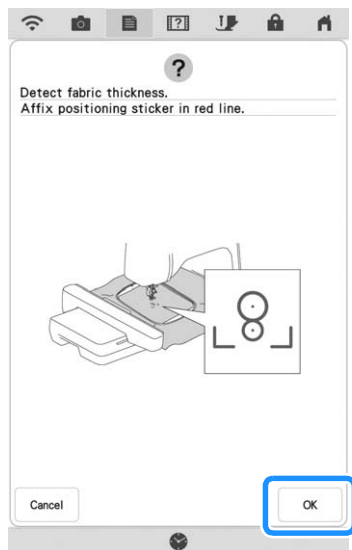
- 布地をスキャンしたときのみ、この機能を使用することができます。通常の刺しゅうでこの機能を使用しても、刺しゅうに影響はありません。

- 1 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンにセットします。
- 2 模様を選択し、必要に応じて模様を編集して を押します。
- 3 設定画面の 10 ページを表示して、[Fabric Thickness Sensor (布厚センサー)] を [ON] にします。

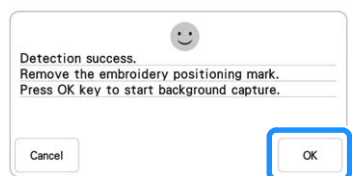


- 4 を押します。
- 5 を押します。
- 6 を押します。

- 7 プロジェクターで表示される赤い枠内に収まるように、刺しゅう位置合わせシールを布地に貼り、OK を押します。



- 8 次のメッセージが表示されたら、位置合わせシールを布地からはがし、OK を押します。



→ キャリッジが移動し、布地に貼った位置合わせシールが検出されます。

- 9 P. 94 の手順 6 以降の手順を参照して、模様をぬいたい位置に合わせます。

⚠ 注意



- 刺しゅうができる布地の厚さは 3 mm 程度までです。3 mm 以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

刺しゅうのしつけぬい

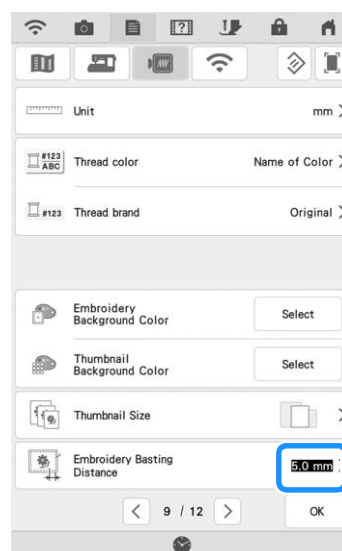
刺しゅうする前に、模様のまわりにしつけぬいをすることができます。アイロンやのりで接着芯を貼り付けられないような布地をぬうときに役に立ちます。接着芯を使うと、ぬい縮みや模様のずれが少なくなり、刺しゅうがきれいに仕上がります。

🔍 お問い合わせ

- 模様の組み合わせや編集が終わった後で、しつけぬいを設定してください。しつけぬい設定をした後で、模様の組み合わせや編集をすると、しつけぬいと模様がずれたり、模様の下にしつけぬいがされたりして、縫製後にしつけを取り除くことが難しくなります。

- 1 [メニュー] を押します。

- 2 数値を押して、しつけぬいと模様の距離を設定します。

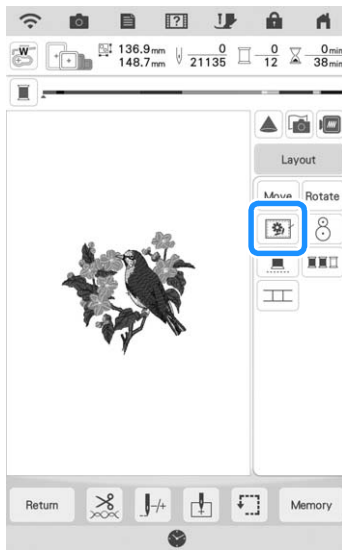


📄 お知らせ

- 設定値が大きいほど、しつけぬいと模様の間は広がります。
- 本機の電源を切ったあとも、設定は残ります。

- 3 [OK] を押すと、前の画面に戻ります。

- 4 **Layout** を押してから、 を押して、しつけぬいの設定を選択します。



お知らせ

- 設定を解除するときは、 を押してください。
- しつけぬいが、刺しゅう順の最初に追加されます。

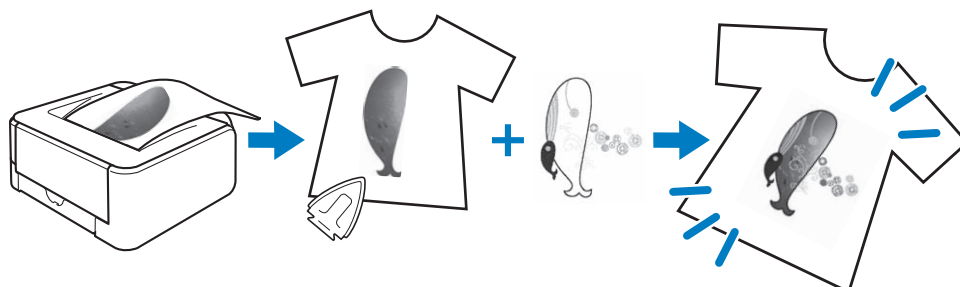
- 5 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。
- 6 刺しゅうが終わったら、しつけぬいを外します。



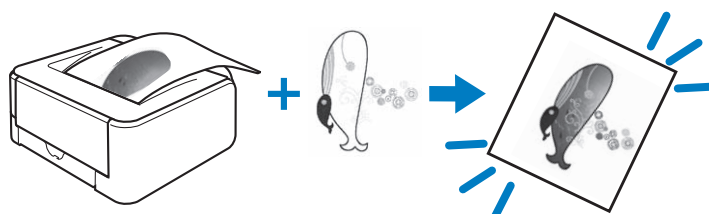
印刷と刺しゅうを組み合わせる

このミシンには、印刷と組み合わせて完成する刺しゅう模様が内蔵されています。
布地にアイロン転写した背景や布地に印刷した背景の上に、刺しゅうを施すことで、美しく立体感のある刺しゅうデザインが完成します。

アイロンプリントシートを使う



印刷できる布地を使う



手順 1

背景に組み合わせる模様を選択します。
→ P.99 「模様を選ぶ」を参照してください。



手順 2

ミシンから背景画像と位置合わせ画像を出力します。
→ P.100 「背景と配置画像を出力する」を参照してください。



手順 3

アイロンプリントシートを使うとき

アイロンプリントシートに背景を印刷し、普通紙に刺しゅう位置合わせシートを印刷します。布地に背景をアイロン転写します。

印刷できる布地を使うとき

印刷できる布地に背景を印刷し、普通紙に刺しゅう位置合わせシートを印刷します。

→ P. 101 「背景と刺しゅう位置合わせシートを印刷する」を参照してください。



手順 4

背景をアイロン転写した布地、背景を印刷した布地を刺しゅう枠に取り付け、刺しゅう位置を確認し、刺しゅうをします。

→ P.102 「刺しゅうする」を参照してください。

🙏 お願い

- 背景と刺しゅう位置合わせシートは原寸で印刷してください。サイズを変えて印刷すると、刺しゅう模様と背景の大きさが合わない場合があります。また、内蔵カメラが刺しゅう位置あわせマークを検知できなくなります。印刷設定が正しいか確認してください。

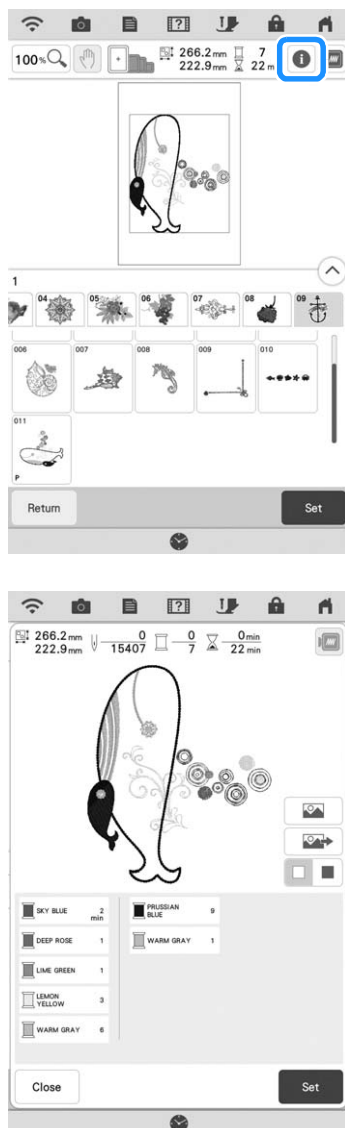
模様を選ぶ

印刷と組み合わせる刺しゅう模様は、を押すと、とと一緒に画面に表示されます。

お知らせ

- この機能が使用できる模様について、詳しくは模様一覧を参照してください。

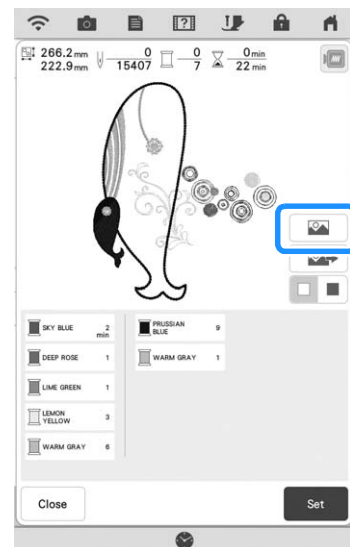
- 印刷に組み合わせる刺しゅう模様を選択して、を押します。



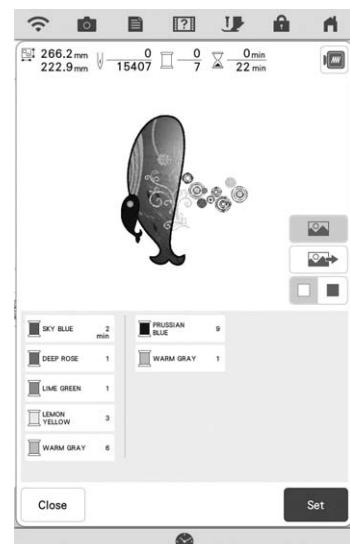
→ 刺しゅう模様のみ表示されます（選択した刺しゅう模様の背景ではありません）。

■ 組み合わせたイメージを確認する

を押します。



→ 背景と模様を組み合わせたイメージが表示されます。



* 刺しゅう模様のみ表示するときは、を押します。

背景と配置画像を出力する

USB メディアまたは SD カードを使用して、以下の 3 つの画像をマシンから出力します。

* 選択した PDF により、ファイル名が異なります。

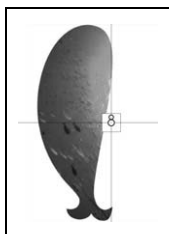
- **[xxx]r.pdf** (例: Emb001r.pdf)
左右反転した画像 (アイロン転写用)



- **[xxx]n.pdf** (例: Emb001n.pdf)
反転していない画像 (印刷できる布地用)
* 必要に応じて、180 度回転してから印刷してください。



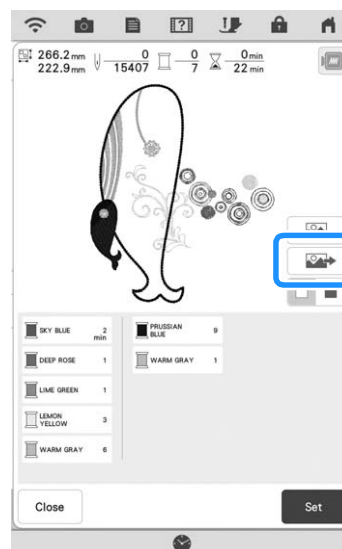
- **[xxx]p.pdf** (例: Emb001p.pdf)
位置合わせマークがついた反転していない画像 (位置合わせ用)



🔔 お願い

- 背景と刺しゅう位置合わせシートは原寸で印刷してください。サイズを変えて印刷すると、刺しゅう模様と背景の大きさが合わなくなります。また、内蔵カメラが刺しゅう位置合わせマークを検知できなくなります。印刷設定が正しいか確認してください。
- 位置あわせマークがついた画像 PDF を印刷するときは、フルカラー印刷で最高画質に設定してください。また、マット紙を使用してください。印刷が不十分の場合、マシンの内蔵カメラは位置あわせマークを正しく検知できないおそれがあります。(印刷について詳しくは、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。)

- 1 データを保存するメディアをマシンに接続します。
- 2 模様を選択し、 を押します。



→ 記憶先を選択する画面が表示されます。

- 3 ファイルを記憶するメディアキーを押します。



→ 背景画像が 2 点と刺しゅう位置合わせシートが 1 点、PDF ファイルで USB メディアまたは SD カードに保存されます。

📄 お知らせ

- ファイルの保存が完了するまで、マシンから USB メディアまたは SD カードを取り外さないでください。

背景と刺しゅう位置合わせシートを印刷する

背景と刺しゅう位置合わせシートの PDF ファイルを印刷します。印刷する背景は、アイロンプリントシートまたはプリントできる布地のどちらを使用するかによって異なります。

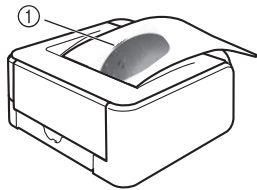
1 印刷する PDF ファイルを開き、拡大や縮小をせずに印刷する設定にします。

🔍 お願い

- 背景と刺しゅう位置合わせシートは原寸で印刷してください。サイズを変えて印刷すると、刺しゅう模様と背景の大きさが合わないことがあります。また、内蔵カメラが刺しゅう位置合わせマークを検知できなくなります。印刷設定が正しいか確認してください。

2 背景画像を印刷します。

- * アイロンプリントシートに印刷するときは、「Emb001r.pdf」（左右反転した画像）を印刷します。印刷できる布地に印刷するときは、「Emb001n.pdf」（反転していない画像）を印刷します。

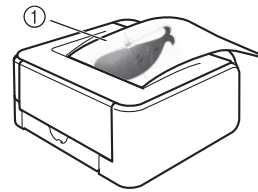


① 背景画像

🔍 お願い

- アイロンプリントシートまたはプリントできる布地に印刷する前に、印刷テストをして、印刷設定をご確認ください。
- アイロンプリントシートまたはプリントできる布地の印刷について詳しくは、それぞれの説明書を参照してください。
- プリンターによっては、アイロンプリントシートを用紙に選択すると、自動的に画像を反転します。詳しくは、お使いのプリンターの説明書を参照してください。

3 刺しゅう位置合わせシート (Emb001n.pdf) を普通紙に印刷します。

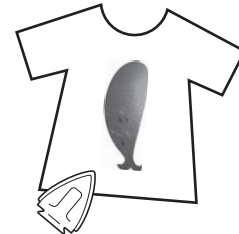


① 刺しゅう位置合わせシート

🔍 お願い

- 刺しゅう位置合わせシートの PDF を印刷するときは、フルカラー印刷で最高画質に設定してください。設定されていない場合、ミシンの内蔵カメラは位置合わせマークを正しく検知できないおそれがあります。設定をしても位置合わせマークを検出できない場合は、マット紙を使用してください。

4 アイロンプリントシートをお使いの場合、布地に転写します。

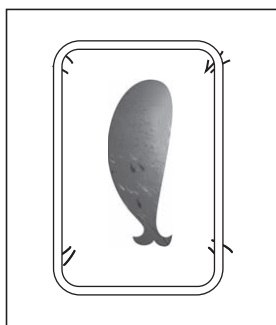


📄 お知らせ

- アイロンプリントシートの転写方法について詳しくは、アイロンプリントシートの説明書を参照してください。
- 必要に応じて、アイロンプリントシートを模様の大きさに合わせて切り取ってから、転写してください。

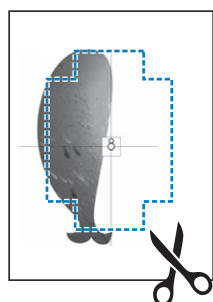
刺しゅうする

- 1 背景がアイロン転写または印刷された布地を刺しゅう枠に取り付けます。

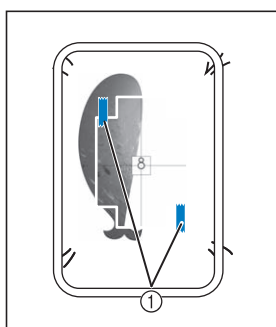


- 2 布地の背景と位置合わせがしやすいように、 マークが印刷された位置合わせシートを切ります。

* 画像の線や色が変わる境目で位置合わせシートと背景を合わせると、位置合わせがしやすくなります。位置合わせがしやすくなるように、位置合わせシートを切ります。



- 3 位置があうように、布の上に位置合わせシートを置いて、ずれないようにセロハンテープで固定します。



① セロハンテープ

- 4 模様が選択されていることを確認して、 を押します。

→ 縫製画面が表示されます。

🔔 お願い

- 刺しゅうする前に、刺しゅう位置合わせシートが背景と合っていることを確認してください。

- 5 P.49「刺しゅう位置合わせシートで縫製位置を合わせる」の手順 ① から ⑦ を参照して、刺しゅうの位置を合わせます。

🔔 お願い

- この機能では位置合わせシートの代わりに、布地に固定した位置合わせシートのマークで位置を合わせます。「刺しゅう位置合わせシートで縫製位置を合わせる」の手順 ③ を行うときは、模様を中心を基準点にしてください。手順 ④ の刺しゅう位置合わせシートの貼り付ける手順は、この機能ではスキップしてください。

- 6 刺しゅう位置合わせシートを取り除き、スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうをします。

🔔 お願い

- スタート/ストップスイッチを押して刺しゅうをする前に、手順 ③ でテープで固定した刺しゅう位置合わせシートを取り除いてください。

刺しゅうに関する設定の調整

糸調子を整える

刺しゅうのときの糸調子は、上糸が布地の裏側に少し見えるくらいに調整します。

■正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見えるくらいに調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきれいになりません。布地にしわがよったり、糸が切れたりします。



- ① 表
② 裏

以下の説明に従って、状況に合わせて糸調子を調節してください。

💡 お願い

- 糸調子を極端に弱く設定すると、途中でミシンが停止することがありますが、故障ではありません。糸調子を少し強めにしておいてください。

📖 お知らせ

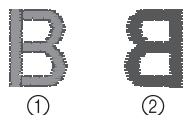
- 電源スイッチを切ったり、模様を選び直したりすると、糸調子は標準の設定に戻ります。

■上糸が強すぎる場合

上糸が強すぎると、布地の表側に下糸が出ます。

💡 お願い

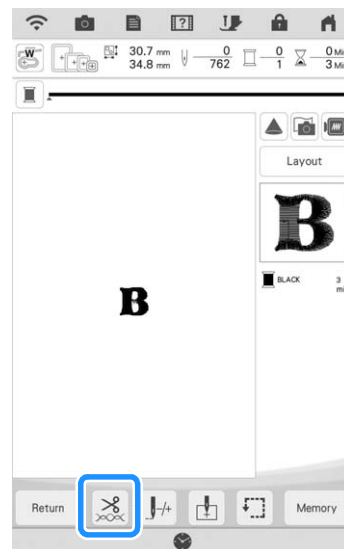
- 下糸が正しくセットされていないと、上糸が強くなることがあります。このようなときは、P. 20「下糸をセットする」を参照して、下糸のセットを再度行ってください。



- ① 表
② 裏

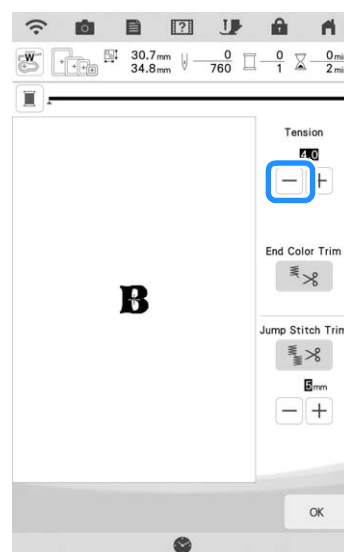
1

✂️を押します。



2

⏪を押して、上糸を弱くします。(押すごとに糸調子の数値が小さくなります。)



3

OKを押します。

3

編集の応用

■ 上糸が弱すぎる（上糸が裏に出る）場合

上糸が弱すぎると、表側の刺しゅう糸がたるんで、糸のしまりがゆるくなったり、表側に糸のループができたりします。

🔔 お願い

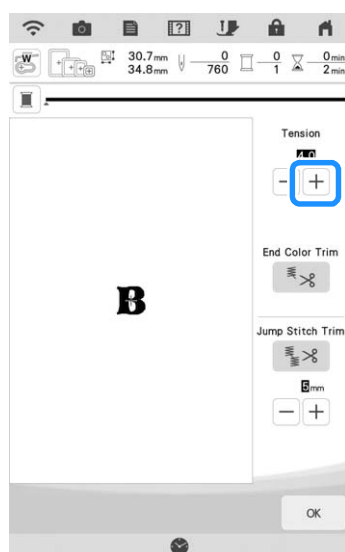
- 上糸が正しくセットされていないと、上糸が弱くなることがあります。このようなときは、P. 22「上糸通し」を参照して、上糸のセットを再度行ってください。



- ① 表
② 裏

1 を押します。

2 を押して、上糸を弱くします。（押すごとに糸調子の数値が大きくなります。）



3 を押します。

🔔 お願い

- 上糸の張力は刺しゅう設定画面の 8 ページで調整することができます。設定画面で設定すると、すべての模様に適用されます。刺しゅうのとき、上糸調子が全体的に強すぎたり弱すぎたりするときに、設定画面で調整してください。上糸を強くするときは数字を上げ、弱くするときは数字を下げてください。



■ 上糸調子を全体的に調整する

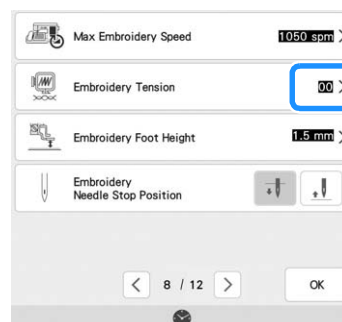
刺しゅうをしているときに、上糸調子が全体的に強すぎたり弱すぎたりする場合は、設定画面で調整してください。

さらに、模様ごとに微調整が必要な場合は、P. 103「糸調子を整える」を参照してください。

1 を押して、 を押します。

2 [Embroidery Tension（刺しゅうの糸調子調整）] の数字を押して上糸調子を調整します。

- * 数値を上げると、上糸調子が強くなります。
- * 数値を下げると、上糸調子が弱くなります。

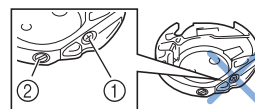


3 を押します。

下糸張力調整用内かま（調整ネジに着色なし）を調整する

ブラザー推奨以外の刺しゅう下糸で刺しゅうするときは、下糸張力調整用内かま（ネジに着色なし）を使用します。このとき、試しぬいをして、必要に応じて、下糸調子を調整してください。詳しくは、P. 53「きれいに刺しゅうするために」を参照してください。

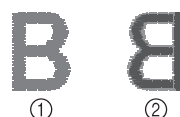
下糸張力調整用内かま（ネジに着色なし）を使用するとき、下糸の糸調子を調整する場合は、ドライバー（小）でマイナスネジを回します。



- ① プラスネジは回さないでください。
② ドライバー（小）で調整します。

■ 正しい糸調子

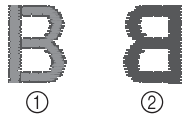
上糸が布地の裏側に少し見えています。



- ① 表
② 裏

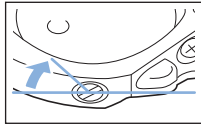
■ 下糸が弱すぎる場合

下糸が布地の表側に少し見えています。



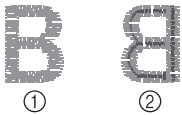
- ① 表
- ② 裏

このようなときは、しめ過ぎないように時計回りに 30 ～ 45 度程度マイナスネジを回して、糸調子を強くします。



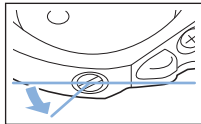
■ 下糸が強すぎる場合

表側の上糸が盛り上がり、ループになっていて、下糸が裏側に見えません。



- ① 表
- ② 裏

このようなときは、ゆるめ過ぎないように反時計回りに 30 ～ 45 度程度マイナスネジを回して、糸調子を弱くします。



⚠ 注意

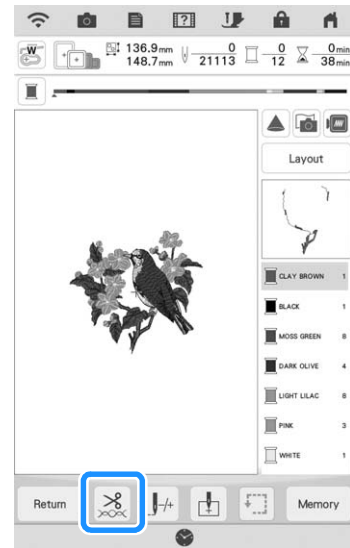
- 下糸張力調整用内かまを調整するときは、必ずボビンを取り出してください。
- 下糸張力調整用内かまのプラスネジは回さないでください。内かまが破損し、使用できなくなるおそれがあります。
- マイナスネジを回しにくい場合、無理に回さないでください。ネジを回し過ぎたり、回る方へ無理に回したりすると、破損するおそれがあります。破損した場合、適切な糸調子を維持できなくなる場合があります。

自動糸切り機能

自動糸切り機能 は、刺しゅうが終わるところで自動的に糸を切ります。この機能はあらかじめ設定されています。設定を解除するときは、 を押してから を押します。

- * ミシンの電源を切ったときは、標準設定 () に戻ります。

1 を押します。



2 を押して、自動糸切りを解除します。



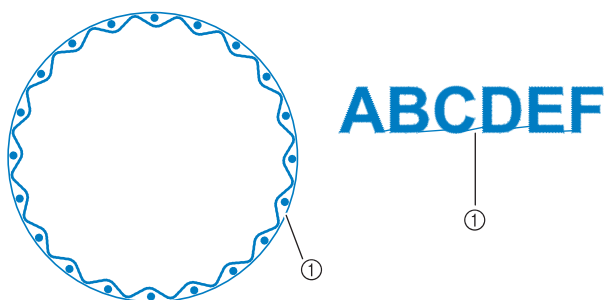
→ 表示が、 に変わります。

- * 1 色ぬい終わると、ミシンは糸を切らずに停止します。

渡り糸切り機能

渡り糸切り機能  は、余分な渡り糸を自動的に切ります。この機能はあらかじめ設定されています。設定を解除するときは、 を押してから  を押します。この機能は、刺しゅうの途中で設定／設定解除できます。

* ミシンの電源を切っても設定は保存されます。

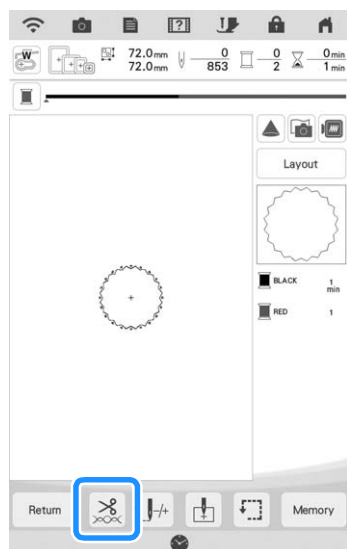


① 渡り糸

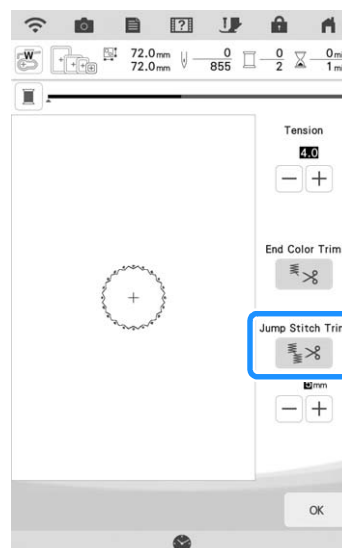
💡お願い

- アルファベットのように、短い渡り糸を自動糸切り機能を設定して刺しゅうするときは、ボールポイント針（刺しゅう用）を使用してください。他の針を使用すると、糸切れが発生するおそれがあります。

1 を押します。



2 を押して、渡り糸切りを解除します。



→ 表示が、 に変わります。

* ミシンは、次のぬい目に進む前に糸を切りません。

■ 渡り糸の長さを調整して糸切り機能を選択する

糸切り機能  が設定されている場合、残しておく渡り糸の長さを選ぶことができます。設定した長さより短い糸は切りません。この機能は、刺しゅうの途中で設定／設定解除できます。5 mm から 50 mm まで、5 mm きざみで設定を選択できます。

* ミシンの電源を切っても設定は保存されます。

 または  を押して、渡り糸の長さを選択します。

例： を押して 25 mm を選ぶと、ミシンは次のぬい目に移動する前に、25 mm 以下の渡り糸を切らずに残します。



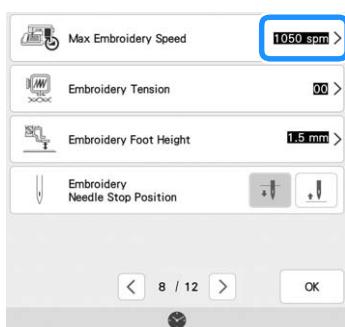
💡お願い

- 糸切りの多い模様の場合は、布地の裏面に残る糸の量を減らすために、渡り糸の長さ調節を長めに設定することをお勧めします。
- 渡り糸の長さを選ぶ数値が大きければ大きいほど、糸を切る回数が減ります。この場合、布地にはより多くの渡り糸が残ることになります。

刺しゅうの速度を調節する

- 1 [] を押して、[] を押します。
- 2 [Max Embroidery Speed (刺しゅうの最高速度)] の数字を押して刺しゅうの速度を調整します。

* 刺しゅうの最高速度は 8 段階あります。



お知らせ

- spm は 1 分あたりの針数を示します。
- 薄地、厚地、重い布地に刺しゅうするとき、速度を遅くします。
- 刺しゅうをしている途中でも刺しゅう速度を変えることができます。
- 速度の設定は、電源を切っても保存されます。
- メタリックなどの特殊な糸を使用するときは、速度を 600 spm に設定してください。

- 3 [OK] を押します。

刺しゅうの糸番号、糸色名を表示する

糸色名または糸番号を表示できます。

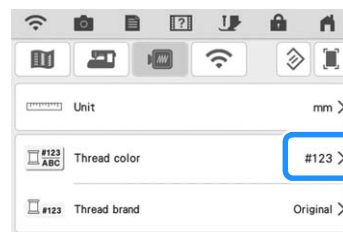
お知らせ

- 画面に表示される色が、実際の糸こまの色と異なる場合があります。
- 刺しゅうデータがソフトウェアで作成されたときの糸ブランドを保持して模様を取り込む、[Original (オリジナル)] が標準設定されています。

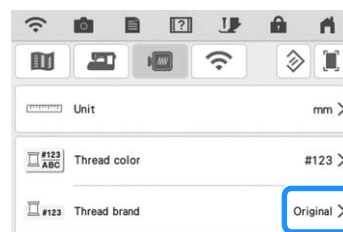
- 1 [] を押して、[] を押します。

- 2 [Thread color (糸色)] で糸色名または糸番号を表示させます。

* [#123] に設定すると、お好みの糸ブランドの糸番号を表示できます。



- 3 [#123] に設定した場合は、糸ブランドを選択します。



お知らせ

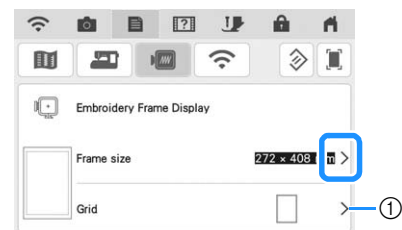
- 糸ブランドの設定は、次に模様を読み込まれるときに反映されます。

- 4 [OK] を押します。

刺しゅうの枠表示を変える

- 1 [] を押して、[] を押します。

- 2 [Embroidery Frame Display (刺しゅうの枠表示)] で、> を押して刺しゅうの枠表示モードを変更します。

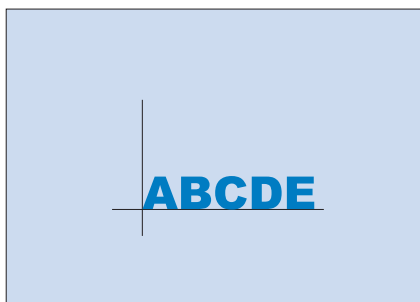


① 中心マークと格子線の表示を変更します。

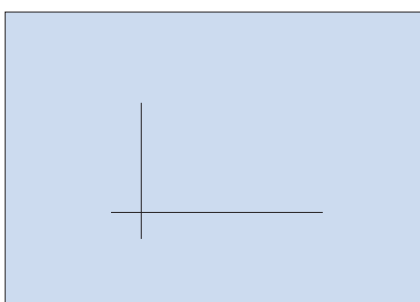
- 3 [OK] を押します。

模様と針を合わせる

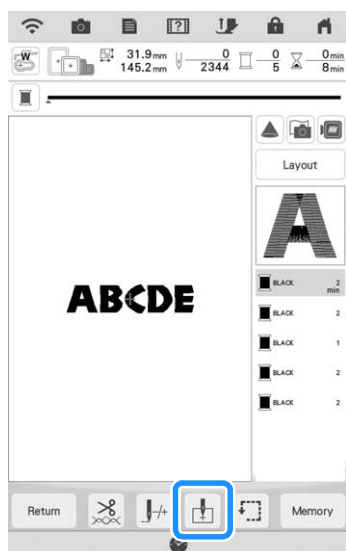
例：模様の左下と針を合わせます。



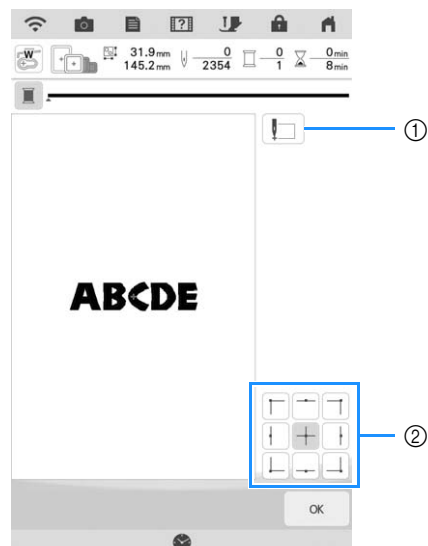
- 1 次のように、刺しゅうを始める位置に印をつけます。



- 2  を押します。



- 3  を押して、 を押します。



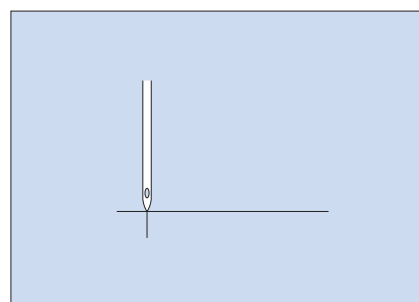
① このキーを押すと、文字をつなげて刺しゅうすることができます。(P. 109)

② ぬい始めの位置

→ 針が模様の左下に移動します（刺しゅう枠が、針が正しい位置になるように動きます）。

- 4  を押して、 を押します。

- 5  を使用して、針と布地の印を合わせ、刺しゅうを始めます。



お知らせ

- 内蔵カメラで位置合わせをすることもできます。詳しくは P. 47 「内蔵カメラで縫製位置を合わせる」を参照してください。

文字をつなげて刺しゅうする

すべての文字が刺しゅう枠に収まらないときも、文字を一行につなげて刺しゅうすることが出来ます。

例：「ABCDE」の後に「FG」をつなげる場合

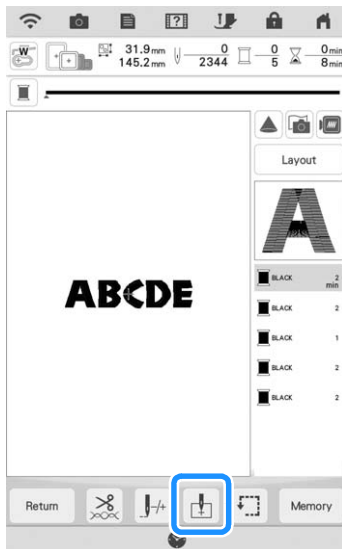
A B C D E F G

1 「ABCDE」の文字模様を選択します。

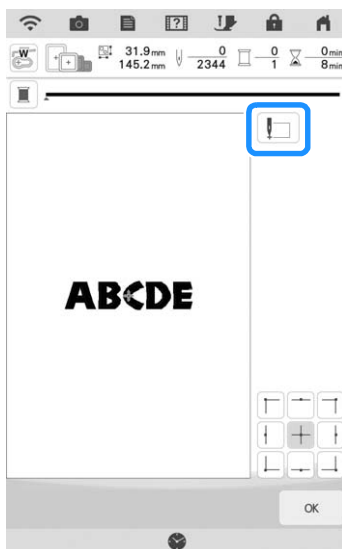
🔍 お願い

- 文字模様を選ぶときの詳しい手順については、P.74「文字模様を選ぶ」を参照してください。

2 を押します。



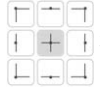
3 を押します。



→ ぬい始めが、模様の左下に設定されます。設定した位置に針が落ちるようにキャリッジが動きます。

🔍 お願い

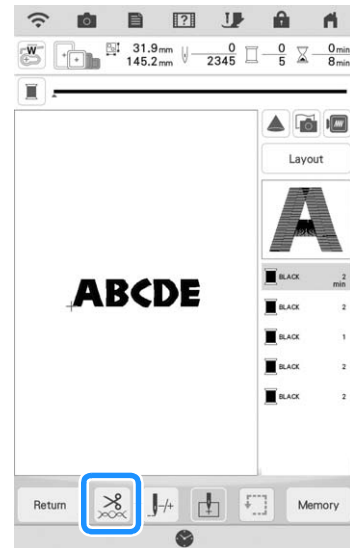
- ぬい始めの位置設定を解除して、針落ち位置を模様を中心に戻すときは、 を押してください。



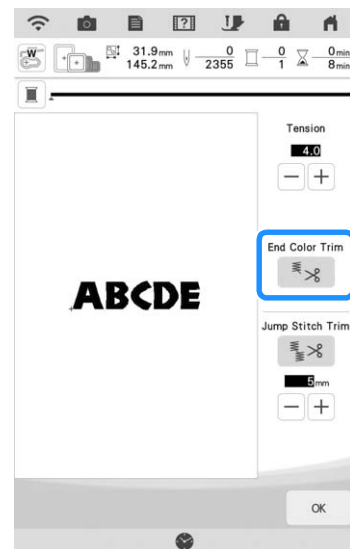
- ぬい始めの位置を変更する場合は、 を押します。

4 を押します。

5 を押します。



6 を押して糸切り機能を解除し、 を押します。

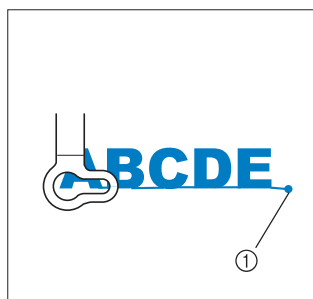


7 スタート/ストップスイッチを押します。

3

編集の応用

- 8 文字模様の刺しゅうが終わったあと、糸を長めに残して切り、刺しゅう枠を取り外します。布地を動かして、残りの文字模様(「FG」)が刺しゅうできるように刺しゅう枠をもう一度取り付けます。

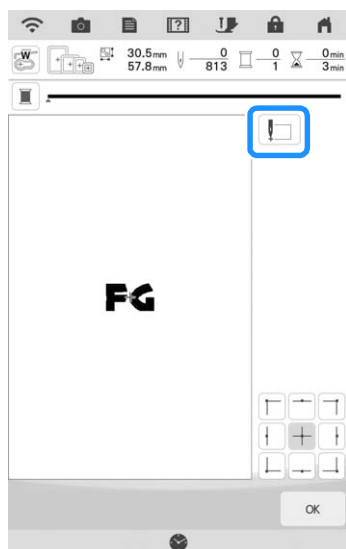


① ぬい終わり位置

- 9 手順 ① のように、「FG」の文字模様を選択します。

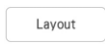
- 10  を押します。

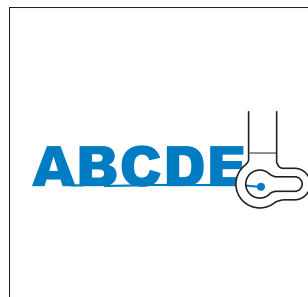
- 11  を押します。



→ ぬい始めが、模様の下左に設定されます。設定した位置に針が落ちるようにキャリッジが動きます。

- 12  を押します。

- 13  を押してから  を押し、先に刺しゅうした模様のぬい終わり位置からぬい始めるように、針を合わせます。



- 14 スタート/ストップスイッチを押して、残りの文字模様をぬい始めます。



お知らせ

- 内蔵カメラで位置合わせをすることもできます。詳しくは P. 47 「内蔵カメラで縫製位置を合わせる」を参照してください。

模様の記憶

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、以下の点に注意してください。



⚠ 注意

- 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成ソフトウェア（刺しゅうPROなど）で、刺しゅうデータを修正して使用してください。

3

編集の応用

■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、拡張子が「.pen」「.pes」「.phc」「.dst」「.phx」のファイルです。当社正規のデータ作成ソフトウェアまたはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、本機が誤作動するおそれがあります。上記拡張子のファイルをミシンに読み込んで、保存しなおしたときは「.phx」ファイルとして保存されます。

■ 使用可能な USB デバイス／メディア

刺しゅうデータは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してください。

- USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリ）

呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー／ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード（MMC）
- XD ピクチャーカード

💡 お願い

- USB デバイス／メディアに保存されたデータのサイズによっては、本機での処理速度が異なります。
- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページを参照してください。
- USB デバイス／メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始め、デバイス／メディアの認識に、5～6 秒かかります。（この時間は USB デバイス／メディアによって異なります）。

📄 お知らせ

- フォルダーを作成する場合は、パソコンを使用します。
- データのファイル名またはフォルダー名は半角英数字を使用してください。ファイル名の文字数によっては、すべてのファイル名が表示されないことがあります。

■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- 刺しゅうデータのファイル名とフォルダ名は半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、ファイルおよびフォルダーが表示されないことがあります。このときは名前を付け直してください。ファイル名、フォルダー名には、アルファベット 26 文字 (A ~ Z、a ~ z)、0 ~ 9 の数字、「-」もしくは「_」を使用してください。
- 縦 408 mm × 横 272 mm より大きい刺しゅうデータを選ぶと、模様を 90 度回転するかどうかのメッセージが表示されます。
模様を回転しても、縦 408 mm × 横 272 mm より大きくなるときは使用することができません。(模様は縫製範囲の縦 408 mm × 横 272 mm 以内にしてください。)
- 針数、色数の制限を超えて記憶した .pes ファイルは使用できません。組み合わせ模様は、最大針数 850,000、最大色数 127 を超えることはありません (これらはおよその数値で、模様全体の大きさによって異なります)。当社正規のデータ作成ソフトウェアで、制限内の模様に修正してご使用ください。
- USB デバイス／メディア内に作成されたフォルダーに格納された模様データは本機で読み込むことができます。
- 刺しゅう機を取り付けていないときでも、刺しゅうデータを読み込むことができます。

■ Tajima (.dst) 刺しゅうデータ

- .dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で表示されます (実際のイメージは表示されません)。ファイル名の文字数によっては、すべてのファイル名が表示されないことがあります。
- Tajima (.dst) データには、具体的な糸色の情報が含まれていないため、標準的な糸色で表示されます。プレビューを確認し、必要に応じて糸色を変えます。

刺しゅう模様を記憶させる

自分の名前など、よく使う文字の組み合わせや、大きさや傾き、位置を変えた模様などを記憶させることができます。ミシンには 10 MB までの模様を記憶させることができます。

お願い

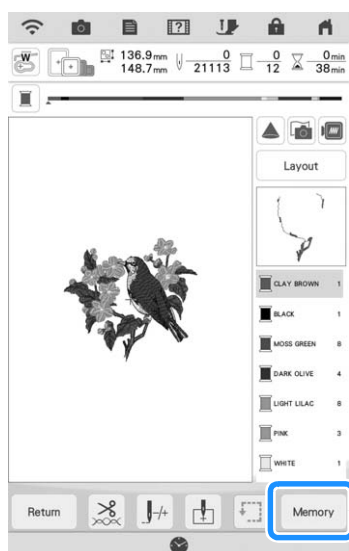
- [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。記憶しようとしている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した模様を呼び出すには、P. 113 を参照してください。

1 模様を縫製画面に表示されているときに、

Memory を押します。



2 を押します。

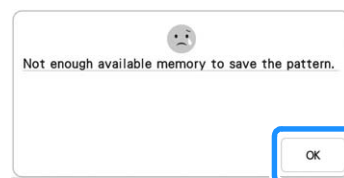
* Cancel を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

■ 記憶できないときは

以下のメッセージが表示されたときは、記憶させる模様の使用メモリー量がミシンの残りのメモリー容量を越えています。P. 113 「刺しゅう模様を呼び出す」を参照してください。



刺しゅう模様を呼び出す

1 を押します。



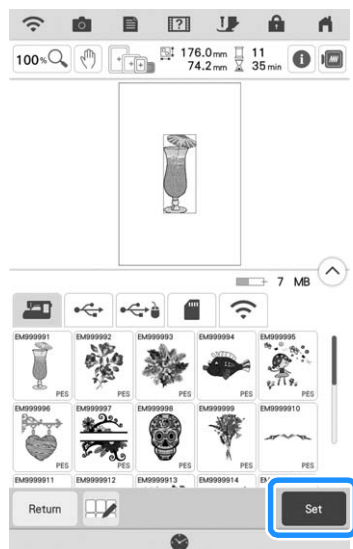
→ 現在記憶されている模様が表示されます。

2 呼び出したい模様のキーを押します。



3 Set を押します。

- * 模様を消去するときは、を押します。詳しくは P.117 「複数模様の記憶／削除」を参照してください。



→ 縫製画面が表示されます。

模様を市販の USB メディア／SD カードに保存する

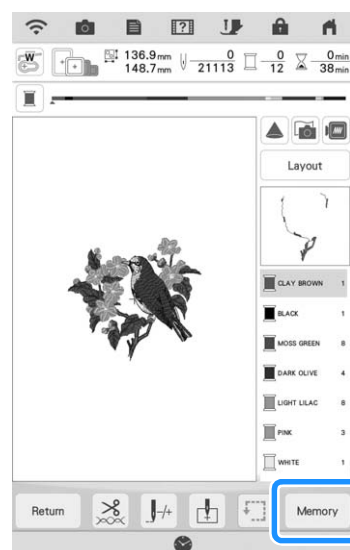
模様をミシンから USB メディア／SD カードに送るときは、USB メディア／SD カードをミシンの USB ポートコネクタ／SD カードスロットに差し込みます。

お知らせ

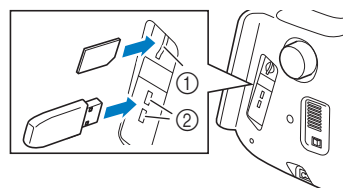
- 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーのホームページを参照してください。
- USB メディアの種類によって、ミシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、ミシンの USB ポートコネクタに USB カードライター／リーダーを差し込みます。
- USB メディア／SD カードは、いつでも挿入、取り外しができます。

1 模様が縫製画面に表示されているときに、Memory を押します。

Memory



2 USB メディア／SD カードをミシンの USB ポートコネクタ／SD カードスロットに差し込みます。



- ① SD カードスロット
- ② USB ポートコネクタ

お願い

- USB ポートコネクタには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。ミシンが破損するおそれがあります。
- SD カードスロットには、SD カード以外のものを挿入しないでください。ミシンが破損するおそれがあります。

3 記憶したいメディアのキーを押します。

- *  を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ [Saving... (記憶中...)] のメッセージが表示されます。模様は「bPocket」フォルダーに保存されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

🔍 お問い合わせ

- [Saving... (記憶中...)] のメッセージ画面が表示されている間は、USB メディア / SD カードを抜き差ししないでください。記憶中の模様が欠損あるいは、消去されることがあります。

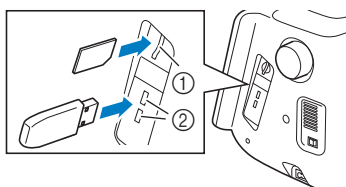
USB メディア / SD カードから呼び出す

特定の模様を USB メディア / SD カードから、または USB メディア / SD カードのフォルダーから直接呼び出すことができます。模様がフォルダーに格納されている場合は、模様を見つけるために各フォルダーを確認します。

📖 お知らせ

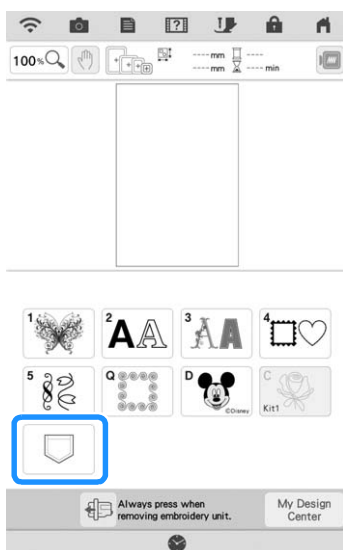
- データの量によって、処理速度が異なります。

- 1 USB メディア / SD カードをミシンの USB ポートコネクタ / SD カードスロットに差し込みます。



- ① SD カードスロット
- ② USB ポートコネクタ

- 2  を押します。

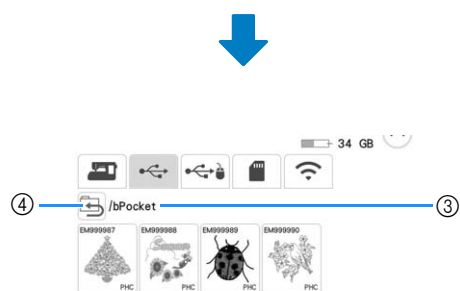
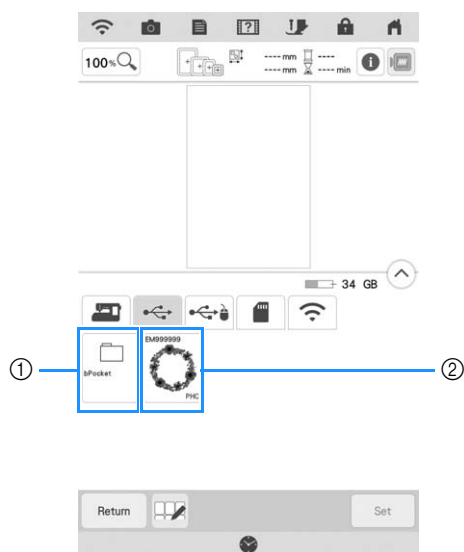


- 3 呼び出したいメディアのキーを押します。



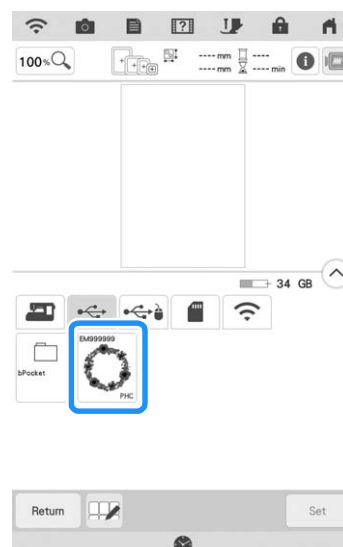
→ 刺しゅうデータと、最上位フォルダー内のフォルダーが表示されます。

- 4** 複数の模様を分類するためのサブフォルダーが USB メディア / SD カードにある場合は、 を押します。



- ① フォルダー名
- ② USB メディア / SD カード内の刺しゅう模様
- ③ パス
- * 現在のフォルダーのパスがリストの上に表示されます。
フォルダー内の刺しゅう模様とサブフォルダーが表示されます。
- ④  を押すと、前のフォルダーに戻ります。
- * フォルダーは、パソコンで作成してください。ミシンでフォルダーを作成することはできません。

- 5** 呼び出したい模様のキーを押します。



→ 模様が選択されます。

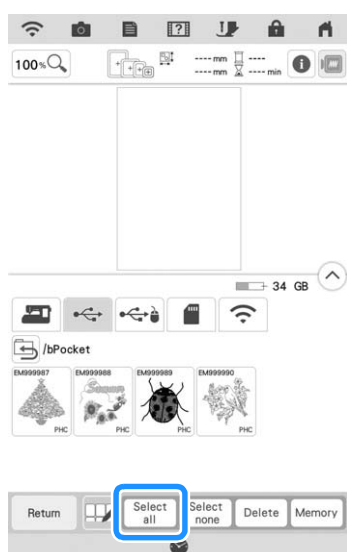
*  を押すと、元の画面に戻ります。

- 6**  を押します。

複数模様の記憶／削除

USB メディア／SD カードなどから、全データまたは選択したデータをミシンに記憶することができます。

- 1 を押してから、対応するメディアのキーを押します。
- 2 を押します。
- 3 サムネイルから模様を選択するか、を押します。



→ 選択した模様はサムネイルが青く表示されます。

お知らせ

- 選択を解除するときは、もう一度サムネイルを押すか、を押します。
- 模様を削除するときは、を押します。
- USB メディアまたは SD カードを選択すると、が表示されます。を選択すると、選択したすべてのファイルをミシンに記憶します。

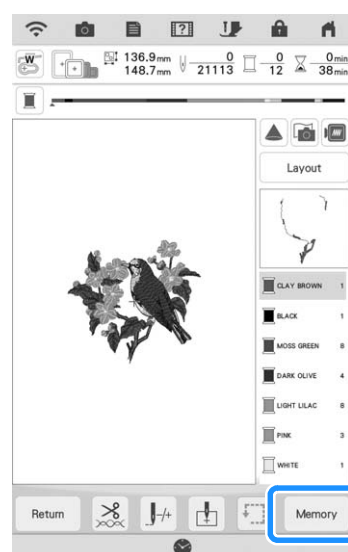
刺しゅう模様を転送する

詳しくは、刺しゅう PRO（バージョン 11 以降）の取扱説明書を参照してください。

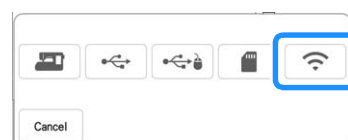
お知らせ

- パソコンとミシンが異なる無線ネットワークに接続されている場合、刺しゅう模様は転送できません。同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。

- 1 縫製画面に転送したい模様を表示して、を押します。



- 2 を押します。



→ 模様が無線 LAN 転送用のフォルダーに保存されます。

ミシンで刺しゅう模様を受け取る

詳しくは、刺しゅう PRO（バージョン 11 以降）の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- パソコンとミシンが異なる無線ネットワークに接続されている場合、刺しゅう模様は転送できません。同じ無線ネットワークに接続されていることを確認してください。

- 1 ミシンの模様タイプ選択画面で  を押し、 を押します。



- 2 呼びだしたい模様を一覧から選択します。

編集の応用

アップリケピースを作る

内蔵模様や読み込んだ模様から、アップリケピースを作ることができます。布地に直接刺しゅうできないときや、衣類にアップリケを貼りたいときに便利です。

■ アップリケピースを作る

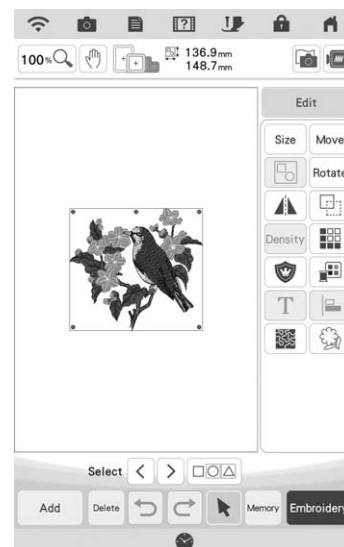
ここでは、次の模様を使ってアップリケピースを作ります。



💡 お願い

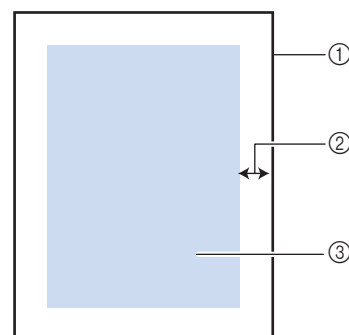
- アップリケピースをつくるときは、フェルトやデニムの使用をお勧めします。薄い布地など、模様や布地によっては、ぬい縮みすることがあります。
- きれいに仕上げるため、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。
- 模様の大きさに合った刺しゅう枠を選んでください。使用可能な枠が画面に表示されます。
- アップリケピースを作るときは、別売のボーダー枠を使用しないでください。模様の糸密度や布地によっては、模様がぬい縮みすることがあります。

1 模様を選択し、必要に応じて編集します。



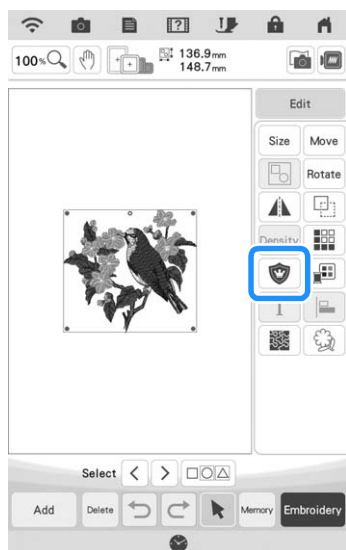
💡 お願い

- 模様の組み合わせや編集を終えてから、アップリケ設定をしてください。アップリケ設定をした後に模様を編集すると、アップリケぬいと模様がずれることがあります。
- アップリケ設定をすると輪郭線が追加されるため、模様が大きくなります。次の図のように、はじめに模様の大きさと位置を調整してください。

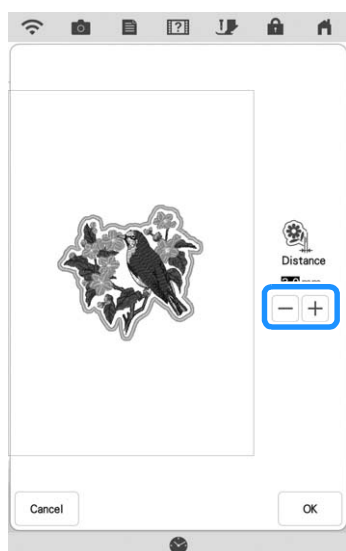


- ① 縫製範囲
- ② 1 cm 程度
- ③ 模様の大きさ

2 を押してから  を押します。



3 模様からアップリケピースの輪郭線までの距離を設定します。

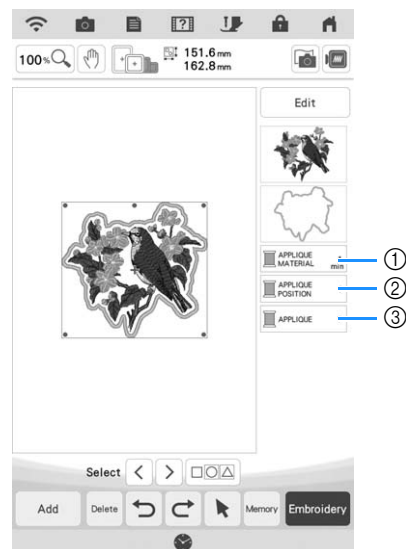


お知らせ

- このとき、模様とアップリケピースの輪郭線はグループ化されています。
- アップリケピースの作成ステップが、刺しゅうの順番に追加されます。

お知らせ

- 刺しゅうの順番に、アップリケの切り取り線／布地にアップリケを配置する位置／アップリケぬいの3つのステップが追加されます。



- ① アップリケの切り取り線
- ② 布地にアップリケを配置する位置
- ③ アップリケぬい（輪郭線）

お願い

- 模様が大きいときや複雑なとき、組み合わせ模様が近い位置にないときは、アップリケピースを作成することはできません。選択した模様が縫製範囲に収まっていても、輪郭線が追加されることで、アップリケの模様全体が縫製範囲を超える場合があります。エラーメッセージが表示されたときは、別の模様を選択するか、編集を行ってください。

4 を押します。

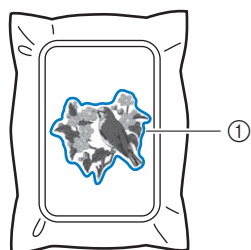
5 アップリケピースとして使用する布（フェルトやデニム）の裏に、接着芯を貼ります。

お願い

- きれいに仕上げるため、刺しゅう用接着芯を使用してください。

6 アププリケ布を刺しゅう枠に張り、ミシンにセットして、刺しゅうをスタートします。

7 模様の刺しゅうが終わったら、切り取り線に使用する上糸を通して、切り取り線 (APPLIQUE MATERIAL) をぬいます。

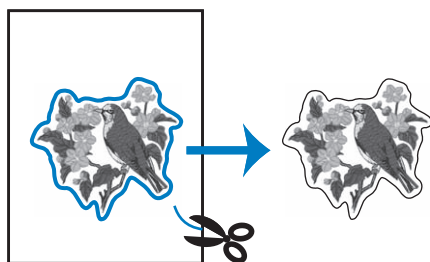


① アププリケの切り取り線

お知らせ

- アププリケの切り取り線には、布地に近い糸色を使用することをお勧めします。

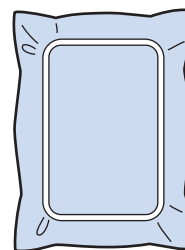
8 アププリケ布を刺しゅう枠から外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。その後、糸をきれいに取り除きます。



お願い

- 模様の糸密度や布地によっては、模様がぬい縮みしたり、位置がずれることがあります。切り取り線より少し外側を切ることをお勧めします。
- 上下対称、左右対称の模様をぬうときは、切り取る前に、チャコペンで模様の向きがわかるように印をつけてください。
- 必ずぬい目の上をていねいに切り取ってください。ぬい目よりも内側を切るとアププリケをぬうときに布地に糸がかからなくなります。

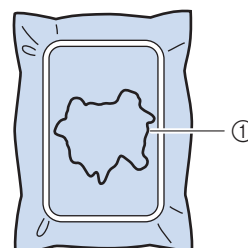
9 2枚の水溶性シートを、粘着面を内側にし、刺しゅう枠に張ります。



お願い

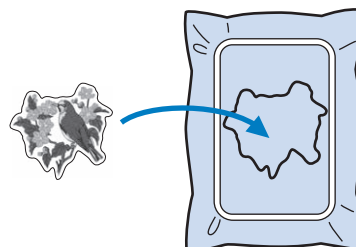
- 水溶性シートを使うと、アププリケの輪郭線をぬった後に接着芯を切り取る必要がありません。ぬい縮みを少なくするために、水溶性シートの使用をお勧めします。
- 縫製中に水溶性シートが破れるおそれがありますので、2枚貼り合わせて使用してください。

10 手順 12 で輪郭線をぬうときに使用する上糸を通して、模様の配置線 (APPLIQUE POSITION) をぬいます。



① 模様の配置線

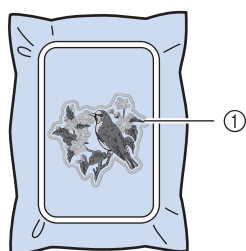
11 のりまたはスプレーのりを薄くつけ、アププリケピースを配置線に合わせて貼り付けます。



お願い

- 貼り付ける前に、アププリケピースが配置線と合っていることを確認してください。

- 12** 手順 10 から使用している輪郭線用の上糸で、輪郭線 (APPLIQUE) をぬいます。



① アププリケの輪郭線

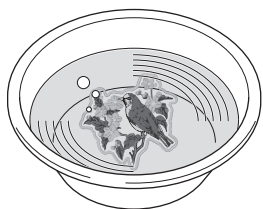
お知らせ

- アププリケの輪郭線はサテンぬいでぬわれます。
- このとき、刺しゅう押えや針、針板にのりが付着することがあります。アププリケ縫製後にのりをふき取ってください。

- 13** ぬい終わったら、水溶性シートを刺しゅう枠から外します。

- 14** アププリケの輪郭線の外側の余分な水溶性シートをはさみで切ります。

- 15** アププリケピースを水に浸し、水溶性シートを溶かします。



- 16** アププリケピースを乾かし、必要に応じてアイロンをかけます。

お願い

- アイロンで強い力をかけないでください。ぬい目が損傷するおそれがあります。

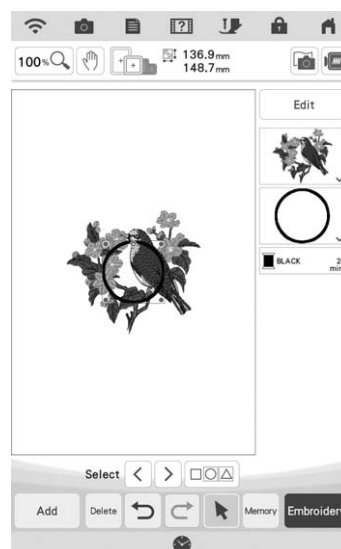
■ 輪郭に枠模様を使う

好みの枠模様をアププリケの輪郭として追加することができます。枠模様の選択については、P. 45「枠模様を選ぶ」を参照してください。

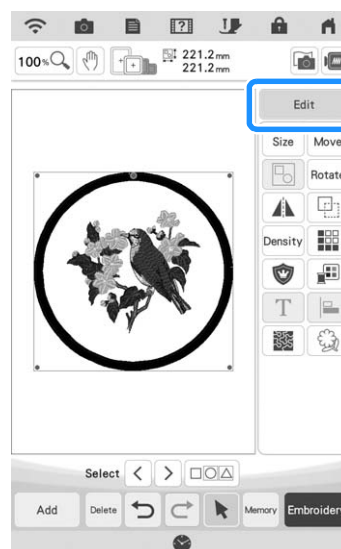


- 1** 模様を選択し、必要に応じて編集します。

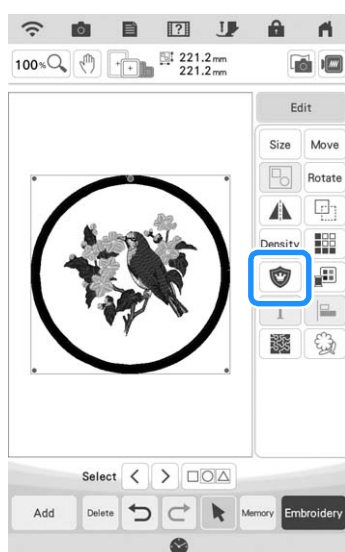
- 2** お好みの枠模様を選択し、アププリケ模様を追加します。



- 3** **Edit** を押して、アププリケ模様の大きさに合うようにフレーム枠を編集します。

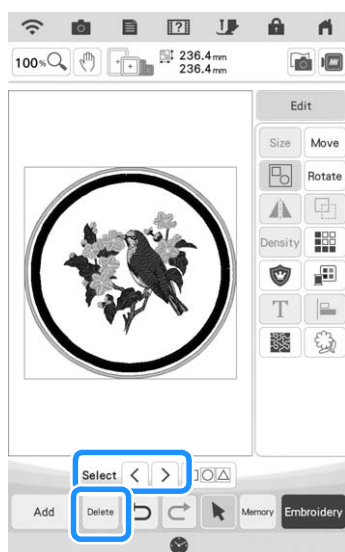


- 4  を押して、アップリケピースの設定をします。



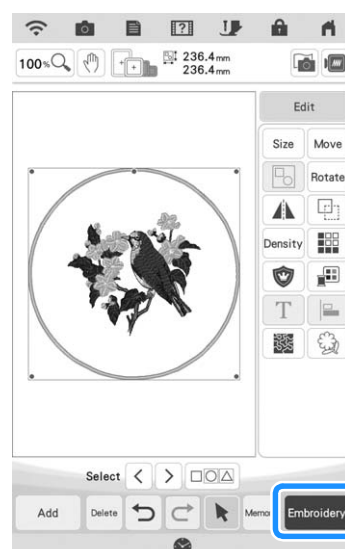
- 5  を押して、グループ化を解除します。

- 6   で枠模様を選択し、 を押して、 を押します。



→ 枠模様が消去されます。

- 7  を押します。



- 8 P. 120 の「アップリケピースを作る」、手順 ⑤ 以降の操作を行い、アップリケピースを完成します。

アップリケを使う

このミシンでは、アップリケが含まれている模様を刺しゅうすることができます。刺しゅう色替え順表示で、 APPLIQUE MATERIAL (アップリケピース)、 APPLIQUE POSITION (アップリケノイチ)、 APPLIQUE (アップリケ) と表示された場合は、以下の手順に従ってください。

1. アップリケピースを作る
↓
2. 土台の布地にアップリケの位置をぬう
↓
3. アップリケピースを土台用の布地に貼り付ける
↓
4. 残りのパーツをぬいあげる

用意するもの

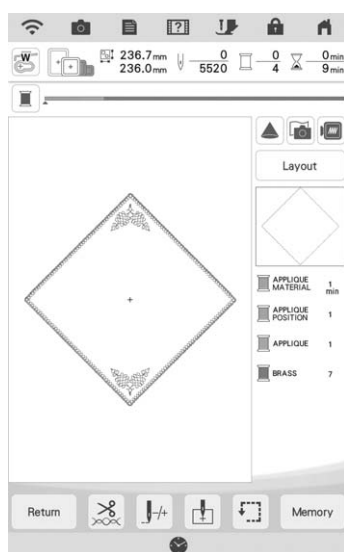
- アップリケピース用の布地
- アップリケ土台用の布地
- 刺しゅう用接着芯
- 手芸用のり
- 刺しゅう糸

💡 お願い

- 刺しゅう色順番表示で、APPLIQUE MATERIAL (アップリケピース)、APPLIQUE POSITION (アップリケノイチ)、APPLIQUE (アップリケ) が表示されるときは、使用する糸色名・糸番号は表示されません。アップリケ模様にあった糸色を選択してください。

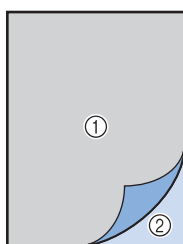
■ 1. アップリケピースを作る

- 1 アップリケ模様を選択して縫製画面に進みます。



- 2 アップリケ布地の裏に刺しゅう用接着芯を貼ります。

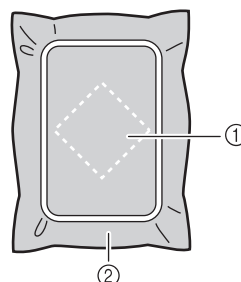
布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう機にセットします。



- ① アップリケ (綿、フェルトなど)
② 接着芯

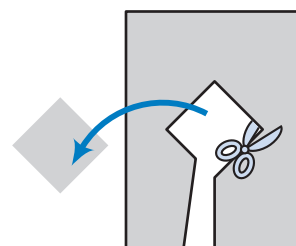
- 3 刺しゅう糸をセットし、押えレバーを下げ、スタート/ストップスイッチを押し、アップリケピースの切り取り線をぬいます。

→ アップリケピースの切り取り線をぬってミシンが止まります。



- ① アップリケピースの切り取り線
② アップリケピースの布地

- 4 アップリケピースの布地を刺しゅう枠から取り外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

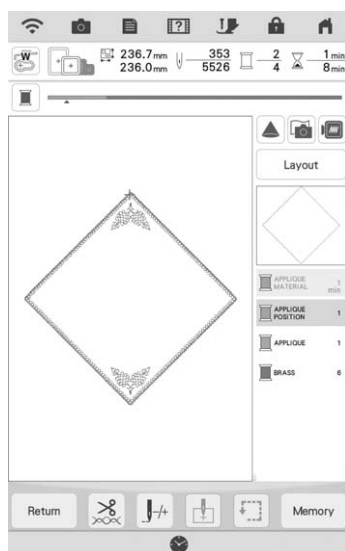


💡 お願い

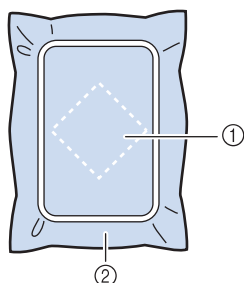
- 切り取り線よりも内側を切ると、布地に正しくぬいつけられなくなります。必ず切り取り線の上をていねいに切り取ってください。
- アップリケピースを切り取った後、糸はきれいに取り除いてください。

■ 2. 土台の布地にアップリケの位置をぬう

- 1 アップリケの土台になる布地の裏側に刺しゅう用接着芯を貼ります。
布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう機にセットします。
- 2 刺しゅう糸をセットし、押えレバーを下げ、スタート/ストップスイッチを押し、アップリケの位置をぬいます。



→ アップリケの位置をぬってミシンが止まります。



- ① アップリケの位置
② 土台の布地

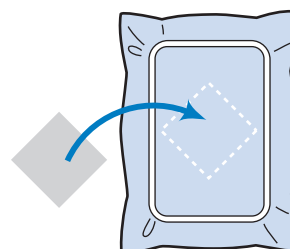
- 3 刺しゅう枠を刺しゅう機から取り外します。

💡 お願い

- 土台用の布は、模様をすべてぬい終わるまで刺しゅう枠から外さないでください。

■ 3. アップリケピースを土台用の布地に貼り付ける

- 1 アップリケピースの裏側に手芸用のりを薄く付け、「2. 土台の布地にアップリケの位置をぬう」の ② でぬったアップリケの位置線に合わせてしっかり貼り付けます。

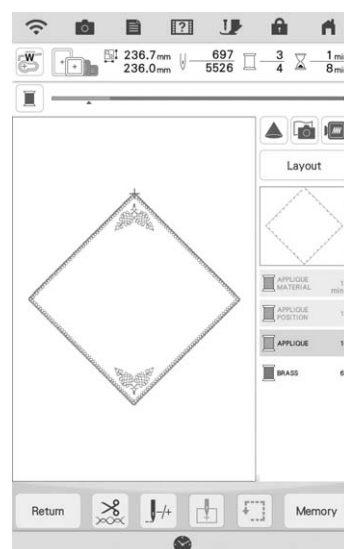


💡 お願い

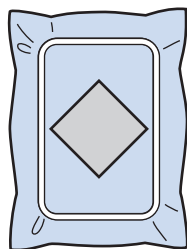
- アップリケピースを土台布にしっかり貼り付けていないと、刺しゅうのあいだにピースが浮き上がり、模様とピースがずれるおそれがあります。
- 手芸用のりでアップリケピースを土台布にしっかり固定できない場合は、しつけ糸で仮止めぬいをしてピースを固定してください。
- アップリケピースに薄い布地を使用するときは、アイロン接着シートで布地の補強と位置合わせをしてください。アップリケしたい場所にアイロンで接着できます。
- 土台用の布にアップリケピースを接着するときは、刺しゅう枠から布地を外さないでください。

- 2 アップリケピースを貼り付けたら、刺しゅう枠をミシンにセットします。

刺しゅう糸をセットし、押えレバーを下げ、スタート/ストップスイッチを押し、アップリケを刺しゅうします。



→ アププリケピースを土台の布地に刺しゅうされて、ミシンがストップします。

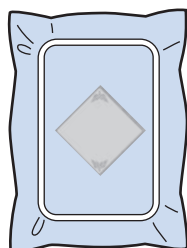
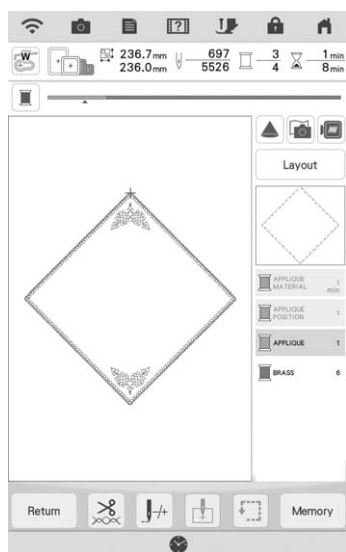


お知らせ

- 選択した模様によっては、**APPLIQUE MATERIAL** (アププリケピース)、**APPLIQUE POSITION** (アププリケノイチ)、**APPLIQUE** (アププリケ) の3つの手順すべてが表示されないものがあります。**APPLIQUE** (アププリケ) が糸色で表示される場合は、その糸色で刺しゅうします。

4. 残りのパーツを刺しゅうする

- 1 刺しゅう色順番表示に従って刺しゅう糸を交換し、残りのパーツを刺しゅうします。



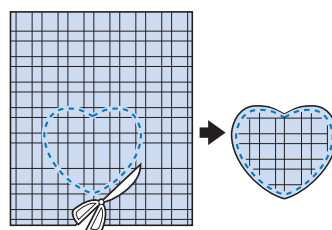
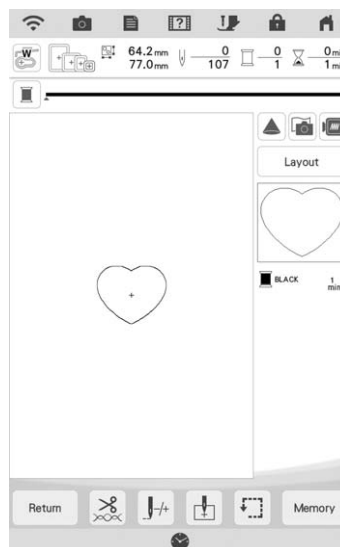
お知らせ

- 刺しゅう押えや針、針板にのりが付くことがありますので、アププリケ模様の刺しゅうが終わったら、のりをきれいに拭き取ってください。
- きれいに仕上げるために、糸替えごとに余分な糸は切ってください。

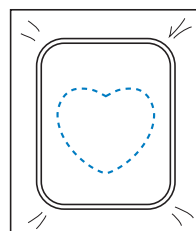
枠模様を使ってアププリケをする (1)

大きさと形が同じ枠模様を使用して、アププリケを作ることができます。直線ぬいで1つの模様をぬい、サテンぬいでもう1つの模様をぬいます。

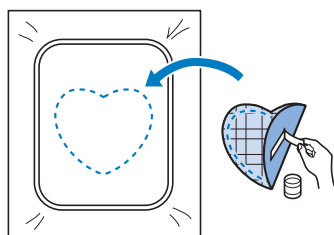
- 1 直線ぬいの枠模様を選択します。アププリケ布に模様を刺しゅうをしてから、ぬい目の外側をていねいに切り取ります。



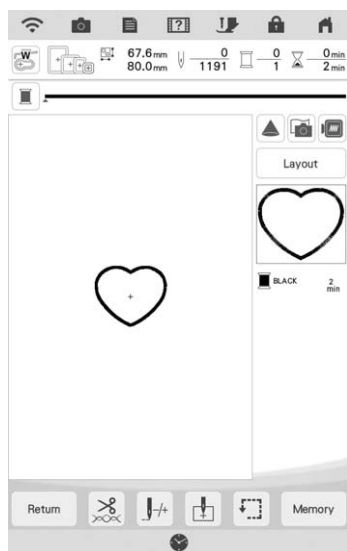
- 2 ①と同じ模様を土台布に刺しゅうします。



- ③ ① で作ったアップリケ布の裏側に、薄くのりまたは布用スプレーのりを付けます。土台布のぬい目に合わせて、アップリケを貼り付けます。

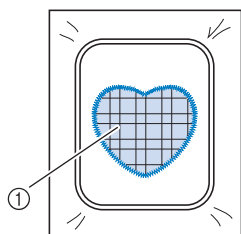


- ④ 同じ形のサテンぬいの枠模様を選択します。③ のアップリケ布と土台布の上に刺しゅうをして、アップリケを作ります。



❖ お願い

- 枠模様を選ぶときに、大きさやぬい位置を変えた場合は、サイズと位置を書き留めてください。

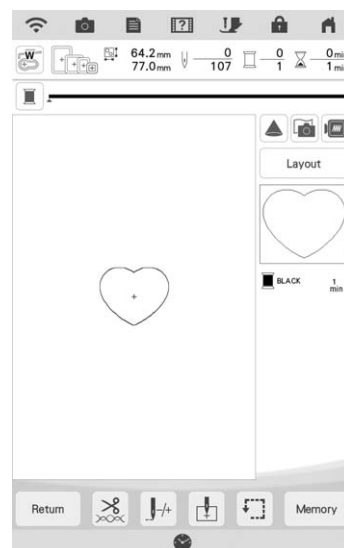


① アップリケ布

枠模様を使ってアップリケをする (2)

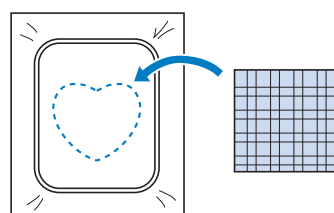
もう1つのアップリケの作り方です。この方法では布地を張り替える必要がありません。直線ぬいで1つの模様をぬい、サテンぬいでもう1つの模様をぬいます。

- ① 直線ぬいの枠模様を選択し、土台布に刺しゅうします。

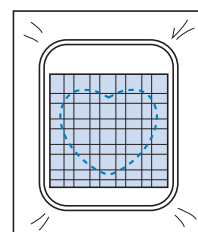


- ② ① の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。

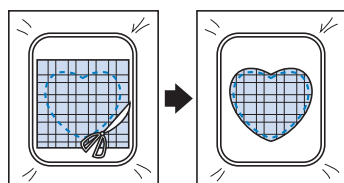
* このとき、ぬい目がアップリケ布からはみでないようにしてください。



- ③ アップリケ布の上からもう一度同じ枠模様を刺しゅうします。



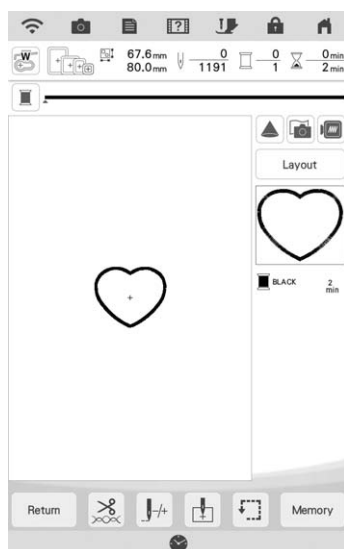
- 4 刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。



💡 お願い

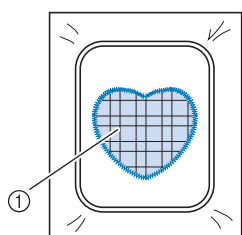
- 布地は刺しゅう枠にはめたまま切ってください。また、布地に無理な力をかけないでください。枠に張った布地がたるむことがあります。

- 5 同じ形のサテンぬいの枠模様を選択します。



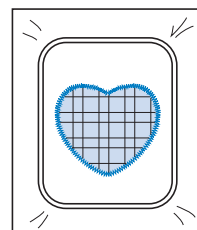
💡 お願い

- 模様の大きさと位置を変えないでください。
- 枠模様を選ぶときに、大きさとぬい位置を変えた場合は、サイズと位置を書き留めてください。



① アププリケ布

- 6 刺しゅう枠を刺しゅう機にセットし、サテンぬいの模様を刺しゅうしてアププリケを作ります。



ステッピングやエコーキルトを自動的に作る

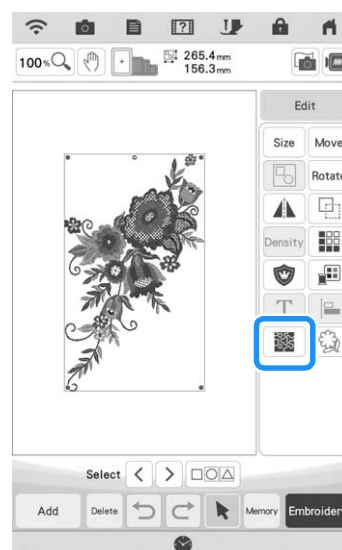
My Design Center (マイデザインセンター) を使わずに、本機に内蔵の模様や刺しゅうデータの周りにステッピングやエコーキルト模様を作ることができます。

📌 お知らせ

- この機能で、キルト綿を布にはさんだ状態で模様とステッピングをぬうと、刺しゅう模様とステッピングがずれる場合があります。模様を刺しゅうしてから、マイデザインセンターでステッピング模様を追加する方法もあります。詳しくは P. 180 「刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする (キルト機能)」を参照してください。

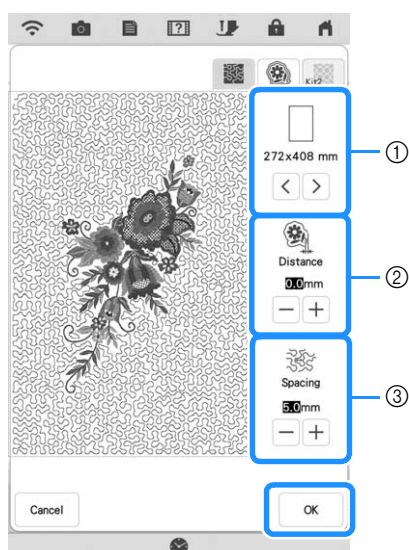
- 1 周りにステッピングを施したい模様を選択します。

- 2 編集ウィンドウで  を押します。



→ 選択した模様の周囲にステッピングが自動で作成されます。
複数の模様を選択するときは、P. 86 「複数の模様を選択する」を参照してください。

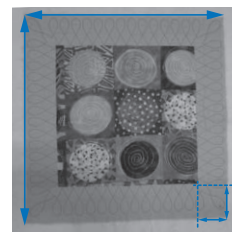
- 3 スティッピングの設定をした後、**OK** を押します。



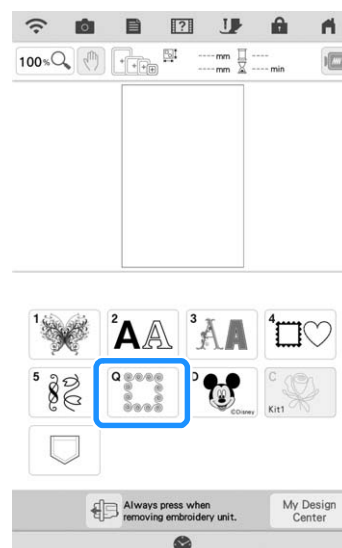
- ① 刺しゅう枠のサイズが選択されると、選択した枠のサイズに合わせて、スティッピングの範囲が広がります。選択した枠のサイズより模様が大きい場合、枠のサイズを示す範囲は灰色の表示になります。
 - ② 模様の輪郭からスティッピングまでの距離を設定します。
 - ③ スティッピングの間隔を設定します。
- * エコークルトを作るときは、スティッピング設定画面で  を押します。

キルトサッシ模様を刺しゅうする

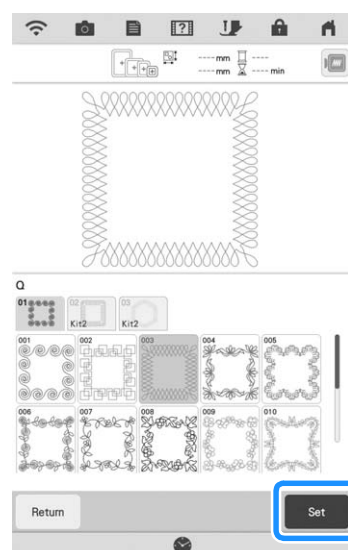
刺しゅう枠より大きいキルトサッシ模様は分割して刺しゅうすることができます。あらかじめ刺しゅうしたいキルトサッシの大きさを測っておきます。



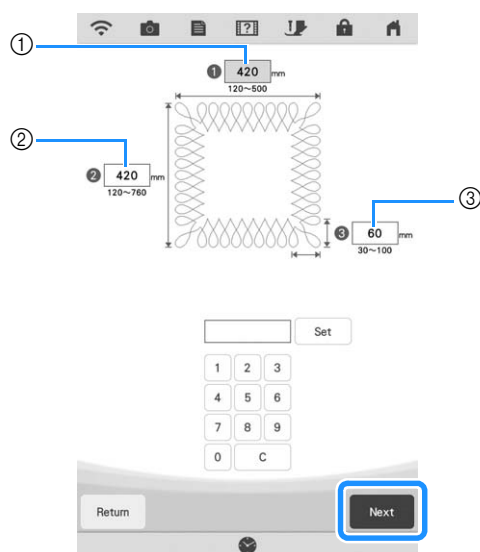
- 1  を押します。



- 2 キルトサッシ模様を選択して、**Set** を押します。



- ③ 幅の数値を入力してから **Set** を押し、同様に高さでキルトサッシ模様の帯幅をそれぞれ指定します。3つの数値を入力したら、**Next** を押します。

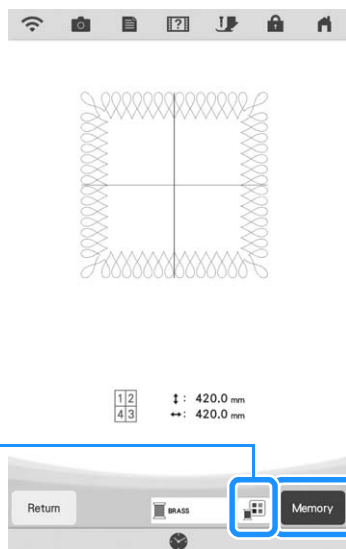


- ① 幅
② 高さ
③ キルトサッシ模様の帯幅

* 数値を消去するときは、**C** を押します。

→ 指定値を反映した模様が表示されます。

- ④ 分割模様を確認して、**Memory** を押します。



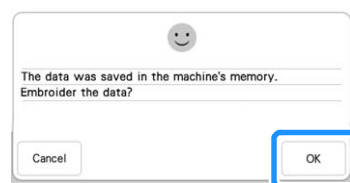
- ① 糸色を変えることができます。

→ 分割模様のデータがミシンに記憶されます。

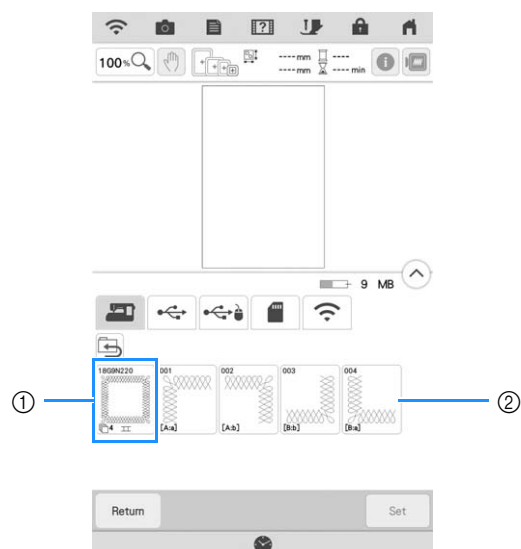
お知らせ

- 分割模様のデータを USB などの外部メディアに記憶することはできません。

- ⑤ 続けて模様を刺しゅうするときは、**OK** を押します。



- ⑥ 刺しゅう方法を選択し、**Set** を押します。



- ① 内蔵カメラで位置合わせをして刺しゅうするときは、模様全体が表示されたキーを押します。

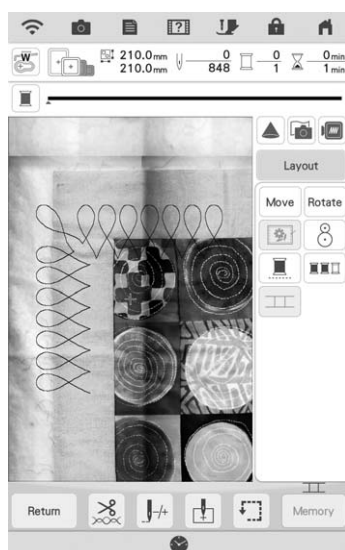
- ② 目視で位置合わせをして刺しゅうするときは、刺しゅうしたい個所が表示されたキーを押します。

* 本書は①の方法を紹介しています。②の方法は P. 132 「分割模様を刺しゅうする」を参照してください。

- ⑦ **Embroidery** を押します。

- ⑧ 最初の模様が縫製範囲に収まるように布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンに取り付け、スキャンします。背景スキャンについては、P. 93 「布地を表示して縫製位置を合わせる」を参照してください。

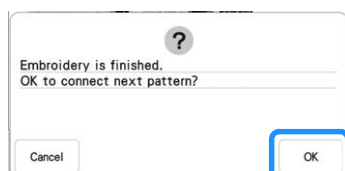
- 9 模様の移動や回転をして、背景に合わせます。



- 模様の移動については、P. 63「模様を移動する」を参照してください。
- 模様の回転については、P. 63「模様を回転させる」を参照してください。

- 10 最初の模様を刺しゅうします。

- 11 最初の模様がぬい終わると、次のメッセージが表示されます。OK を押します。

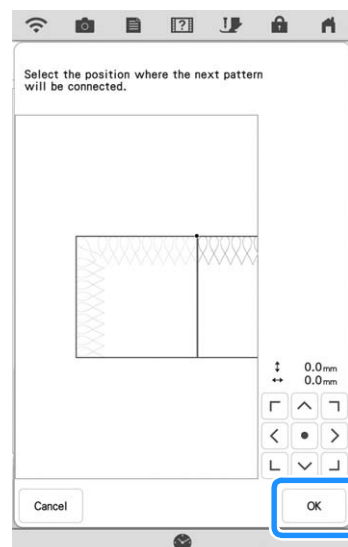


→ 布地を枠に張り直し、2 番目の刺しゅうに移ります。

- 12  を押します。



- 13 OK を押します。



- 14 「3つの模様をつなげる」のP. 136手順13からP. 138手順19に従って残りを刺しゅうします。

分割模様を刺しゅうする

刺しゅう PRO バージョン 7 以降で作成した分割模様を刺しゅうすることができます。大型の刺しゅう模様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅうデザインが複数のセクションに分割され、それぞれのセクションを刺しゅうした後にそれを組み合わせて 1 つの模様を作ることになります。

分割模様の作成および、より詳しい刺しゅうについては、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、USB メディア / SD カードから下図の分割模様を呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



■ 手動で模様をつなぐ

- 1 作成した分割模様が保存されたメディアをマシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様を選択します。

- * 模様の呼び出しについて詳しくは、P.115 「USB メディア / SD カードから呼び出す」を参照してください。



→ 分割模様を選択するための画面が表示されます。

- 2 刺しゅうする模様  を選択します。

- * 模様はアルファベット順に選択します。
- * 模様がすべて表示されていないときは、必要に応じて、バーをスクロールしてください。



💡 お願い

- カメラを使って模様をつなげて分割模様を刺しゅうするときは、模様全体が表示されたキーを押してください。詳しくは、P. 133 「カメラを使って模様をつなぐ」を参照してください。

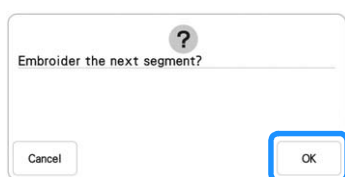
- 3 必要に応じて、**Edit** を押して模様を編集します。**Embroidery** を押して、縫製画面を表示します。



📖 お知らせ

- 縫製画面で **Rotate** を押すと、模様を左または右方向に回転させることができます。

- 4 スタート/ストップスイッチを押して、パーツの刺しゅうを始めます。
- 5 刺しゅうが終わると、次の画面が表示されます。 を押します。

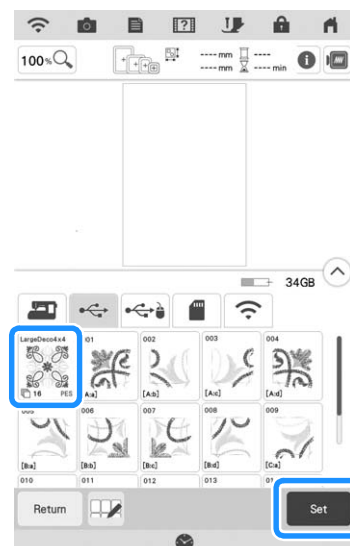


→ 分割模様のパーツを選択するための画面が表示されます。

- 6 手順 2 から 5 を繰り返し、模様の残りの模様を組み合わせていきます。

■ カメラを使って模様をつなぐ

- 1 分割模様を呼び出します。
- 2 全体表示の模様を選択し、 を押します。



→ 内蔵カメラで分割模様をつなげます。

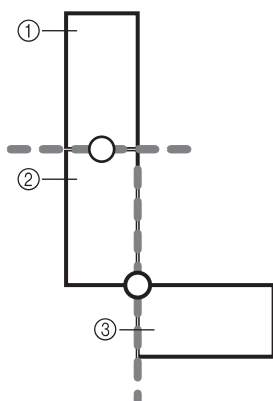
- 3 1 番目の模様を刺しゅうします。
- 4 P. 134 「3 つの模様をつなげる」の手順 13 から 17 に従って、残りの模様を刺しゅうします。

カメラを使って模様をつなげる

糸印の代わりに内蔵カメラを使用して、縫製画面で刺しゅう模様をつなぐことができます。刺しゅう模様の大きさに合わせて、適切な刺しゅう枠を選んでください。このとき、模様から刺しゅう枠の縫製範囲まで **3 cm** 程度空くようにしてください。この機能で模様つなぎをする場合、別売の刺しゅう枠縦 20 mm × 横 60 mm は使用できません。

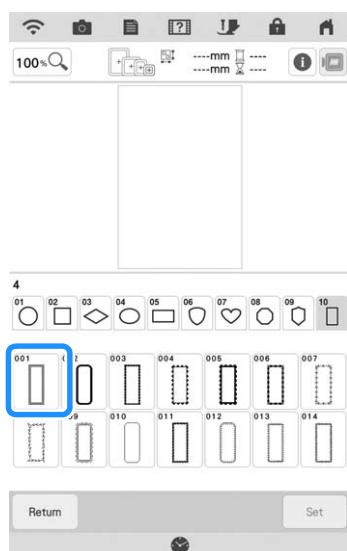
3つの模様をつなげる

例：



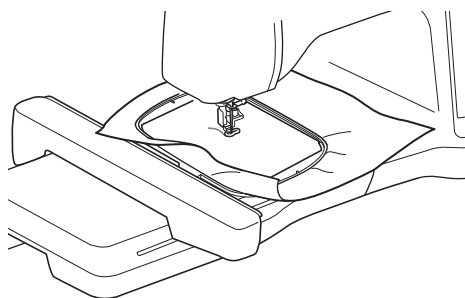
- ① 模様 A
- ② 模様 B
- ③ 模様 C

1 はじめに模様Aを選択し、**Set** を押します。



2 上糸と下糸をミシンにセットします。

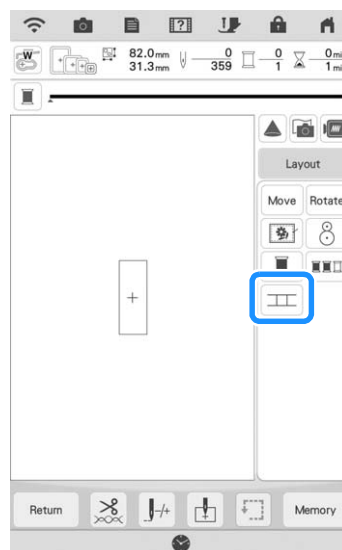
3 この例では、刺しゅう枠 (L) 縦 180 mm × 横 130 mm に布地を張り、枠をミシンにセットします。



4 **Embroidery** を押して、縫製画面を表示します。

5 **Layout** を押します。

6  を押します。



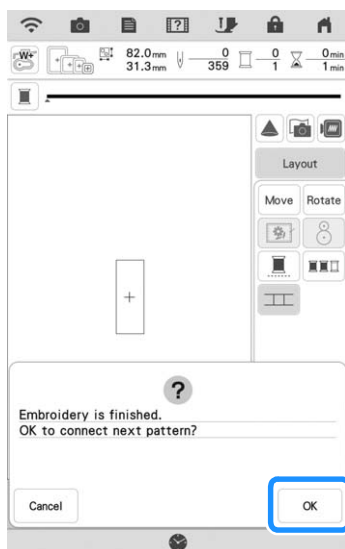
→  が画面に表示され、 が  に変わります。

お知らせ

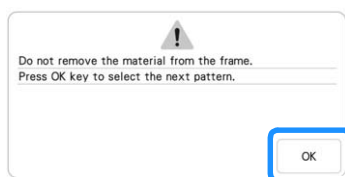
- 縫製中に  を押すことができます。
- 模様つなぎ中は、ミシンに模様を記憶することはできません。

7 刺しゅう押えを下げて、1 番目の模様を刺しゅうします。

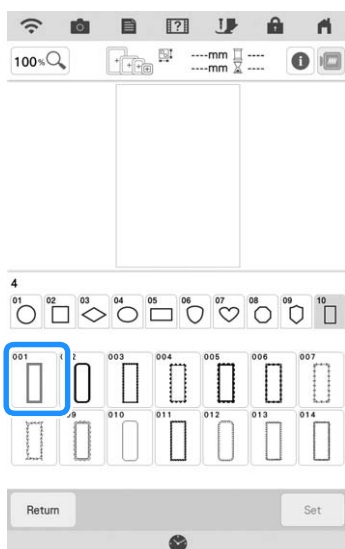
8 1 番目の模様がぬい終わると、次のメッセージが表示されます。OK を押します。



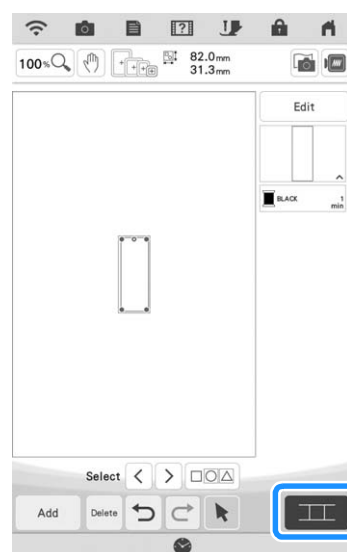
9 次のメッセージが表示されたら、OK を押します。



10 2 番目の模様 B を選択し、Set を押します。



11 [II] を押し、模様をつなぎ方を選択します。

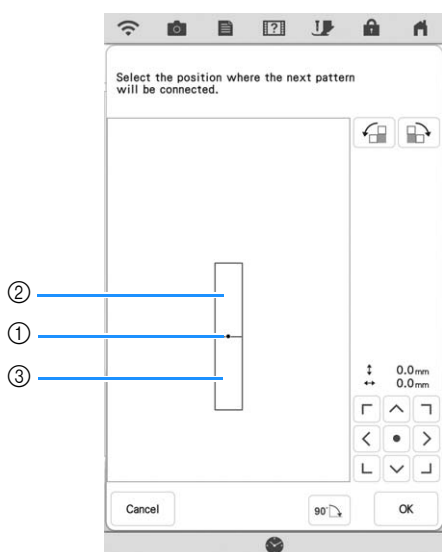


→ 模様つなぎ設定画面が表示されます。

お知らせ

- この画面で 2 番目の模様を編集することができます。

- 12** 2 番目の模様の位置を選択します。位置を設定したら、**OK** を押します。



- ① つなぐ位置
② 1 番目の模様 A
③ 2 番目の模様 B
* 2 番目の模様の位置は、以下のキーを使って調整できます。

	2 番目の模様を 1 番目の模様の周囲のいずれかの位置に配置します。キーを押すたびに、2 番目の模様は時計回りに移動します。
	2 番目の模様を 1 番目の模様の周囲のいずれかの位置に配置します。キーを押すたびに、2 番目の模様は 1 番目の模様の周囲を反時計回りに移動します。
	2 番目の模様を時計回りに 90 度回転します。
	2 番目の模様を移動します。

→ メッセージが表示され、**OK** を押すと、キャリッジが移動します。

🔍 お願い

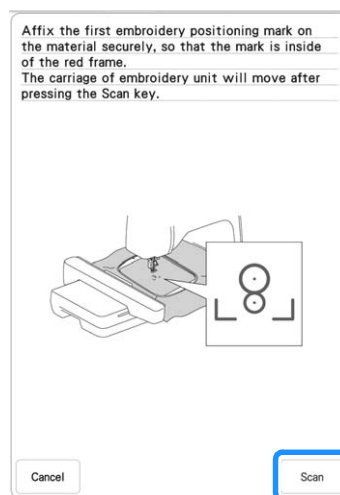
- 2 番目の模様は、自動的に 1 番目の模様に結合されます。2 番目の模様の位置を手動で変更したいときは、 を使って調整してください。
- 2 番目の模様の位置は、指または付属のデュアルタッチペンでも移動できます。
- 模様をつなぐ位置を変更するとき、1 番目の模様の角や各辺の中心に合わせる場合、、 または を使用してください。

- 13** 刺しゅう位置合わせシールを、2 つ用意します。内蔵カメラが位置合わせマークを検出できるように、画面の指示に従って、刺しゅう位置合わせシールを 2 つ布地に貼ります。

🔍 お願い

- 位置合わせシールは、付属のものを使用してください。または、お買い上げの販売店で専用シール（取扱説明書（実用編）の「別売品」を参照）を購入してください。上記以外のシールを使用すると、カメラがシールを検出できないことがあります。
- 刺しゅう位置合わせシールは、粘着力が強いので、模様つなぎに最適です。上記以外のシールを使用すると、はがれる場合があります。シールがはがれると、模様をつなぐことができません。

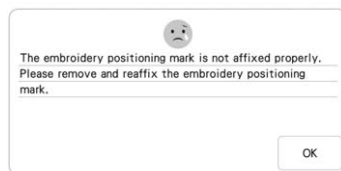
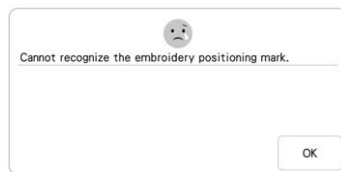
- 14** 画面を見ながら、1 つ目の位置合わせシールを赤い線の中に収まるよう、シールの四隅を両手で押え付けて布地に貼ります。画面で見て、シールの大きな円が上側になるようにします。**Scan** を押します。



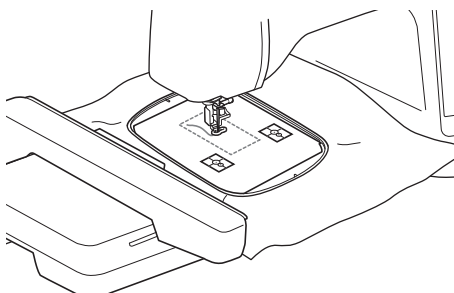
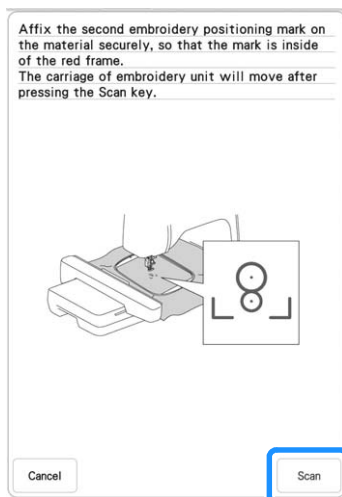
→ 内蔵カメラが、1 つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

🔍 お願い

- 1つ目の位置合わせシールをはがして、2つ目の位置合わせに使用しないでください。
- 位置合わせシールは、常に新しいものを使用してください。一度使用したシールは、はがれやすくなります。検出中にシールがはがれると、模様をつなぐことができません。
- 位置合わせシールを布地へ貼るときは、指先で四隅をしっかりと押え付けてください。シールがしっかり貼られていない場合、カメラが誤検出する可能性があります。
- 次のメッセージが表示された場合は、位置合わせシールを正しい位置へ貼り直してください。その際、大きな円が上側にあることを確認してください。

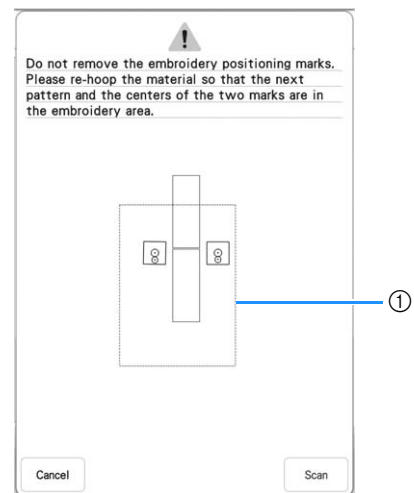


- 15** 画面を見ながら、2つ目の位置合わせシールを赤い線の中に収まるよう、シールの四隅を両手で押え付けて布地に貼り、**Scan** を押します。



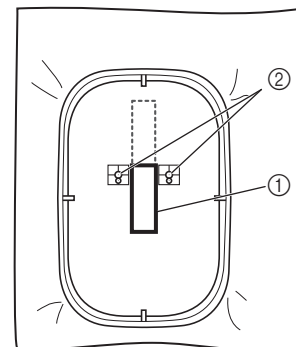
→ 内蔵カメラが、2つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

- 16** 2つの位置合わせシールが検出されると、次のメッセージが表示されます。



① 縫製範囲

2つの位置合わせシールがはがれないように注意して、ミシンから刺しゅう枠を取り外し、布地を張り直します。その際、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わせシールが、刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認します。刺しゅう枠をミシンにセットして、**Scan** を押します。



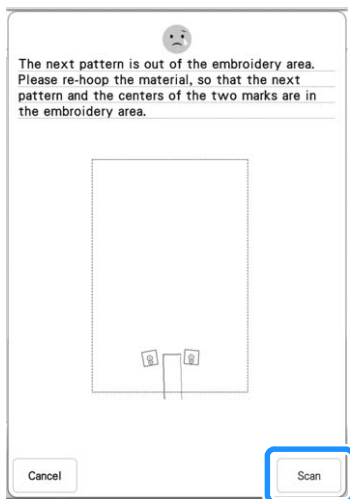
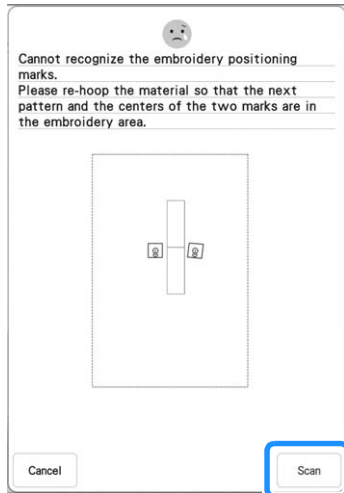
① 次に刺しゅうする模様の位置

② シールの大きい円の中心

→ 内蔵カメラが2つの位置合わせシールの検出を開始します。

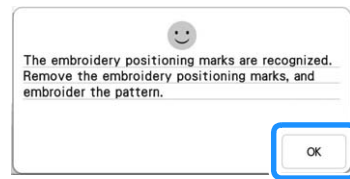
🔍 お願い

- 以下のいずれかのメッセージが表示された場合は、布地を張り直してください。画面の指示に従って、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わせシールを縫製範囲に収めます。
 を押し、位置合わせシールの検出を開始します。



- 次に刺しゅうする模様と位置合わせシールの大きな円の中心が縫製範囲に収まらない場合、位置合わせを中断します。画面の指示に従って、位置合わせシールを再配置してください。シールの再配置については、P. 140「位置合わせシールの位置を変更する」を参照してください。
- 検出中にシールがはがれると、模様をつなぐことができません。その場合は、作業をはじめからやり直してください。
- 位置合わせを終了するとき、 を押します。

- 17 2つの位置合わせシールが検出されたら、 を押し、シールをはがします。

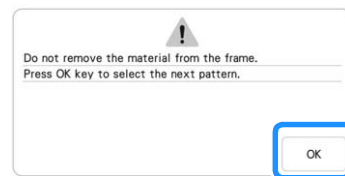


- 18 刺しゅう押えを下げて、2番目の模様を刺しゅうします。

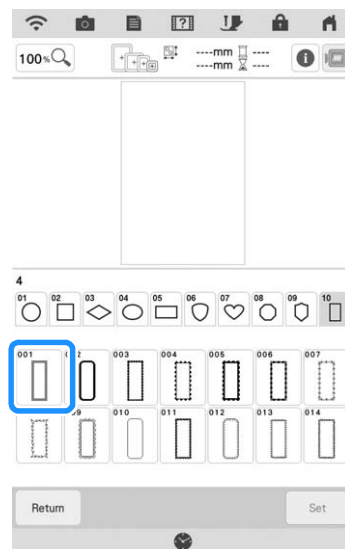
→ 刺しゅうが終わると、次の画面が表示されます。
3番目の模様を選び、 を押します。



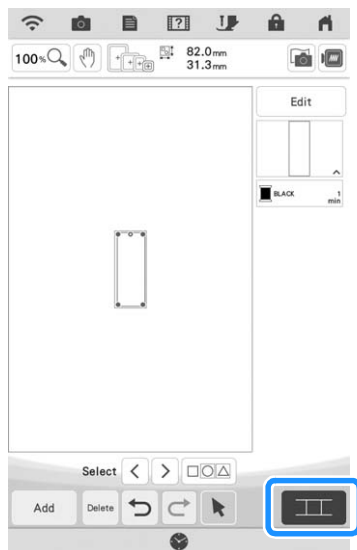
- 19 次のメッセージが表示されたら、 を押します。



- 20 3番目の模様Cを選択し、 を押します。



- 21  を押し、模様をつなぎ方を選択します。



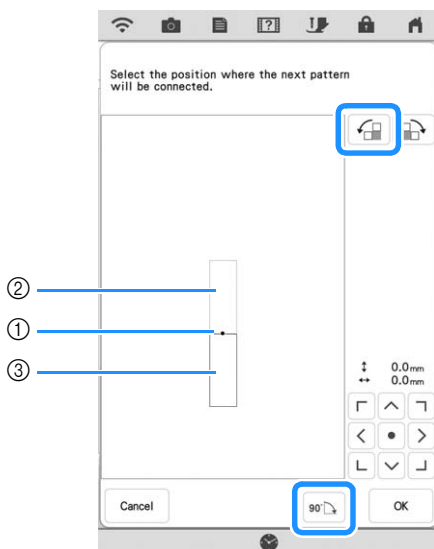
→ 模様つなぎ設定画面が表示されます。

お知らせ

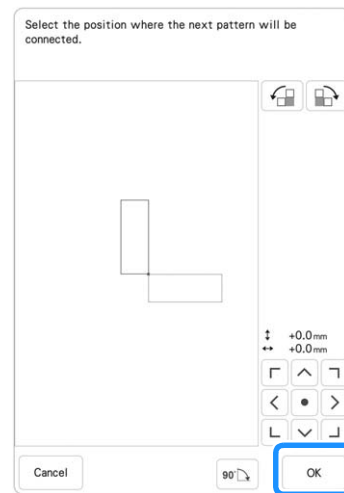
- この画面で 3 番目の模様を編集することができます。

- 22 画面を確認しながら、3 番目の模様をつなぐ位置を選びます。

この例では、 を 2 回押してから、 を押します。位置を設定したら、 を押します。



- ① つなぐ位置
- ② 2 番目の模様 B
- ③ 3 番目の模様 C



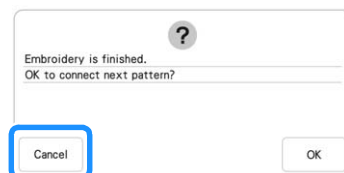
→ メッセージが表示され、 を押すと、キャラリッジが移動します。

次の模様の位置合わせは、P. 136 手順 14 から P. 138 手順 17 に従って残りを刺しゅうします。

- 23 刺しゅう押えを下げ、3 番目の模様を刺しゅうします。

→ 刺しゅうが終わると、次の画面が表示されます。

 を押して、模様つなぎ機能を終了します。

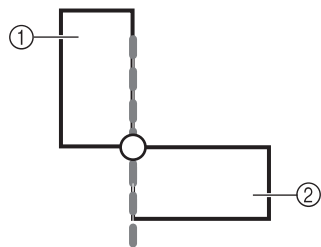


→ 刺しゅうが終わると、画面右下に表示されていた  が消えます。
3 つの模様をつなぐことができました。

位置合わせシールの位置を変更する

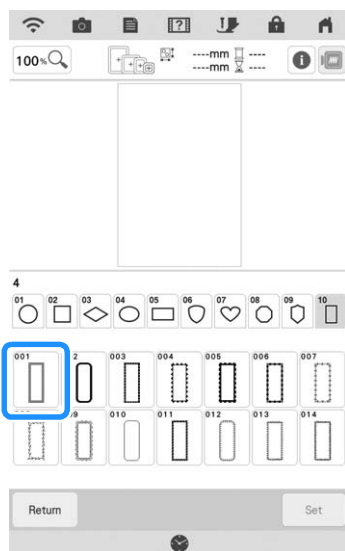
つなげたい模様や位置合わせシールが縫製範囲にうまく収まらない場合は、P. 137 の手順 15 の後に表示される画面指示に従って、シールを移動してください。

例として、刺しゅう枠 (M) 縦 100 mm × 横 100 mm を使用して下記のように模様をつなぐ場合は、シールを移動するための指示画面が表示されます。

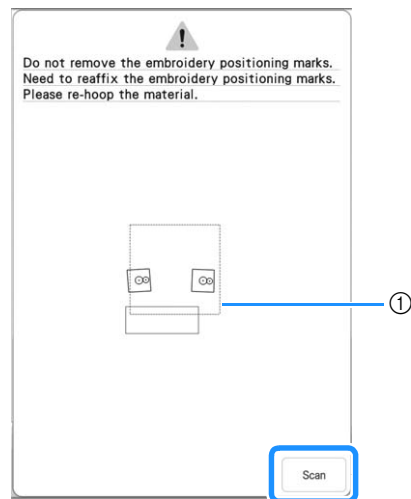


- ① 模様 A
- ② 模様 B

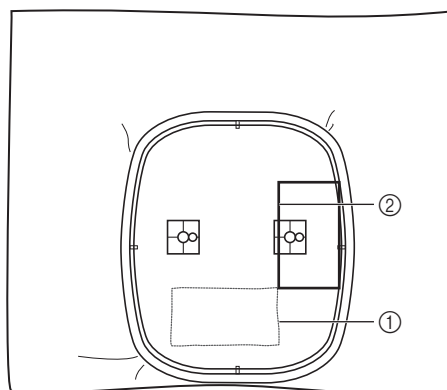
- 1 P.134 「3 つの模様をつなげる」の手順 ① から ⑮ に従って、刺しゅう枠 (M) 縦 100 mm × 横 100 mm を使用して、1 番目の模様を刺しゅうして 2 番目の模様をつなげます。



- 2 2 番目の模様や布地に貼られた位置合わせシールが縫製範囲を超えそうな場合、P. 137 の手順 16 で次のメッセージが表示されます。画面に表示されるように、刺しゅう枠を張り替えて、Scan を押します。



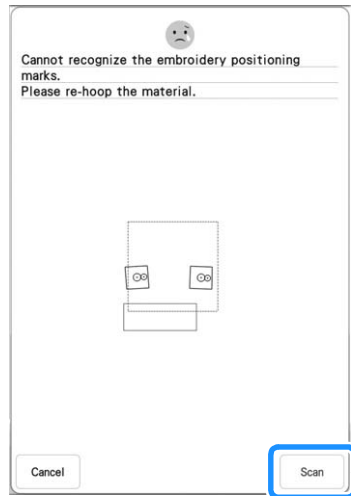
- ① 縫製範囲



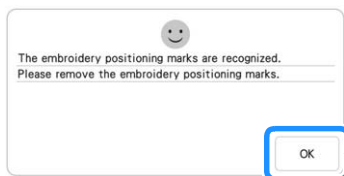
- ① ぬい終わった一番目の模様
- ② 次に刺しゅうする模様

🔍 お願い

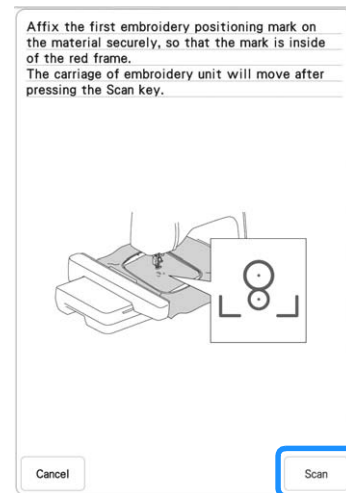
- 次のメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、布地を張り直して **Scan** を押してください。



- 3** シールが検出されたら、**OK** を押し、シールをはがします。

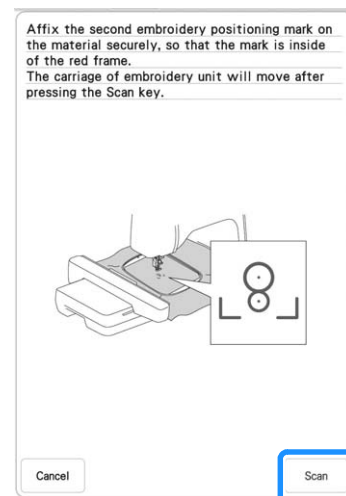


- 4** 2 番目の模様や位置合わせシールのマークが縫製範囲に収まるようにするために、画面の指示に従って、もう一度位置合わせシールを貼ります。1 つ目のシールを貼り、**Scan** を押します。



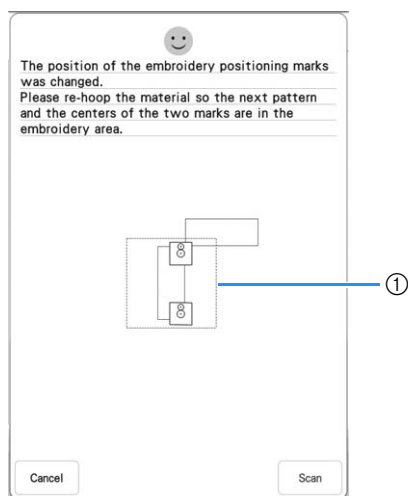
→ カメラが 1 つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

- 5** 2 つ目のシールを貼り、**Scan** を押します。

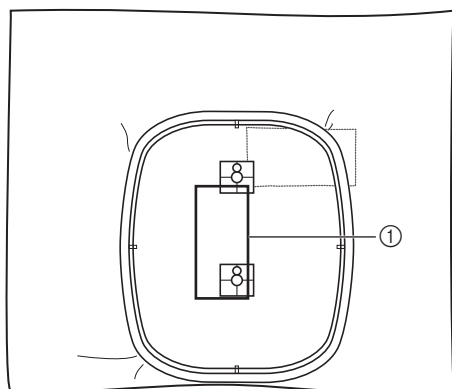


→ カメラが 2 つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

- 6 2つの位置合わせシールが検出されると、次のメッセージが表示されます。位置合わせシールがはがれないように注意して、画面に表示された例のように布地を張り直します。



① 縫製範囲



① 次に刺しゅうする模様の位置

- 7 OK を押した後、P. 138 の手順 17 以降の作業を続けます。

レジューム機能

模様つなぎ機能を使用中にミシンの電源を切った場合、再度電源を入れたときにミシンが自動的に中断された作業を再開します。再開する工程は、電源が切られたときの作業段階によって、以下のように分けられます。

例：2つ模様をつなぐとき

- 1 番目の模様を選択します。模様つなぎキー  を押します。
1 番目の模様の刺しゅうを開始します。

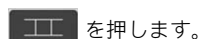


1 番目の模様の刺しゅう完了 (A)

この枠内の工程途中でミシン本体の電源を切った場合、再度電源を入れたらミシンは (A) の工程から再開します。



- 2 番目の模様を選択します。



- 模様をつなぎ位置を設定します。

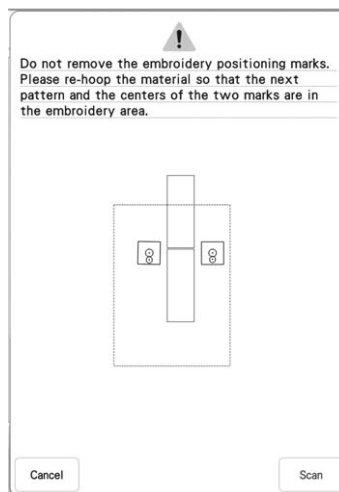


- カメラによる位置合わせシール (2箇所) の検出を開始します。



位置合わせシールの検出完了 (B)

この枠内の工程途中でミシン本体の電源を切った場合、再度電源を入れたらミシンは (B) の工程から再開します。



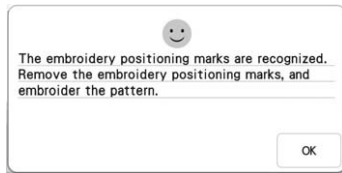
- 布地を張り替えます。



- カメラによる位置合わせシール (2箇所) の検出を開始します。



位置合わせシール（2箇所）の検出完了



2 番目の模様の刺しゅうを開始します。



2 番目の模様の刺しゅうを完了します。



第4章

マイデザインセンター

MY DESIGN CENTER (マイデザインセンター)

My Design Center (マイデザインセンター) で、以下の機能を使用することができます。

- 手描き機能 - 液晶画面に模様を描いて、刺しゅう模様を作成します。
- スキャン機能 - 内蔵カメラで対象をスキャンして刺しゅう模様を作成できるほか、USB メディアや SD カードからデータを取り込んで刺しゅう模様を作成することができます。

また、作成した刺しゅう模様と内蔵模様を組み合わせることもできます。

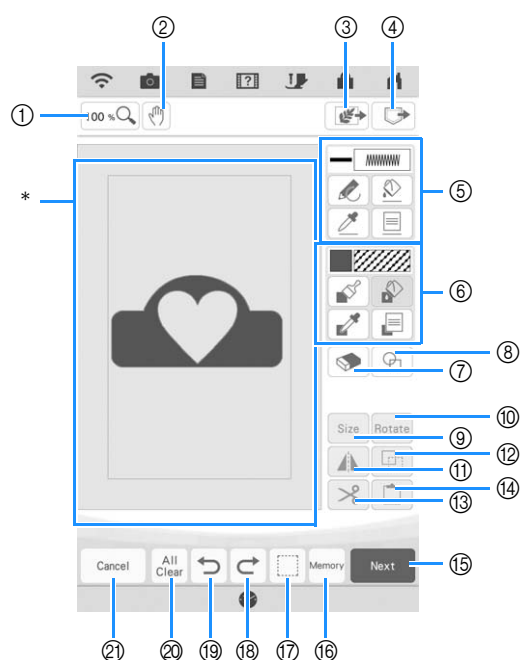
My Design Center (マイデザインセンター) は、ホーム画面の  を押すか、刺しゅう模様選択画面で  を押して起動します。

⚠ 注意



- 指または付属のデュアルタッチペンで画面をタッチしてください。シャープペンシルやドライバーなど、先がとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面を強く押さないでください。故障の原因となります。
- 周囲の温度や環境によっては、画面全体または一部が暗く、もしくは明るく見えることがあります。故障ではありません。画面が見にくいときは、明るさを調整してください。

ドロー画面について



* ドローエリア

お知らせ

- ドローできる領域は、刺しゅう枠の縫製範囲内と同じ 408 mm × 272 mm です。作成した模様が、予想より大きい場合があります。その場合は、デザインを刺しゅうデータに変換したあと、模様のサイズ調整を行ってください。

■ キーのはたらき

No.	表示	キーの名称	はたらき	参照 ページ
①		拡大キー	模様を拡大表示します。	150
②		ハンドキー	拡大画面で表示領域を動かすことができます。	—
③		スキャンキー	スキャンする下絵や線、イラストを選択します。	160、164、 167
④		呼び出しキー	ミシン本体や USB メディア、SD カード、パソコンから My Design Center （マイデザインセンター）で作成した模様データを呼び出します。	—
⑤		ペンツールキー	線を描いて、線の色を設定します。線の種類やステッチの種類、色などを好みに合わせて選択できます。  を押すと、ドローエリアに配置された模様の線から、色とステッチの種類を抽出します。抽出した色は、カラーバーや Line Property （線プロパティ）画面に「選択中の色」として示されます。	149
⑥		ブラシツールキー	ブラシで塗ったり、塗りつぶすブラシの色を設定します。ブラシの種類やタタミぬいの種類、色などを好みに合わせて選択できます。ブラシで描いた線や塗りつぶした面を、タタミぬいの刺しゅうデータに変換します。  を押すと、ドローエリアに配置された模様の面から、色とタタミぬいの種類を抽出します。抽出した色は、カラーバーや Region Property （面プロパティ）画面に「選択中の色」として示されます。	151
⑦		消しゴムキー	描いた線や図形を消します。消しゴムの大きさや形を選択できます。	153
⑧		スタンプキー	スタンプ図形を選択します。	152
⑨		大きさキー	選択部分の大きさを変更します。	153、171
⑩		回転キー	選択部分を回転します。	153
⑪		反転キー	模様が左右に反転します。	154
⑫		複製キー	選択部分を複製します。複製直後に拡大や縮小、回転、移動などができます。	154
⑬		切り取りキー	選択部分を切り取ります。	154
⑭		貼りつけキー	複製キーで複製された選択範囲、または切り取りキーで切り取られた範囲を貼りつけます。	154
⑮		次へキー	キーを押すと、ステッチ設定画面に変わります。	—
⑯		記憶キー	作成した模様データを記憶します。	—
⑰		選択キー	指やデュアルタッチペンで移動またはコピー、消去、サイズ変更、回転させる線や図形を選択します。	153
⑱		やり直しキー	取り消した最後の動作をやり直します。	—
⑲		戻るキー	最後の操作を取り消して、直前の状態に戻ります。キーを押すたびに操作が1つずつ取り消されます。	—
⑳		全削除キー	線や図形データをすべて削除して、起動時の白紙の状態にします。取り込んだ下絵も削除されます。	—
㉑		キャンセルキー	キーを押すと My Design Center （マイデザインセンター）を終了します。すべての線や図形データが消去されます。	—

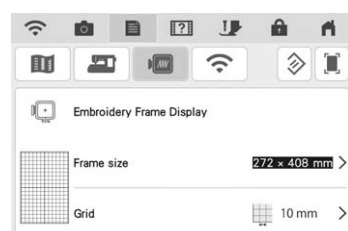
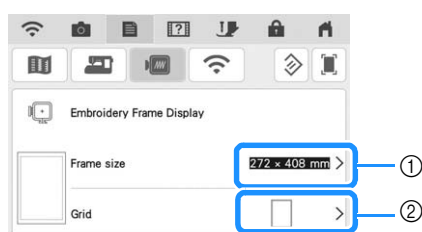
模様を作る前に

画面上の模様は、実際の大きさより小さく表示されます。[Embroidery Frame Display (刺しゅうの枠表示)] の設定で、実際の模様サイズを確認することができます。

設定画面の [Embroidery Frame Display (刺しゅうの枠表示)] では、刺しゅう枠とグリッドを個別に設定することができます。使用可能な刺しゅう枠とグリッドの種類について詳しくは、P. 107「刺しゅうの枠表示を変える」を参照してください。

1  を押します。

2 [Embroidery Frame Display (刺しゅうの枠表示)] でグリッド表示を選択します。



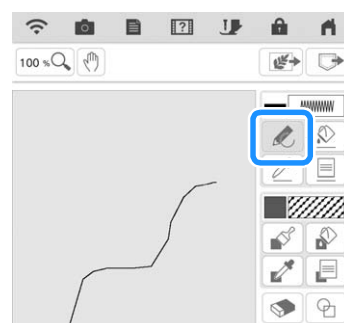
① 刺しゅう枠の種類

② グリッドの種類

* 10 mm または 25 mm のグリッドが選択できます。

線を描く

1  を押して、線を描きます。



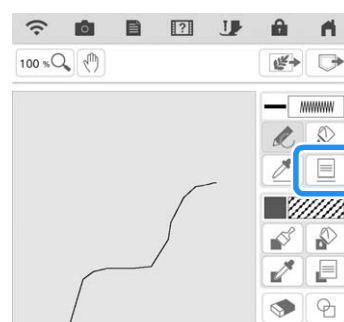
お知らせ

-  を押すと、線と区別するために、面部分の表示が薄くなります。

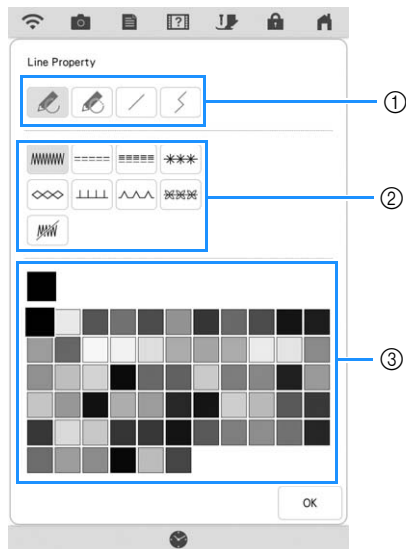
■ 線やステッチの種類、色を設定する

線やステッチの種類、色はいつでも設定や変更ができます。また、線を引く前にこれらを設定することもできます。

1  を押して、線やステッチの種類、色を設定します。



→ 設定画面が表示されます。



- ① 線の種類
- ② ステッチの種類
- ③ 線の色選択：線を描くペンの色を、カラーパレットから選択します。

線の種類

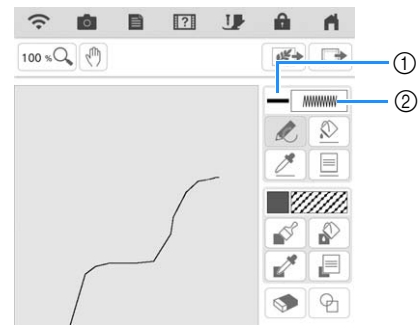
	手書き線を描きます。
	手書き線を描きます。線は自動的に始点と終点を結びます。
	直線を引きます。
	選択した位置毎に直線の向きが変わります。始点の近くに終点を作ると、閉じた図形が作られます。

ステッチの種類

	サテンぬい
	走りぬい
	3重ぬい
	キャンドルウィックステッチ
	チェーンステッチ
	E ステッチ
	V ステッチ
	モチーフぬい モチーフ模様を選択してください。 モチーフ模様の選択画面を表示して、 モチーフ模様の選択画面を表示して、 Select を押すと、模様を選択できます。
	作成する領域の線をぬわないようにします。領域を作成すると、灰色の線で区別されます。

2 OK を押すと、ドロー画面に戻ります。

→ 選択したステッチの種類と色を確認できます。



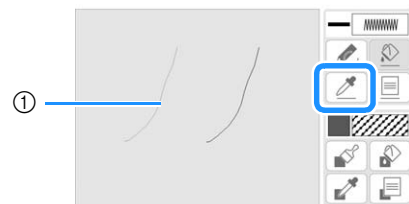
- ① カラーバー
- ② ステッチの種類

3 を押してから線を選択すると、線がカラーバーの色に変わります。

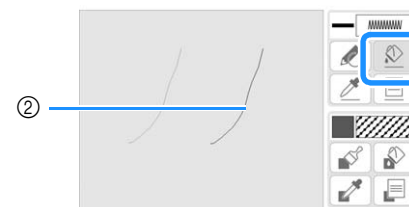
→ 繋がっている線も選択した色に変わります。

お知らせ

- 線をうまく選択できないときは、100% を押して拡大表示してください。イメージの拡大表示について詳しくは、P. 73「画面に模様を拡大表示する」を参照してください。
- を押してから、ドローエリア内の模様の色を選択すると、他の模様にも線の色を適用できます。



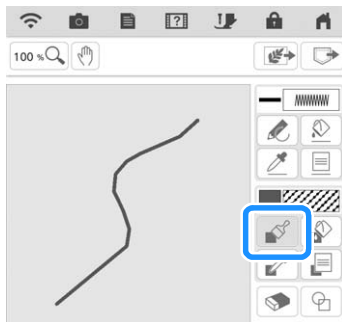
- ① を使い、線の色を選択します。



- ② を押してから線の色を変えたい模様を選択すると、色が変わります。

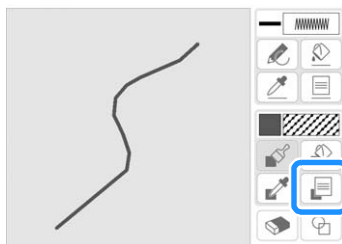
模様を塗る

- 1  を押してブラシで塗ります。

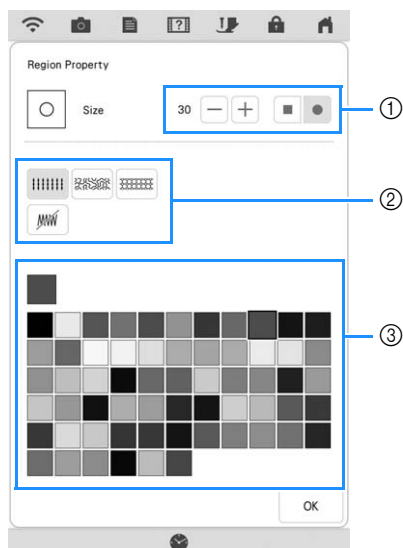


■ ブラシの種類とステッチの種類、塗りつぶしの色を設定する

- 1  を押して、ブラシの種類と塗りつぶしのステッチの種類、色を設定します。



→ 設定画面が表示されます。



- ① ブラシの種類
- ② ステッチの種類
- ③ 塗りつぶしの色の選択：ブラシの色を、カラーパレットから選択します。

ブラシの種類

	角ブラシ	
	丸ブラシ	

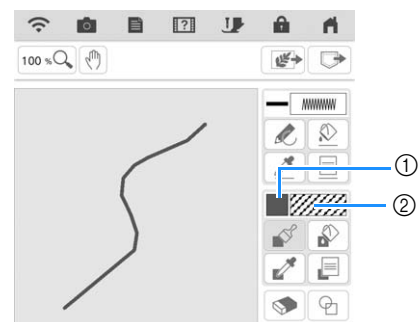
ブラシのサイズを選択するときは、 または  を押します。

ステッチの種類

	タタミぬい
	スティッピング
	飾り模様ぬいを選択します。 模様の選択画面を表示して、  を押すと、模様を選択できます。

ステッチで模様をぬりつぶしたくない時は、 を選択します。

- 2  を押すと、ドロー画面に戻ります。
→ 選択したステッチの種類と色を確認できます。



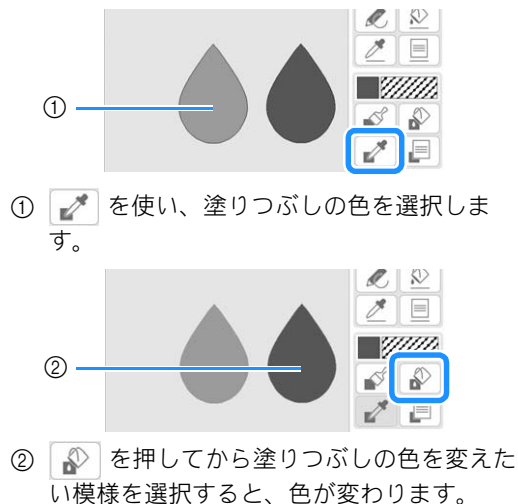
- ① カラーバー
- ② ステッチの種類

* スティッピングや飾り模様ぬいを選択中は、ステッチが表示されます。

- 3  を押してからブラシの線を選択して、色とステッチの種類を変更します。設定した色やステッチの種類は、ペンやブラシで作った閉じた線にも適用できます。

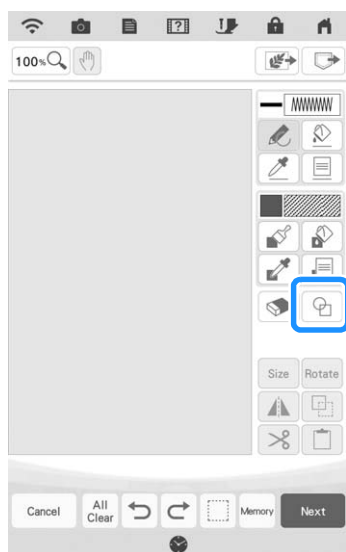
お知らせ

- 塗りつぶす領域をうまく選択できないときは、 を押して拡大表示してください。
-  を押してから、ドローエリア内の模様の色を選択すると、他の模様塗りつぶし色を適用できます。

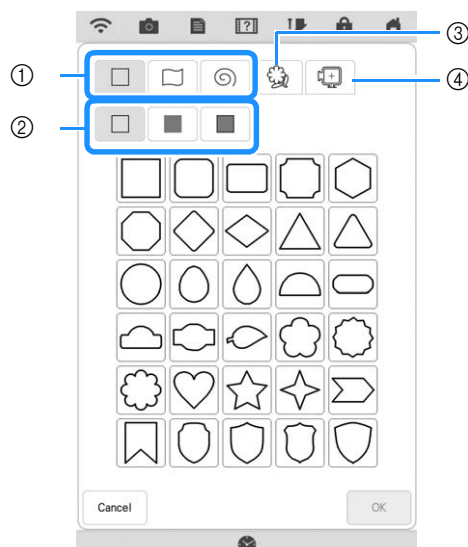


スタンプキーの使い方

- 1  を押します。



- 2 スタンプの種類と図形を選択します。



- ① スタンプ図形
- ② スタンプの種類
- ③ 保存した刺しゅう模様の輪郭
- ④ 刺しゅう枠の刺しゅう範囲

スタンプ図形

	基本図形
	閉じた図形
	開いた図形

スタンプの種類（基本図形のみ）

	輪郭
	タタミぬい
	輪郭とタタミぬい

- * 輪郭 ()、タタミぬい ()、輪郭とタタミぬい () は基本図形の中から選択できます。

保存した刺しゅう模様の輪郭

	刺しゅう模様の輪郭をスタンプ図形として登録できます。スタンプ図形として登録できるのは20個までです。登録した図形が20個以上になると、古い図形から削除されます。スタンプ図形の登録方法について、詳しくは、P.180「刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする(キルト機能)」を参照してください。
---	--

刺しゅう枠の刺しゅう範囲

	刺しゅう枠に合わせて模様を配置するため、刺しゅう可能な範囲を選択します。
---	--------------------------------------

- *  を押すと、ドロー画面に戻ります。

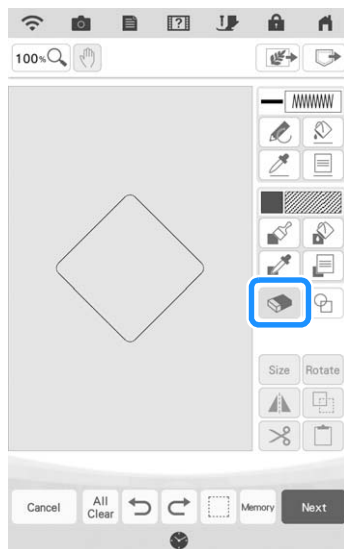
3 を押してスタンプを選択します。

→ ドロー画面が表示されます。

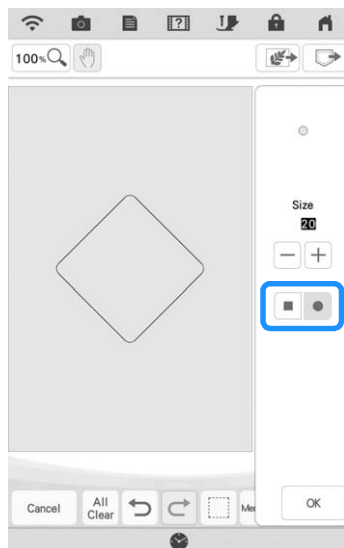
- * 模様を作成した直後に、 または  を押して、図形のサイズ変更や回転、移動することができます。

消しゴムキーの使い方

1 を押します。



2 消しゴムの形を選択します。



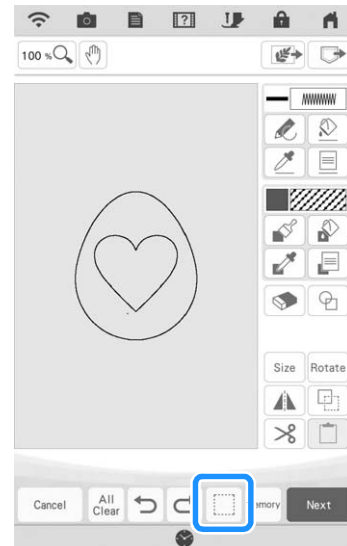
- * 消しゴムのサイズを選択するときは、 または  を押します。

3 キーの状態、消去したい範囲や線に沿ってドラッグします。

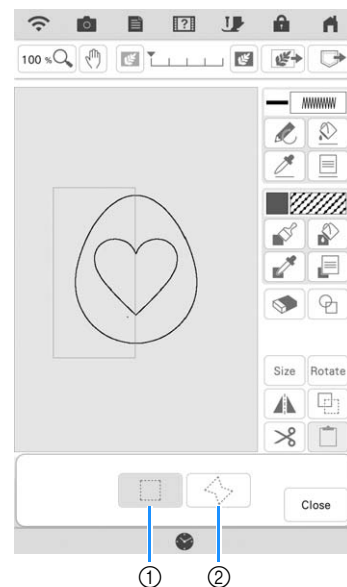
選択キーの使い方

模様の一部を選択して移動または編集できます。一部のキーは、模様を選択しているときのみ、有効になります。

1 を押します。



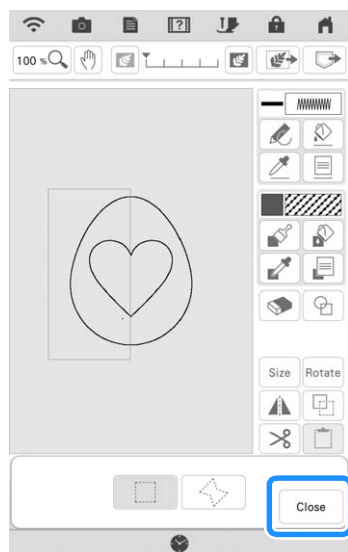
2 編集範囲の選択方法を選びます。



- ① 描いた四角の中にある模様が選択されます。
- ② 描いた多角形の中にある模様が選択されます。

3 編集したい範囲を選択し、**Close** を押し
ます。

- * 編集する範囲を選択したいときは、デュアルタッチペンを液晶画面上でドラッグすると編集する範囲が赤い枠で囲まれます。



4 使用可能なキーで模様を編集します。(そ
れぞれのキーについて詳しくは、P. 148
「キーのはたらき」を参照してください。)

5 **Next** を押して、ステッチを設定します。

ステッチ設定画面

刺しゅう模様を作成する前に、線状のぬい目やタタミぬい、スティップリングなどの面状のぬい目にさまざまなぬい方を設定します。また、P. 151「模様を塗る」で選択したぬい方に対して、詳細な設定をすることもできます。

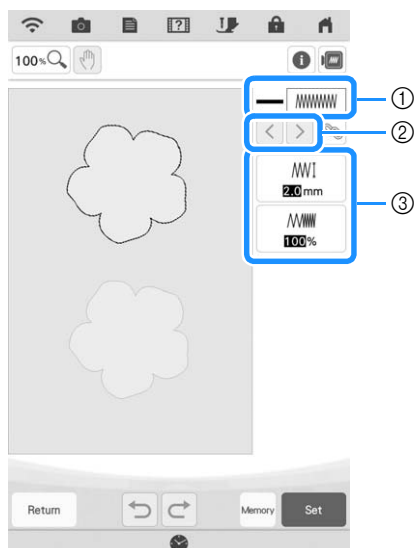
設定した後、 を押して刺しゅうを始めます。

それぞれの模様にもい方を設定する

ステッチ設定画面で模様を選択して、線や面のぬい方を設定します。複数の模様が選択されている場合、指定したぬい方が、選択しているすべての模様に適用されます。

ドロウ画面でデザインを作成したら、 を押してステッチ設定画面を表示します (P. 147)。

■ 線ぬいの設定



- ① 選択した線のステッチの種類や色を表示します。設定は変更することができます。
- ② 変更したい線を選択します。
- ③ 選択した線のぬい方設定を表示します。設定は変更することができます。

線のぬい方を設定する

線ぬい部分に適用したいステッチを、サテンぬい ()、走りぬい ()、3重ぬい ()、キャンドルウィックステッチ ()、チェーンステッチ ()、Eステッチ ()、Vステッチ ()、モチーフぬい () から選びます。

サテンぬい

 [Zigzag width (サテン幅)]	線ぬい部分に使うサテンぬいの幅を指定します。
 [Density (糸密度)]	模様の線ぬい部分に使うサテンぬいの糸密度を指定します。

走りぬい /3重ぬい

* どちらも以下のぬい方設定ができます。

 [Run Pitch (走りピッチ)]	直線ぬいの長さを指定します。
---	----------------

キャンドルウィックステッチ

 [Size (サイズ)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Spacing (間隔)]	キャンドルウィックステッチの間隔を指定します。

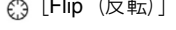
チェーンステッチ

 [Size (サイズ)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Thickness (重なり)]	同じ部分を繰り返しぬう回数を指定します。

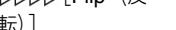
Eステッチ

 [Stitch Width (ステッチ幅)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Spacing (間隔)]	Eステッチの間隔を指定します。
 [Thickness (重なり)]	同じ部分を繰り返しぬう回数を指定します。
 [Flip (反転)]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

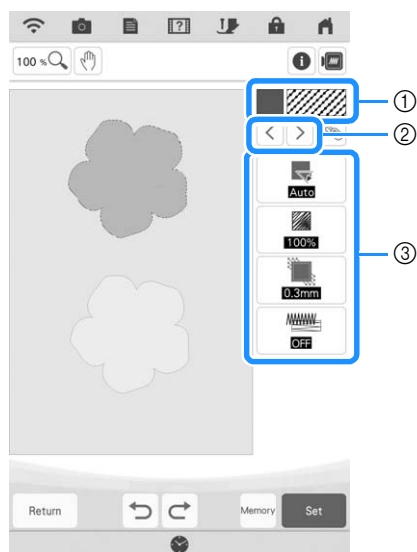
V ステッチ

 [Stitch Width (ステッチ幅)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Spacing (間隔)]	V ステッチの間隔を指定します。
 [Thickness (重なり)]	同じ部分を繰り返しぬう回数を指定します。
 [Flip (反転)]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

モチーフぬい

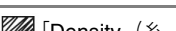
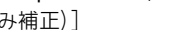
 [Size (サイズ)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Spacing (間隔)]	モチーフぬいの間隔を指定します。
 [Flip (反転)]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

■ 面ぬいの設定

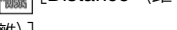


- ① 選択した面のステッチの種類や色を表示します。設定は変更することができます。
- ② 変更したい面を選択します。
- ③ 選択した面のぬい方設定を表示します。設定は変更することができます。

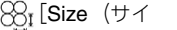
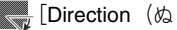
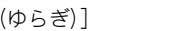
タタミぬい設定

 [Direction (ぬい角度)]	ぬい角度を指定します。[Manual (手動)]を選択すると、タタミぬいのぬい角度を変更できます。
 [Density (糸密度)]	タタミぬいの糸密度を指定します。
 [Pull compensation (縮み補正)]	ぬい目をやや短くしたり長くしたりして、模様のぬい縮み補正を指定します。試しぬいの後に模様のぬい縮み具合を確認してから、設定を変更します。
 [Under sewing (下打ち)]	布を安定させるために、必要に応じて下打ちの有無を選択します。

スティップリング設定

 [Run Pitch (走りピッチ)]	スティップリングのぬい目の長さを指定します。
 [Spacing (間隔)]	スティップリングをする時のステッチの間隔を指定します。
 [Distance (距離)]	模様の輪郭との間隔を指定します。
 [Stitch (ぬい目)]	ぬいの種類を指定します。

飾り模様ぬい設定

 [Size (サイズ)]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [Direction (ぬい角度)]	模様の回転角度を指定します。
 [Outline (アウトライン)]	[ON] または [OFF] を選択して、輪郭を刺しゅうデータに変換するか指定します。[ON] を選択すると、渡り糸の数を減らすことができます。
 [Random shift (ゆらぎ)]	線をランダムに揺らします。
 [Position Offset (位置のオフセット)]	模様の基点位置を指定します。

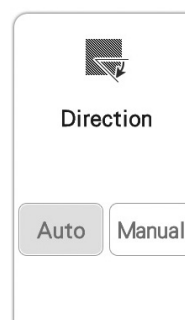
- 1   を使って、線ぬいまたは面ぬい部分を選択します。

→   を押すごとに、選択部分が強調表示されます。

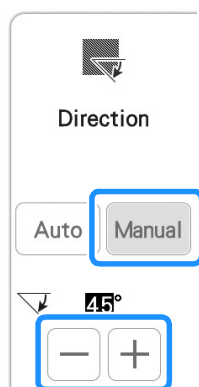
- 2 変更する設定を選択した後、表示されたポップアップ画面で設定を変更します。(ここでは例として、タタミぬいのぬい角度を変更します。)



→ 設定画面が表示されます。



- 3 **Manual** を押して、**-** **+** を使ってぬい角度を変更します。

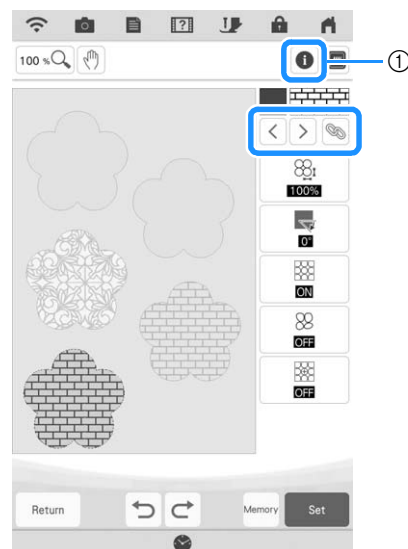


- 4 **OK** を押して設定します。
* 同様に、ほかの設定も変更します。

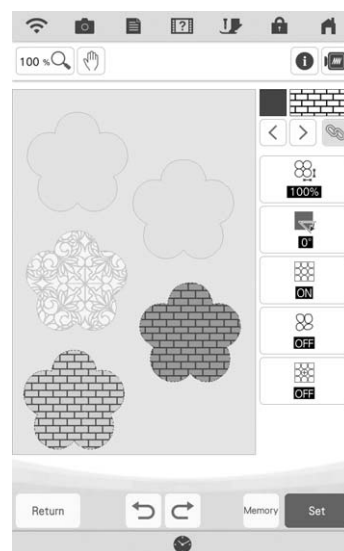
一括でぬい方を設定する

同じぬい種類の複数の模様に対して、一括でぬい方を設定できます。

- 1 **<** **>** で設定を変更する模様を選択して、**⌂** を押します。

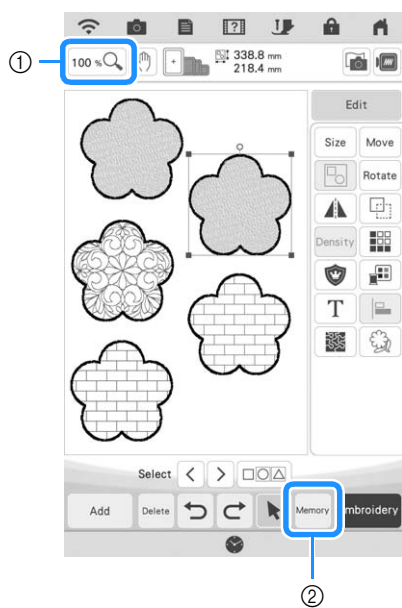


- ① **i** を押すと、糸色など様々な情報を確認することができます。
→ 同じぬい種類が一括で選択されます。



② P. 155「それぞれの模様にぬい方を設定する」の手順②から④を参照して、設定を変更します。

③ **Set** を押して **OK** を押し、編集画面を表示します。



① 模様を拡大して確認するときは、**100 %** を押します。

② **Memory** を押して、刺しゅうデータを保存します。

MY DESIGN CENTER (マイデザインセンター) でスキャンする

スキャン枠を使用する

1 お好みのイラストなどを準備します。

⚠ 注意

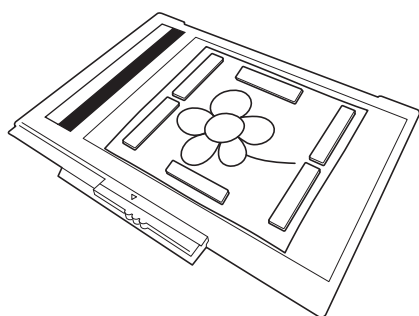
- スキャン中に刺しゅう押えがスキャン枠に当たると、けがをするおそれがあるため、次の点に注意してください：厚みがある紙や布、しわや折り目がある紙や布は、スキャン枠と刺しゅう押えが近くなりすぎるため、スキャン中に巻き込むおそれがあります。

📖 お知らせ

- スキャンする時、スキャン枠に配置できる紙は1枚のみです。

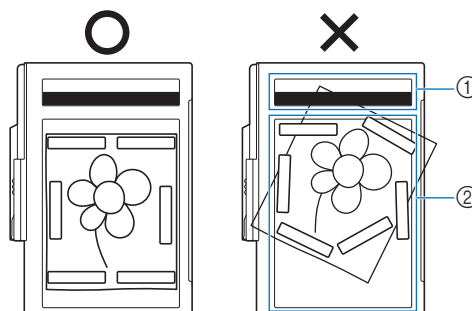
2 スキャンする紙をスキャン枠に配置し、マグネットで固定します。

- * スキャンする対象が隠れていないことを確認して、紙の周りの6カ所をマグネットで固定します。



🙏 お願い

- スキャン枠に紙を置いた時にホワイトバランスエリアが隠れていないことを確認してください。正しくスキャンできないおそれがあります。この時、スキャン可能エリアにスキャン対象が収まるように配置してください。スキャン対象がスキャン可能エリアから出ているとスキャンされません。

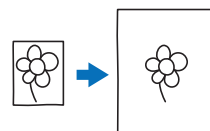


- ① ホワイトバランスエリア
- ② スキャン可能エリア

- ホワイトバランスエリアやスキャン可能エリアに傷や汚れが無いことを確認してください。正しくスキャンできないおそれがあります。
- スキャン対象を固定するときは、スキャン枠に付属しているマグネットを使用してください。付属のマグネット以外を使用すると、スキャン中にマグネットがミシン本体にくっついて正しくスキャンができないなどの問題が生じるおそれがあります。
- 紙がしっかりと固定されるようにマグネットを配置してください。紙が歪んでいるとうまくスキャンできないおそれがあります。
- スキャン枠が汚れている場合は、水かぬるま湯を含ませた、やわらかい布を固く絞ってふいてください。ふいた後は、乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

📖 お知らせ

- スキャン対象が描かれた紙が小さすぎてマグネットで固定できない場合は、大きめの紙にコピーしてからスキャン枠に置いてください。



3 刺しゅう機をミシンに取り付け、ミシンの電源を入れます。

- * P. 13「刺しゅう機を取り付ける」を参照してください。

🔔 お願い

- 針から糸が抜けたり、刺しゅう枠に引っかからないように、上糸を通していない状態にしてください。

4 押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを上げ、針上下スイッチを押して、針を上げます。

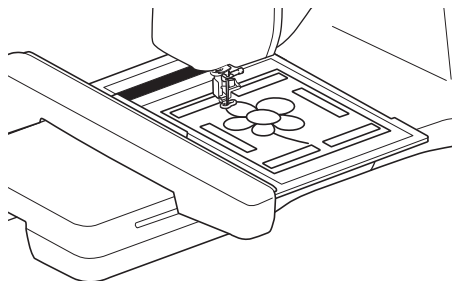
- * 押えレバーを使うと、刺しゅう押えは十分な高さまで上がりません。

⚠ 注意

- 刺しゅう押えと針はしっかりと上げてください。刺しゅう押えと針が下がったままスキャンが始まると、スキャン枠がミシンに当たり、破損する場合があります。

5 刺しゅう機にスキャン枠を取り付けた後は、枠固定レバーを手前に倒しスキャン枠を固定します。

- * P. 34「刺しゅう枠をセットする」を参照してください。

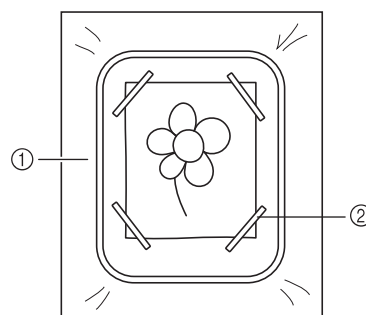


🔔 お願い

- 刺しゅう押え< W >以外の押えは取り付けないでください。押えがスキャンされることがあります。

■ 刺しゅう枠でスキャンする

刺しゅう枠を使って、線画やイラストをスキャンすることもできます。刺しゅう枠より大きい布地を刺しゅう枠に張ります。スキャンした紙を布地に置き、テープで固定します。

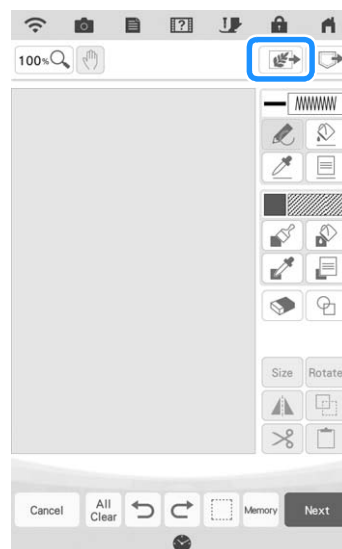


- ① 布地
- ② テープ

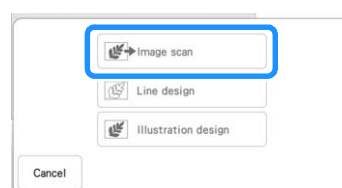
スキャンして取り込んだ下絵をなぞる

下絵スキャン機能でお好みの写真やイラストなどを簡単に取り込んで、刺しゅうデータを作成することができます。

1 を押します。



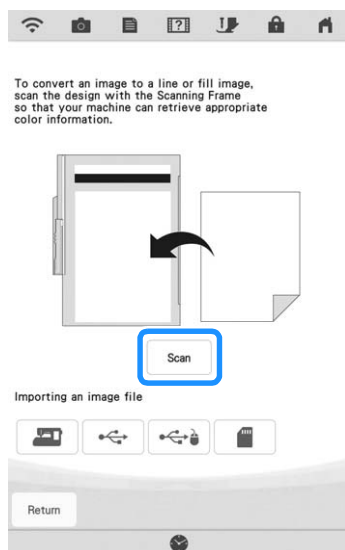
2 image scan を押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

- 3 スキャン枠にマグネットで画像を固定してから、ミシンにスキャン枠を取り付けます。P. 159「スキャン枠を使用する」を参照してください。

- 4  を押します。



お知らせ

- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが明るくなることがあります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。

→ 次のメッセージが表示されたあと、 を押します。



→ スキャンを開始します。

- *  を押すと、スキャンを中止して手順 4 の画面に戻ります。

お知らせ

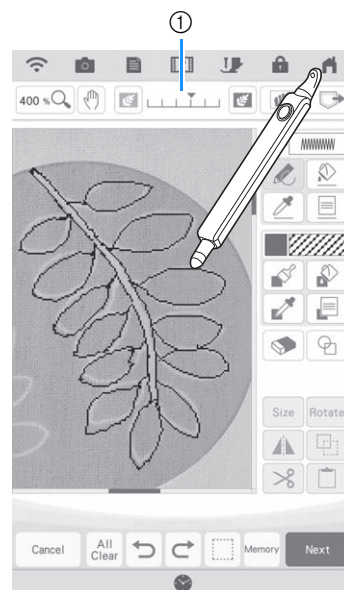
- 最後にスキャンした画像はミシンのメモリーに記憶されます。画像を呼び出すには、 を押します (P. 162)。

- 5 スキャンが終わると、ドロエリアに下絵が薄く表示されます。



- 6  を押して、付属のデュアルタッチペンを使って下絵を線でなぞります。

- * 線について、詳しくは P. 149「線を描く」を参照してください。



① 背景の濃淡の調整

- *  または  を押して、下絵の濃淡を調整します。
 を押すたびに背景が薄く、線が濃く表示されます。
 を押すたびに背景が濃く、線が薄く表示されます。

7 編集が終わったら、**Next** を押してぬい方を指定します。

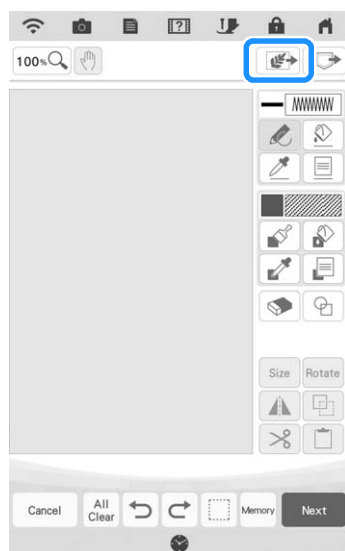
8 **Set** を押して、編集画面を表示します。

下絵を取り込む

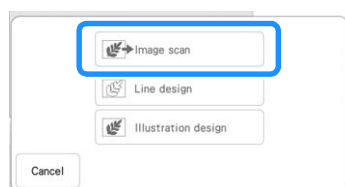
刺しゅうデータを作るための、お好みの画像データを準備します。パソコンに保存した .jpg や .bmp、.png ファイルを、USB メディアまたは SD カードに保存します。

また、最後にスキャンした 1 画像をミシンのメモリーから呼び出すことができます。

1  を押します。

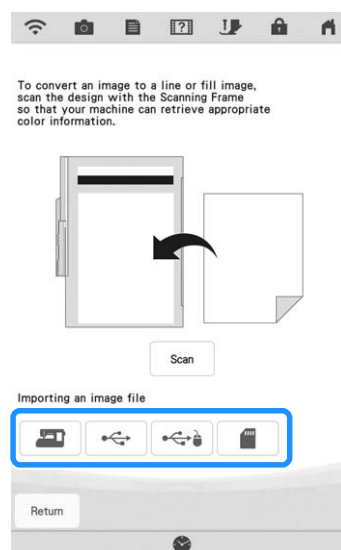


2  Image scan を押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

3 データが保存されているデバイスを選択します。



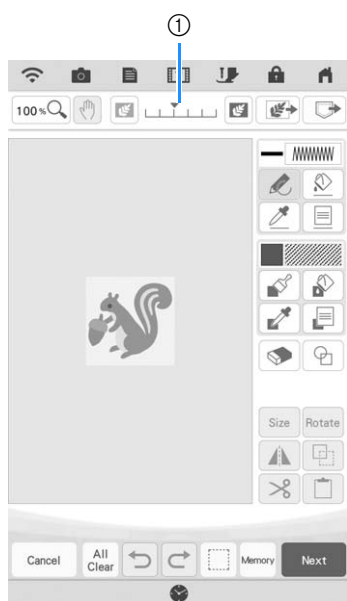
お知らせ

- .jpg ファイルと .png ファイルは 4 MB まで、.bmp ファイルは 6 MB までのファイルを取り込むことができます。いずれの形式の場合も、取り込み可能な画素数は 3480 × 2450 ピクセルまでです。

4 データを選択して、**Set** を押します。



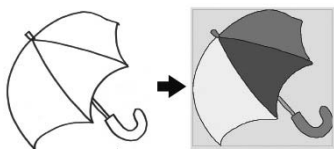
- 5 ドローエリアに選択した画像が薄く表示されます。



- * ①で下絵の濃淡を調整します。を押すたびに背景が薄く、模様の線が濃く表示されます。を押すたびに背景が濃く、模様の線が薄く表示されます。

ラインスキャン

線画から刺しゅう模様を作成できます。付属のスキャン枠を使って線画をスキャンしたり、USB メディアまたは SD カードから画像を取り込んで刺しゅう模様を作成できます。



ラインスキャンに適した線画

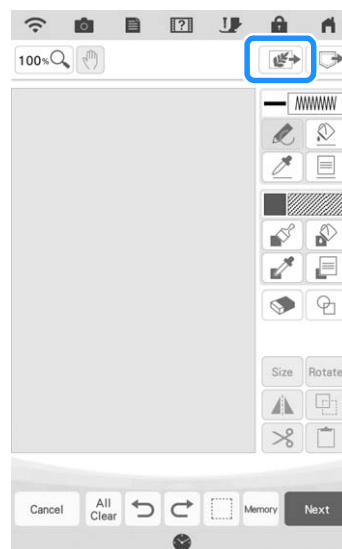
- 約 1 mm の太さの線ではっきりと描かれているもの。
- 線の明暗がはっきりしているもの。
- 線が短すぎたり密集しすぎていると、正しくスキャンできません。

❗ お願い

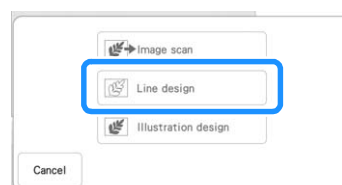
- カラーイラストから刺しゅう模様を作成する方法について、詳しくは P. 167 「イラストスキャン」を参照してください。
- 線画が思うようにスキャンできなかったときは、My Design Center（マイデザインセンター）で模様を編集できます。P. 147 「ドロー画面について」を参照してください。
- 線の太さを認識せずに線画をスキャンします。線の太さを変更する場合は、設定画面で指定します。P. 155 「ステッチ設定画面」を参照してください。
- 線画は黒い線でスキャンされます。線の色を変更する場合は、My Design Center（マイデザインセンター）で変更してください。P. 149 「線を描く」を参照してください。

スキャン枠でラインスキャンする線画を取り込む

1  を押します。



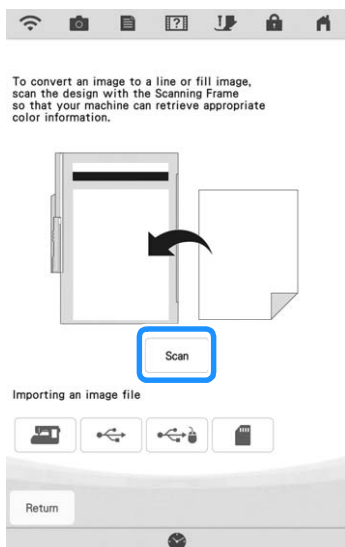
2  を押します。



- * 画像を取り込み済みの場合は手順 ④ に進みます。
- * 画像を取り込んでいない場合は手順 ③ に進みます。

3 Scan を押します。

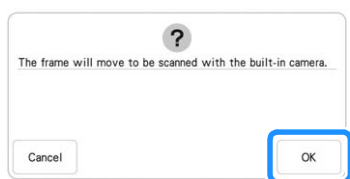
- * USB メディアや SD カードから画像を取り込むには、 または  を押します。詳しくは、P. 162 「下絵を取り込む」を参照してください。
- * 画像をスキャンする時、スキャン枠がミシンに取り付けられていることを確認してください。P. 159 「スキャン枠を使用する」を参照してください。



お知らせ

- スキャンした背景画像を線画データに変換することもできます。このとき、ふたたび線画をスキャンする必要はありません。
- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが明るくなることがあります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- 取り込み可能なファイルの詳細は、P. 162 「下絵を取り込む」を参照してください。

→ 次のメッセージが表示されたあと、 を押します。



→ スキャンを開始します。

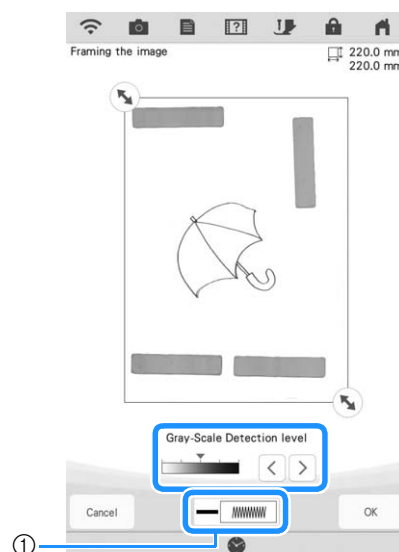
- *  を押すと、スキャンを中止して手順 3 の画面に戻ります。

お知らせ

- 最後にスキャンした画像はミシンのメモリーに記憶されます。画像を呼び出すには、 を押します (P. 162)。

4 スキャンが終わったら、必要に応じて [Gray-Scale Detection level (白黒 2 階調化レベル)] を調整します。

[Gray-Scale Detection level (白黒 2 階調化レベル)] で画像のしきい値を調整できます。



① 線の色とステッチの種類を変更します。

- * 設定を調整するべきか分からないときは、設定を変更せずにこのまま進み、結果を確認します。
- *  を押すと、スキャンを中止して手順 3 の画面に戻ります。

5 を動かして、模様にする画像を囲みます。

6 を押します。

→ 変換した画像の確認画面が表示されます。

- 7** 変換した画像の確認画面で、必要に応じて [Gray-Scale Detection level (白黒 2 階調化レベル)]、線の色、ステッチの種類を再び調整します。



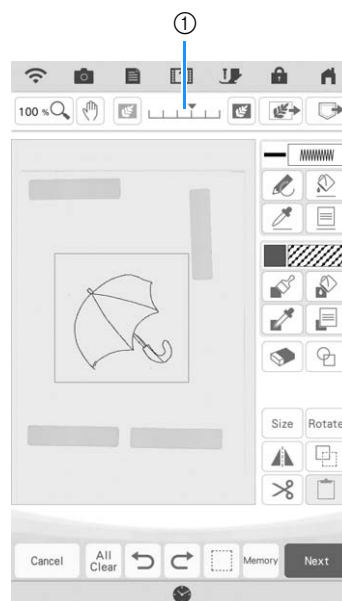
- * 設定を調整するべきか分からないときは、設定を変更せずにこのまま進み、結果を確認します。
- * を押すと、画像を拡大することができます。
- * を押すと、変換される前の画像が表示されます。変換前後の画像を比較して、必要に応じて設定を変更します。
- * を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

→ 上記の設定を変更すると、キーが から に変わります。 を押して、希望の仕上がりになることを確認します。

- 8** を押します。

→ ドロー画面が表示されます。

- 9** 必要に応じて、スキャンした画像を編集します。



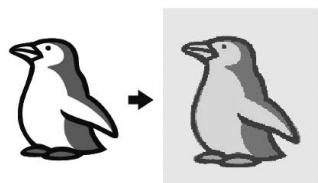
- * 選択した画像がステッチに変換された後、ドロー画面の背景として表示されます。① で背景の濃淡を調整します。 を押すたびに背景が薄く、線が濃く表示されます。 を押すたびに背景が濃く、線が薄く表示されます。

💡 お願い

- 小さな点や不要な線が表示された場合は、消しゴムキーで消去してください。

イラストスキャン

カラーイラストから刺しゅう模様を作成できます。付属のスキャン枠を使ってイラストをスキャンしたり、USB メディアまたは SD カードから画像を取り込んで刺しゅう模様を作成できます。

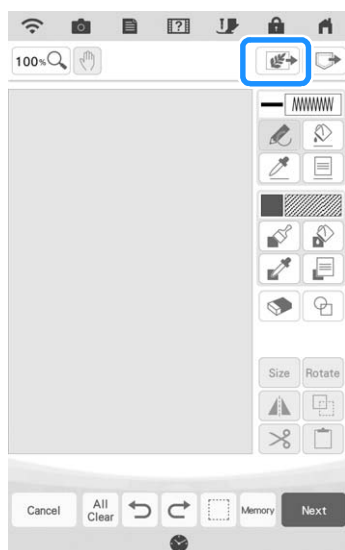


イラストスキャンに適したイラスト

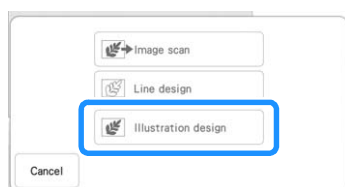
- ぼかしやグラデーションなどを含まない、はっきりと描かれたもの。
- 5 mm四方を超えるもの。
- 単純な形状のもの。

スキャン枠でイラストスキャンするイラストを取り込む

1 を押します。



2 を押します。

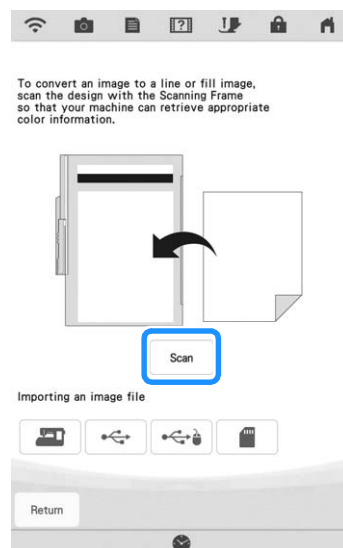


* 画像を取り込み済みの場合は手順 4 に進みます。

* 画像を取り込んでいない場合は手順 3 に進みます。

3 を押します。

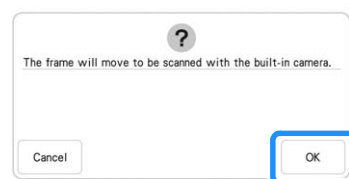
* USB メディアや SD カードから画像を取り込むには、 または  を押します。



お知らせ

- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが明るくなることがあります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。

→ 次のメッセージが表示されたあと、 を押します。



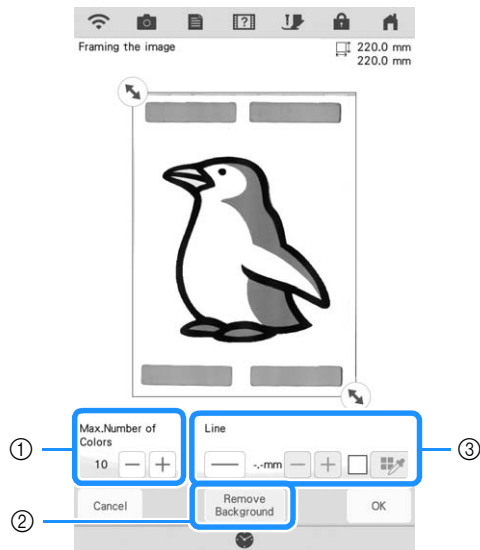
→ スキャンを開始します。

*  を押すと、スキャンを中止して手順 3 の画面に戻ります。

お知らせ

- 最後にスキャンした画像はミシンのメモリーに記憶されます。画像を呼び出すには、 を押します (P. 162)。

- 4 スキャンが終わったら、スキャン画像確認画面で、必要に応じて設定を変更します。
- お好みの模様簡単に交換できるよう、画像を調整します。



①	[Max. Number of Colors (最大色数)]	画像内の色数を指定した色数以下にして、輪郭を抽出します。
②	[Remove Background (背景を取り除く)]	背景の色を色数に含めるかどうかを選択します。
③	[Line (線)]	輪郭を線として認識するかどうかを選択します。太い線は、面として検出することもできます。線として検出した場合、線の太さや色を指定できます。

* [Cancel] を押すと、スキャンを中止して手順 ③ の画面に戻ります。

お知らせ

- を押すと、輪郭を検出できます。指定できる線の太さは、1.0 mm から 5.0 mm です。



- 色選択アイコンを押すと、輪郭の色を選択できます。色選択画面で色を直接タッチするか、方向キーを使って色選択アイコンを動かして選択します。

- 5 色選択アイコンを動かして、模様にする画像を囲みます。

- 6 [OK] を押します。
- 変換した画像の確認画面が表示されます。

- 7 変換した画像の確認画面が表示された後、必要に応じて手順 ④ のように調整します。

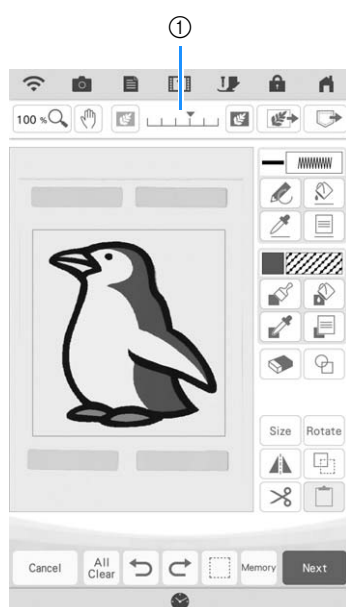


- * [拡大] を押すと、画像を拡大することができます。
- * [Original View] を押すと、変換される前の画像が表示されます。変換前後の画像を比較して、必要に応じて設定を変更します。
- * [Return] を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

→ 上記の設定を変更すると、キーが [Set] から [Retry] に変わります。[Retry] を押して、希望の仕上がりになることを確認します。

- 8 [Set] を押します。
- ドロー画面が表示されます。

9 必要に応じて、スキャンした画像を編集します。



- * 選択した画像がステッチに変換された後、ドロー画面の背景として表示されます。①で、背景の濃淡を調整します。 を押すたびに背景が薄く、イラストが濃く表示されます。 を押すたびに背景が濃く、イラストが薄く表示されます。

ステッピング

My Design Center（マイデザインセンター）で基本的なステッピングをする

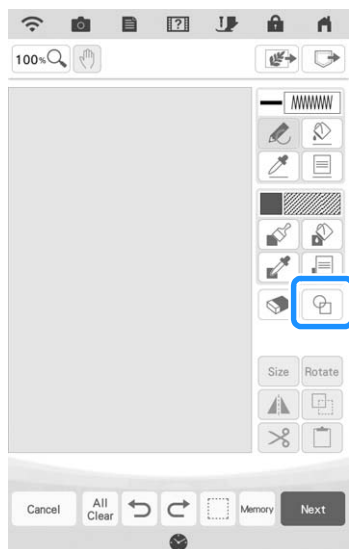
ステッピング模様を作る基本操作を説明します。
例：



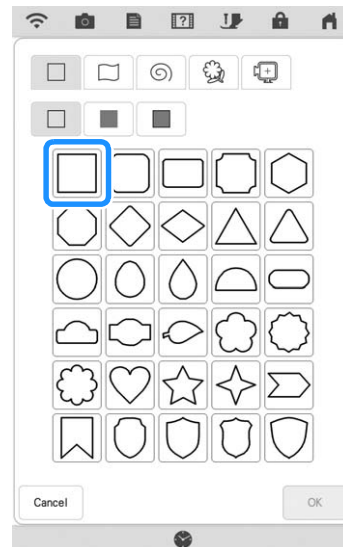
1  を押します。

* 刺しゅう模様選択画面で、 を押しても始めることができます。

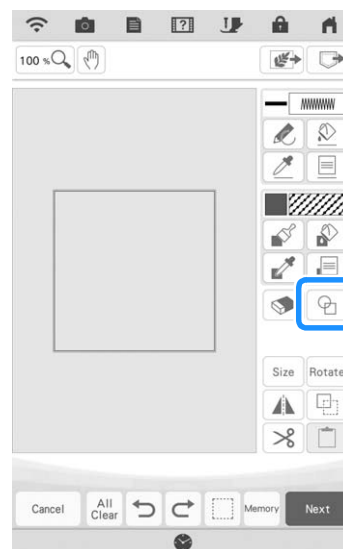
2  を押します。



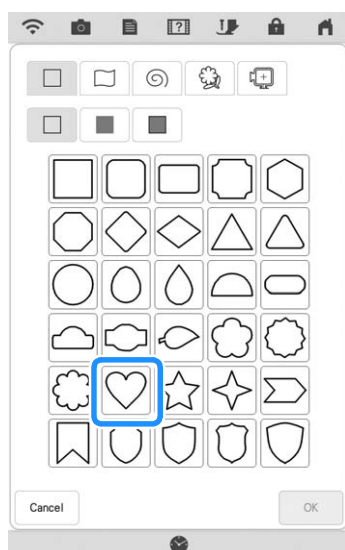
3 四角形を選択して、 を押します。



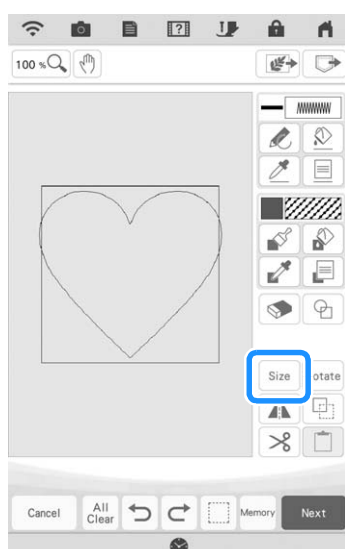
4  を押します。



- 5 ハートの図形を選択して、**OK** を押します。

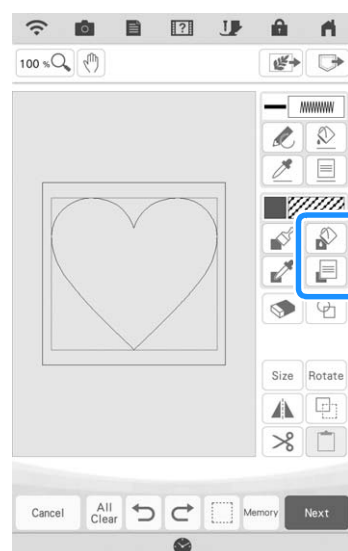


- 6 **Size** を押します。

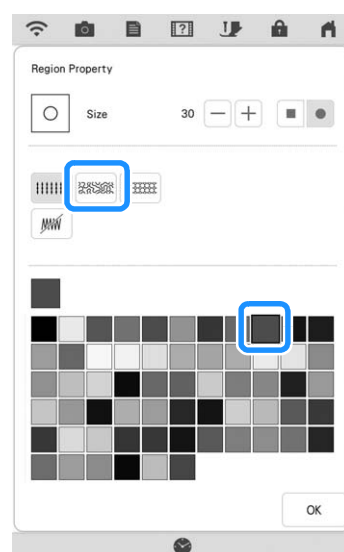


- 7 ハートの図形が四角形に収まるまで **Fit** を押してから、**OK** を押します。

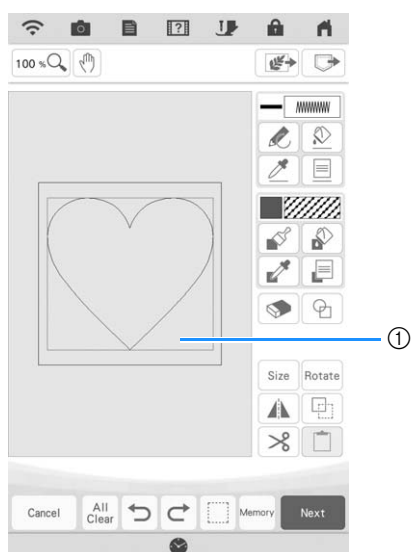
- 8 **Fit** を押して、**OK** を押します。



- 9 **Color** を押して、ステッチの色を設定します。色を設定したら、**OK** を押します。

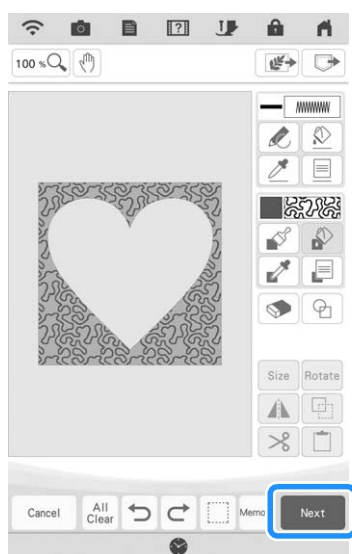


- 10 ステッピングを施したい領域を選択します。



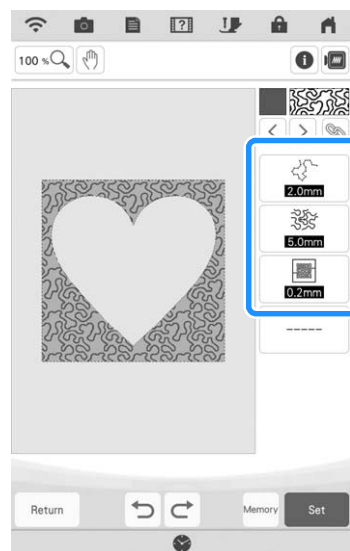
① この領域を選択します。

- 11 **Next** を押します。



- 12 お好みの仕上がりになるようにステッピングを調整し、**Set** を押します。

* 詳しくは P. 155 「それぞれの模様にない方を設定する」を参照してください。

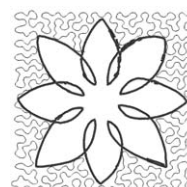


- 13 P. 38 「模様の編集」の手順に従って、希望通りの模様編集します。

スキャンした線画からステッピング模様を作る

ステッピングを使って、模様を作成します。

例：

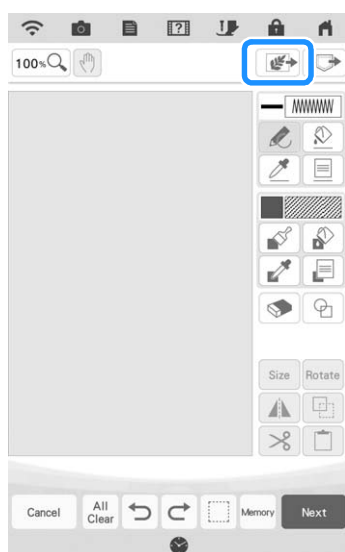


- 1 スキャン枠に下絵を配置します。

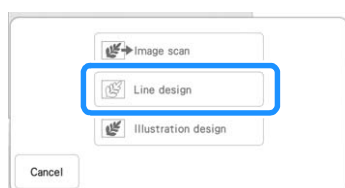
- 2  を押します。

* 刺しゅう模様選択画面で、**My Design Center** を押しても始めることができます。

3 を押します。

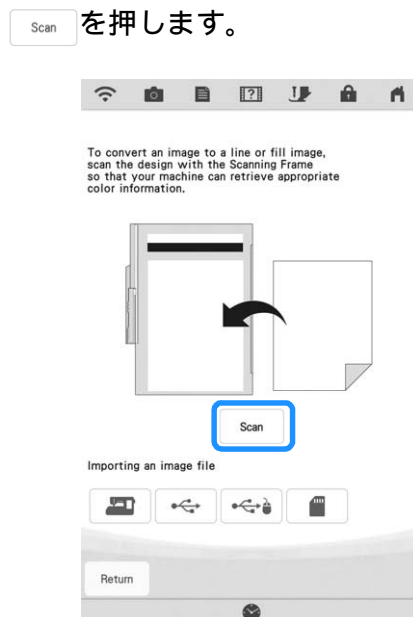


4 を押します。



- * 下絵を取り込み済みの場合は手順 6 に進みます。
- * 下絵を取り込んでいない場合は手順 5 に進みます。

5 を押します。



 お知らせ

- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが明るくなることがあります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- 取り込み可能なファイルの詳細は、P. 162 「下絵を取り込む」を参照してください。

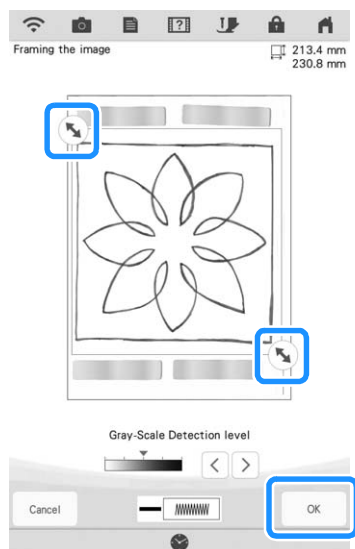
→ 次のメッセージが表示されたあと、 を押します。



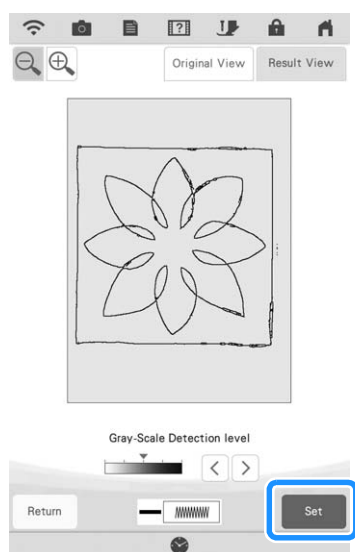
→ スキャンを開始します。

- *  を押すと、スキャンを中止して手順 5 の画面に戻ります。

- 6 スキャンが終わったら  を動かして模様にする画像を囲み、 を押します。

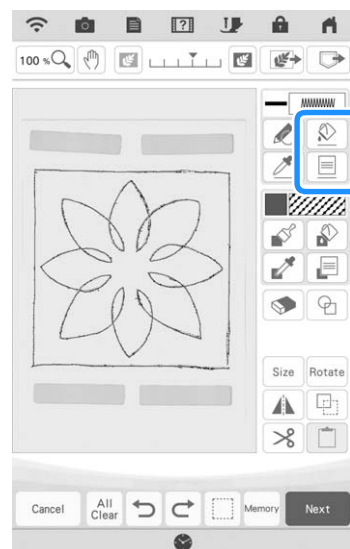


- 7 変換した画像の確認画面が表示された後、必要に応じて画像を調整し、 を押します。

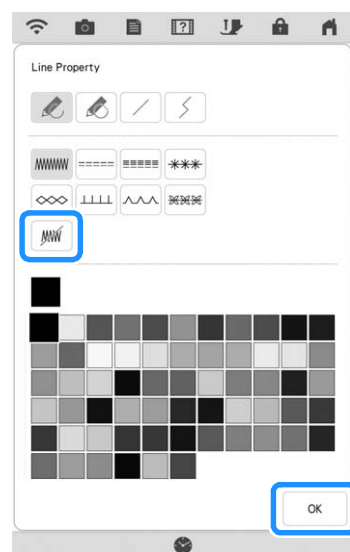


→ ドロー画面が表示されます。

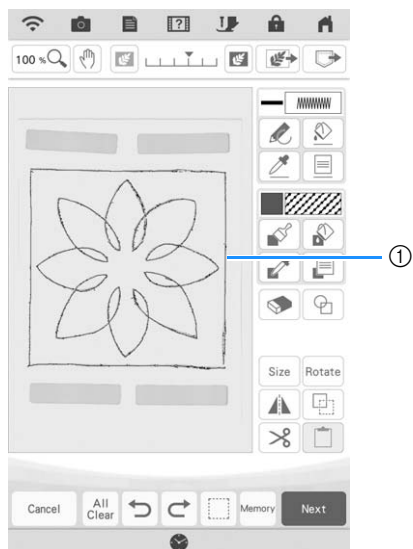
- 8 模様の輪郭のぬい方を設定するために、 を押してから  を押します。



- 9  を押してから、 を押します。輪郭をぬわない設定になります。

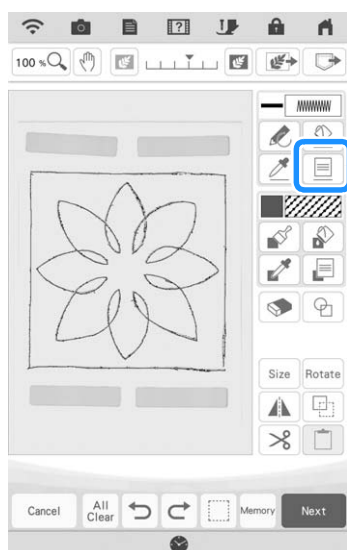


10 模様の輪郭を選択します。

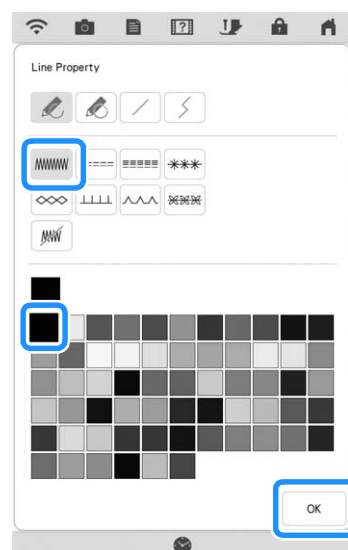


① 模様の輪郭

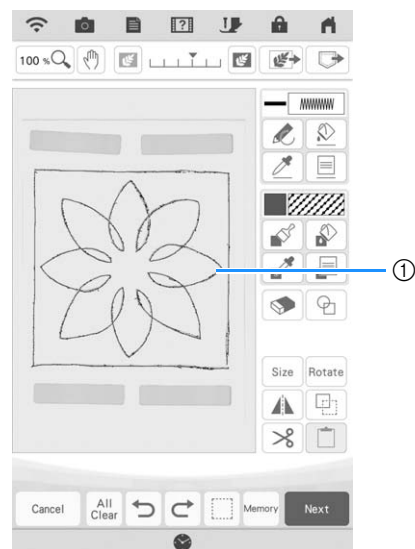
11 周囲にスティップリングを施すステッチの色を選択するために、 を押します。



12 を押してからステッチの色を選択し、 を押します。



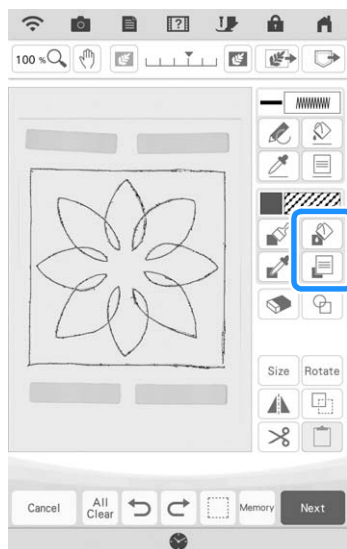
13 周囲にスティップリングを施すステッチの線を選択します。



① ステッチの線

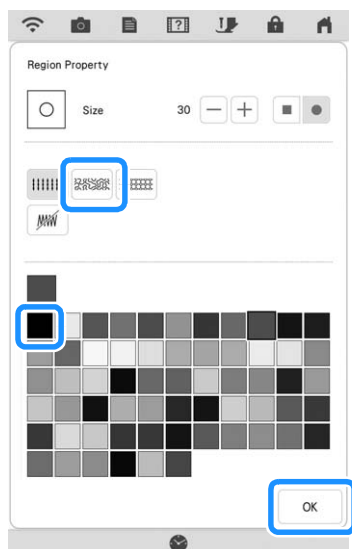
14 ステッチの色と種類を設定するために、

 を押してから  を押します。



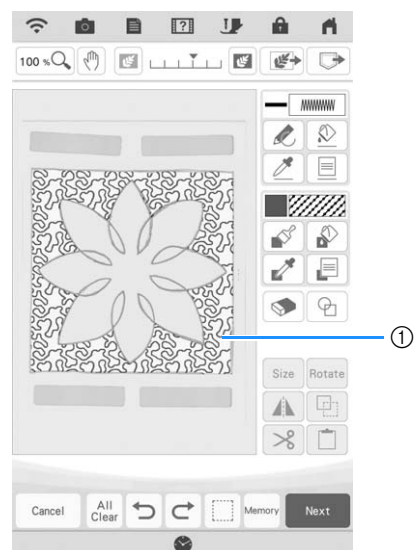
15 を押して、ステッチの色を設定しま

す。色を設定したら、 を押します。



16 ステッピングを施したい領域を選択し

ます。



① ステッピングを施す領域

17 P. 170 「My Design Center (マイデザイン

センター) で基本的なステッピングをする」の手順 ① 以降に従ってください。

布をスキャンしてスティップリングする

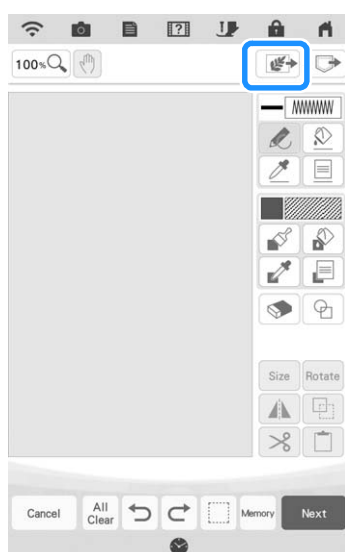
布の柄とスティップリング模様を組み合わせます。

1 刺しゅう枠に布地を張ります。

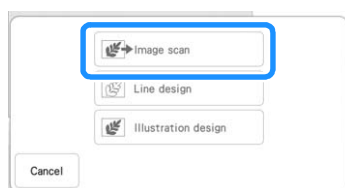
2  を押します。

* 刺しゅう模様選択画面で、 を押しても始めることができます。

3  を押します。



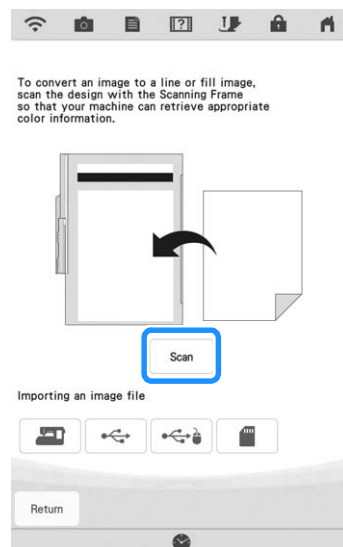
4  を押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

5 刺しゅう枠をマシンに取り付けた後、

 を押します。



お知らせ

- 液晶画面の説明ではスキャン枠を使ってスキャンするように示していますが、この例では刺しゅう枠を使ってスキャンします。
- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが明るくなることがあります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- 取り込み可能なファイルの詳細は、P. 162「下絵を取り込む」を参照してください。

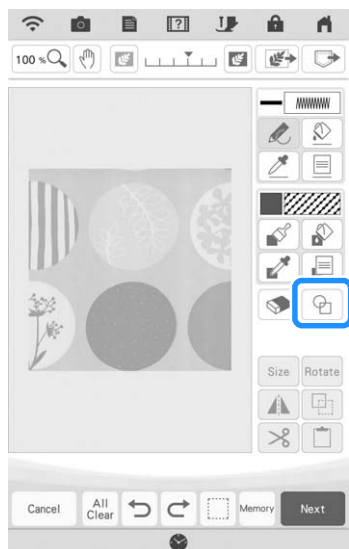
→ 次のメッセージが表示されたあと、 を押します。



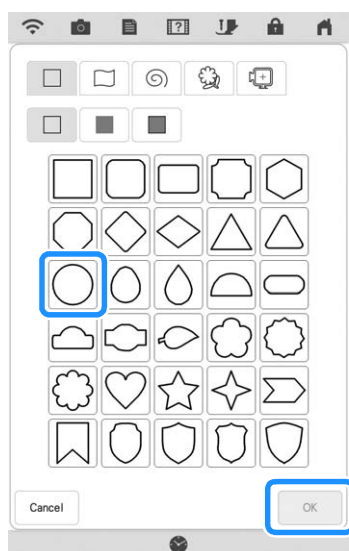
→ スキャンを開始します。

*  を押すと、スキャンを中止して手順 5 の画面に戻ります。

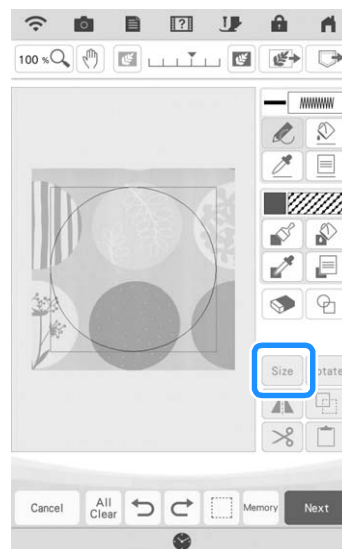
6  を押します。



7 円形を選択して、 を押します。

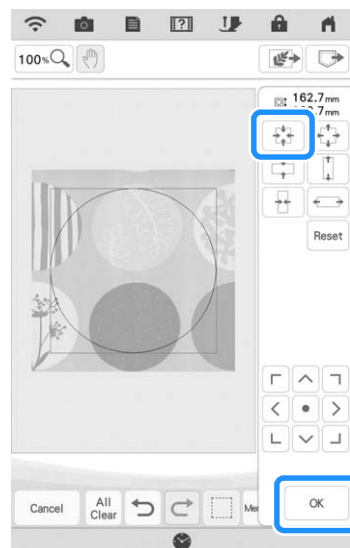


8 円形を拡大または縮小するために、 を押します。

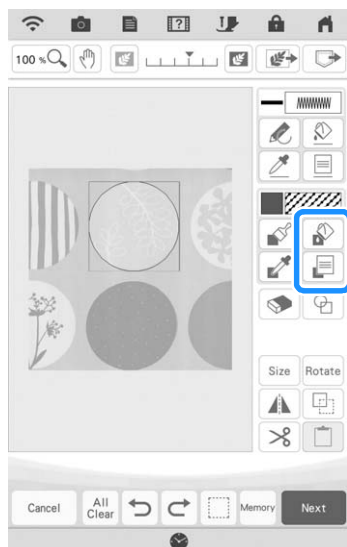


9 円形が布の模様と一致するまで  を押し、 を押します。

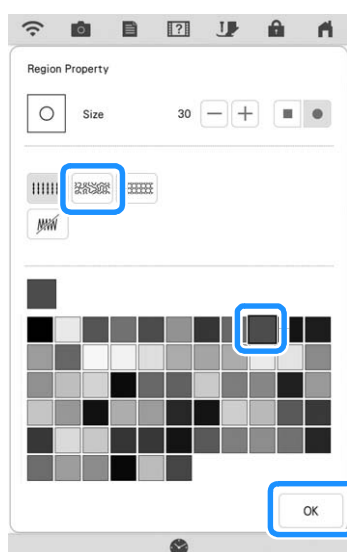
*  を使用して、円形を布の柄の位置と揃えます。



- 10 ステッチの色と種類を設定するために、 を押してから  を押します。



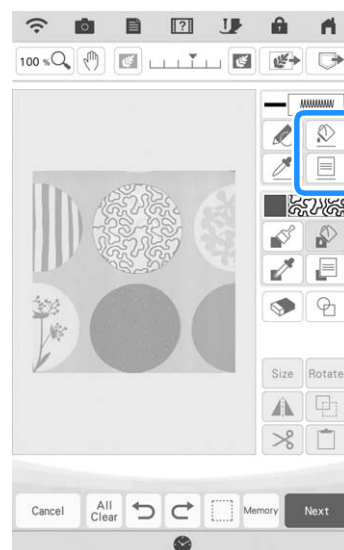
- 11  を押して、ステッチの色を設定します。色を設定したら、 を押します。



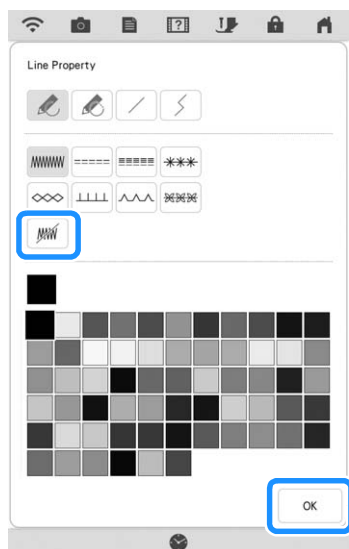
- 12 スティッピングを施したい領域を選択します。



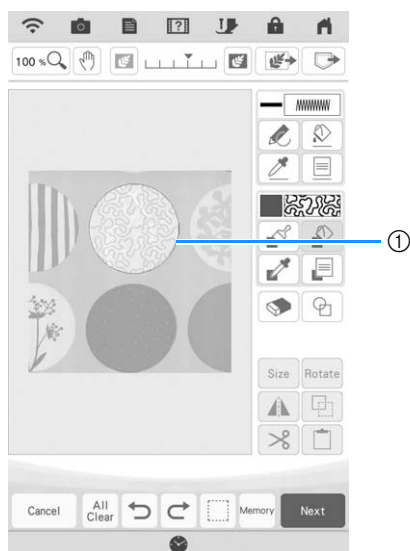
- 13 模様の輪郭のぬい方を設定するために、 を押してから  を押します。



- 14  を押してから、 を押します。輪郭をぬわない設定になります。



- 15 模様の輪郭を選択します。



① 模様の輪郭

- 16 P. 170 「My Design Center (マイデザインセンター)」で基本的なスティップリングをする」の手順 ⑪ 以降に従ってください。

→ 初めにスキャンした布に刺しゅうします。

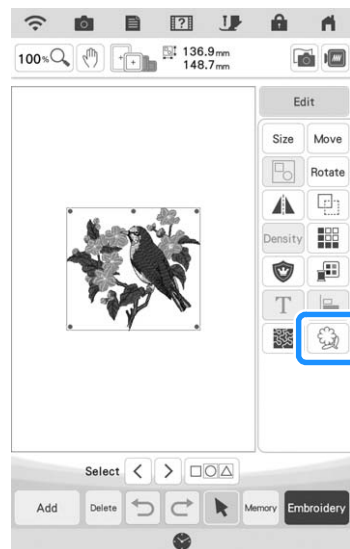
刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする (キルト機能)

お知らせ

- きれいに刺しゅうするために、縫製速度を遅くしてください。

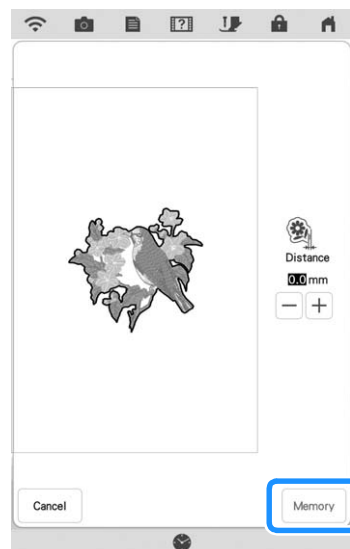
刺しゅう模様の周りにスティップリングを施してキルト作品を作ることができます。

- 1 布ではさんだキルト綿を刺しゅう枠にはめて、ミシンに刺しゅう枠を取り付けます。
- 2 ホーム画面で  を押して、周りに飾りぬいを施す模様を選択し、編集画面で  を押します。



→ 模様の輪郭が表示されます。

- 3  を押します。



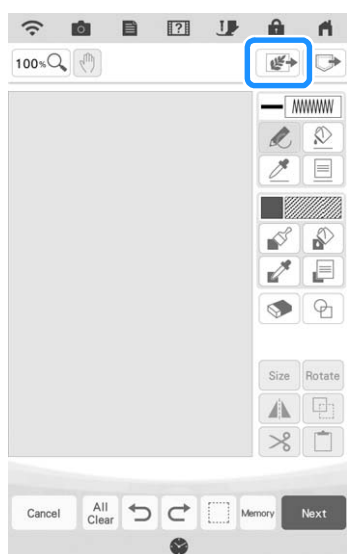
→ メッセージが表示されて、模様の輪郭が My Design Center (マイデザインセンター) のスタンブ図形に登録されます。 を押します。



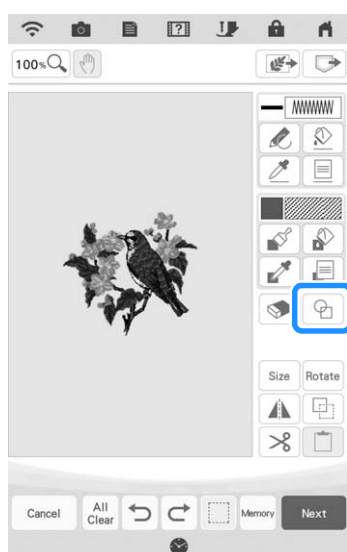
4  を押して縫製画面に進み、模様を刺しゅうします。

5 ホーム画面で  を押して、My Design Center（マイデザインセンター）を起動します。

6  を押して、刺しゅうされた布をスキャンします。詳しい手順については、P. 162「下絵を取り込む」を参照してください。



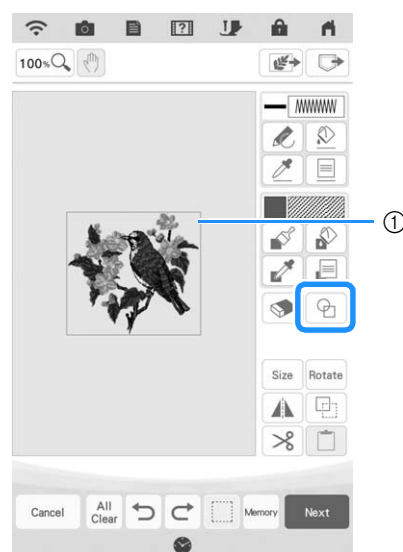
7 、 の順に押し、手順 ③ で登録したスタンプ図形を呼び出し、スキャンした模様の上に配置します。



8  を押してから、スタンプ図形または長方形を選択して、縫製する領域を決定します。

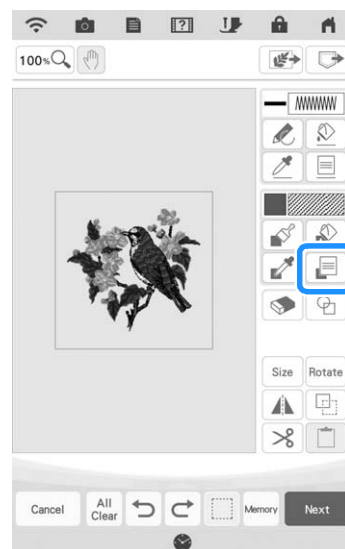
💡 お願い

- 領域を手で描く場合、閉じた形になるように描いてください。領域が閉じていないと、領域を正しく飾りぬいできません。

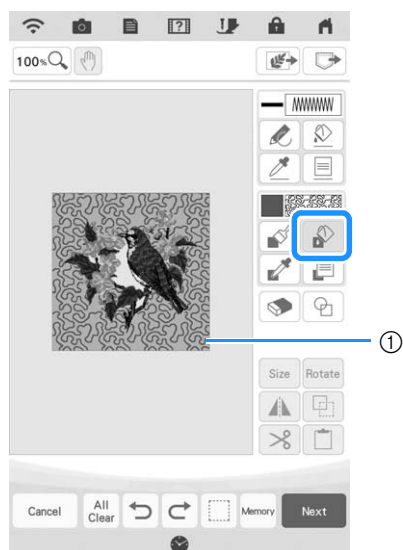


① スタンプ図形または長方形

9  を押して、飾りぬいを使う柄と色を選択します。

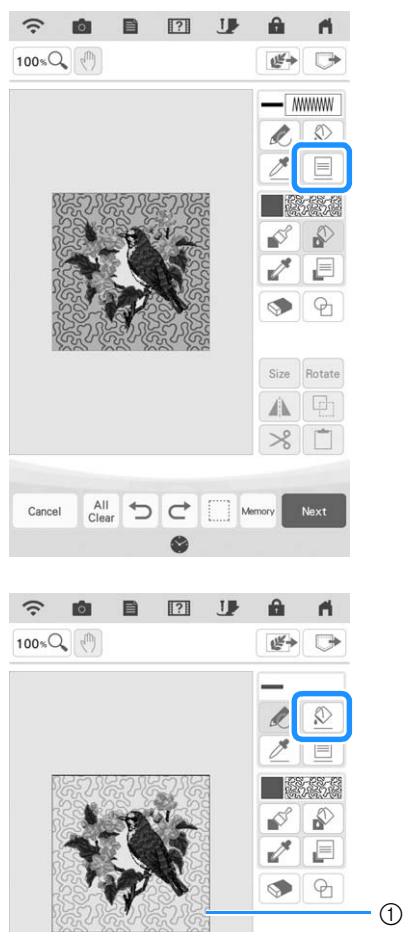


- 10 を押してから、スタンプ図形の外側のステッチする領域を塗りつぶします。



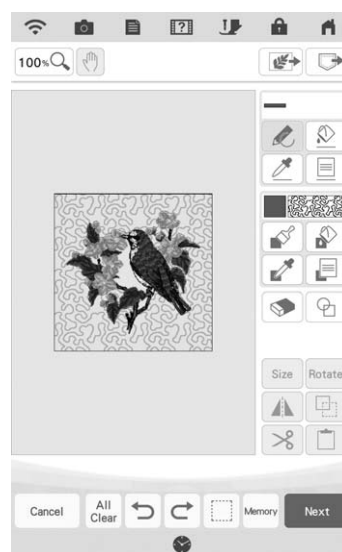
① 塗りつぶす領域

- 11 手順 8 で縫製する領域にスタンプ図形を選択したときは、を押して、を押します。を押して、外枠の線を選択します。

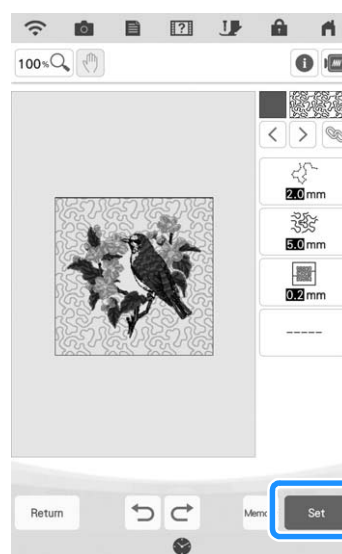


① スタンプ図形の外枠の線

- 12 を押します。



- 13 ステッチ設定画面でぬい方を設定して、を押します。



- 14 刺しゅう模様の周りをスティップリングします。



第 5 章 付録

困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーのサポートサイト（<http://s.brother/cpdad/>）の Q&A を確認してください。

それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

こんなときは

ミシンに何か問題が起こった場合は、次の項目を確認してください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。 →

 Operation Guide →  Troubleshooting を押すと、刺しゅうしていて困ったときに解決方法をご覧ください。  Return を押すと、元の画面に戻ります。

■ めう前の準備

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない。	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	—
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	11
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	22
	糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていない。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	糸通し装置が動かない、または元の位置に戻らない。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	9 番の針を使っている。	糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針穴に通してください。	25
押えレバーで刺しゅう押えを下げるのができない。	押え上下スイッチを使って、刺しゅう押えが上げられている。	押え上下スイッチを押して、刺しゅう押えを下げます。	—
下糸がボビンにきれいに巻けない。	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸を正しくかけます。	16
	ボビンの回転が遅い。	下糸巻き画面で  キーを押して、下糸巻きの回転スピードを速くします。	17
	引き出した糸を正しくボビンに巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ～ 6 回ボビンに巻き付けます。	16
	空のボビンがピンに正しくセットされていない。	空のボビンをピンに正しくセットし、カチッと音がするまでボビンをゆっくりと巻きます。	15
下糸巻き中、ボビン受け座の下に下糸が巻かれた	はじめて下糸を巻くときに、糸案内に糸が通っているのを確認したが、下糸が正しく巻かれなかった。	ボビン受け座の下にからまった糸を取り除き、糸を巻き直します。 下糸巻きを行うときは、ミシン上部のガイドイラストに従ってください。	15
下糸を引き出すことができない	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	11
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	20
ミシンの操作ができない。	すべてのキーと操作スイッチが  でロックされている。	 を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。	9、11
液晶画面に何も表示しない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	—
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
液晶画面が見にくい。	画面の明るさ設定が合っていない。	設定画面で [Screen Display Brightness (画面の明るさ)] を調整します。	—

症状	原因	対処	参照ページ
液晶画面を押しても、反応しない。	画面がロックされている。	次のいずれかのキーを押して、画面ロックを解除します。  	—
液晶画面がくもる。	液晶画面が結露している。	しばらくすると、結露や曇りはなくなります。	—
刺しゅう機が動かない。	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットし直します。	13
	初期設定を行う前に刺しゅう枠を取り付けた。	刺しゅう機を取り外し、正しく初期設定を行います。	13
プロジェクターのポインターが正しい位置を指さない。	厚手の伸縮性のある布地をぬうときは、布地の凸部で正しい位置を示すことができません。	布地の厚みに合わせて、手動で刺しゅうの位置合わせをしてください。	47
	布地の表面がでこぼこしていると、正しく位置を認識できません。	プロジェクターのポインターの表示は、参考程度に使用してください。	—

■ 刺しゅう中

症状	原因	対処	参照ページ
ミシンの操作ができない。	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	—
	模様選ばれていない。	模様を選びます。	36
	刺しゅう押えが下がっていない。	刺しゅう押えを下げます。	—
針が折れる。	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	11
	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりとしめます。	12
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	模様に合った刺しゅう押えを使用していない。	指定の刺しゅう押えを取り付けます。	10
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	103
	縫製中に、布地を不当に引っ張っている。	縫製中、布地を引っ張らないようにします。	—
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの付け方を確認して、付け直します。	22
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	刺しゅう押えの穴の周辺にキズがある。	刺しゅう押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	9
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	11
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	20
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	22
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	20
	刺しゅう押えの取り付けがまちがっている。	刺しゅう押えを正しく取り付けます。	9
	押えホルダーのネジがゆるんでいる。	押えホルダーのネジを確実にしめます。	10
	布地が厚すぎる。	プーリーを手で回して針が布地に通ることを確認してください。	—
	刺しゅうをするときに、布地に刺しゅう用接着芯を貼っていない。	接着芯を布地に貼ります。	28
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	15

症状	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる。	上糸の通し方がまちがっている（糸こま押えが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、糸が針棒系かけから外れているなど）。	糸を正しく通します。	22
	糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	—
	針に比べて糸が太すぎる。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	103
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	11
	針板の穴の周辺にキズがある。	針板を交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	刺しゅう押えの穴の周辺にキズがある。	刺しゅう押えを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	9
	内かまにキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	縫製中に、糸が結ばれたりからんだりしている。	上糸と下糸を通し直します。	20、22
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	20
布裏で糸がからまる。	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。糸を通す際に刺しゅう押えを上げて、上糸調子を適切に調整してください。	22
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
上糸がつる。	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	20
下糸が切れる。	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットし直します。	20
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	15
	ポピンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ポピンを交換します。	20
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	20
布地にしわがよる。	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	20、22
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの付け方を確認して、付け直します。	22
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	103

症状	原因	対処	参照ページ
ぬい目が飛ぶ	糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	22
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書（実用編）の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付け直します。	11
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	11
	針板の下にゴミがたまっている。	ブラシでゴミを取り除きます。	—
刺しゅう中のぬい音が高い	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	—
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	22
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	20
	内かまに針が刺さった穴やスリキズがある。	内かまを交換するか、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
布地を送らない。	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	糸がからまっている。	かまなどからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
布地が逆方向に送られる。	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
針が針板に当たる。	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりとめます。針が曲がっていたり、針先がつぶれている場合は、新しい針に交換してください。	11
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
布地がミシンに入り込んでとれない。	糸が針板の下でからんでいる。	布地を持ち上げて布地の下の糸を切ったあと、かまの掃除をします。	—
折れた針がミシンの中に落ちた。	—	ミシンの電源を切ってから、針板を外します。ミシンの中に落ちた針が見える場合は、ピンセットなどで取り出します。針を取り出したら、針板を元に戻します。 電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり手前に回してなめらかに回るか確認してください。プーリーがなめらかに回らない場合やミシンの中に落ちた針を取り出せない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。	—
プーリーを回したときに重い。	糸が内かまにからんでいる。	かまにからんだ糸を取り除きます。内かまを正しい位置に取り付け直します。	—
刺しゅう位置合わせシールを検知しない。	外からの日光やライトがミシンに入っている。	外からの光を遮断してください。	—
スキャンした画像がとても明るいまたはとてもぼんやりしている。			

■ 仕上がり

症状	原因	対処	参照ページ
糸調子が合っていない。	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	22
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。(針板が取り外されているときは、取り付けてください。)	20
	布地に合った針・糸を使っていない。	取扱説明書(実用編)の「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。	—
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	103
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	15
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	11
	本機純正のポピンを使用していない。	本機純正ポピンを使用してください。	20
刺しゅう模様がくずれる。	糸がからまっている。	かまなどからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	—
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	103
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない(布地の張り方がゆるいなど)。	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	30
	刺しゅう用接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。適切な接着芯については、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。	28
	刺しゅう時に、キャリッジや刺しゅう枠がミシンの周辺に置いてある物に当たっている。	刺しゅう枠が物にぶつかる模様くずれの原因となります。刺しゅう枠が動く範囲には物を置かないようにします。	53
	刺しゅう枠からはみでた布地をフリーアーム側に置いていて、刺しゅう枠がつかえて動かない。	刺しゅう枠からはみ出た布地がフリーアームの反対側になるようにして枠を張り替え、模様を 180 度回転して刺しゅうをします。	30
	重い衣類に刺しゅうして、刺しゅう機の動きが悪くなった。	アームヘッドと水平になるように厚い本などを置いたり、重い側を軽く持ち上げるようにしてぬいます。	—
	テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下がっている。	布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブルから布地が垂れ下がらないようにします。	53
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	—
	刺しゅうの途中で刺しゅう枠を外した(下糸交換など)。刺しゅう枠をセットするときに刺しゅう押えをぶついたり、動かしたりしたが、刺しゅう機を動かした。	刺しゅうの途中で刺しゅう押えに物がぶつかったり、刺しゅう機が動いたりすると模様くずれの原因となります。刺しゅうの途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。	56
刺しゅうした布地の表側に糸のループができる。	刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さいなど、正しく貼られていない。	刺しゅう用接着芯を布地に正しく貼ります。	28
	糸調子が正しく調節されていない。	糸調子を調節します。	103
	布地、糸、模様の組み合わせによって、上糸が浮いてしまう。	刺しゅう専用針板カバーを使用します。	32
	内かまと下糸の組み合わせが正しくない。	正しい組み合わせになるように、内かま、あるいは下糸を交換してください。	53

⚠ 注意



- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。
- 使用中に停電が発生した場合：
電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
再度電源スイッチを入れる場合は、本書の手順に従って正しく行ってください。

エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチ、止めぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まります。アラーム音が鳴り、画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

以下に、エラーメッセージについて記載します。必要に応じて参照してください（表示中のエラーメッセージは **OK** を押すか、正しい操作をすると消えます）。

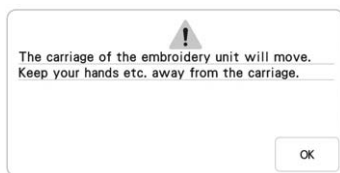


⚠ 注意

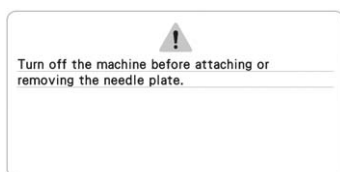
- 必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずに "スタート/ストップスイッチ" を押すと、糸調子不良や針折れの原因となり、けがをするおそれがあります。



(安全装置が働きました。糸がからんでいませんか？針が曲がっていませんか？)



(刺しゅうキャリッジが動きます。刺しゅうキャリッジの近くから物を離し、手を近づけないようにしてください。)



(針板を着脱するときは、電源を切ってください。)



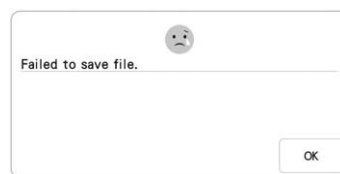
(定期点検の時期になりました。)

糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示されます。

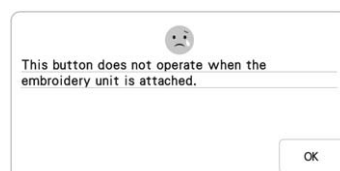
刺しゅう機の初期設定をするときに表示されます。

ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したとき、直線針板を取り付けた状態で、ミシンの電源を入れて、刺しゅうモードを選択したときに表示されます。

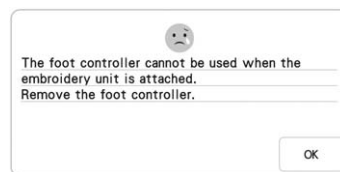
ミシンの定期点検が必要なときに表示されます。



(書き込みに失敗しました。)



(刺しゅう機が付いているときに、このキーは使用できません。)



(刺しゅう機が付いているときに、フットコントローラーは使用できません。フットコントローラーをはずしてください。)



(この模様はデータ容量の制限を超えています。)

USB メディアに 100 個以上のカメラ画像もしくは設定画面の画像データを保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから画像を削除するか、別の USB メディアを使用してください。

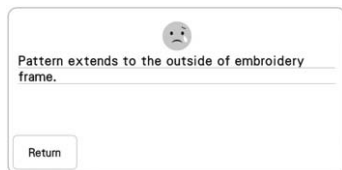
刺しゅう機を取り付けた状態で返しぬいスイッチ、止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

ミシンに刺しゅう枠を取り付けて刺しゅうができるようにした状態で、フットコントローラーを踏むと表示されます。

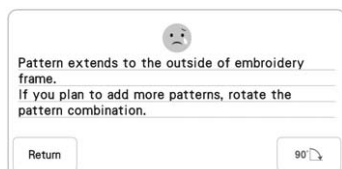
記憶容量の制限を超える模様を読み込んだり、たくさんの模様を編集したりしたときに表示されます。



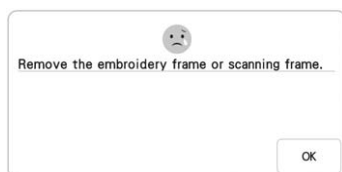
(針が下がっているときに、このキーは使用できません。針を上げて、キーを押してください。)



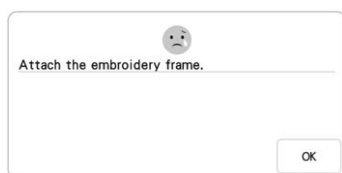
(枠をはみ出します。)



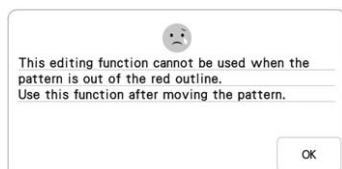
(枠をはみ出します。これ以上組み合わせるときは、模様を回転して、追加入力してください。)



(刺しゅう枠またはスキャン枠をはずしてください。)



(刺しゅう枠をセットしてください。)



(赤い枠がはみ出しているときは操作できません。位置を動かしてから操作してください。)

針が下がった状態で液晶画面上のキーを押したときに表示されます。

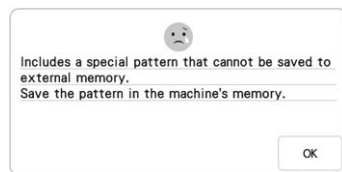
刺しゅうモードで、文字模様の組み合わせが刺しゅう枠より大きいときに表示されます。

刺しゅうモードで、文字模様の組み合わせが刺しゅう枠より大きいときに表示されます。模様を 90 度回転させると、引き続き模様を組み合わせることができます。

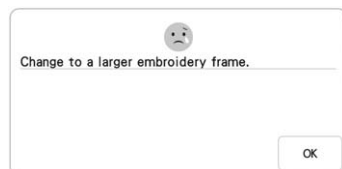
刺しゅうモードで、刺しゅう枠を取り付けた状態で刺しゅう機の初期設定をしようとしたときに表示されます。

模様を刺しゅうできる状態で、刺しゅう枠を取り付けていないときにスタート/ストップスイッチを押すと表示されます。

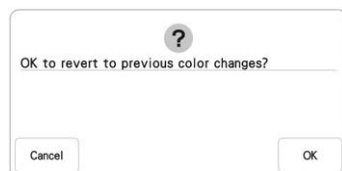
刺しゅうモードで、模様が赤い枠の中に収まりきっていない状態で編集機能を使おうとすると表示されます。



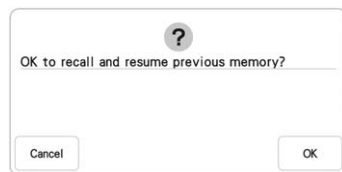
(特別な模様が含まれているため、外部メモリーには保存できません。本体メモリーに保存してください。)



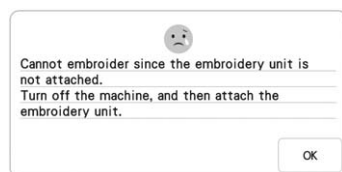
(大きい枠に取り替えてください。)



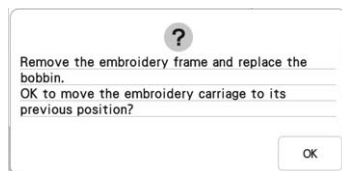
(色の変更が元に戻ります。よろしいですか?)



(レジューム記憶を呼び出しますか?)



(刺しゅう機がついていないのでぬえません。電源スイッチを切ってから刺しゅう機を取り付けてください。)



(刺しゅう枠をはずして、下糸を交換してください。刺しゅう枠を前の位置に戻します。よろしいですか?)

著作権で保護された模様を USB メディアに保存しようとしたときに表示されます。著作権法上、違法にコピー・編集した模様は USB メディアやパソコンに保存できません。このメッセージが表示された場合は、ミシンのメモリーに模様を保存してください。

刺しゅうモードで、刺しゅう枠を取り付けているときに、選んだ模様が刺しゅう枠に収まりきらない場合に表示されます。

また、内蔵カメラで刺しゅう模様の位置合わせをしているときに、位置調整した模様が取り付けられる刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていないときに表示されます。

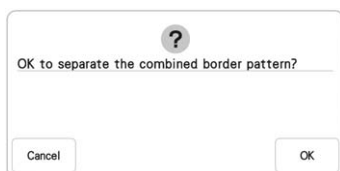
糸色を変更して

Reset を押したときに表示されます。

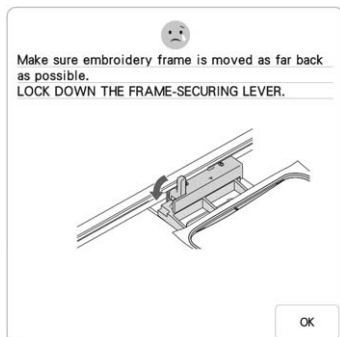
縫製中にミシンの電源を切った後で、もう一度電源を入れたときに表示されます。**OK** を押すと、電源を切ったときの状態(模様の位置と縫製済みの針数)に戻ります。**P.57**「刺しゅうの途中で糸が切れたときは」の手順に従って、針位置を合わせて、模様の続きを刺しゅうしてください。

刺しゅうモードで、刺しゅう機を取り付けていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。

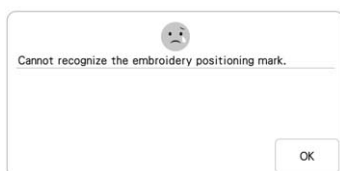
刺しゅう用下糸を交換するときに表示されます。



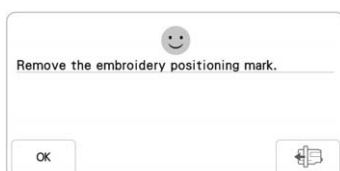
(ボーダー模様の組み合わせが解除されます。よろしいですか?)



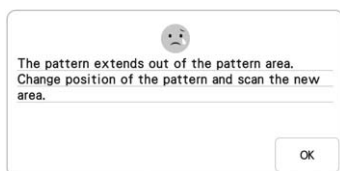
(刺しゅう枠を奥までスライドさせてください。枠固定レバーを倒してください。)



(位置合わせマークを認識する事ができませんでした。)



(位置合わせマークをはがして下さい。)



(縫製エリアから模様がはみ出します。位置を変更してスキャンし直して下さい。)

刺しゅうの縫製画面上で、連続模様 (ボーダー模様) を回転させたときに表示されます。

刺しゅう枠が正しく取り付けられていない状態で、スタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。

ミシンが位置合わせマークを認識できなかったときに表示されます。

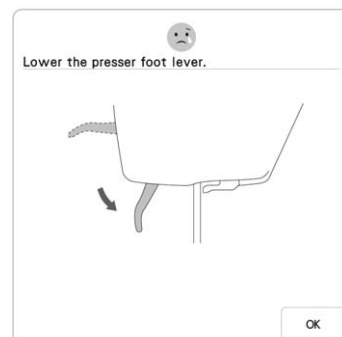
- 選択範囲の中に位置合わせマークがあることを確認してください。それでも解決しない場合は、P. 51 を参照して位置合わせマークを設定し直してください。
- プリントされた位置合わせマークを認識できませんでした。拡大や縮小はしないで印刷し、位置合わせマークを配置し直してください。(P. 101)

ミシンが位置合わせマークを認識したときに表示されます。刺しゅう位置合わせシールをはがして **OK** を押し、操作を続けてください。 を押すと、刺しゅう位置合わせシールをより簡単に取り外すことができます。(P. 51)

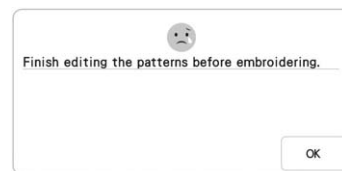
内蔵カメラで刺しゅう位置合わせをしているときに、刺しゅう位置合わせシールが端に寄りすぎていたり、模様が刺しゅう枠の外に出ていたりした場合に表示されます。刺しゅう位置合わせシールの位置を修正してから、位置合わせをやり直してください。P. 49 を参照してください。



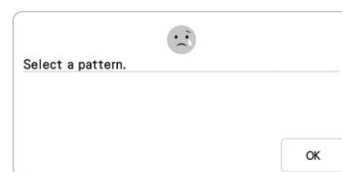
(上糸を確認め、もう一度かけ直してください。)



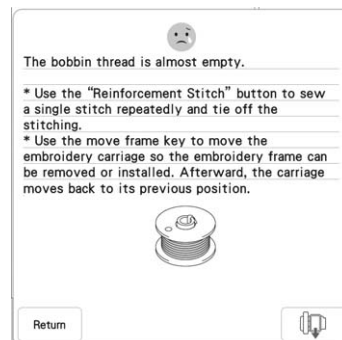
(押えレバーを下げてください。)



(模様の編集を完了してください。)

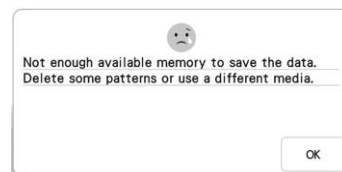


(模様を選んでください。)



(下糸が少なくなりました。)

- * 止めぬいスイッチを押すと、止めぬいができます。
- * 枠移動キーを押すと、糸切りして、枠を脱着用の位置に移動します。のちほど、前の位置に自動で戻ります。)



(容量が不足しているためデータを保存できません。他の模様を消去するか、メディアを交換してください。)

上糸が切れているか、正しく通っていない状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

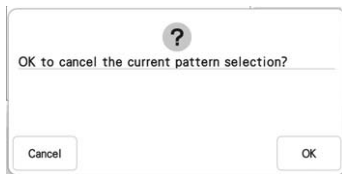
押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上下スイッチを押したときに表示されます。

刺しゅうモードで模様を編集中に、スタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。

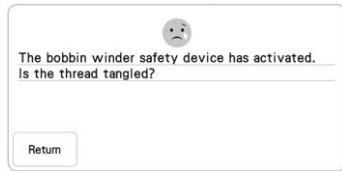
ぬい模様や刺しゅう模様が選択されていない状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。

下糸が少なくなったときに表示されます。

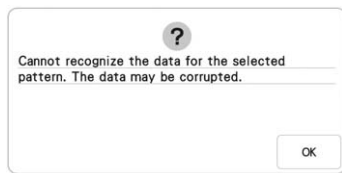
記憶容量がいっぱいで、ぬい模様や刺しゅう模様を記憶できないときに表示されます。



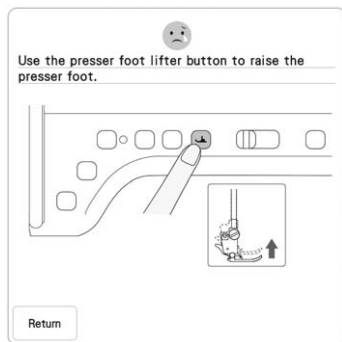
(模様の選択をキャンセルします。よろしいですか?)



(下糸巻きの安全装置が働きました。糸がからんでいませんか?)



(模様のデータが読めません。データが壊れている可能性があります。)



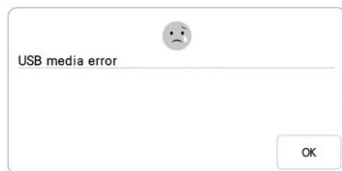
(押え上下スイッチで押えを上げてください。)



(この USB メディアは使用できません。)



(USB メディアが交換されました。読み込んでいる最中に交換しないでください。)



(USB メディアエラー)

模様を削除しようとしたときや、を押して模様の選択をキャンセルしようとしたときに表示されます。

下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。

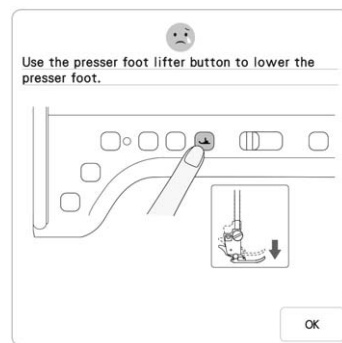
選択した模様のデータが壊れている可能性があるときに表示されます。

刺しゅう機を取り付け、針が下がっている状態で電源を入れたときに表示されます。

使用できないメディアを使用しようとしたときに表示されます。

呼び出したい模様が保存された USB メディアを取り外した後で、USB メディア内に保存されていた模様を選択しようとしたときに表示されます。

USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。



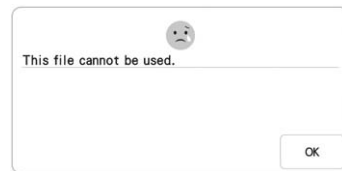
(押え上下スイッチで押えを下げてください。)



(上糸がうまくかかっていない可能性があります。始めから上糸をかけ直してください。)



(ファイルサイズが大きすぎます。規定サイズ以内のファイルを使用して下さい。)



(このファイルは使用できません。)



(選択した画像を削除しますが、よろしいですか?)



(このキーは使えません。)

押えが上がっている状態で、スタート/ストップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されます。

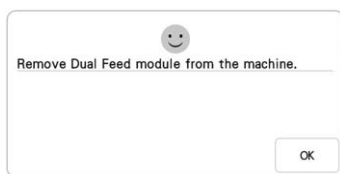
上糸が正しく通されていない可能性があるときに表示されます。

ファイルサイズが本機のデータ容量を超えているときに表示されます。ファイルのサイズと形式を確認してください。

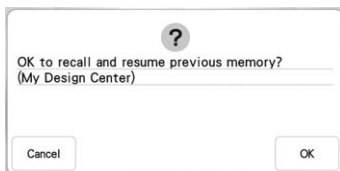
本機が対応していない形式のファイルを読み込もうとしたときに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認してください。

画像を削除しようとしたときに表示されます。

実用模様ぬい以外で  Sewing Guide を押したときや、実用模様／文字・飾り模様ぬい以外で  Pattern Explanation を押したときに表示されます。



(デュアルフィードモジュールを外してください。)



(レジューム記憶を呼び出しますか？ (マイデザインセンター))

デュアルフィード押えが取り付けられている状態で刺しゅうをしようすると表示されます。刺しゅうモードに入る前に、デュアルフィード押えを取り外してください。

My Design Center (マイデザインセンター) で模様を編集集中に、ミシンの電源を切って、もう一度電源を入れて My Design Center (マイデザインセンター) を起動したときに表示されます。OK を押すと、電源を切る前の状態に戻ります。

■ アラーム音

操作が正しく行われなかった場合、アラーム音でエラーの発生をお知らせします。操作が正しく行われた場合は、操作を確認する電子音が鳴ります。

お知らせ

- 電子音を鳴らないようにしたり音量を変えたりする場合は、 を押して設定画面の 4 ページを表示し、[Machine Speaker Volume (ミシンスピーカーボリューム)] の設定を変更してください。詳しくは、取扱説明書 (実用編) を参照してください。

索引

S

SD カード	
記憶する	114
種類	111
呼び出す	115

U

USB ポートコネクタ	
メディア用	114
USB メディア	
記憶する	114
種類	111
呼び出す	115

あ

アプリケ	
枠模様を使用する	126
アラーム音	193

い

位置を合わせる	93
糸	
糸調子	103
糸案内	16, 18, 22
糸色表示	107
糸こまネット	27
糸印	69
糸設定キー	103
糸たてスタンド	19, 25
糸パレットキー	80
糸密度キー	66
イメージキー	62

う

上糸通し	
糸こまネットを使用する	27
自動糸通しスイッチ	22

え

エラーメッセージ	189
----------------	-----

お

大きさキー	64
-------------	----

か

回転キー	63
カラーシャッフル機能	81

き

キーのはたらき	38
記憶する	
USB メディア / SD カード	114
刺しゅう模様	113
ミシンのメモリー	113

<

組み合わせ模様	84
繰り返しキー	67, 69

こ

困ったとき	184
-------------	-----

し

刺しゅう	
糸色表示	107
自動糸切り機能	105
速度を調節する	107
小さい布地	32
電源を切った後、刺しゅうを再開する	58
布地の隅	32
始めからぬい直す	58
模様を選ぶ	36
リボンやテープ	33
渡り糸切り機能	106
刺しゅうアプリケ	123
刺しゅう位置合わせシール	49
刺しゅう押え<W>	10
刺しゅう押え記号	41
刺しゅう機	13
刺しゅうシート	31
刺しゅう専用針板カバー	32
刺しゅうの枠表示	107
刺しゅう模様	
位置の確認	51
位置を合わせる	93
選ぶ	36
記憶する	113, 114
組み合わせ	84
刺しゅうする	53
複製	72
編集	38
文字をつなげる	109
模様選択画面	37
呼び出す	113, 115
枠模様を使ってアプリケをする	126, 127
刺しゅう枠	
刺しゅうシートの使い方	31
種類	29
セットする	34
取り外し方	34
布地の張り方	30
下糸通し	
下糸をセットする	20
下糸を巻く	15
下糸巻き案内	16, 18
自動糸通しスイッチ	22

す

スキャン	159
------------	-----

せ

接着芯	28
設定	
糸切り	106
糸調子	103
刺しゅうの設定	7
自動糸切り	105
設定キー	7
ぬい方の設定	7

た

ためしキー	51
-------------	----

な

内蔵カメラ 47, 49

ぬ

ぬい始めの位置キー 108

は

配列キー 77

針

針の交換 11

針板ふた 20

針・押え交換キー 9, 11

反転キー 67

ふ

プリントと刺しゅう 98

プロジェクター 46, 47

へ

編集 38

編集刺しゅう

糸色を変える 80

組み合わせ模様 84, 89

連続模様 67

ほ

ボールポイント針（刺しゅう用） 106

縫製位置を合わせる 47, 49, 93

補助糸たて棒 15

補助テーブル 13

ポビン

下糸が少なくなったら 56

セットする 20

巻く 15

ポビンホルダー（スイッチ） 17

ま

マイデザインセンター 146

み

ミシン操作モードキー 184

も

文字

刺しゅう 74

文字間キー 78

戻る／進むキー 57, 58

模様をつなげる 134

や

矢印キー 63

よ

呼び出す

USB メディア／SD カード 115

刺しゅう模様 113

ミシンのメモリー 113

れ

連続した刺しゅう 92

連続模様 67





Brother SupportCenterは、ブラザー製品のサポート情報を提供するモバイルアプリです。



必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
最新バージョンでは、様々な機能向上を行っています。

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

■ お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番) Tel:050-3786-1134

050(ゼロ ゴー ゼロ)で始まる電話番号です。

Fax:052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- 「お客様相談室(ミシン119番)」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://s.brother/cpdad/>

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象となりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using it overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.



ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

882-W30



D01MPR-001